

**介護保険事業計画
及び
高齢者福祉計画策定
基礎調査結果報告書**

平成 29 年 3 月

富 津 市

目次

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的	1
2. 調査期間	1
3. 調査対象	1
4. 調査地域	1
5. 調査方法	1
6. 回収状況	1
7. 集計対象数	2
8. 調査結果を見る上での注意事項	2

第2章 65歳以上の市民に関する調査結果

1. あて名のご本人について	3
2. からだを動かすことについて	8
3. 食べることについて	16
4. 毎日の生活について	20
5. 地域での活動について	30
6. たすけあいについて	35
7. 健康について	39
8. 今後の生活について	44
9. 災害発生時の対応について	54

第3章 40～64歳の市民に関する調査結果

1. あて名のご本人について	58
2. 介護や介護保険について	61
3. 生活習慣病予防について	70
4. 運動について	76
5. 健康診断・がん検診について	78
6. 地域との交流について	86
7. 介護の経験について	89
8. 老後について	91
9. 災害発生時の対応について	96

第4章 居宅サービス利用者に関する調査結果

1. 調査票の回答者について	99
2. あて名のご本人について	99
3. ご家族や生活状況について	102
4. 今後の過ごし方について	109
5. 災害発生時の対応について	118

第5章 施設サービス利用者に関する調査結果	
1. 回答者について	122
2. あて名のご本人について	122
第6章 サービス未利用者に関する調査結果	
1. 回答者について	135
2. ご家族や生活状況について	138
3. 災害発生時の対応について	150
第7章 介護保険サービス提供事業者に関する調査結果	
1. 貴事業所について	154
2. 貴事業所が提供しているサービスについて	156
3. 認知症対策について	160
4. 事業・職員について	164
第8章 在宅介護者に関する調査結果	
1. A票：あて名ご本人について	174
2. B票：あて名ご本人について	184
第9章 日常生活圏域ニーズ調査結果	
I 調査の概要	189
1. 目的	189
2. 調査対象	189
II 調査結果	190
1. 生活機能	190
2. 日常生活・社会生活	203
第10章 自由回答	
1. 介護保険・高齢者保険・福祉への意見・要望	211
2-1. 自治体に希望する支援	232
2-2. 介護保険制度や介護保険サービスについての考え	234

第 1 章 調査の概要

1. 調査実施の目的

本調査は、第7期富津市介護保険事業計画・富津市高齢者福祉計画を策定するための検討資料として、高齢者等に対してアンケート調査を実施し、調査対象者の意向・要望、現状を把握することを目的としている。

2. 調査期間

平成29年2月10日～平成29年3月3日

3. 調査対象

調査票	調査対象者	調査人数
65歳以上の市民	65歳以上一般高齢者	1,191人
40～64歳の市民	40～64歳の一般若年者	891人
居宅サービス利用者	介護認定を受けており、居宅サービスを利用している方	929人
施設サービス利用者	介護認定を受けており、施設に入所している方	469人
サービス未利用者	介護認定を受けているが、サービス利用していない方	388人
介護保険サービス提供事業者	市内事業者等	134件
在宅介護者実態調査	居宅サービス利用者、サービス未利用者	779人

4. 調査地域

市全域（富津地区、大佐和地区、天羽地区）

5. 調査方法

郵送による配布・回収

6. 回収状況

調査票	調査人数	有効回収数	回収率
65歳以上の市民	1,191人	780人	65.5%
40～64歳の市民	891人	378人	42.4%
居宅サービス利用者	929人	541人	58.2%
施設サービス利用者	469人	281人	59.9%
サービス未利用者	388人	218人	56.2%
介護保険サービス提供事業者	134件	88件	65.7%
在宅介護者実態調査	779人	451人	57.9%

7. 集計対象数

調査票名	総数 (A)	集計不可事由別件数 (B)			集計対象数 (A - B)
		①施設サービス 利用中	②居宅サービス 利用中止	③その他	
居宅サービス利用者	541	11	6	10	514

調査票名	総数 (A)	集計不可事由別件数 (B)			集計対象数 (A - B)
		①施設サービス 利用中	②居宅サービス 利用中止	③その他	
施設サービス未利用者	281	5	9	12	255

調査票名	総数 (A)	集計不可事由別件数 (B)			集計対象数 (A - B)
		①施設サービス 利用中	②居宅サービス 利用中止	③その他	
サービス未利用者	218	4	2	1	211

8. 調査結果を見る上での注意事項

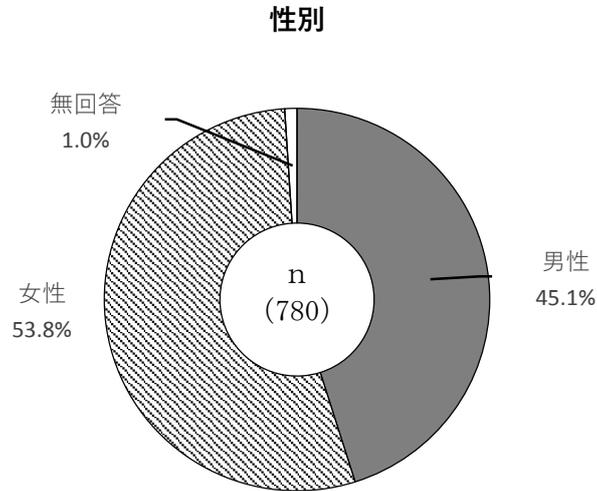
- ・本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答数です。
- ・百分率(%)の計算は、小数第2位を四捨五入し、少数位1位まで表示しました。したがって、単位回答(1つだけ選ぶ問)においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合があります。
- ・複数回答(2つ以上選んでよい問)においては、%の合計が100%を超える場合があります。
- ・本文、表、グラフは、表示の都合上、調査票の選択肢等の文言を一部簡略化している場合があります。
- ・回答数が30未満の場合、比率が上下しやすいため、傾向を見るにとどめ、本文中では触れていない場合があります。

第2章 65歳以上の市民に関する調査結果

1. あて名のご本人について

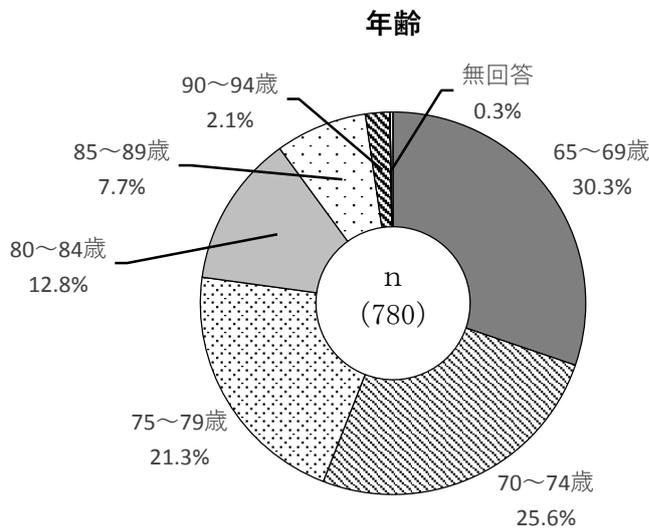
あなたの性別をお答えください（問1）

性別をみると、「男性」が45.1%、「女性」が53.8%となっています。



平成29年2月10日現在のあなたの年齢をお答えください（問2）

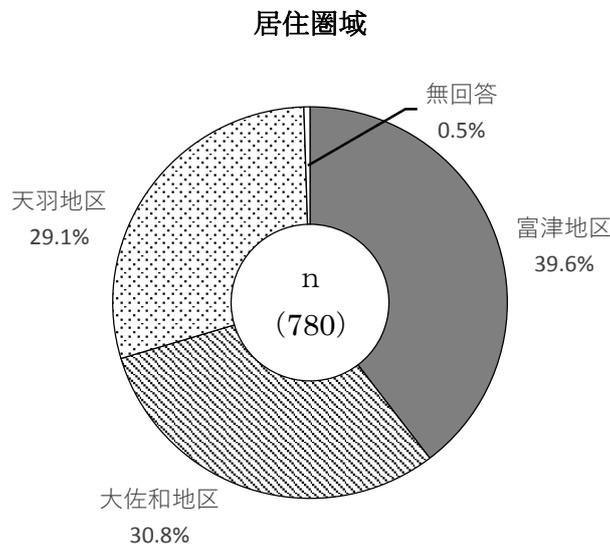
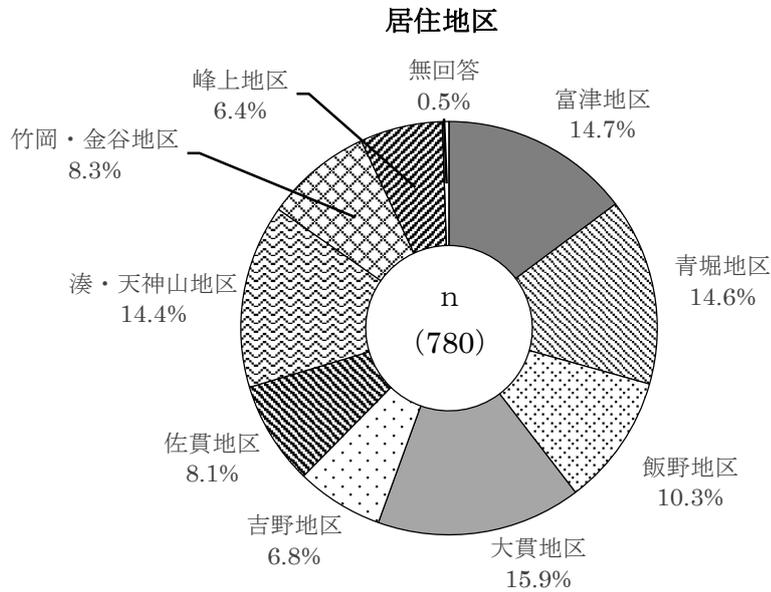
年齢をみると、「65～69歳」が30.3%で最も多く、次いで「70～74歳」が25.6%、「75～79歳」が21.3%となっています。95歳以上は0人でした。



あなたのお住まいの地区はどちらですか（問3）

居住地区をみると、「大貫地区」が15.9%で最も多く、次いで「富津地区」が14.7%、「青堀地区」が14.6%と続いています。

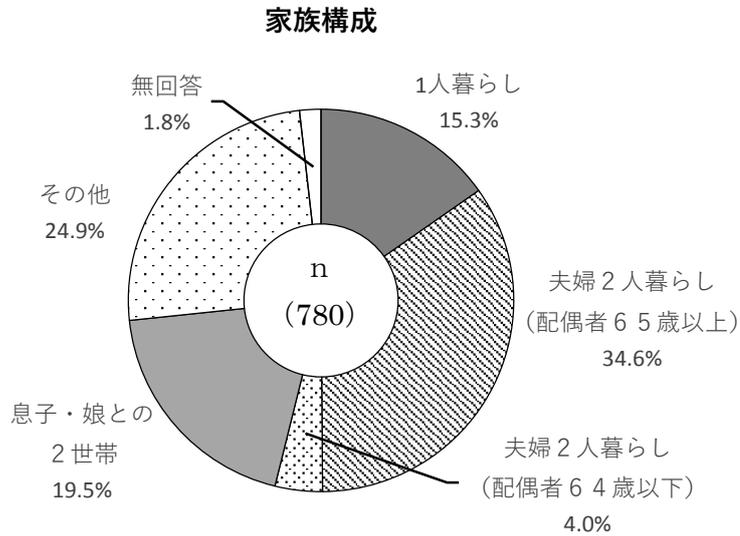
居住圏域をみると、富津地区が39.6%で最も多く、次いで大佐和地区が30.8%、天羽地区が29.1%と続いています。



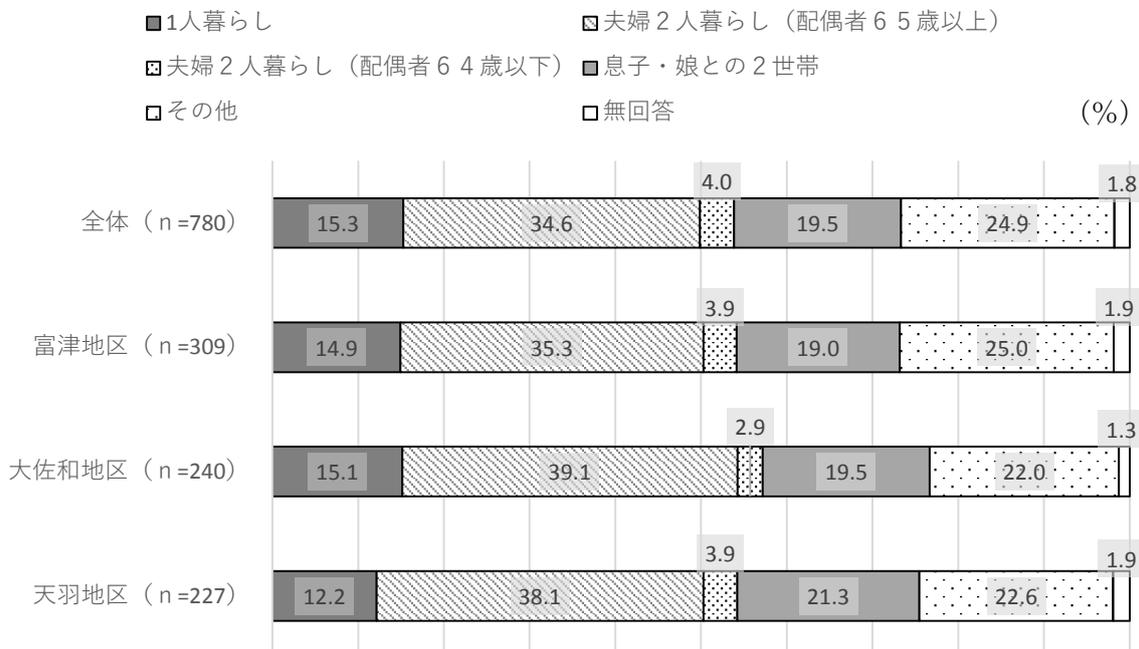
家族構成をお教えてください（問4）

家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が34.6%と最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が19.5%、「1人暮らし」が15.3%と続いています。

圏域別では大きな変化は見られず、すべての圏域において「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が最も多くなっています。

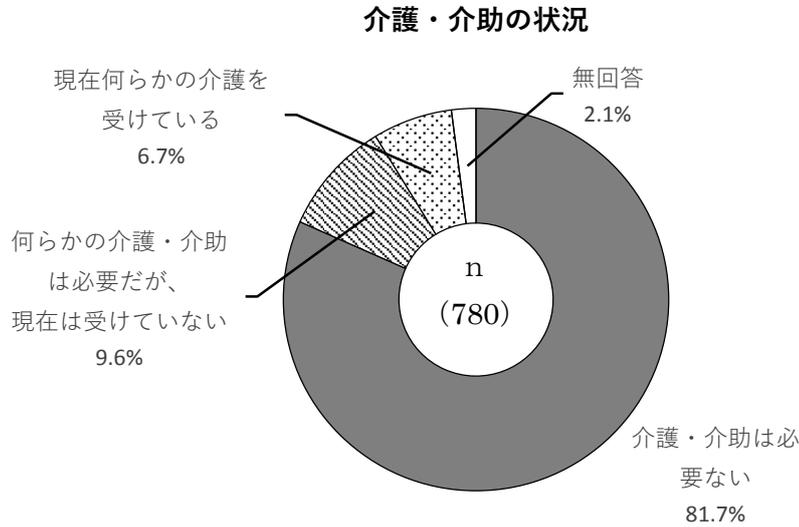


【圏域別】家族構成



あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（問5）

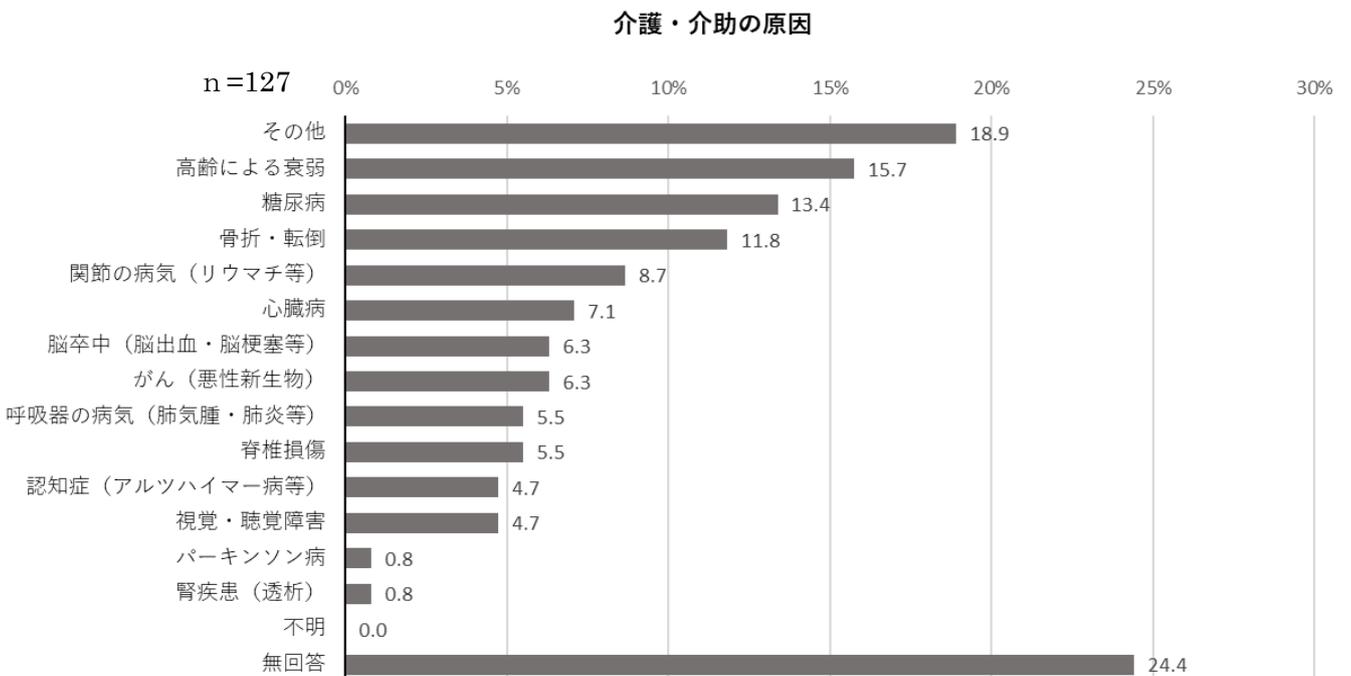
介護・介助の状況をみると、「介護・介助は必要ない」が81.7%で最も多くなっています。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」（9.6%）、「現在何らかの介護を受けている」（6.7%）をあわせた『介護・介助が必要である』は15%を超えています。



【問5で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）（問6）

介護・介助が必要になった主な原因をみると、「高齢による衰弱」が15.7%で最も多く、次いで「糖尿病」が13.4%、「骨折・転倒」が11.8%と続いています。

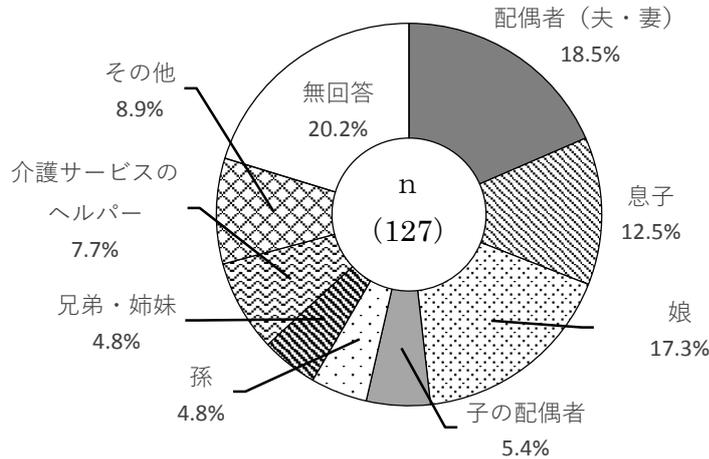


【問5で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）（問7）

介護をされている方については、「配偶者（夫・妻）」が18.5%で最も多く、次いで「娘」が17.3%、「息子」が12.5%と続いています。

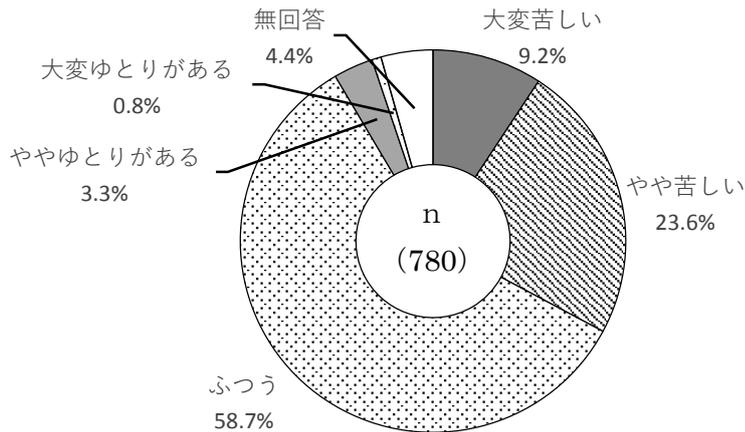
主な介護者



現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（問8）

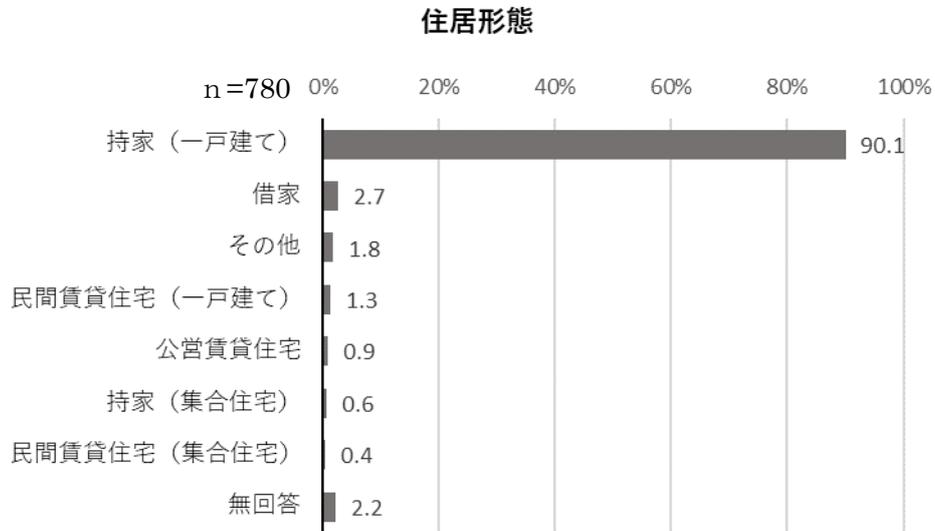
現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が58.7%で最も多く、「やや苦しい」が23.6%と続いています。

現在の暮らしの経済的状況



あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか（問9）

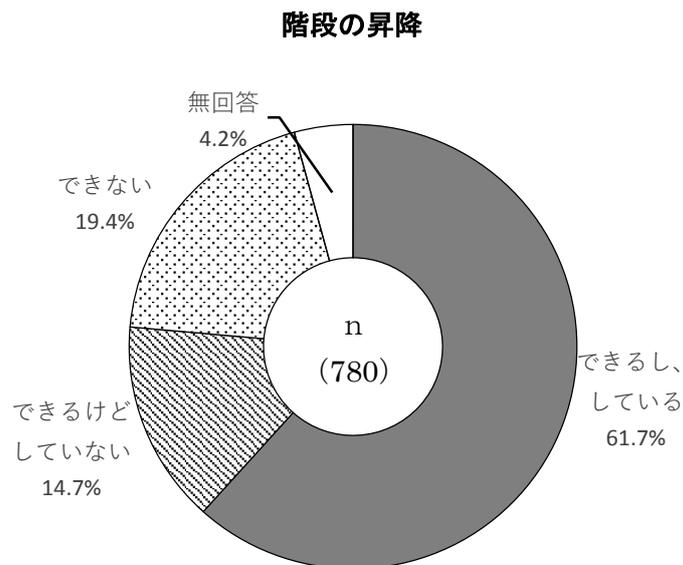
居住形態としては、「持家（一戸建て）」が90.1%と9割以上を占めています。



2. からだを動かすことについて

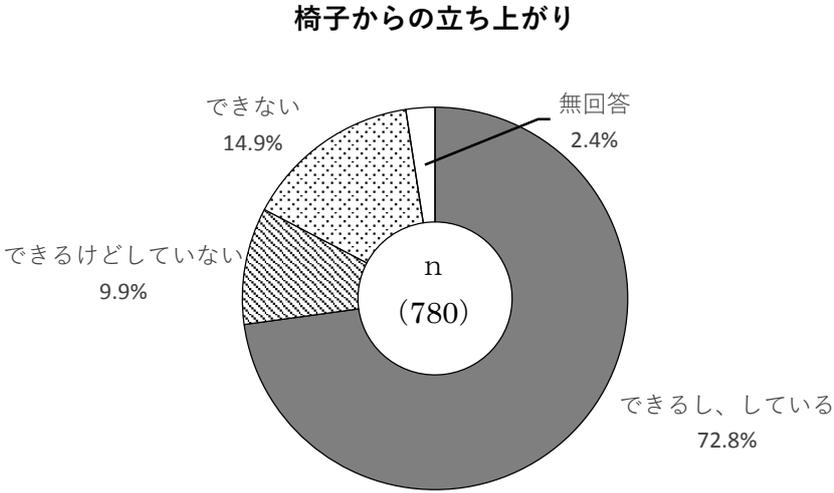
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか（問10）

階段の昇降については、「できるし、している」が61.7%となっていますが、「できない」が19.4%となっており2割近くを占めます。



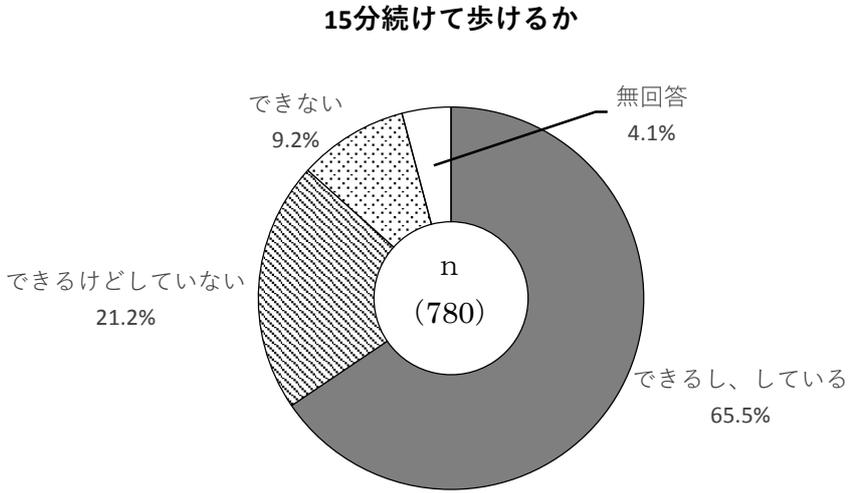
椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか（問11）

立ち上がりについては、「できるし、している」が72.8%となっていますが、「できない」が14.9%となっています。



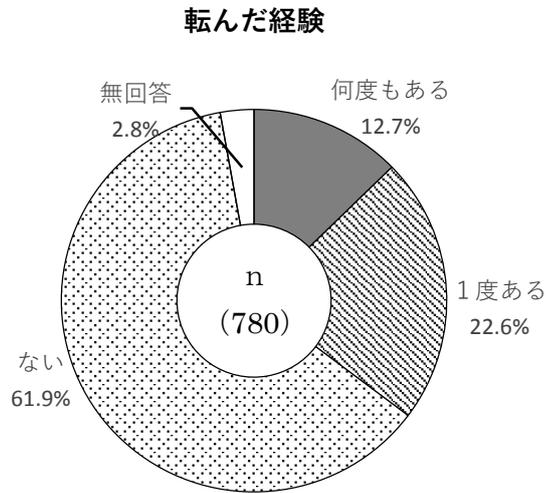
15分位続けて歩いていますか（問12）

15分位続けて歩けるかについては、「できない」が9.2%と1割近くとなります。



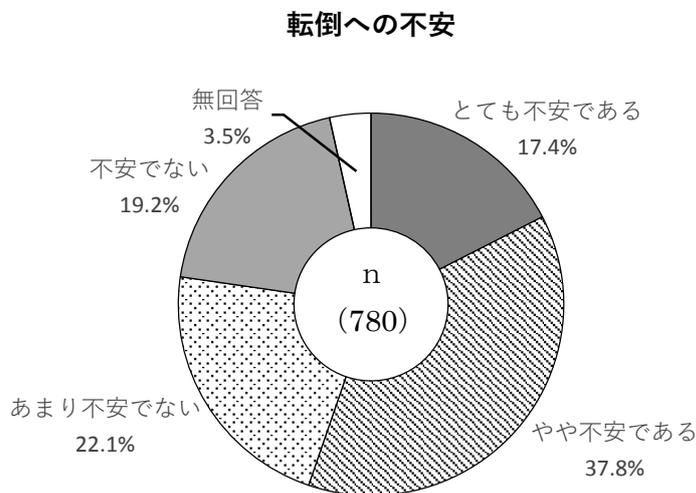
過去1年間に転んだ経験がありますか（問13）

転んだ経験について、「ない」が61.9%で最も多く、「何度もある」（12.7%）と「1度ある」（22.6%）を合わせた『ある』は35.3%となっています。



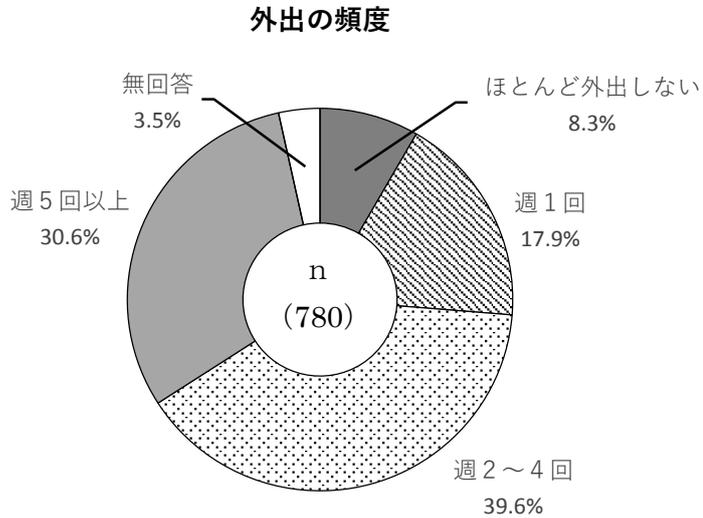
転倒に対する不安は大きいですか（問14）

転倒に対する不安については、「やや不安である」が37.8%で最も多く、次いで「あまり不安でない」が22.1%となっています。

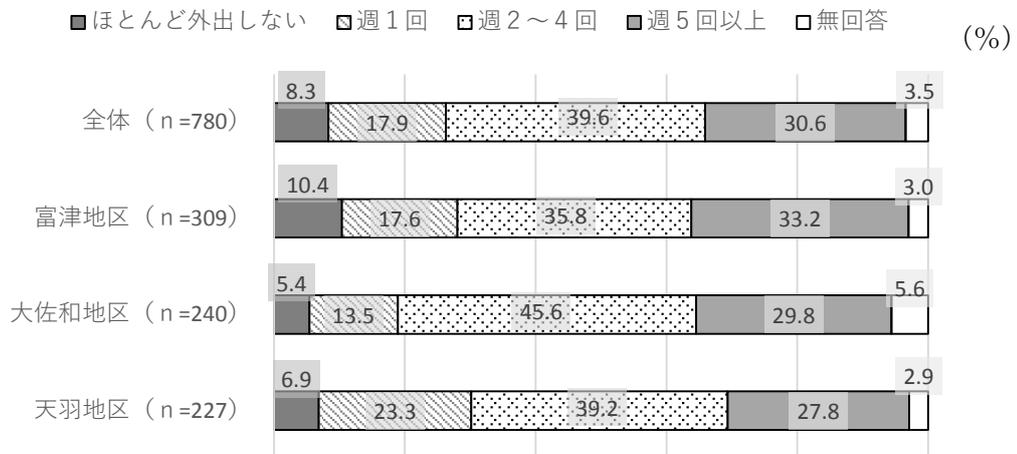


週に1回以上は外出していますか（問15）

週に何回外出するかについては、「週2～4回」が39.6%で最も多く、「ほとんど外出しない」は8.3%となっています。圏域別にみると、「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせた『あまり外出しない』は天羽地区が30.2%で最も多く、富津地区が28.0%と続いています。

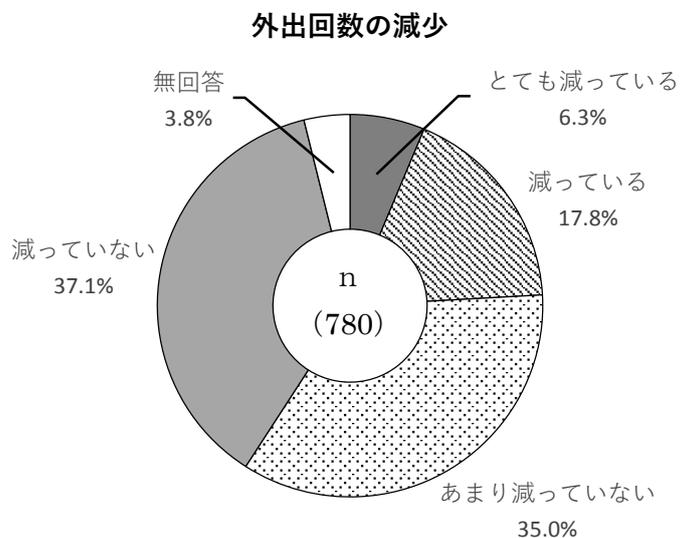


【圏域別】外出の頻度



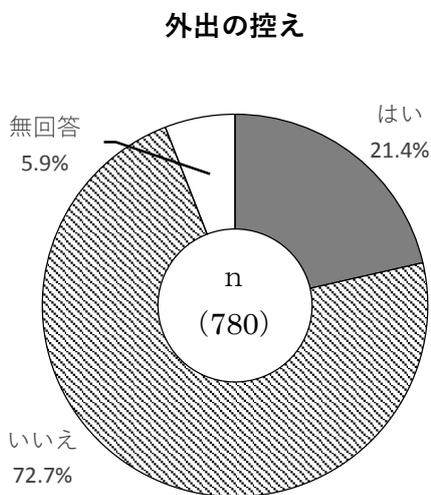
昨年と比べて外出の回数が減っていますか（問16）

昨年と比べて外出回数については、「減っていない」が37.1%で最も多く、次いで「あまり減っていない」が35.0%、「減っている」が17.8%と続いています。



外出を控えていますか（問17）

外出の控えについては、外出を控えている（「はい」）が21.4%と2割を超えています。

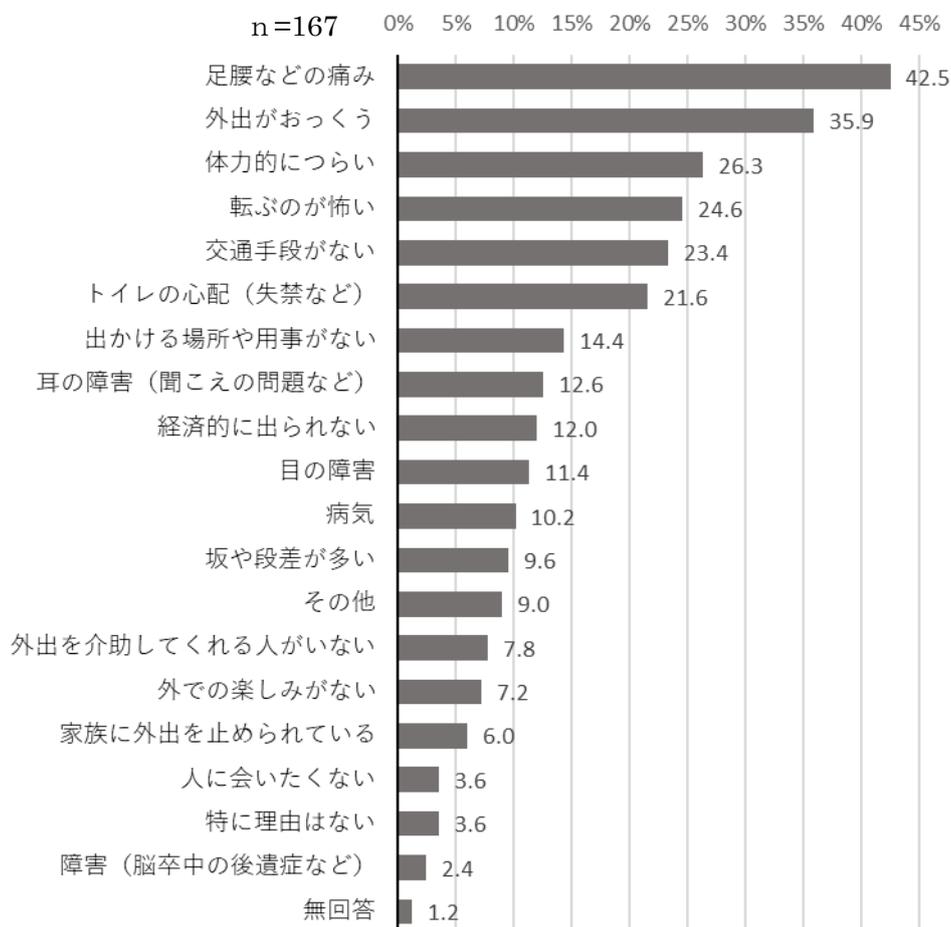


【問17で「1. はい（外出を控えている）」の方のみ】

外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）（問18）

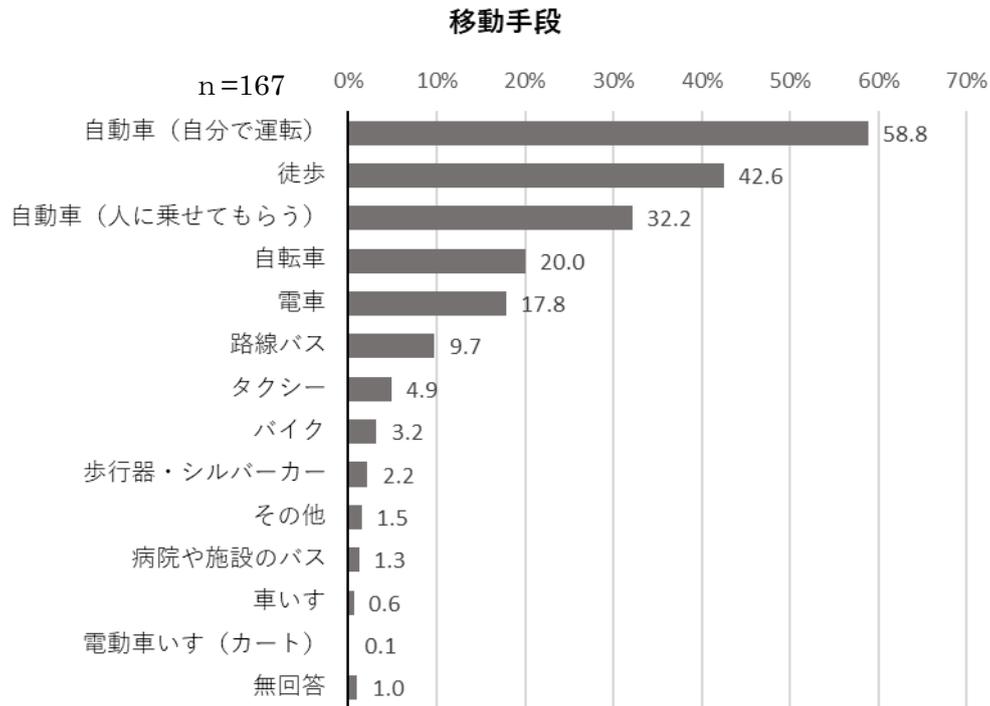
外出を控える理由については、「足腰などの痛み」が42.5%で最も多く、次いで「外出がおっくう」が35.9%、「体力的につらい」が26.3%と続いています。

外出を控える理由



外出する際の移動手段は何ですか（いくつでも）（問19）

移動手段については、「自動車（自分で運転）」が58.8%で最も多く、次いで「徒歩」が42.6%、「自動車（人に乗せてもらう）」が32.2%と続いています。

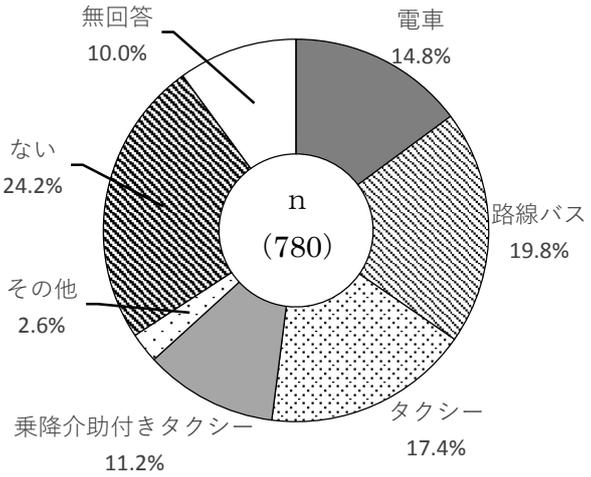


移動手段に関して今後利用したいサービスはありますか（いくつでも）（問20）

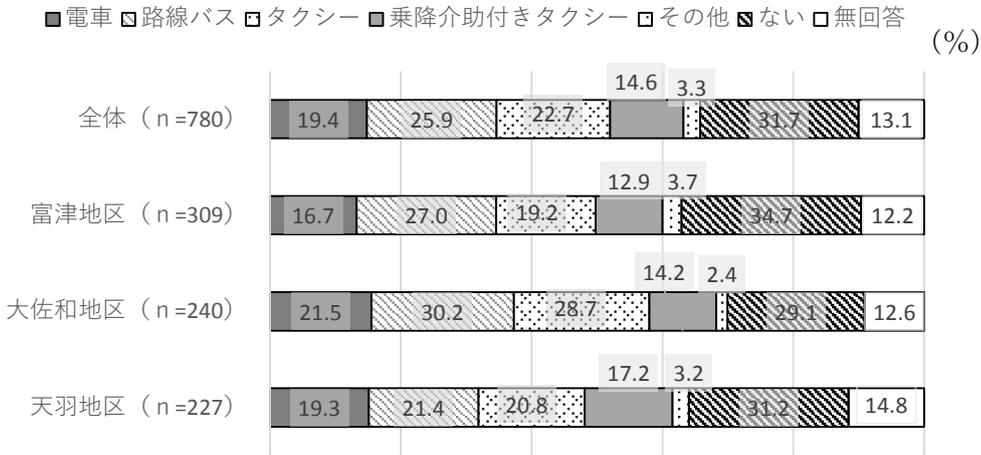
移動手段に関して今後利用したいサービスについては、「路線バス」が24.2%で最も多く、次いで「路線バス」が19.8%、「タクシー」が17.4%と続いています。

圏域別にみると、「タクシー」は大佐和地区が28.7%で最も多くなっています。また、「乗降介助付きタクシー」は天羽地区が17.2%で最も多くなっています。

今後利用したい移動手段サービス



【圏域別】 今後利用したい移動手段サービス

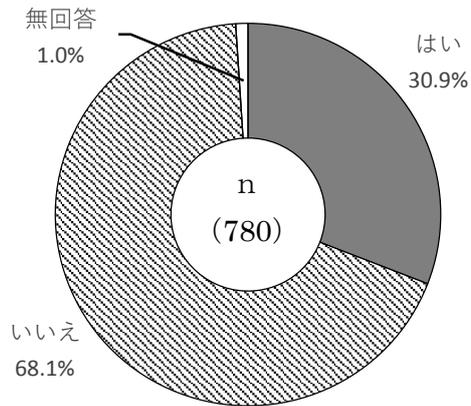


3. 食べることについて

半年前に比べて硬いものが食べにくくなりましたか（問22）

半年前に比べて硬いものが食べにくいかについては、「はい」が30.9%と3割を超えています。

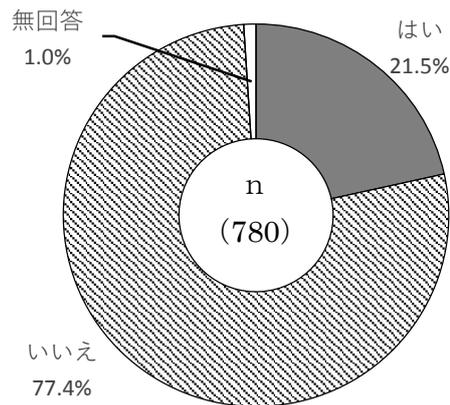
硬いものの食べにくさ



お茶や汁物等でむせることがありますか（問23）

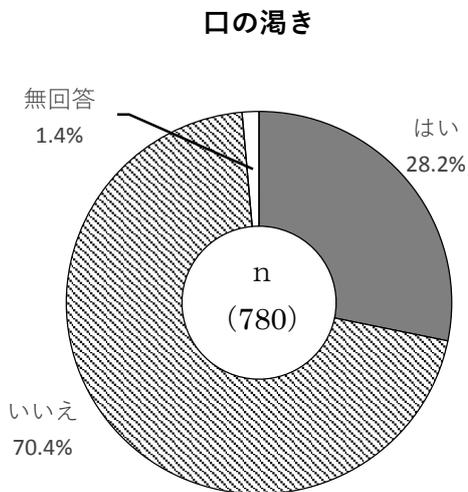
お茶や汁物等でむせることがある（「はい」）と回答した方は21.5%、ない（「いいえ」）と回答した方は77.4%となっています。

むせ



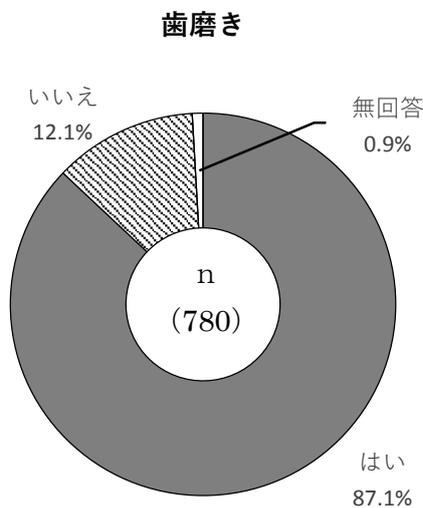
口の渇きが気になりますか（問 24）

口の渇きが気になる（「はい」）と答えた人は 28.2%、気にならない（「いいえ」）と答えた人は 70.4% となっています。



歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか（問 25）

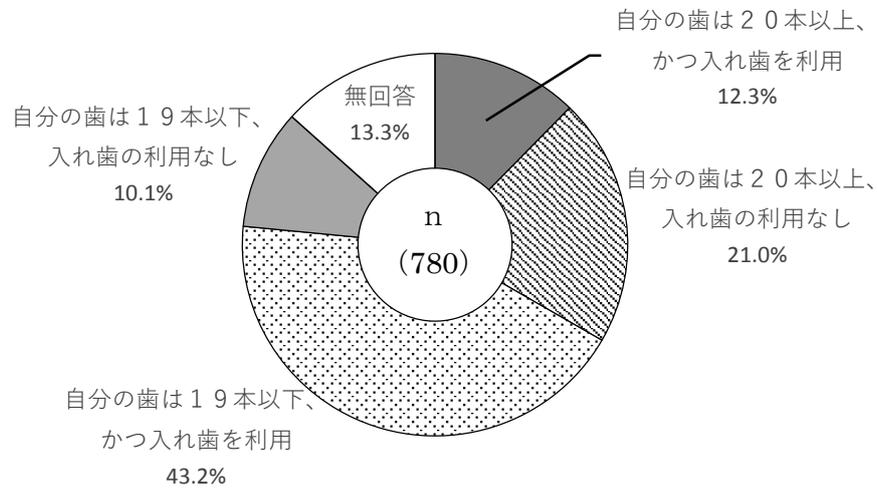
歯磨きを毎日している（「はい」）と答えた人は 87.1%、していない（「いいえ」）と答えた人は 12.1% となっています。



歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（問26）

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が43.2%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が21.0%となっています。

歯の数と入れ歯の利用状況

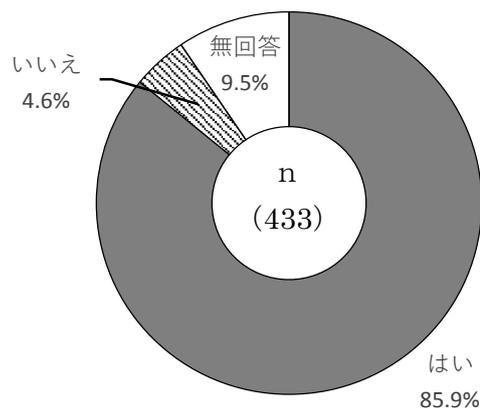


**【問26 で「1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」、
「3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」の方のみ】**

毎日入れ歯の手入れをしていますか（問27）

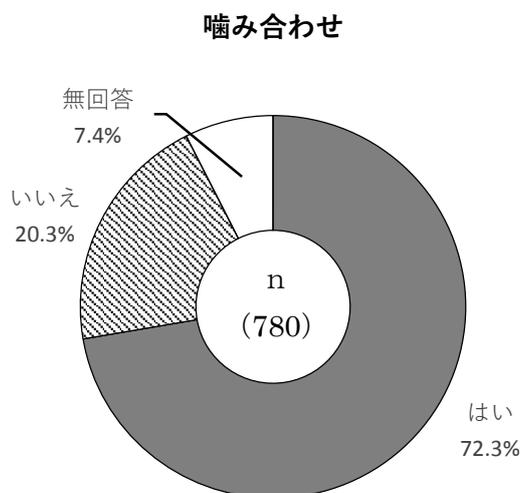
毎日入れ歯の手入れをしている（「はい」）と答えた人は85.9%となっています。

入れ歯の手入れ



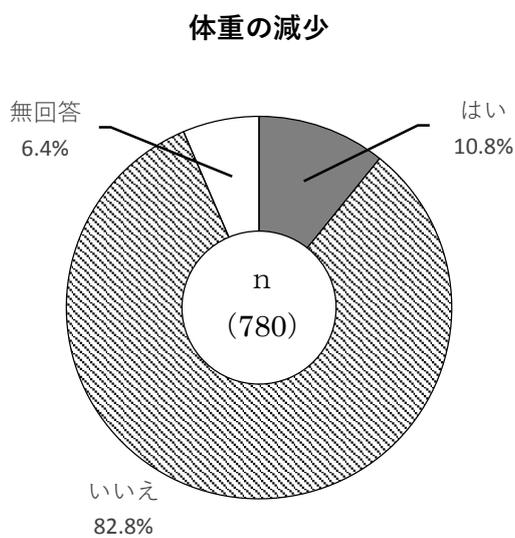
噛み合わせは良いですか（問 28）

噛み合わせが悪い（「いいえ」）と答えた人は20.3%と2割を超えています。



6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか（問 29）

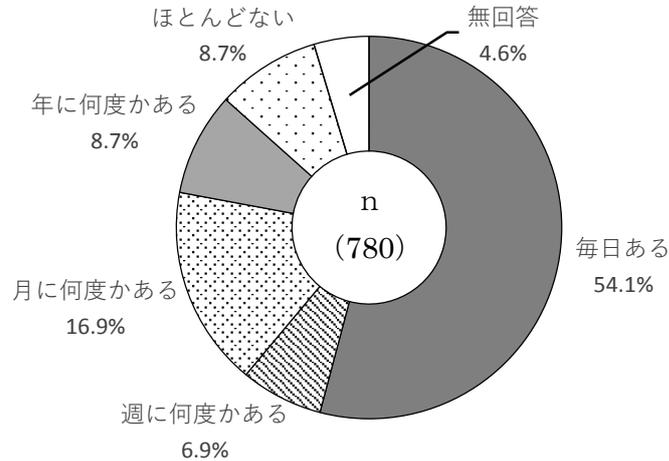
減少した（「はい」）と答えた人は10.8%と約1割となっています。



どなたかと食事をとる機会がありますか（問30）

食事を共にする機会については、「毎日ある」が54.1%と半数以上を占めています。「月に何度かある」(16.9%)、「年に何度かある」(8.7%)と「ほとんどない」(8.7%)を合わせた『あまりない』は34.3%となっています。

食事を共にする機会

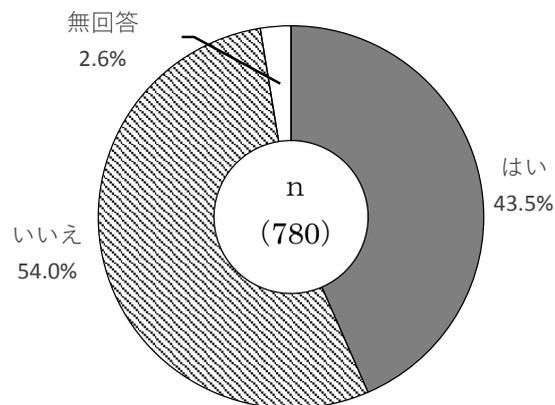


4. 毎日の生活について

物忘れが多いと感じますか（問31）

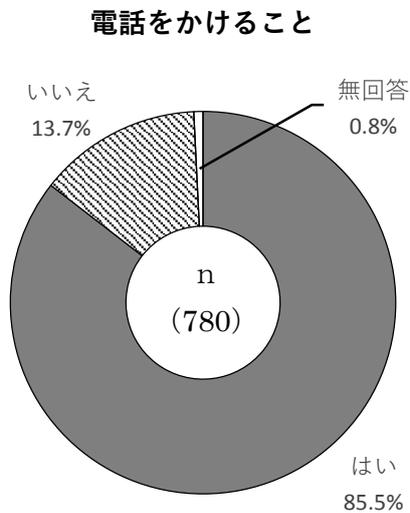
物忘れが多いと感じる（「はい」）と答えた人は43.5%、多いと感じない（「いいえ」）と答えた人は54.0%となっています。

物忘れ



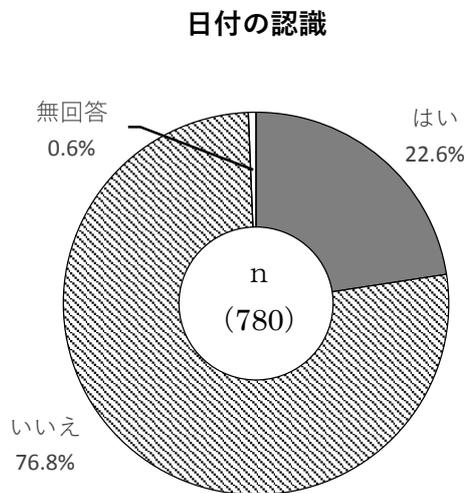
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか (図 32)

自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしているかについては、「はい」と答えた人が85.5%となっています。



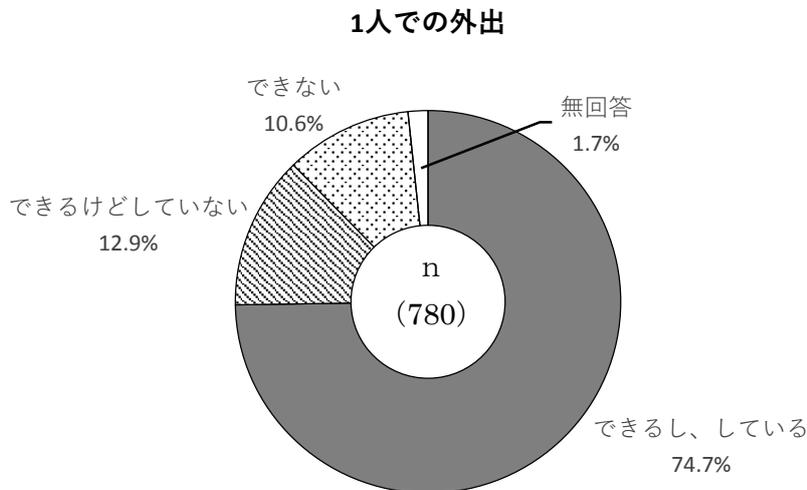
今日が何月何日かわからない時がありますか (図 33)

今日が何月何日かわからない時がある（「はい」）と答えた人は22.6%となっています。



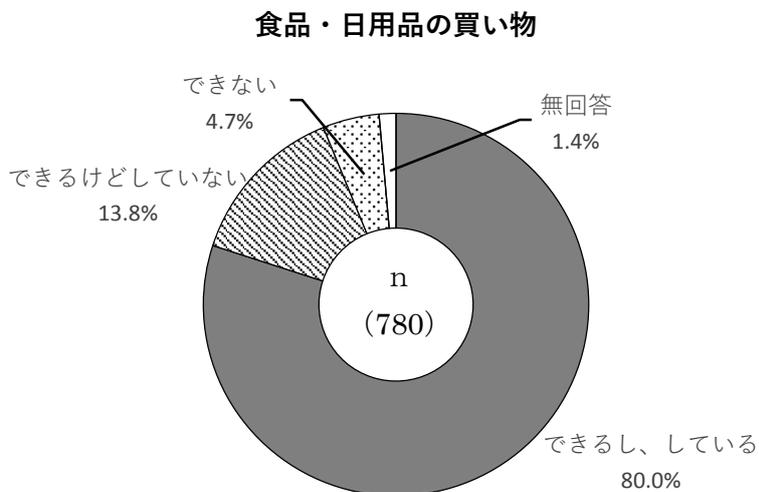
バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）（問34）

バスや電車を使っての1人での外出については、「できない」と答えた人が10.6%と1割を超えています。



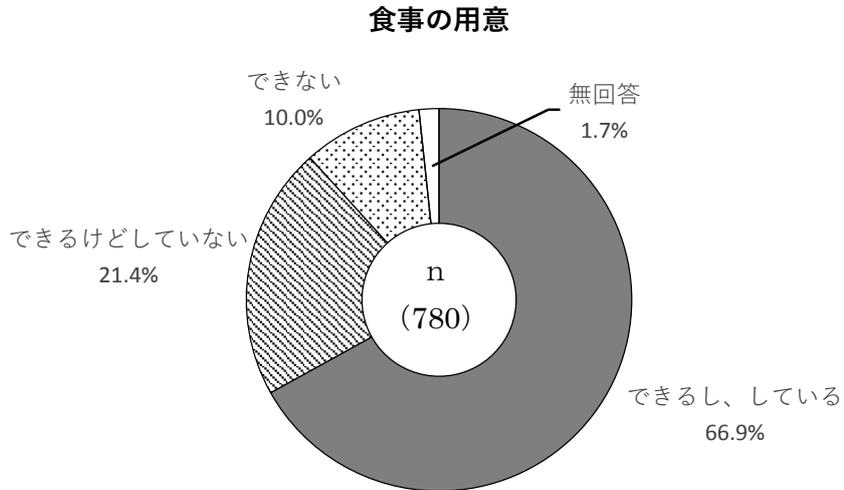
自分で食品・日用品の買物をしていますか（問35）

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できない」と答えた人が4.7%となっています。



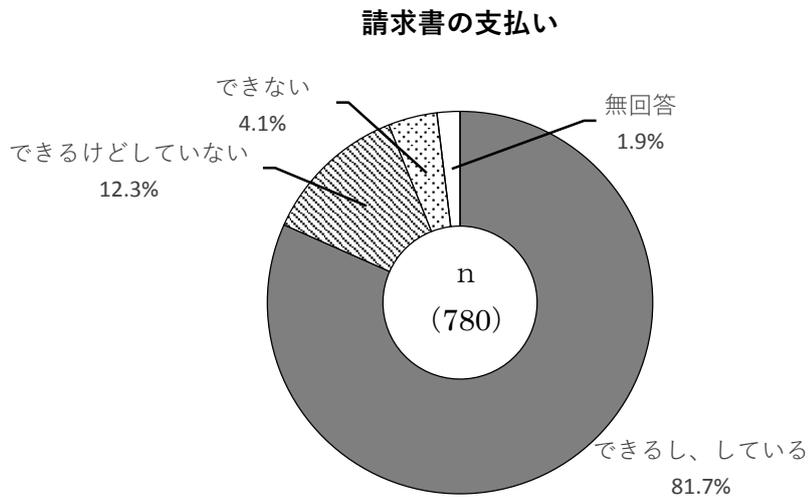
自分で食事の用意をしていますか（問36）

自分で食事の用意をしているかについては、「できない」と答えた人が10.0%となっています。



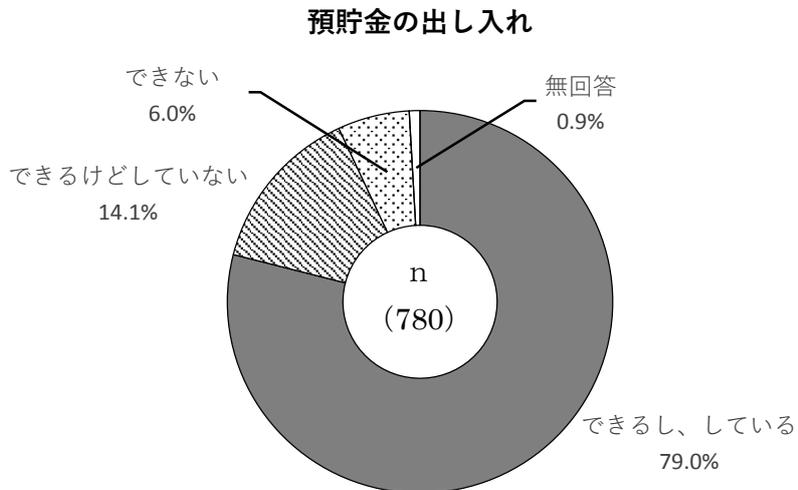
自分で請求書の支払いをしていますか（問37）

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できない」と答えた人が4.1%となっています。



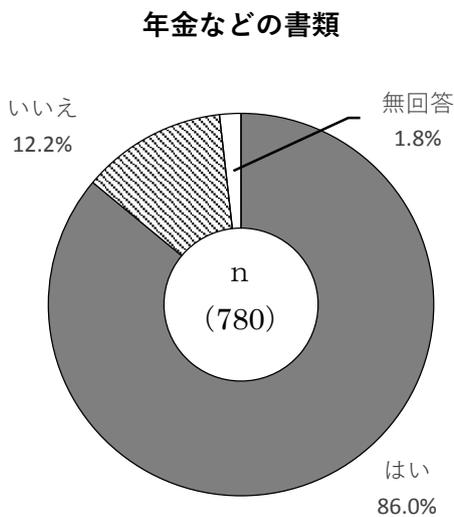
自分で預貯金の出し入れをしていますか（問38）

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できない」と答えた人が6.0%となっています。



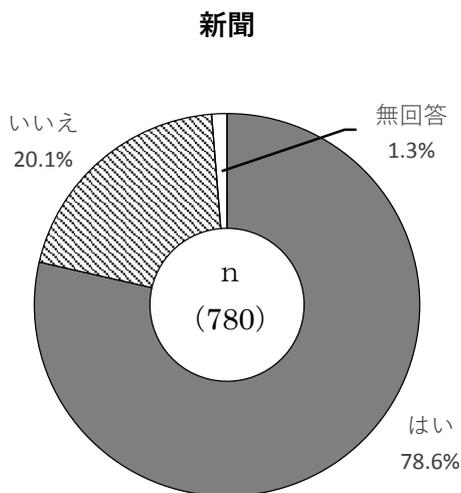
年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか（問39）

年金などの書類が書けるかについては、書けない（「いいえ」）と答えた人が12.2%となっています。



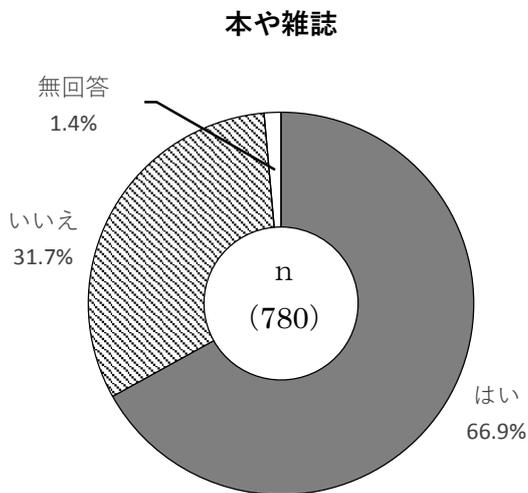
新聞を読んでいますか（問40）

新聞を読んでいるかについては、読んでいない（「いいえ」）と答えた人が20.1%となっています。



本や雑誌を読んでいますか（問41）

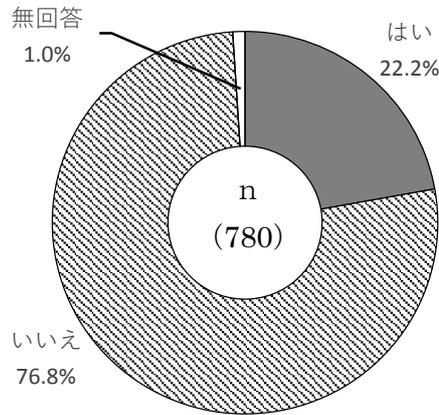
本や雑誌を読んでいるかについては、読んでいない（「いいえ」）と答えた人が31.7%となっています。



インターネット（パソコン・スマートフォン等）を利用していますか（問42）

インターネットを利用しているかについては、利用している（「はい」）と答えた人が22.2%、利用していない（「いいえ」）と答えた人が76.8%となっています。

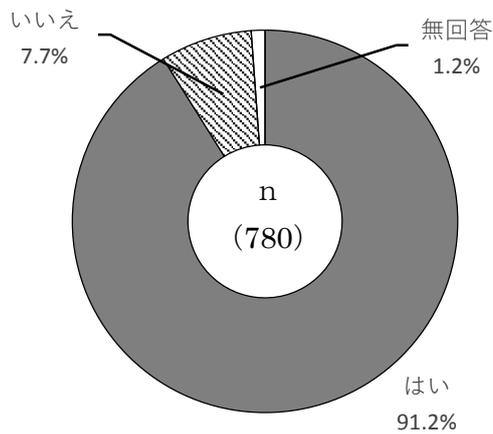
インターネット利用の有無



健康についての記事や番組に関心がありますか（問43）

健康についての記事や番組に関心があるかについては、関心がある（「はい」）と答えた人が91.2%と9割を超えています。

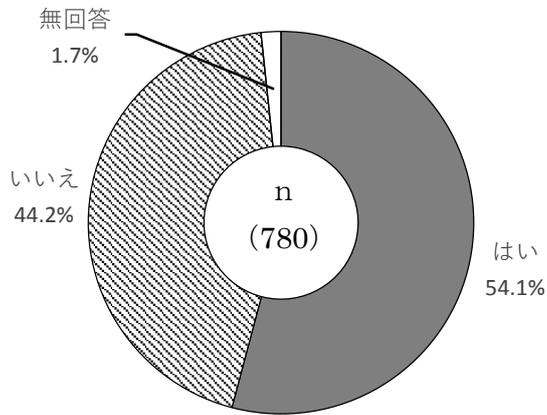
健康についての記事や番組への関心の有無



友人の家を訪ねていますか（問44）

友人の家を訪ねているかについては、訪ねている（「はい」）と答えた人が54.1%、訪ねていない（「いいえ」）と答えた人が44.2%となっています。

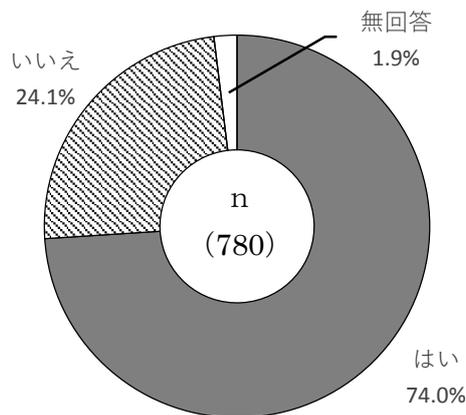
友人宅への訪問の有無



家族や友人の相談にのっていますか（問45）

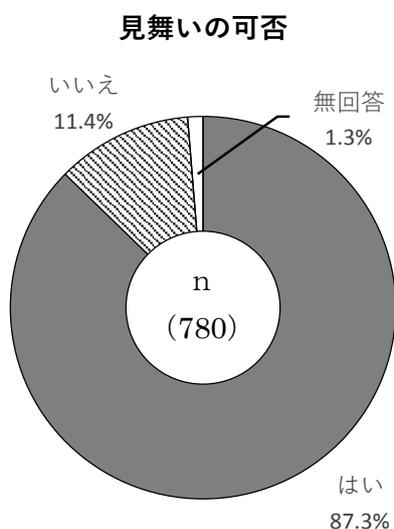
家族や友人の相談にのっているかについては、のっている（「はい」）と答えた人が74.0%、のっていない（「いいえ」）と答えた人が24.1%となっています。

相談の有無



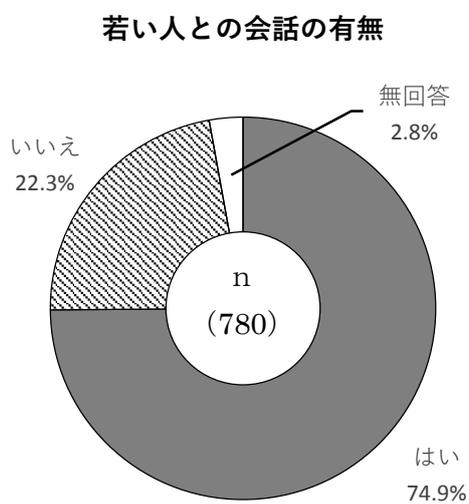
病人を見舞うことができますか (問46)

病人を見舞うことができるかについては、できない(「いいえ」)と答えた人が11.4%と1割を超えています。



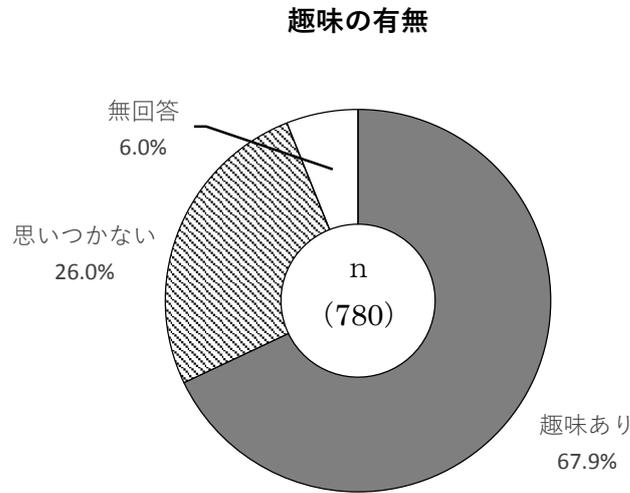
若い人に自分から話しかけることがありますか (問47)

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、ある(「はい」)と答えた人が74.9%、ない(「いいえ」)と答えた人が22.3%となっています。



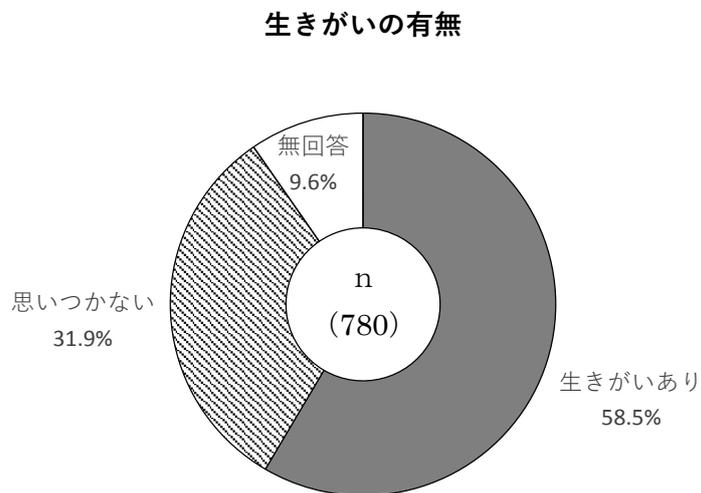
趣味はありますか（問48）

趣味の有無については、「趣味あり」と答えた人が67.9%、「思いつかない」と答えた人が26.0%となっています。



生きがいがありますか（問49）

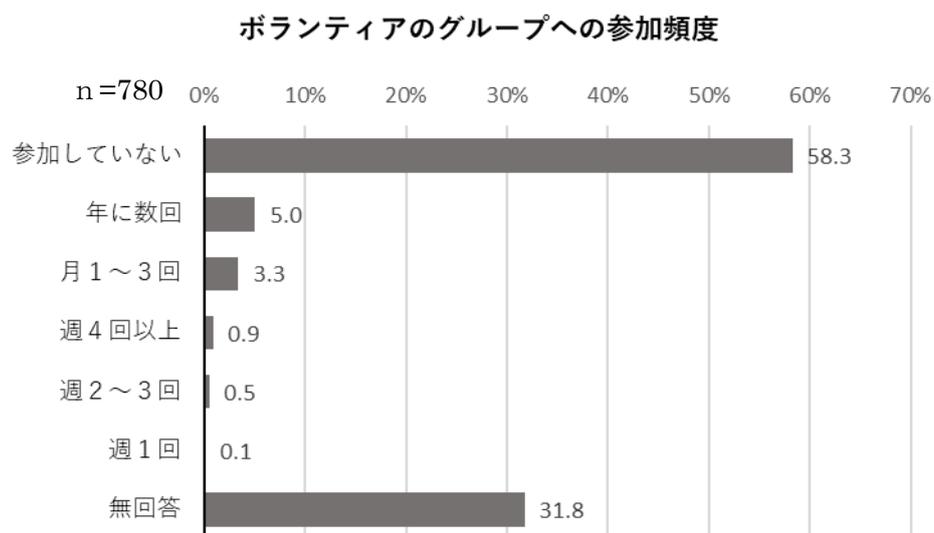
生きがいの有無については、「生きがいあり」と答えた人が58.5%、「思いつかない」と答えた人が31.9%となっています。



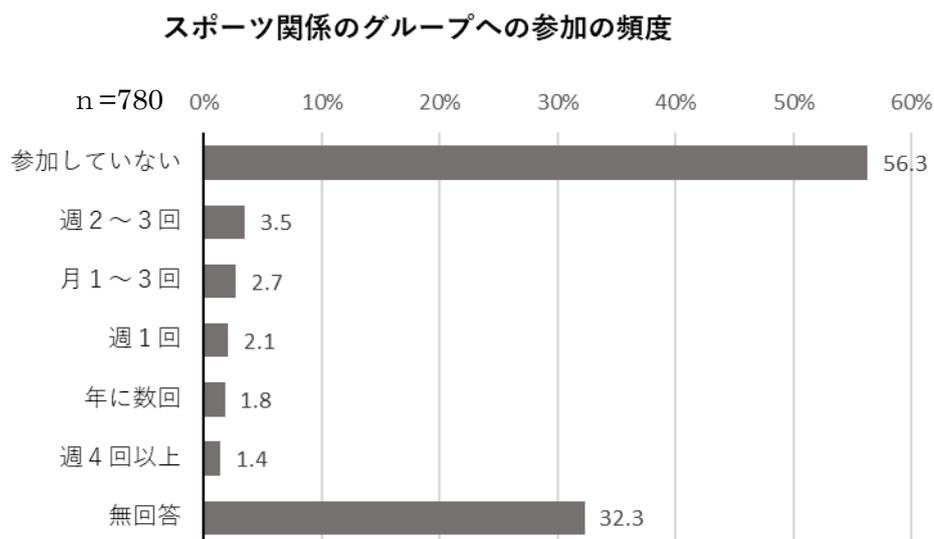
5. 地域での活動について

以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか（問50）

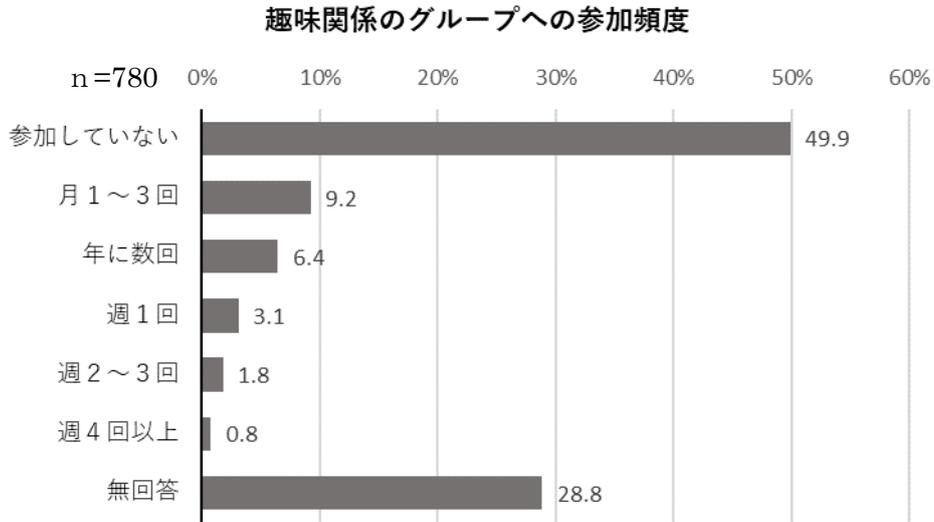
①ボランティアのグループへの参加の頻度については、「参加していない」が58.3%で最も多く、次いで「年に数回」が5.0%、「月1～3回」が3.3%と続いています。



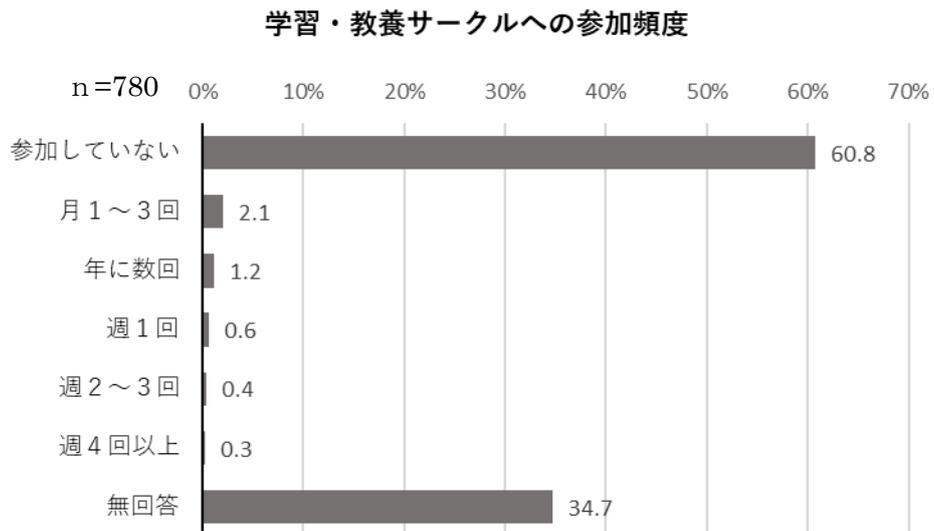
②スポーツ関係のグループへの参加については、「参加していない」が56.3%で最も多く、次いで「週2～3回」が3.5%、「月1～3回」が2.7%と続いています。



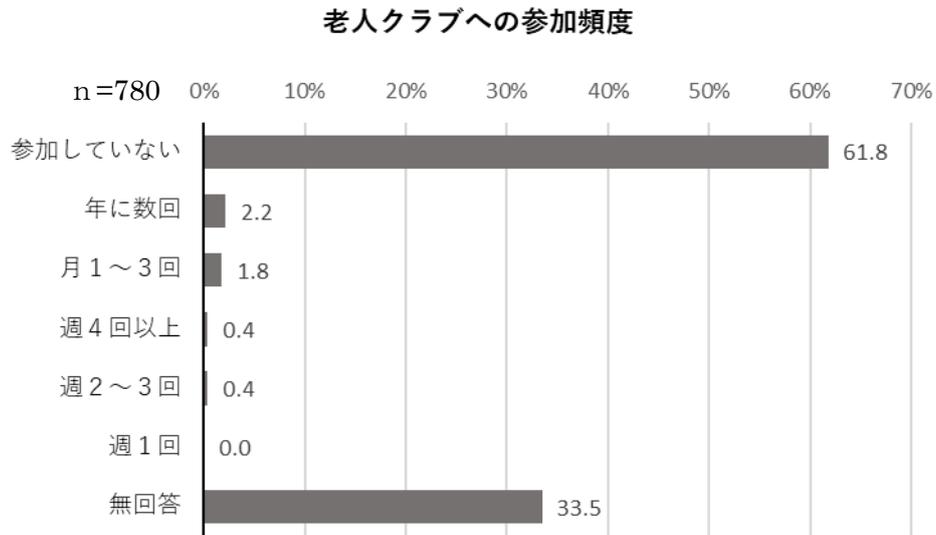
③趣味関係のグループへの参加については、「参加していない」が49.9%で最も多く、次いで「月1～3回」が9.2%、「年に数回」が6.4%と続いています。



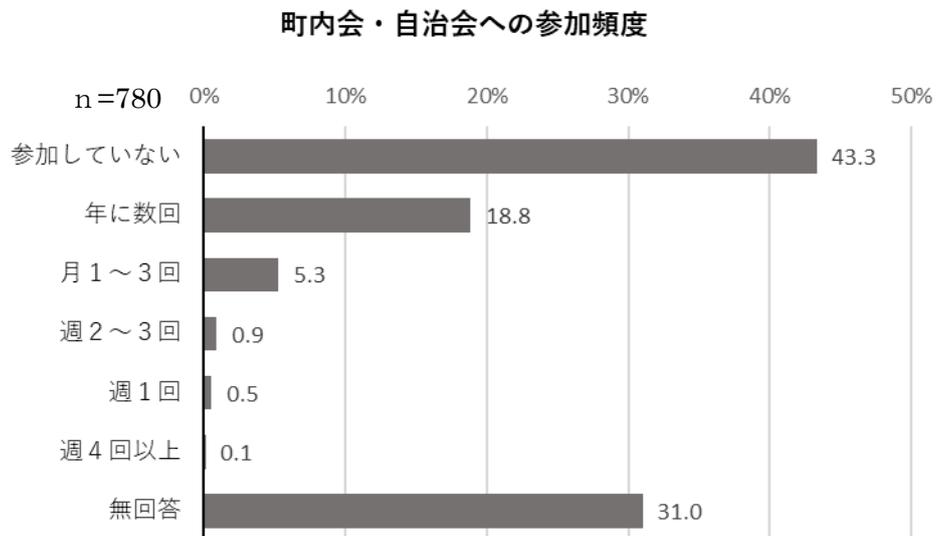
④学習・教養サークルへの参加については、「参加していない」が60.8%で最も多く、次いで「月1～3回」が2.1%、「年に数回」が1.2%と続いています。



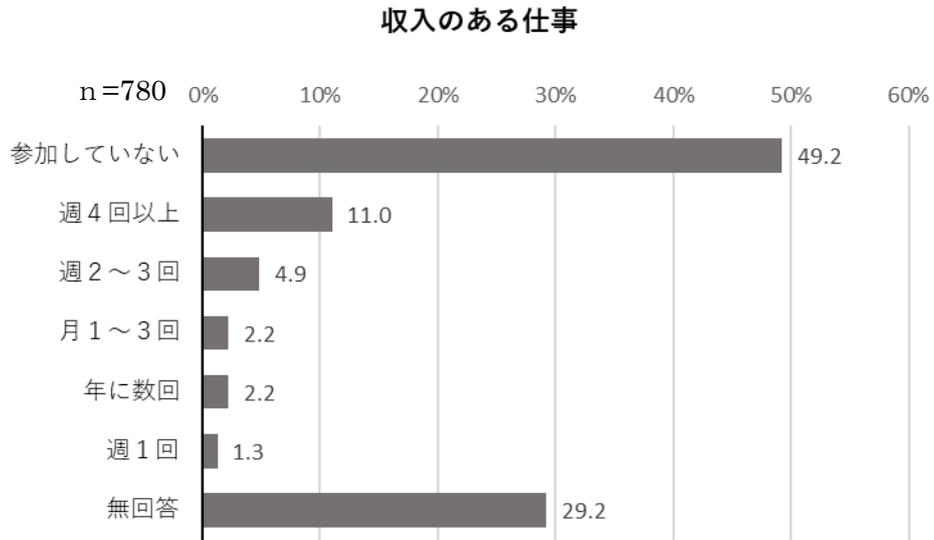
⑤老人クラブへの参加については、「参加していない」が61.8%で最も多く、次いで「年に数回」が2.2%、「月1～3回」が1.8%と続いています。



⑥町内会・自治会への参加については、「参加していない」が43.3%で最も多く、次いで「年に数回」18.8%、「月1～3回」が5.3%と続いています。



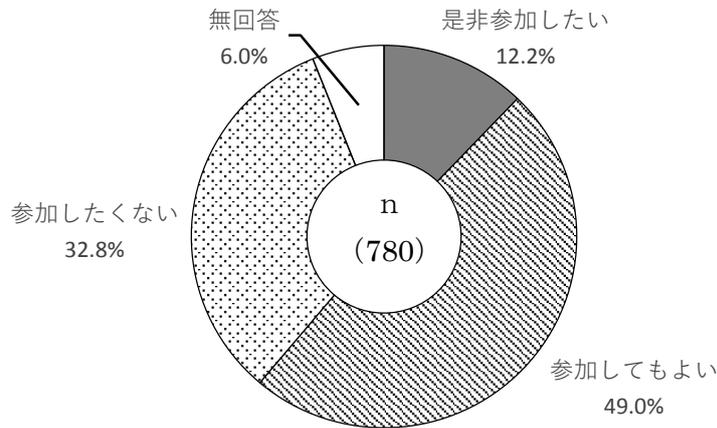
⑦収入のある仕事への参加については、「参加していない」が49.2%で最も多く、次いで「週4回以上」が11.0%、「週2～3回」が4.9%と続いています。



地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか（問51）

地域住民の有志によるグループ活動への参加者としての参加意向については、「参加してもよい」が49.0%で最も多く、「参加したくない」が32.8%と続いています。

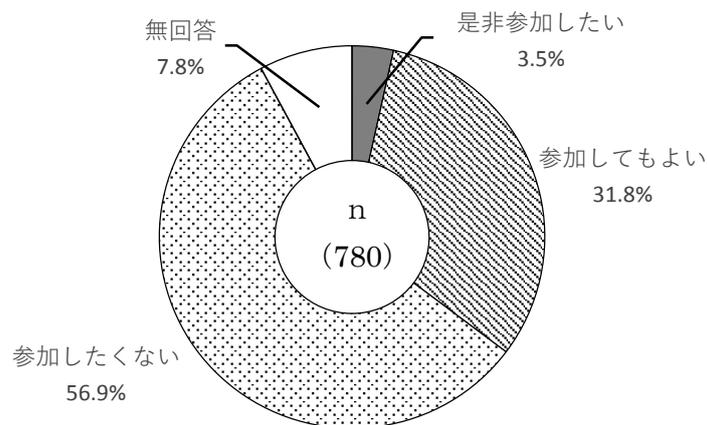
グループ活動への参加者としての参加意向



地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきとした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか（問52）

地域住民の有志によるグループ活動への企画・運営としての参加意向については、「参加したくない」が56.9%で最も多く、「参加してもよい」が31.8%と続いています。

グループ活動への企画・運営としての参加意向

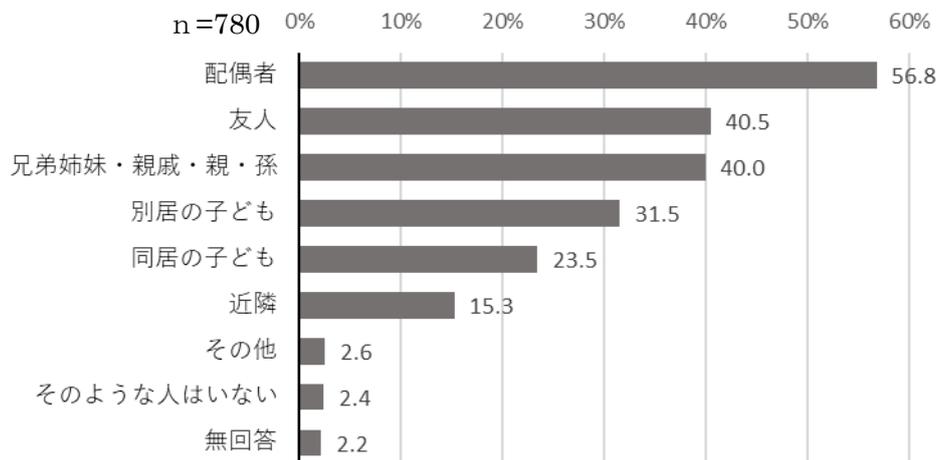


6. たすけあいについて

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人はどなたですか（いくつでも）（問53）

心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が56.8%で最も多く、次いで「友人」が40.5%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が40.0%と続いています。

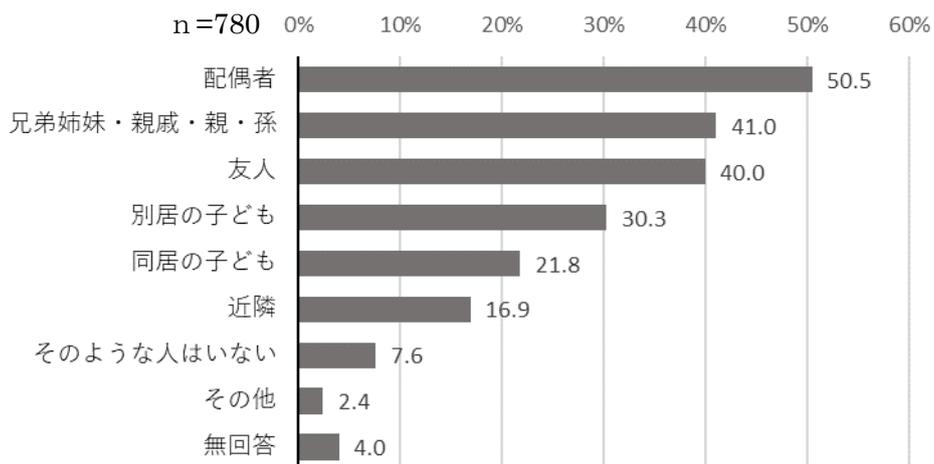
心配事や愚痴を聞いてくれる人



反対に、あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人はどなたですか（いくつでも）（問54）

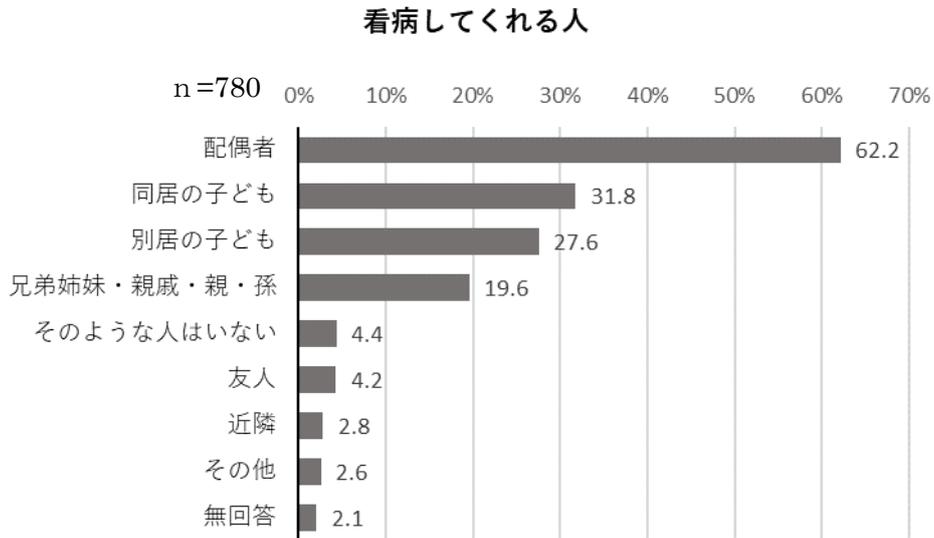
心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が50.5%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が41.0%、「友人」が40.0%と続いています。

心配事や愚痴を聞いてあげる人



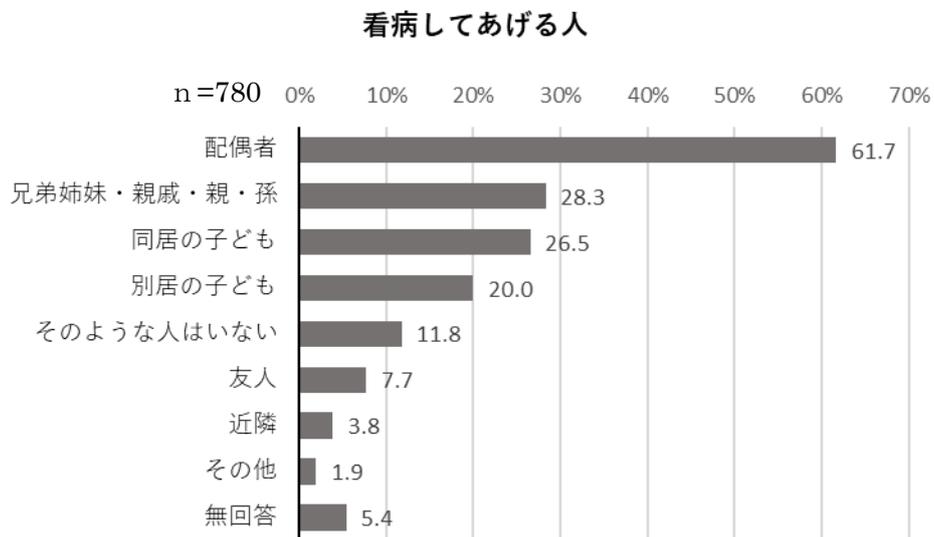
あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人はどなたですか（いくつでも）（問55）

寝込んだ時に看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が62.2%で最も多く、次いで「同居の子ども」が31.8%、「別居の子ども」が27.6%と続いています。



反対に、看病や世話をしあける人はどなたですか（いくつでも）（問56）

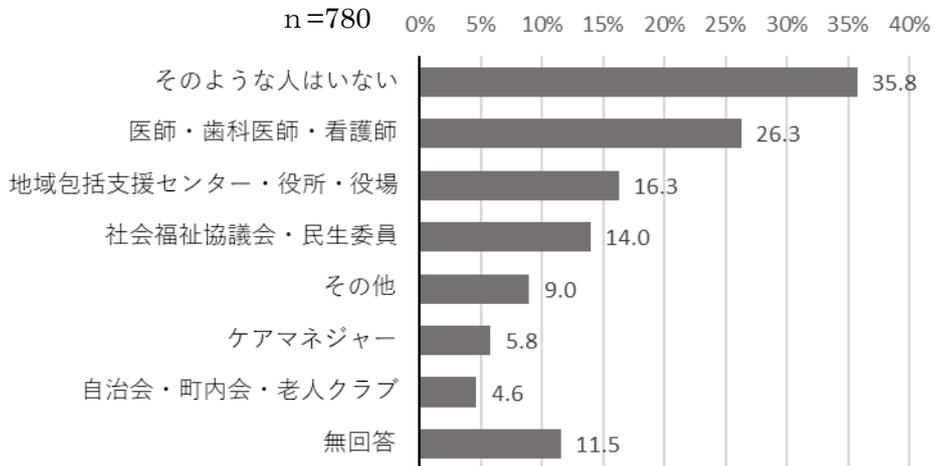
看病や世話をしあける人については、「配偶者」が61.7%で最も多く、次いで「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が28.3%、「同居の子ども」が26.5%と続いています。



家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください（いくつでも）（問57）

家族や友人・知人以外の相談相手については、「そのような人はいない」が35.8%で最も多く、次いで「医師・歯科医師・看護師」が26.3%、「社地域包括支援センター・役所・役場」が16.3%と続いています。

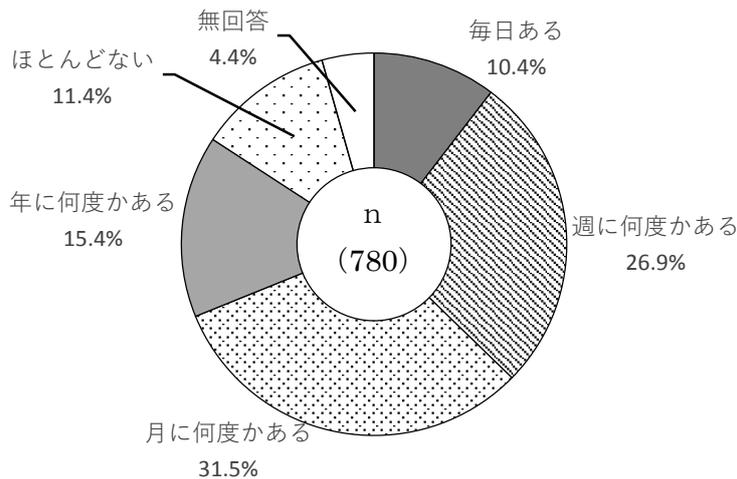
家族や友人・知人以外の相談相手



友人・知人と会う頻度はどれくらいですか（問58）

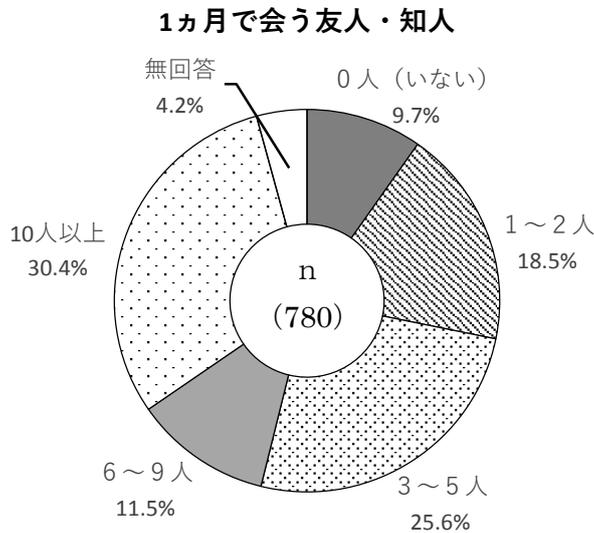
友人・知人と会う頻度については、「月に何度かある」が31.5%で最も多く、次いで「週に何度かある」が26.9%、「年に何度かある」が15.4%と続いています。

友人・知人と会う頻度



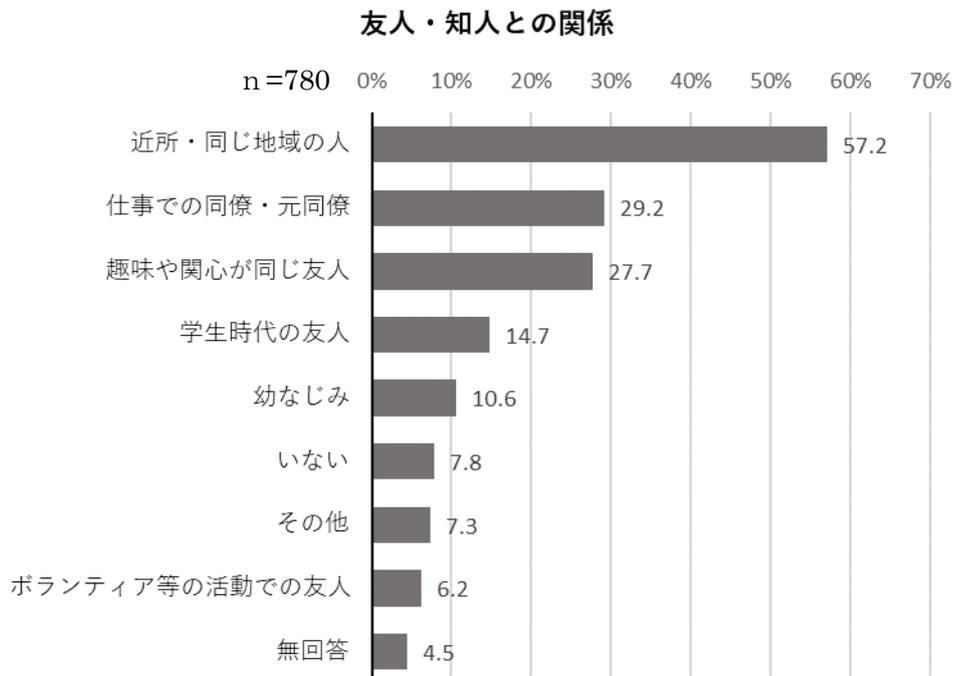
この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか（問59）

1か月間で何人の友人・知人と会ったかについては、「10人以上」が30.4%で最も多く、次いで「3～5人」が25.6%、「1～2人」が18.5%と続いています。



よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか（いくつでも）（問60）

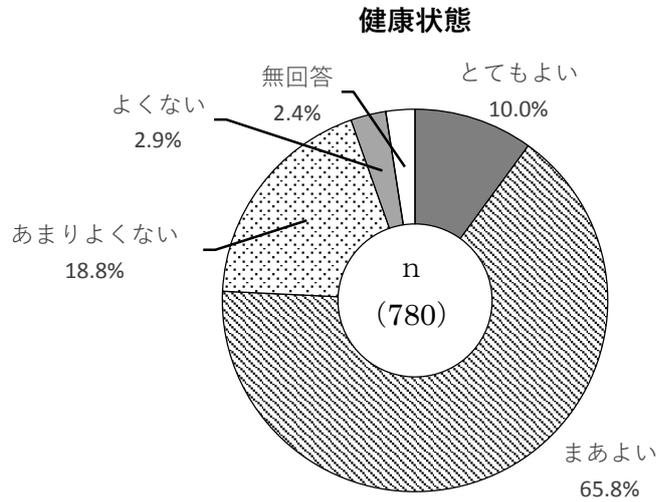
よく会う友人・知人との関係については、「近所・同じ地域の人」が57.2%で最も多く、次いで「仕事での同僚・元同僚」が29.2%、「趣味や関心が同じ友人」が27.7%と続いています。



7. 健康について

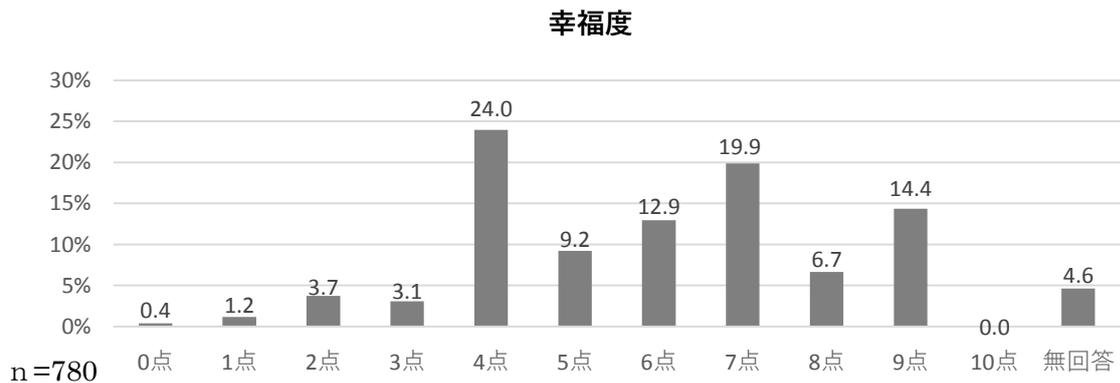
現在のあなたの健康状態はいかがですか（問 61）

健康状態については、「まあよい」が65.8%で最も多く、次いで「あまりよくない」が18.8%、「とてもよい」が10.0%が続いています。



あなたは、現在どの程度幸せですか（問 62）

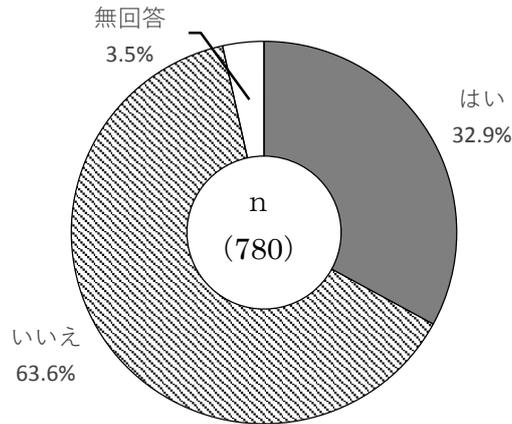
幸福度については、「4点」が24.0%と最も多く、次いで「7点」が19.9%、「9点」が14.4%が続いています。平均点は5.9点となります。



この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか（問63）

1か月間のうちに気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあるかについては、ある（「はい」）と答えた人は32.9%、ない（「いいえ」）と答えた人は63.6%となっています。

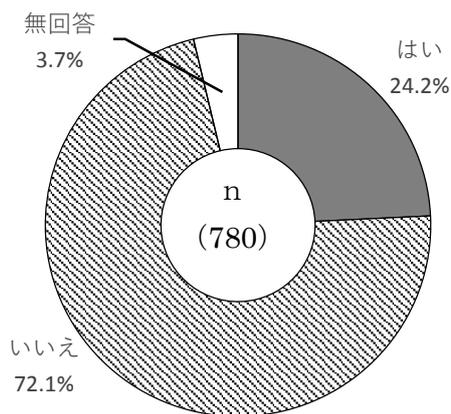
気分の沈み、ゆううつな気持ち



この1か月間、どうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか（問64）

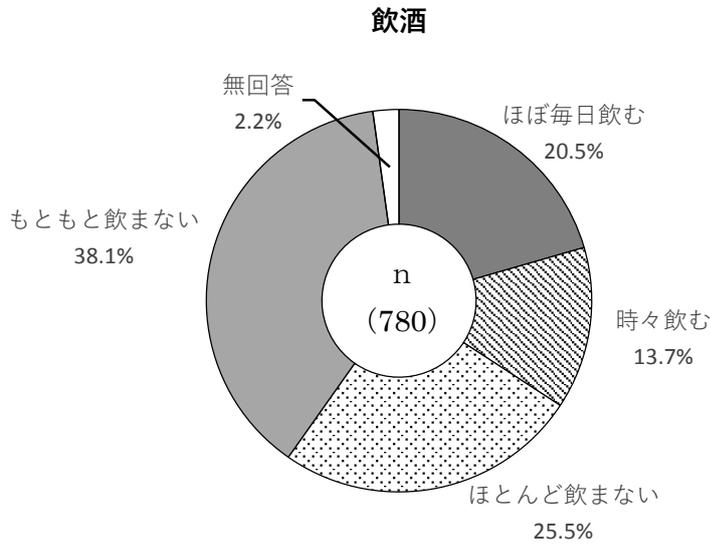
1か月間のうちにどうしても物事に対して興味がわからない、あるいは心から楽しめない感じがよくある（「はい」）と答えた人は24.2%、ない（「いいえ」）と答えた人は72.1%となっています。

物事への興味、楽しめない事



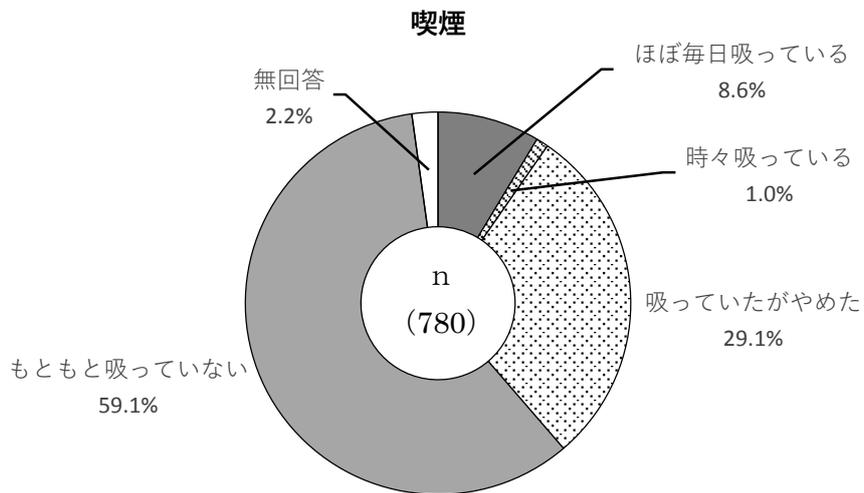
お酒は飲みますか (問 65)

飲酒については、「もともと飲まない」が38.1%で最も多く、次いで「ほとんど飲まない」が25.5%、「ほぼ毎日飲む」が20.5%と続いています。



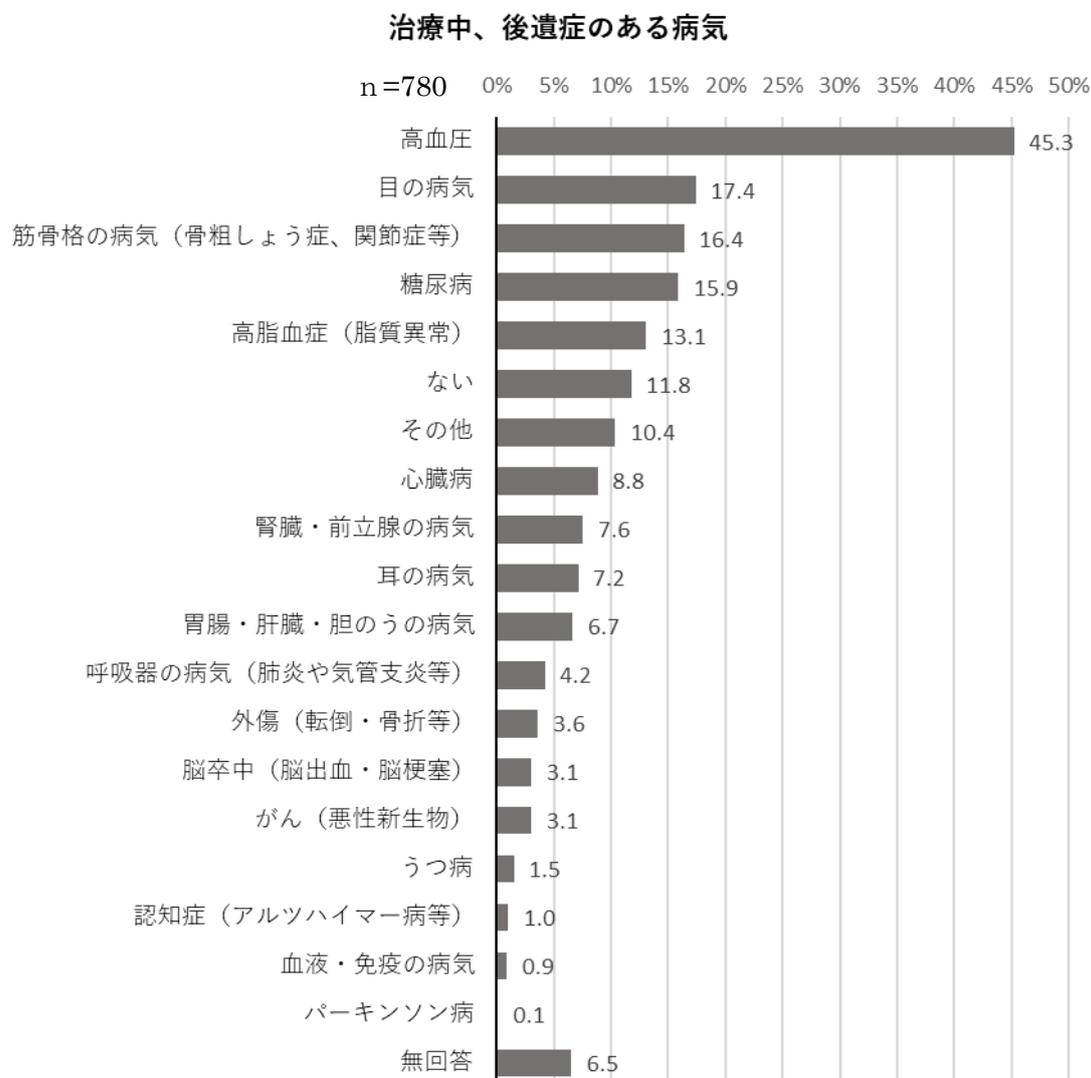
タバコは吸っていますか (問 66)

喫煙については、「もともと吸っていない」が59.1%で最も多く、次いで「吸っていたがやめた」が29.1%、「ほぼ毎日吸っている」が8.6%と続いています。「ほぼ毎日吸っている」(8.6%)と「時々吸っている」(1.0%)を合わせた喫煙率は9.6%となります。



現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）（問 67）

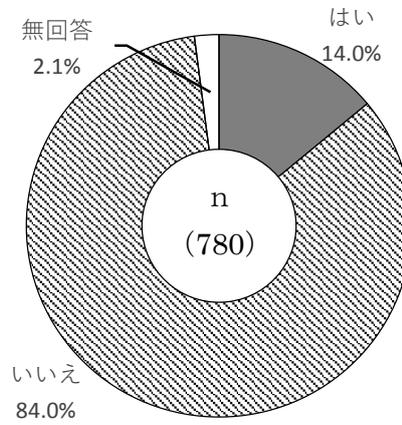
現在治療中、または後遺症のある病気については、「高血圧」が45.3%で最も多く、次いで「目の病気」が17.4%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」が16.4%と続いています。



あなたは、過去1年間、入院したことがありますか（問68）

過去1年間の入院経験については、ある（「はい」）と答えた人は14.0%となっています。

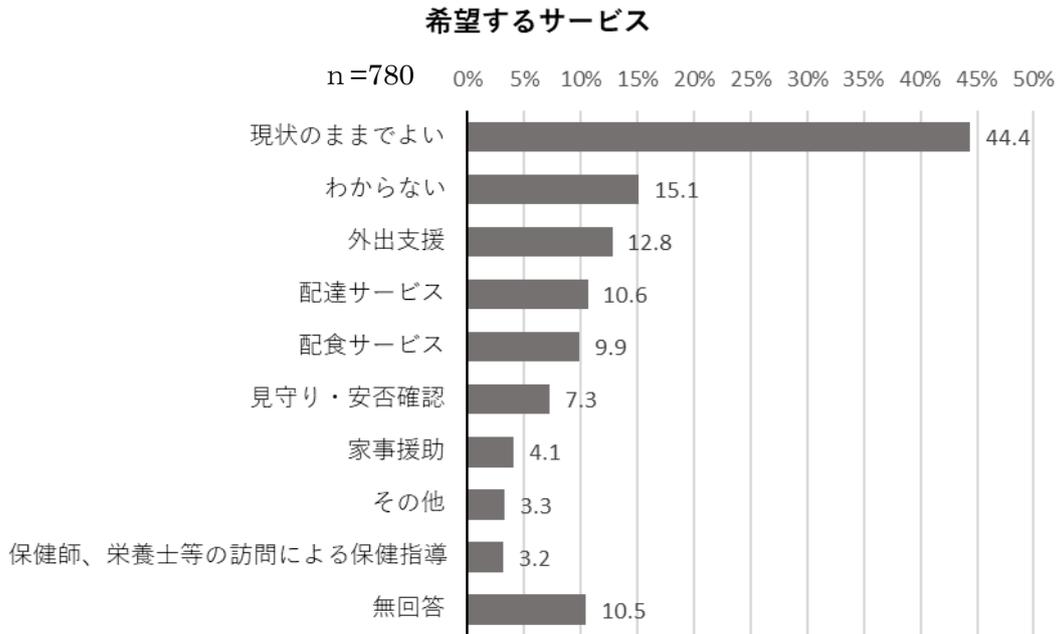
過去1年間の入院



8. 今後の生活について

現在の各種居宅サービス以外で、現在のお住まいでどのようなサービスを始めてほしいとお考えですか
(問 69)

現在の各種居宅サービス以外で、始めてほしいサービスについては、「現状のままで良い」が44.4%で最も多く、次いで「わからない」が15.1%、「外出支援（通院、買い物等）」が12.8%と続いています。

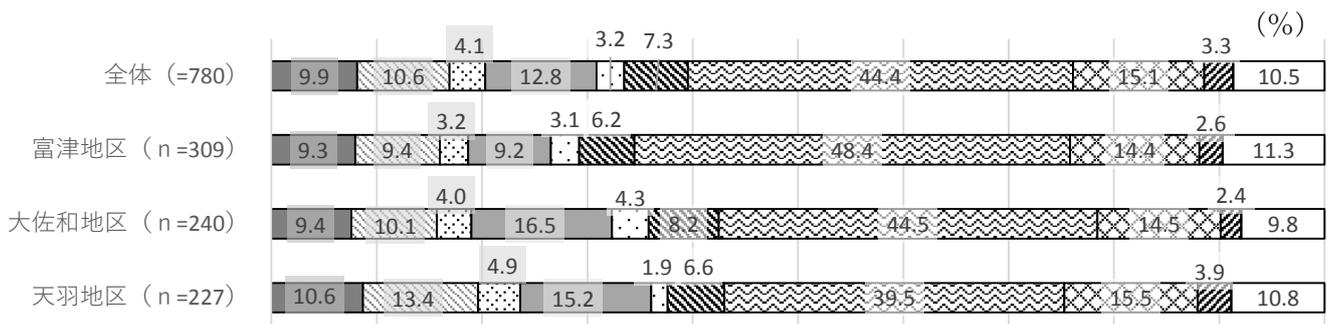


※単数回答の設問だが複数回答として集計した。

圏域別にみても大きな変化は見られず、「配食サービス（食事を宅配するサービス）」「配達サービス（食料品、日用品）」「外出支援（通院、買い物等）」がそれぞれ1割前後となっています。

【圏域別】希望するサービス

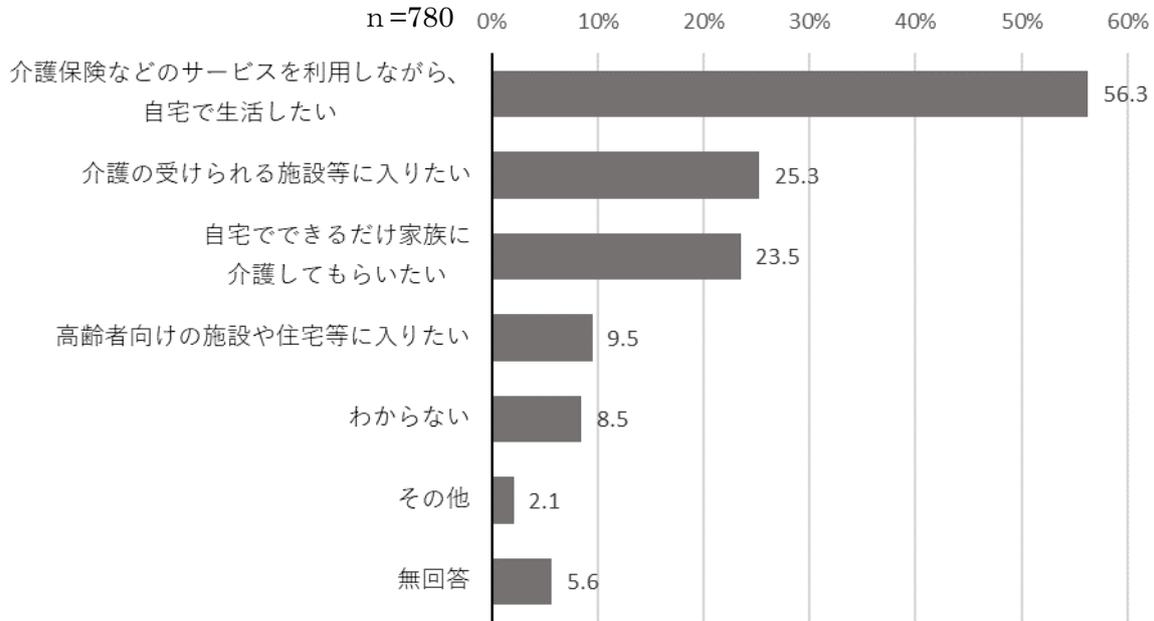
- 配食サービス（食事を宅配するサービス）
- ▣ 配達サービス（食料品、日用品）
- ▣ 家事援助（掃除、洗濯、ゴミ出し等）
- 外出支援（通院、買い物等）
- 保健師、栄養士等の訪問による保健指導
- 見守り・安否確認
- ▣ 現状のままでよい
- ▣ わからない
- その他
- 無回答



あなたは、介護が必要な状態となった場合、どのようにしたいとお考えですか（問70）

介護が必要になった場合の希望については、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が56.3%で最も多く、次いで「介護の受けられる施設等に入りたい」が25.3%、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」が23.5%と続いています。

要介護状態となった場合の希望



【経年比較】 要介護状態となった場合の希望

(%)

	回答数	自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい	介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい	高齢者向けの施設や住宅等に入りたい	介護の受けられる施設等に入りたい	その他	わからない	無回答
平成29年	780人	23.5	56.3	9.5	25.3	2.1	8.5	5.6
平成26年	728人	28.8	63.3	8.9	20.7	1.6	7.6	3.7
平成23年	866人	29.2	60.7	8.8	21.4	2.5	6.6	6.7
平成20年	1,254人	30.5	63.8	10.8	23.7	2.6	9.3	5.0

性・年齢別にみると、男性85～89歳を除いた男女全ての年齢で「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が最も多くなっています。男性85～89歳に限っては、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」が48%で最も多くなっています。

圏域別にみても、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が最も多く、半数以上を占めています。

【性・年齢・圏域別】要介護状態となった場合の希望

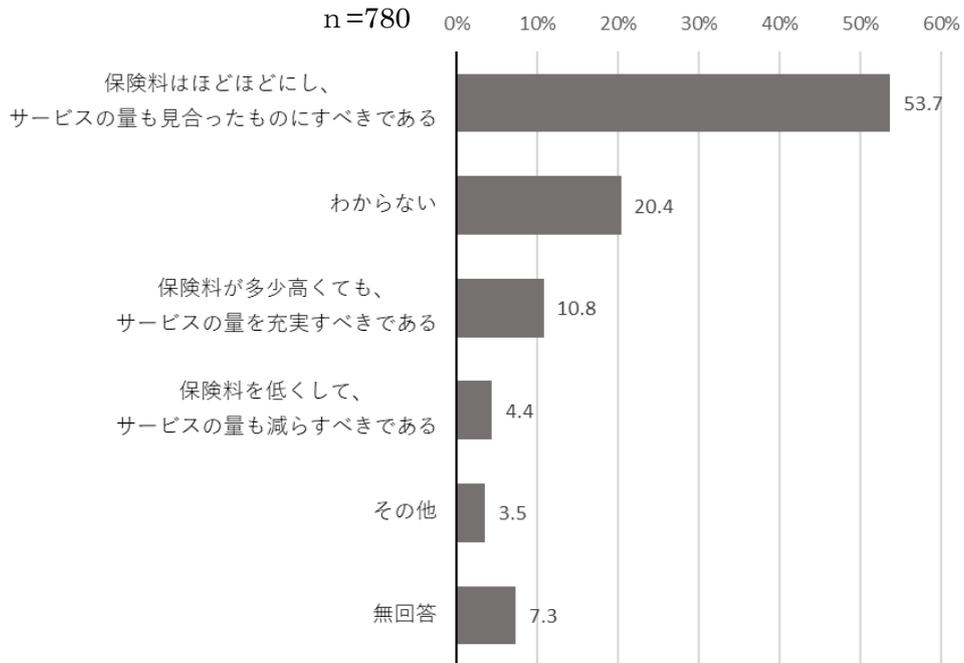
(%)

		回答数	自宅です できるだけ 家族に介護 してもらいた い	介護保険な どのサービ スを利 用しながら、 自宅で生活 したい	高齢者向 けの施設 や住宅等 に入 りたい	介護の受 けられる 施設等 に入 りたい	その他	わからない	無回答
全体		780	23.5	56.3	9.5	25.3	2.1	8.5	5.6
性・ 年齢別	男性 65～69歳	113	19.5	51.3	15.0	35.4	0.9	8.8	2.7
	70～74歳	90	26.7	46.7	8.9	24.4	2.2	14.4	4.4
	75～79歳	70	31.4	52.9	7.1	28.6	1.4	8.6	8.6
	80～84歳	45	37.8	62.2	8.9	15.6	2.2	6.7	4.4
	85～89歳	25	48.0	44.0	4.0	12.0	4.0	4.0	8.0
	90～94歳	8	25.0	50.0	12.5	0.0	0.0	12.5	25.0
	95～99歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	100歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 65～69歳	120	15.0	61.7	11.7	30.0	2.5	6.7	4.2
	70～74歳	110	18.2	63.6	7.3	23.6	1.8	6.4	4.5
	75～79歳	94	26.6	61.7	7.4	22.3	2.1	6.4	5.3
	80～84歳	53	13.2	50.9	13.2	22.6	3.8	13.2	7.5
	85～89歳	34	32.4	55.9	0.0	17.6	0.0	5.9	14.7
	90～94歳	8	12.5	50.0	0.0	12.5	0.0	12.5	12.5
95～99歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
100歳以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
圏 域 別	富津地区	309	24.8	52.9	8.9	27.9	1.9	7.9	6.6
	大佐和地区	240	21.9	58.0	10.2	26.5	1.6	7.6	4.4
	天羽地区	227	24.1	58.6	10.2	22.3	2.0	8.4	6.2

介護保険制度は、40歳以上の方から保険料を徴収して、介護が必要な方にサービスを提供する費用に充てていますが、保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたはどのように考えていますか（問71）

保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料はほどほどにし、サービスの量も見合ったものにすべきである」が53.7%で最も多く、次いで「わからない」が20.4%、「保険料が多少高くても、サービスの量を充実すべきである」が10.8%と続いています。

保険料と介護保険サービスのあり方についての考え



【経年比較】 保険料と介護保険サービスのあり方についての意識

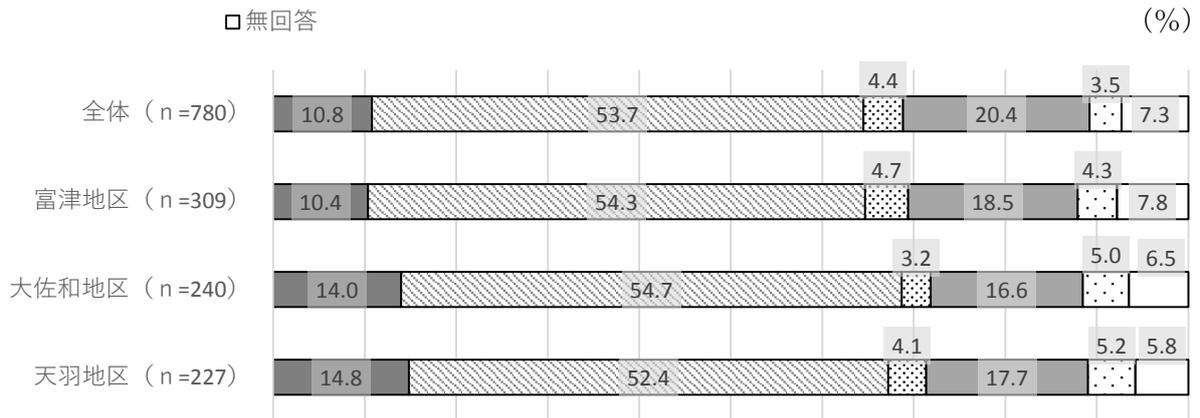
(%)

	回答数	保険料が多少高くても、サービスの量を充実すべきである	保険料はほどほどにし、サービスの量も見合ったものにすべきである	保険料を低くして、サービスの量も減らすべきである	わからない	その他	無回答
平成29年	780人	10.8	53.7	4.4	20.4	3.5	7.3
平成26年	728人	14.1	53.4	4.5	19.0	3.0	5.9
平成23年	866人	13.5	51.4	3.9	18.0	3.0	10.2
平成20年	1,254人	14.5	52.8	5.6	15.9	2.2	9.0

圏域別に見ると、すべての圏域において「保険料はほどほどにし、サービスの量も見合ったものにすべきである」が半数以上で最も多くなっています。

【圏域別】 保険料と介護保険サービスのあり方についての意識

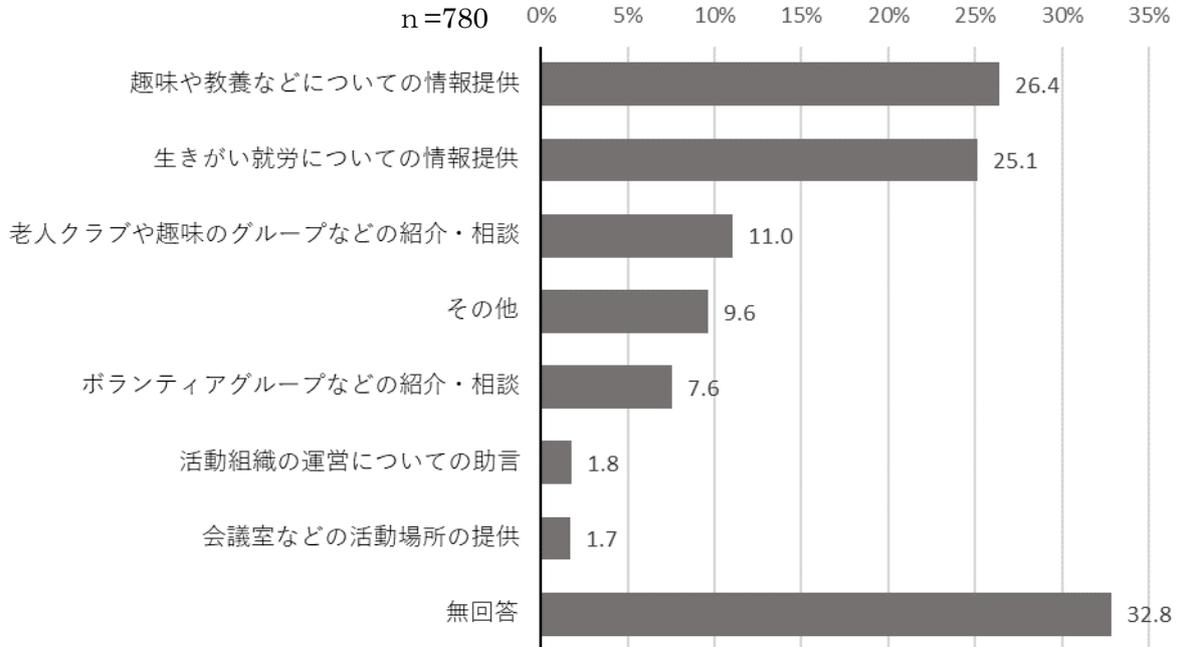
- 保険料が多少高くても、サービスの量を充実すべきである
- ▨ 保険料はほどほどにし、サービスの量も見合ったものにすべきである
- ▩ 保険料を低くして、サービスの量も減らすべきである
- わからない
- その他
- 無回答



高齢者の生きがいのため、行政にどのようなことを要望しますか（問72）

高齢者の生きがいのための行政への要望については、「趣味や教養などについての情報提供」が26.4%で最も多く、次いで「生きがい就労についての情報提供」が25.1%、「老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談」が11.0%と続いています。

高齢者の生きがいのための行政への要望



※単数回答の設問だが複数回答として集計した。

【経年比較】 高齢者の生きがいのための行政への要望

(%)

	回答数	生きがい就労についての情報提供	趣味や教養などについての情報提供	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談	ボランティアグループなどの紹介・相談	活動組織の運営についての助言	会議室などの活動場所の提供	その他	無回答
平成29年	780人	25.1	26.4	11.0	7.6	1.8	1.7	9.6	32.8
平成26年	728人	34.1	36.4	18.5	11.8	4.3	5.9	7.0	29.1
平成23年	866人	20.3	31.4	13.6	10.5	2.7	4.0	4.6	43.8

性・年齢別の上位5項目をみると、5位以内にあげられている内容はほぼ同様となっています。
圏域別においても、5位以内にあげられている内容はほぼ同様となっています。

【性・年齢・圏域別】上位5項目 高齢者の生きがいのための行政への要望

■性・年齢別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 65～69歳 n=113	生きがい就労についての情報提供 41.6	趣味や教養などについての情報提供 27.4	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 11.0	ボランティアグループなどの紹介・相談 7.6	活動組織の運営についての助言 1.8
70～74歳 n=90	生きがい就労についての情報提供 32.2	趣味や教養などについての情報提供 32.2	ボランティアグループなどの紹介・相談 10.0	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 5.6	
75～79歳 n=70	生きがい就労についての情報提供 趣味や教養などについての情報提供 22.9		老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 14.3	ボランティアグループなどの紹介・相談 10.0	活動組織の運営についての助言・会議室などの活動場所の提供 1.8
80～84歳 n=45	趣味や教養などについての情報提供 28.9	生きがい就労についての情報提供 20.0	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 13.3	ボランティアグループなどの紹介・相談 6.7	
85～89歳 n=25	生きがい就労についての情報提供 32.0	趣味や教養などについての情報提供 28.0	ボランティアグループなどの紹介・相談 4		
90～94歳 n=8	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 37.5	趣味や教養などについての情報提供 ボランティアグループなどの紹介・相談 12.5			
女性 65～69歳 n=120	趣味や教養などについての情報提供 38.3	生きがい就労についての情報提供 30.8	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 12.5	ボランティアグループなどの紹介・相談 10.0	会議室などの活動場所の提供 2.5
70～74歳 n=110	趣味や教養などについての情報提供 26.4	生きがい就労についての情報提供 23.6	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 15.5	ボランティアグループなどの紹介・相談 7.3	会議室などの活動場所の提供 2.7
75～79歳 n=94	趣味や教養などについての情報提供 24.5	生きがい就労についての情報提供 14.9	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 10.6	ボランティアグループなどの紹介・相談 3.2	活動組織の運営についての助言 2.1

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
80～84歳 n=53	生きがい就労についての情報提供 老人クラブや趣味のグループなどの紹介 11.3		生きがい就労についての情報提供 9.4	ボランティアグループなどの紹介・相談 3.8	活動組織の運営についての助言 1.9
85～89歳 n=34	生きがい就労についての情報提供 老人クラブや趣味のグループなどの紹介 8.8		生きがい就労についての情報提供 5.9		
90～94歳 n=8	生きがい就労についての情報提供 老人クラブや趣味のグループなどの紹介 12.5				

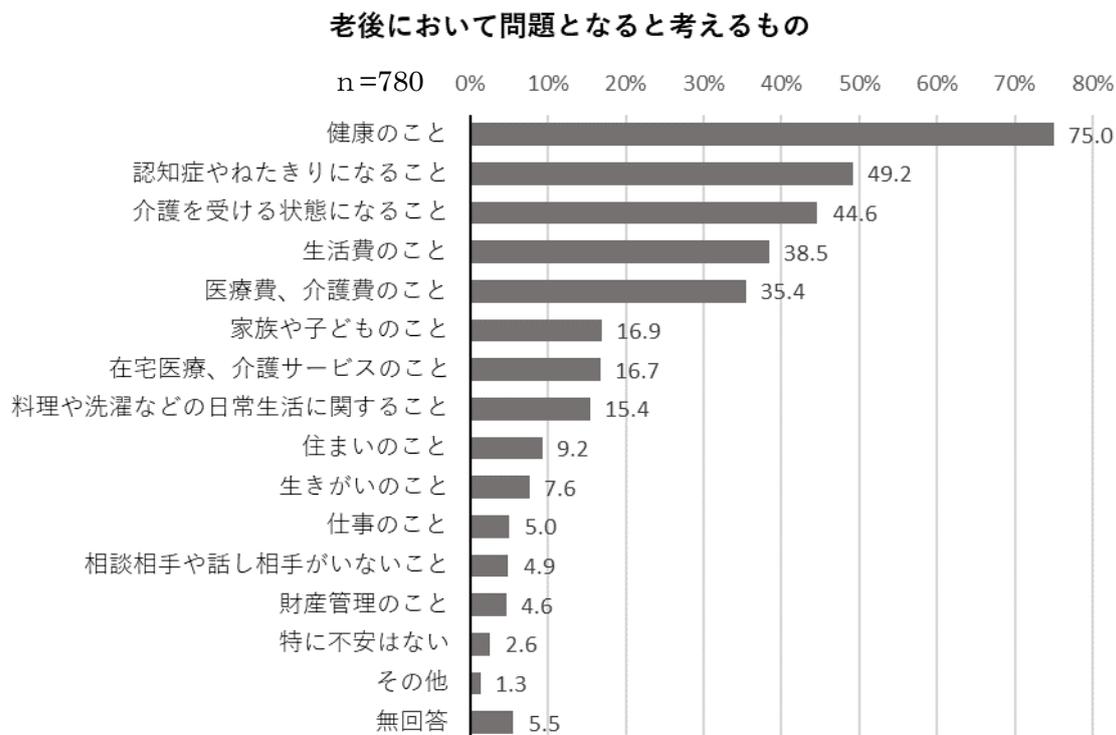
■圏域別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
富津地区 n=309	生きがい就労についての情報提供 26.8	趣味や教養などについての情報提供 23.6	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 9.3	ボランティアグループなどの紹介・相談 7.3	会議室などの活動場所の提供 2.3
大佐和地区 n=240	趣味や教養などについての情報提供 28.7	生きがい就労についての情報提供 21.9	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 12.6	ボランティアグループなどの紹介・相談 8.0	活動組織の運営についての助言・会議室などの活動場所の提供 1.6
天羽地区 n=227	生きがい就労についての情報提供 27.7	趣味や教養などについての情報提供 26.0	老人クラブや趣味のグループなどの紹介・相談 11.6	ボランティアグループなどの紹介・相談 8.4	活動組織の運営についての助言 1.2

あなたは、老後において何が問題になると考えていますか（5つまで）（問73）

老後において問題となると考えるものについては、「健康のこと」が75.0%で最も多く、次いで「認知症や寝たきりになること」が49.2%、「介護を受ける状態になること」が44.6%と続いています。

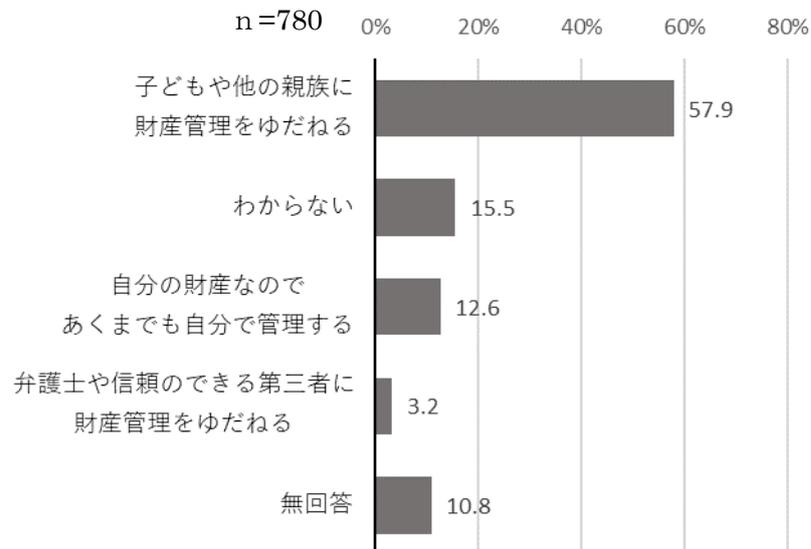


※5つまで選択可能な設問だが複数回答として集計した。

認知症になるなど、高齢化に伴って財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、あなたはどのようにしたいと思いますか（問74）

高齢化に伴う財産管理の意向については、「子どもや他の親族に財産管理をゆだねる」が57.9%で最も多く、「わからない」が15.5%、「自分の財産なのであくまでも自分で管理する」が12.6%と続いています。

高齢化に伴う財産管理の意向



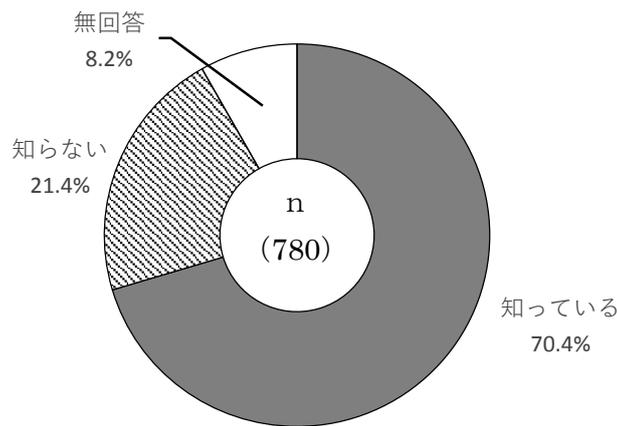
9. 災害発生時の対応について

あなたは、地震などの災害発生時の避難所がどこかご存知ですか（問 75）

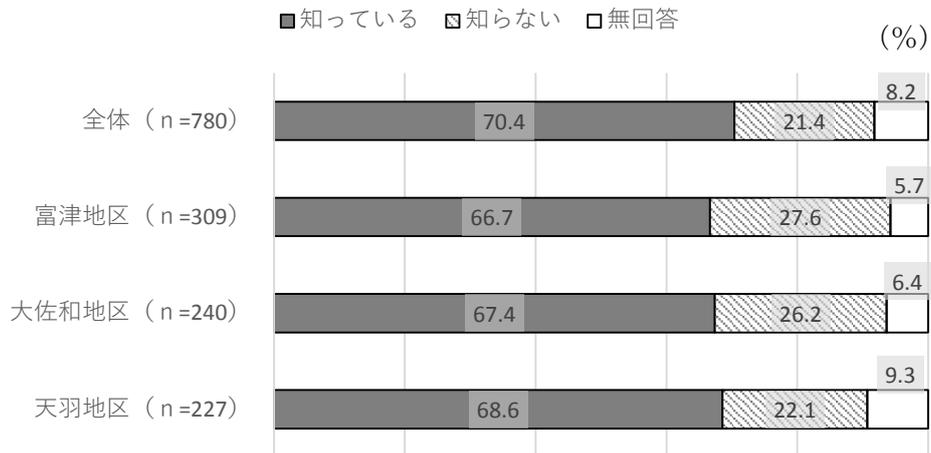
災害発生時の避難所について「知っている」と答えた人は70.4%、「知らない」と答えた人は21.4%となっています。

圏域別にみると、「知らない」と答えた人は富津地区が27.6%で最も多く、次いで大佐和地区が26.2%、天羽地区が22.1%と続いています。

避難所の認知状況



【圏域別】避難所の認知

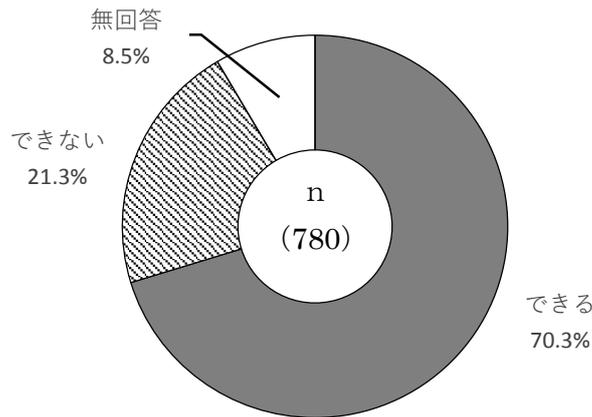


あなたは、地震などの災害発生時に、ご自宅から避難所まで自力で避難ができますか（問76）

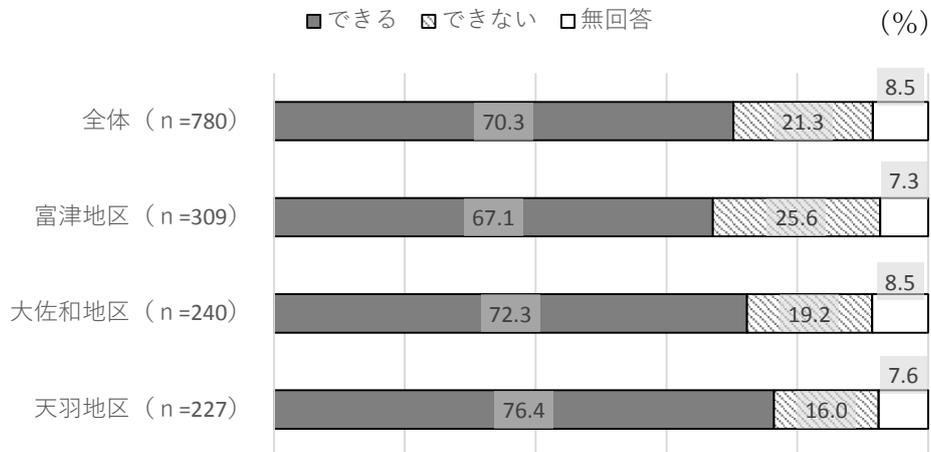
災害発生時に、自宅から避難所まで自力で避難「できる」と答えた人は70.3%、「できない」と答えた人は21.3%となっています。

圏域別にみると、自力避難「できない」と答えた人は、富津地区が25.6%で最も多く、次いで大佐和地区が19.2%、天羽地区が16.0%と続いています。

自力避難の可否



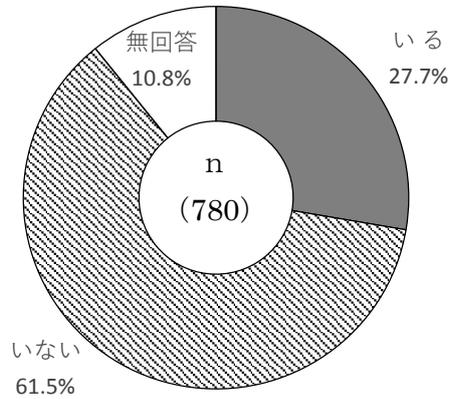
【圏域別】自力避難の可否



あなたは、地震などの災害発生時に避難を助けてくれる家族以外の特定の方はいですか（問 77）

災害発生時に避難を助けてくれる家族以外の特定の方が「いる」と答えた人は27.7%、「いない」と答えた人は61.5%となっています。

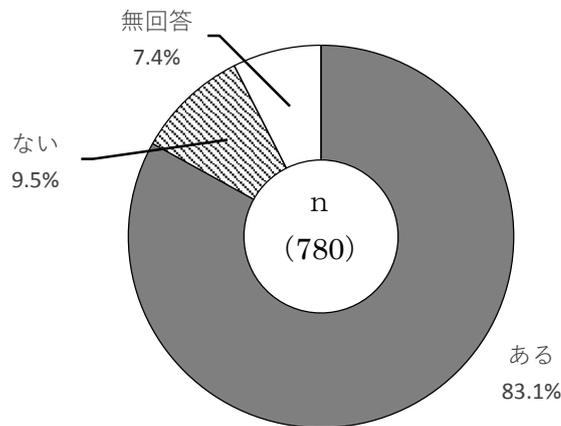
家族以外の介助者の有無



あなたのご自宅には、常時3日程度の食料がありますか（冷蔵庫内の食料を含む）（問 78）

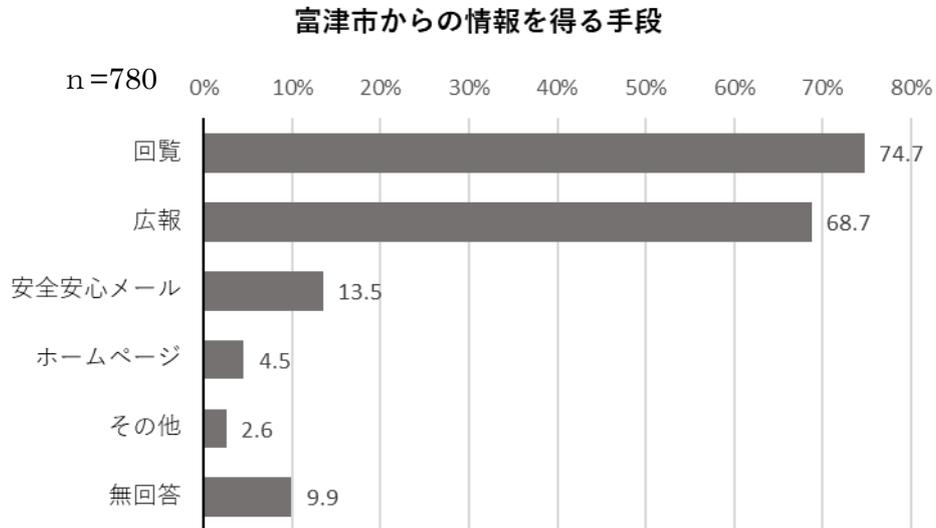
自宅に常時3日程度の食料が「ある」と答えた人は83.1%、「ない」と答えた人は9.5%となっています。

常時3日程度の食料の有無



富津市からの情報を得るための方法として、利用しているものはありますか（いくつでも）（問79）

富津市からの情報を得るための方法として利用しているものについては、「回覧」が74.7%で最も多く、次いで「広報」が68.7%、「安全安心メール」が13.5%と続いています。

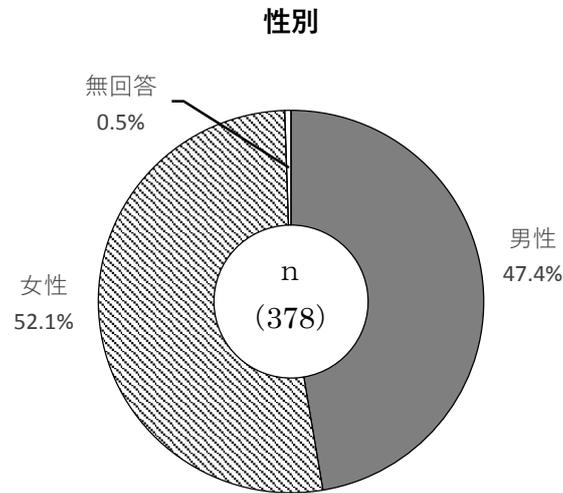


第3章 40～64歳の市民に関する調査結果

1. あて名のご本人について

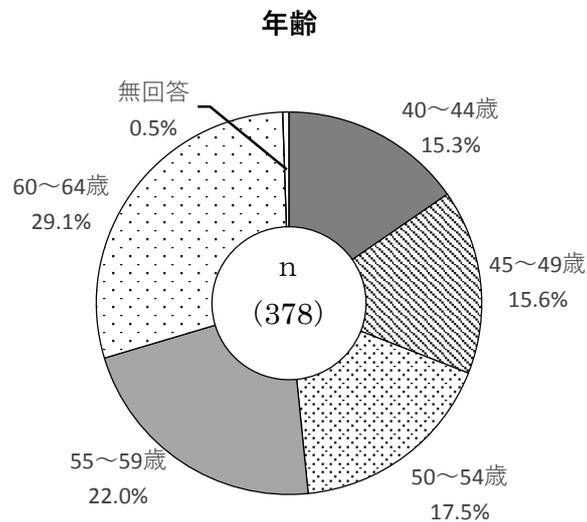
あなたの性別をお答えください（問1）

性別をみると、「男性」が47.4%、「女性」が52.1%となっています。



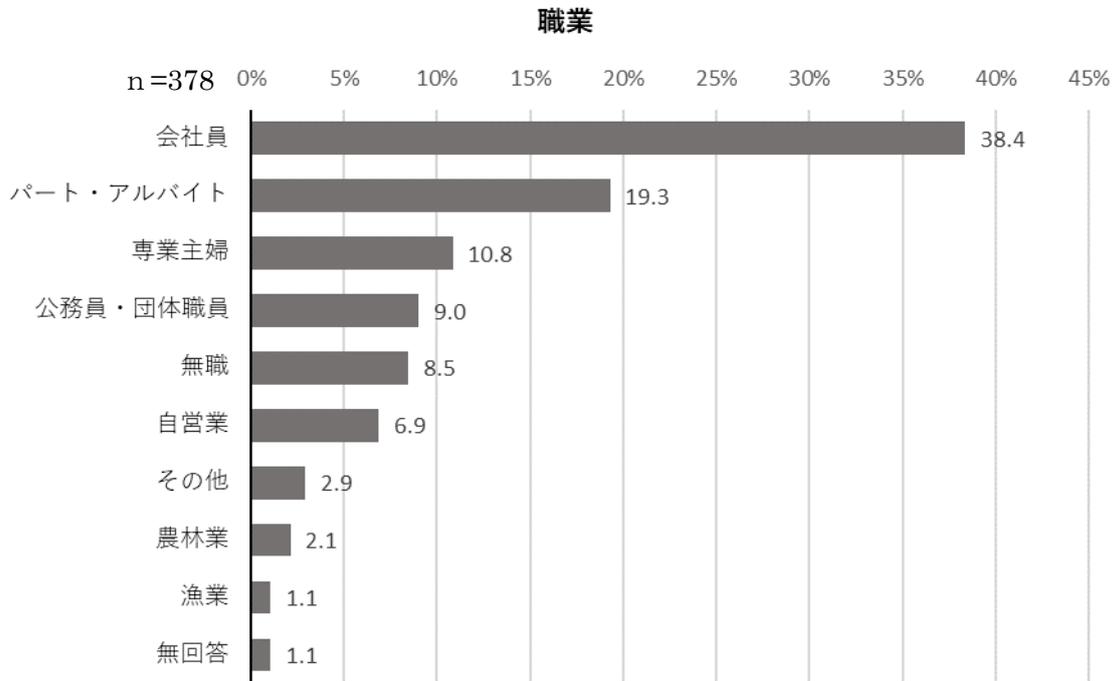
平成29年2月10日現在のあなたの年齢をお答えください（問2）

年齢をみると、「60～64歳」が29.1%で最も多く、次いで「55～59歳」が22.0%、「50～54歳」が17.5%と続いています。



あなたのご職業をお答えください（問3）

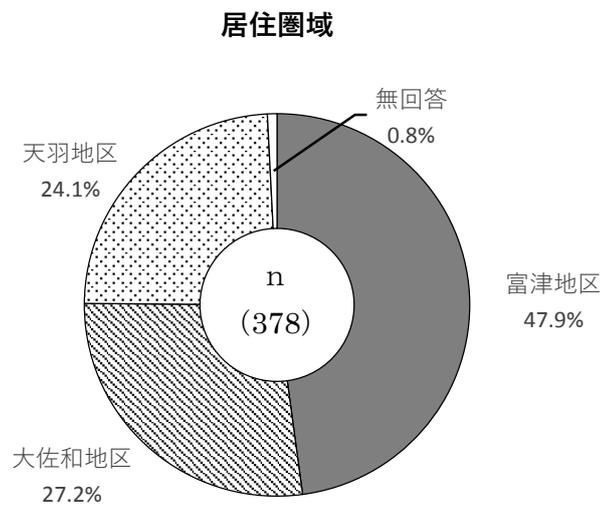
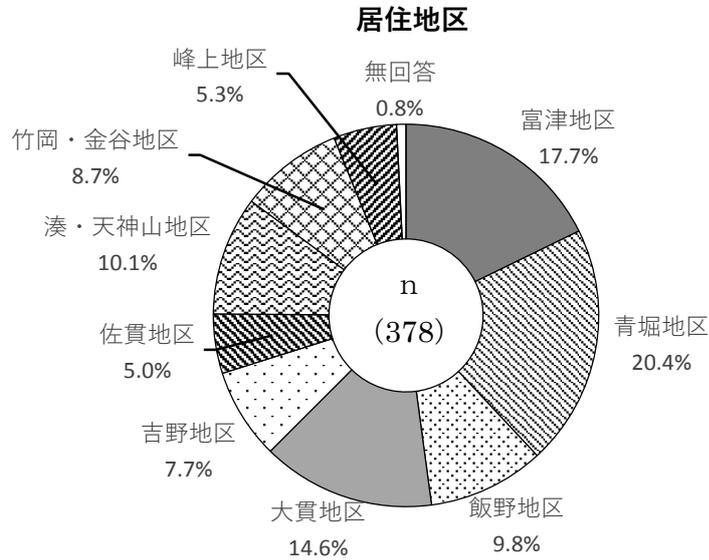
職業をみると、「会社員」が38.4%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が19.3%、「専業主婦」が10.8%と続いています。



あなたのお住まいの地区はどちらですか（問4）

居住地区をみると、「青堀地区」が20.4%で最も多く、次いで「富津地区」が17.7%、「大貫地区」が14.6%と続いています。

居住圏域をみると、富津地区が47.9%で最も多く、次いで大佐和地区が27.2%、天羽地区が24.1%と続いています。

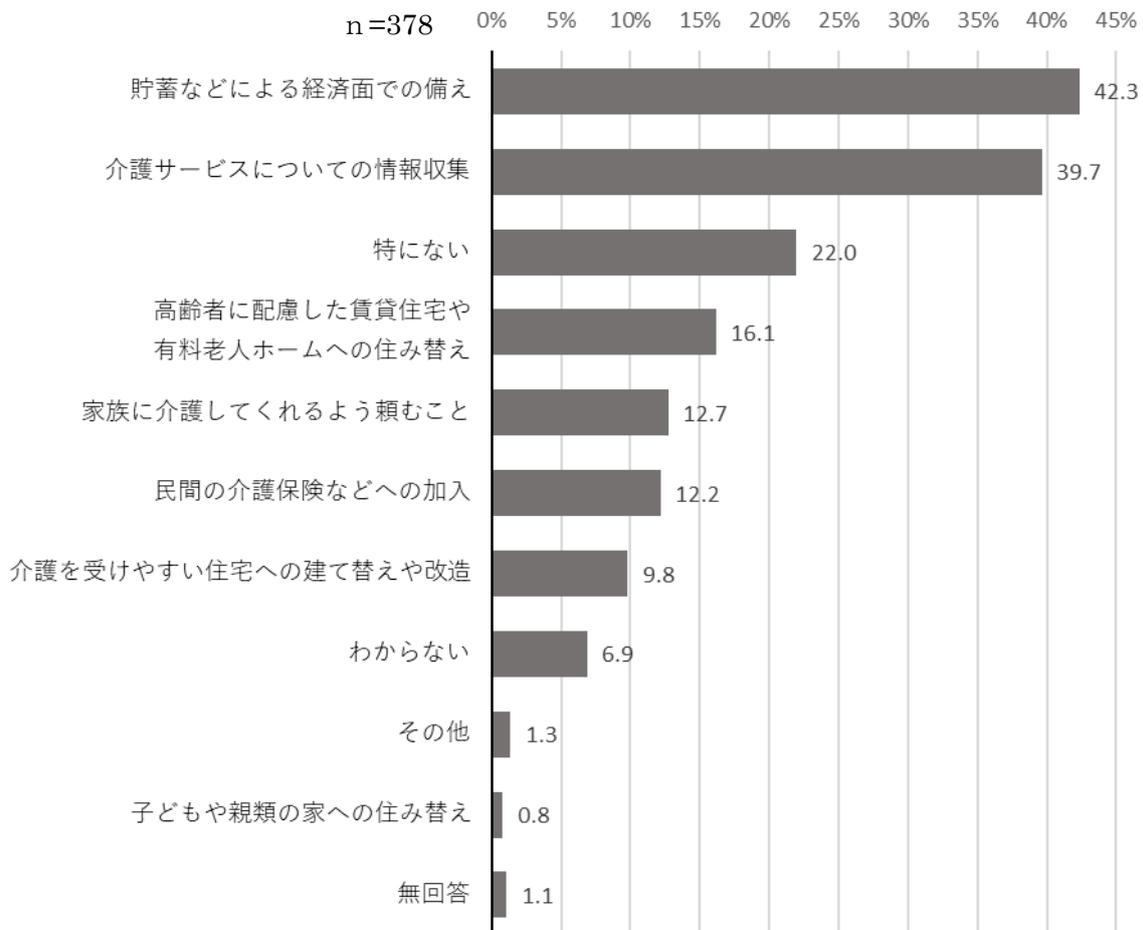


2. 介護や介護保険について

あなたは、ねたきりや認知症になった場合に備えて、これから準備しようと思うことや既に準備していることがありますか（いくつでも）（問5）

寝たきりや認知症に備えて準備しようと思うこと（していること）としては、「貯蓄などによる経済面での備え」が42.3%で最も多く、次いで「介護サービスについての情報収集」が39.7%、「特にない」が22.0%と続いています。

寝たきりや認知症に備えてしようと思うこと（していること）



将来、あなたに介護が必要になった場合、どこで生活したいですか（問6）

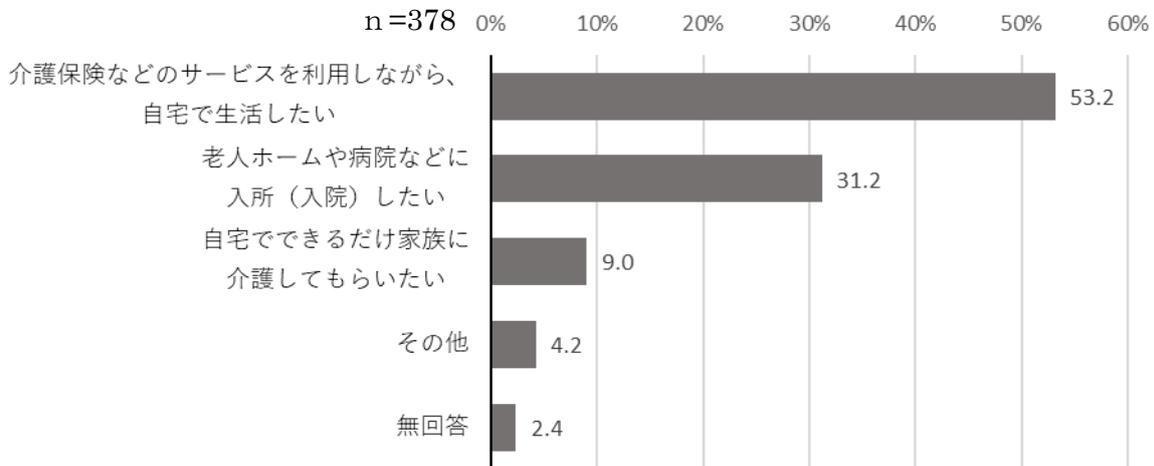
要介護状態となった場合の希望としては、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が53.2%で最も多く、次いで「老人ホームや病院などに入所（入院）したい」が31.2%、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」が9.0%と続いています。

経年比較をみると、「老人ホームや病院などに入所（入院したい）」が年々増えてきています。

性・年齢別でみると、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」は女性-55～59歳が78.6%で最も多くなっています。

圏域別でみると、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」は富津地区が11.6%で最も多くなっています。「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」は天羽地区が59.3%で最も多くなっています。

要介護となった場合の希望



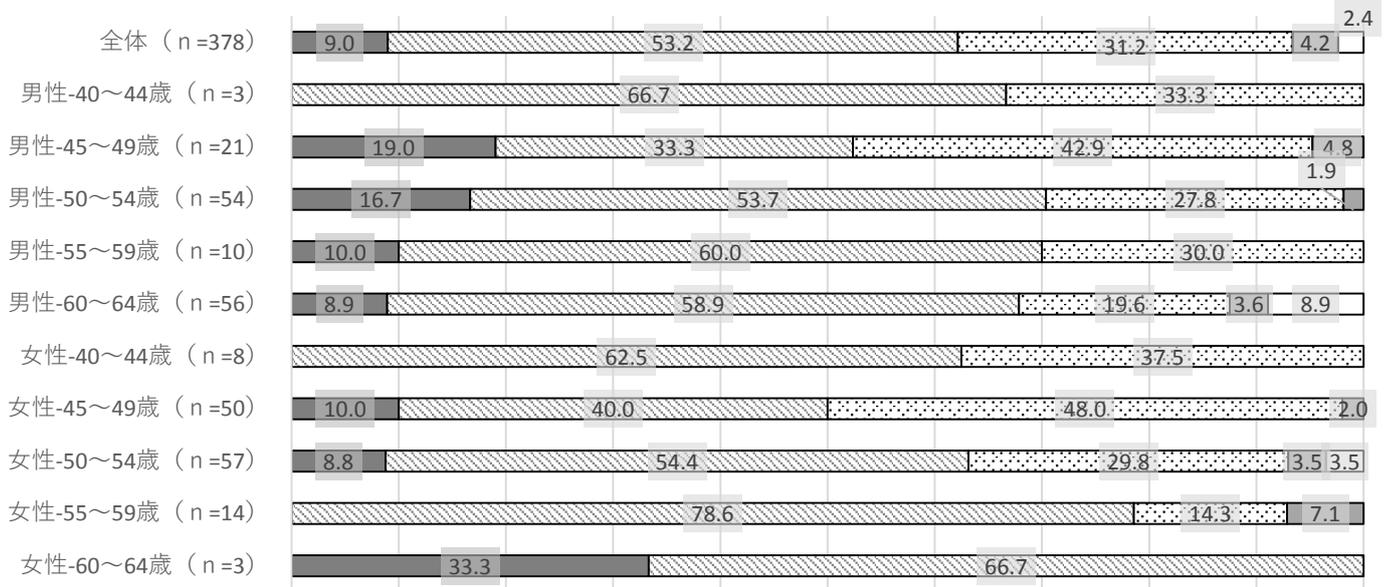
【経年比較】 要介護状態となった場合の希望

(%)

	回答数	自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい	介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい	老人ホームや病院などに入所（入院）したい	その他	無回答
平成29年	378人	9.0	53.2	31.2	4.2	2.4
平成26年	392人	12.5	50.8	30.9	2.3	3.6
平成23年	541人	11.6	55.5	28.1	2.2	2.6
平成20年	765人	18.6	51.0	24.4	3.0	3.0

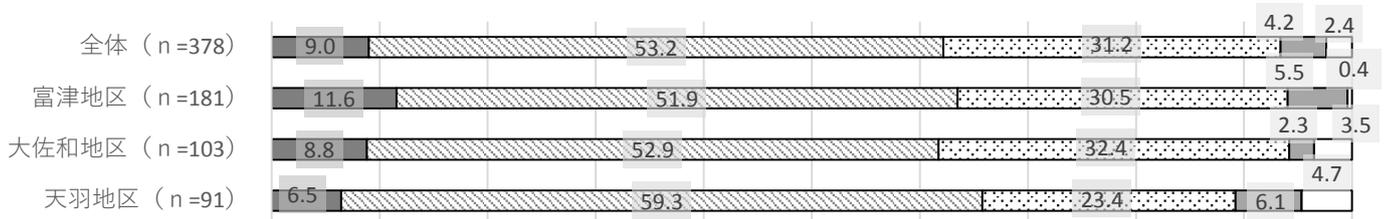
【性・年齢別】要介護状態となった場合の希望

- 自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい
 - ▨ 介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい
 - ▩ 老人ホームや病院などに入所（入院）したい
 - その他
 - 無回答
- (%)



【圏域別】要介護状態となった場合の希望

(%)



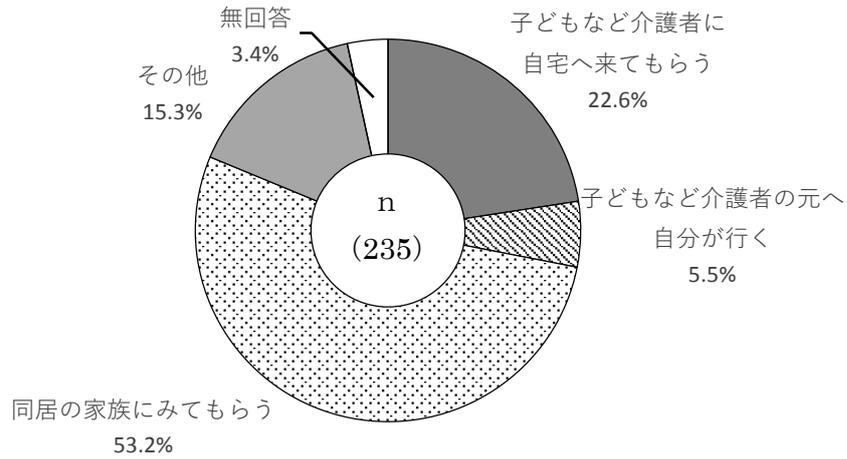
【問6で「1. 自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」、

「2. 介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」の方のみ】

自宅での介護を望んだとき、あなたは次のどちらの状況が一番近いと考えますか（問7）

自宅での介護を望む状況としては、「同居の家族にみてもらう」が53.2%で最も多く、「子どもなど介護者に自宅へ来てもらう」が22.6%と続いています。

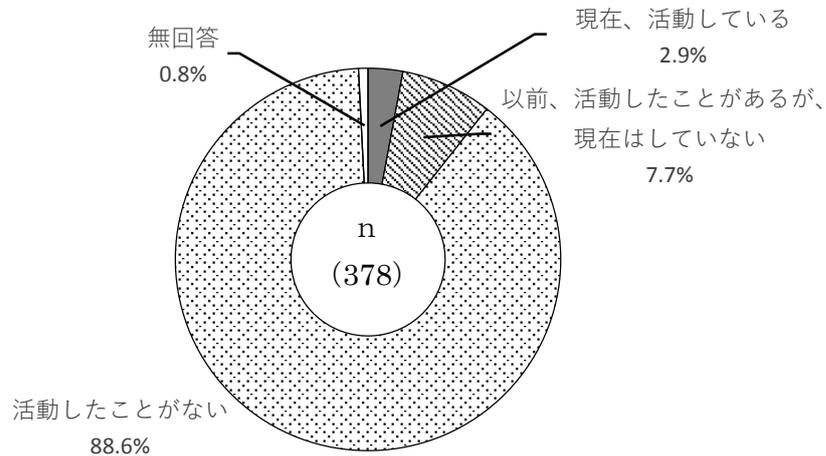
自宅での介護で望む状況



あなたは、ねたきりや認知症の方、ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯、障がい者の方々のお世話をするボランティアなどの活動をしたことがありますか（問8）

高齢者、障がい者へのボランティア活動の経験としては、「活動したことがない」が88.6%で最も多く、9割近くを占めています。「現在活動している」（2.9%）と「以前、活動したことがあるが、現在はしていない」（7.7%）を合わせた『活動経験がある』は10.6%となっています。

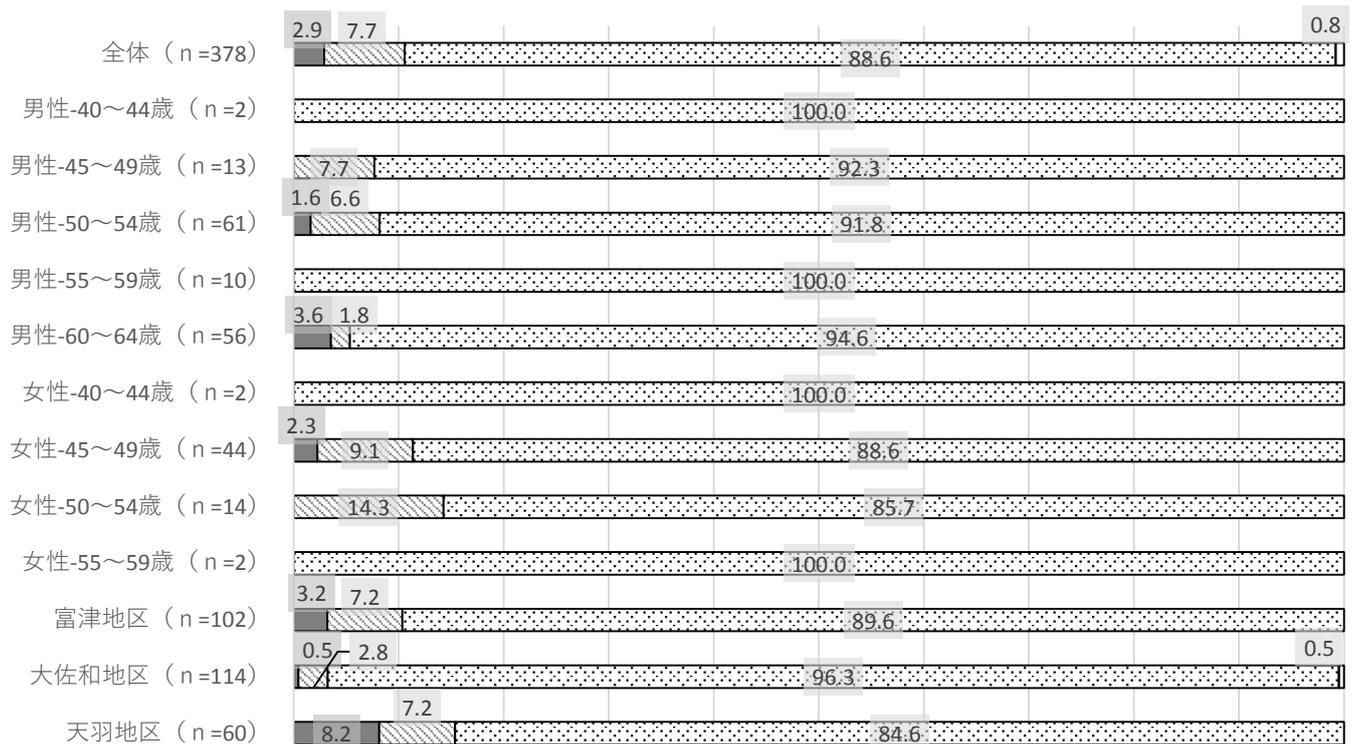
高齢者、障がい者へのボランティア活動の経験



性・年齢別にみると、全ての年齢において「活動したことがない」が8割以上を占めています。『活動経験がある』割合は女性-50～54歳（14.3%）が最も多くなっています。

【性・年齢・圏域別】高齢者、障がい者へのボランティア活動の経験

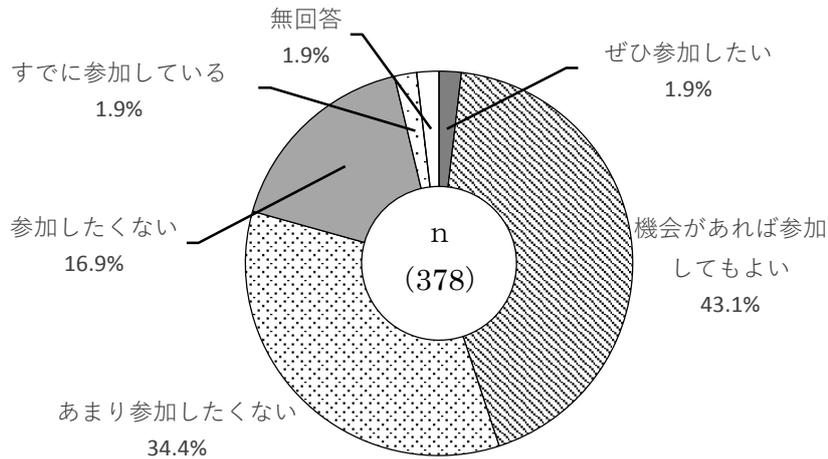
■現在、活動している ■以前、活動したことがあるが、現在はしていない ▨活動したことがない □無回答 (%)



**あなたは今後、ねたきりや認知症の方、ひとり暮らしの高齢者、高齢者世帯、障がい者の方々のお世話を
するボランティア活動についてどのように考えますか（問9）**

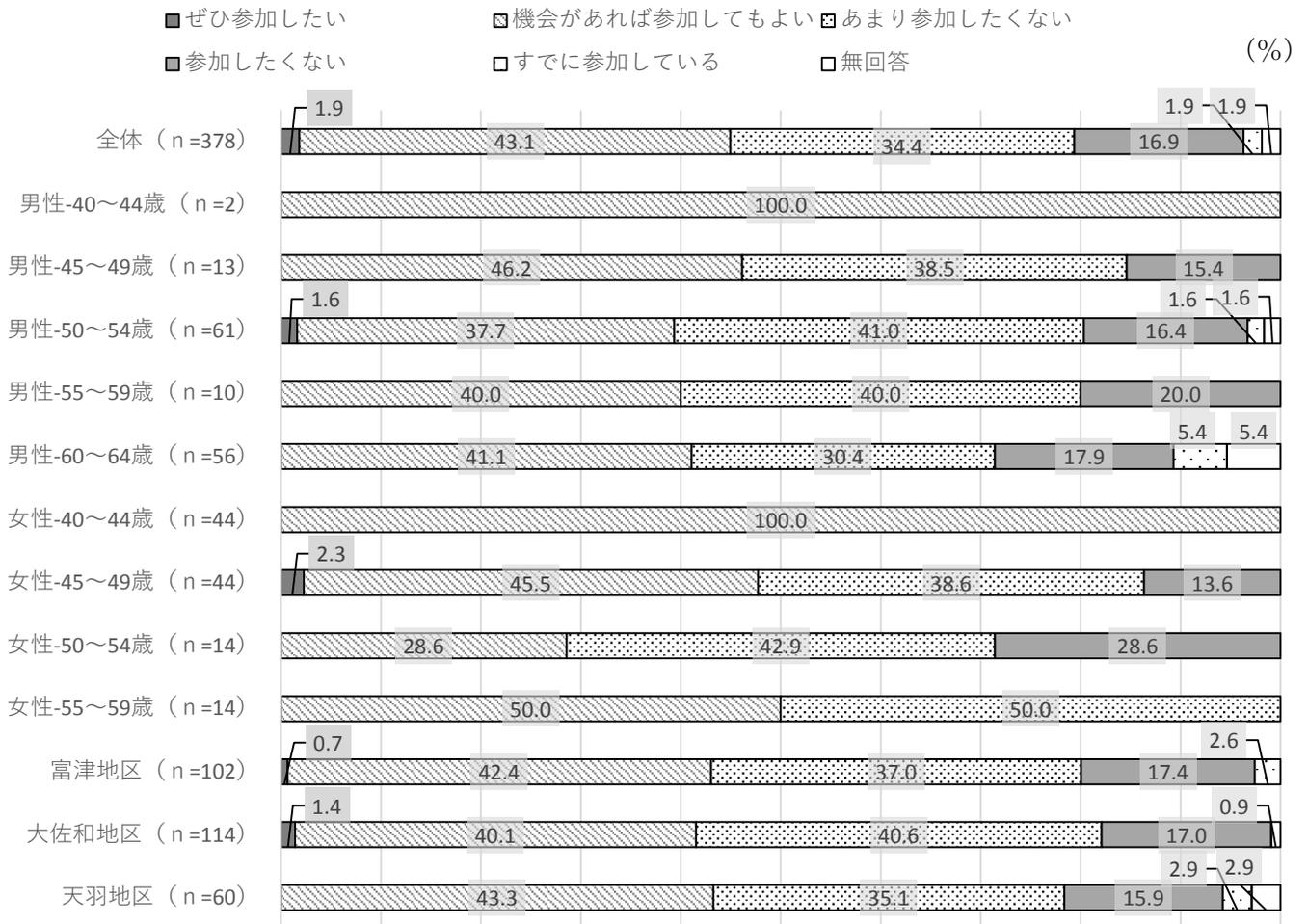
高齢者、障がい者へのボランティア活動の参加意向としては、「機会があれば参加してもよい」が43.1%で最も多くなっています。「あまり参加したくない」（34.4%）と「参加したくない」（16.9%）を合わせた『参加意向がない』は51.3%となっています。

高齢者、障がい者へのボランティア活動の参加意向



性・年齢別にみると、「参加したくない」は女性50～54歳が28.6%で最も多くなっています。
 圏域別にみると、それぞれの圏域において大きな違いはありません。

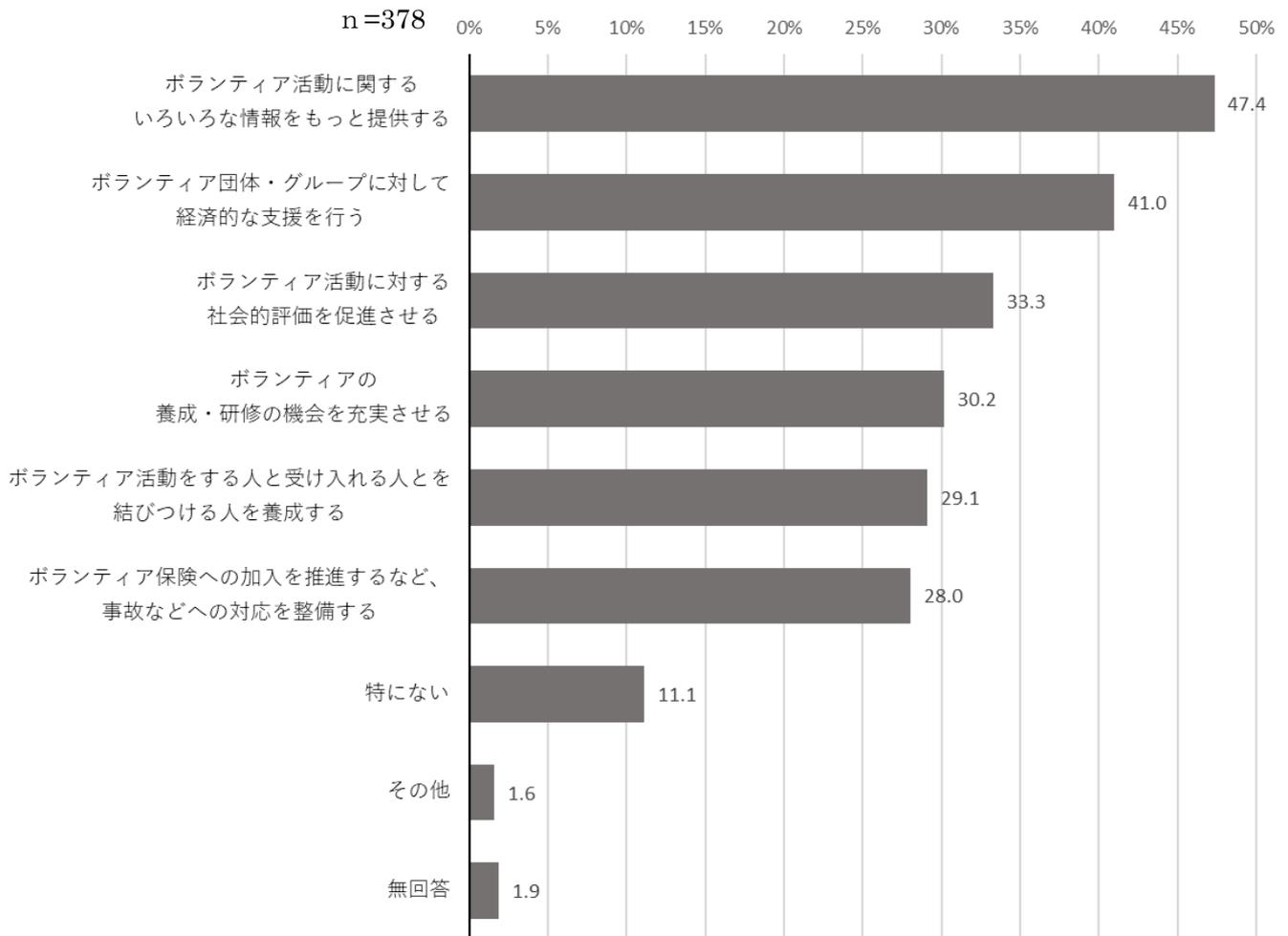
図3- 【性・年齢・圏域別】高齢者、障がい者へのボランティア活動の参加意向



ボランティア活動を推進するために、今後どのようなことが重要だと考えますか（いくつでも）（問10）

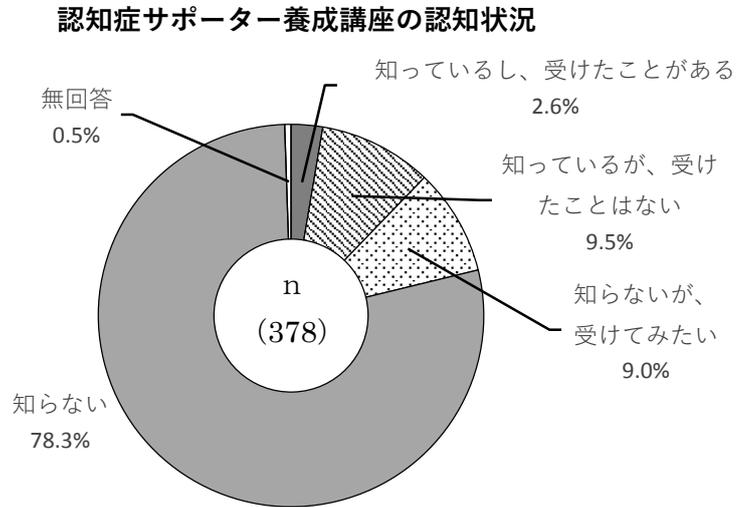
ボランティア活動を推進するために重要なこととしては、「ボランティア活動に関するいろいろな情報をもっと提供する」が47.4%で最も多く、次いで「ボランティア団体・グループに対して経済的な支援を行う」が41.0%、「ボランティア活動に対する社会的評価を促進させる」が33.3%、「ボランティアの養成・研修の機会を充実させる」が30.2%と続いています。

ボランティア活動推進のために重要なこと



あなたは、富津市が、認知症を正しく理解するための認知症サポーター養成講座を行っているのをご存じですか（問11）

認知症サポーター養成講座の認知状況については、「知らない」が78.3%で最も多く、8割近くを占めています。



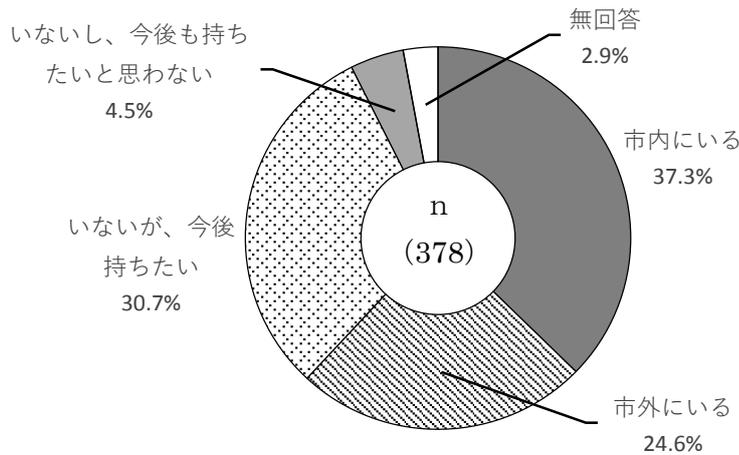
3. 生活習慣病予防について

あなたは、普段から治療を受けたり、日常の健康についての相談、指導を受けることができる、かかりつけの医師はいますか（問12）

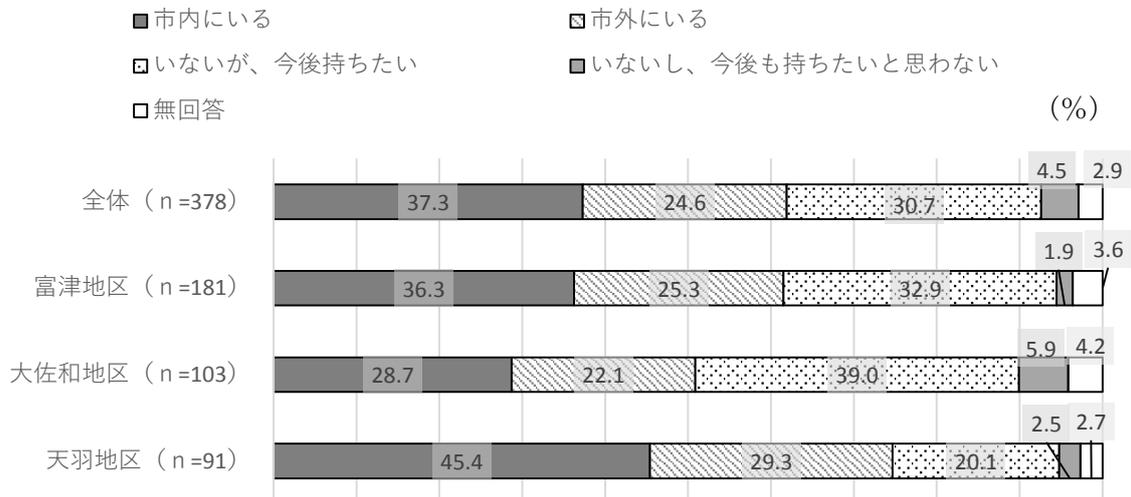
かかりつけ医師の有無については、「市内にいる」が37.3%で最も多く、「いないが、今後持ちたい」が30.7%と続いています。

圏域別にみると、「市内にいる」は天羽地区が45.4%で最も多くなっています。「いないが、今後持ちたい」は大佐和地区が39.0%で最も多くなっています。

かかりつけ医師の有無



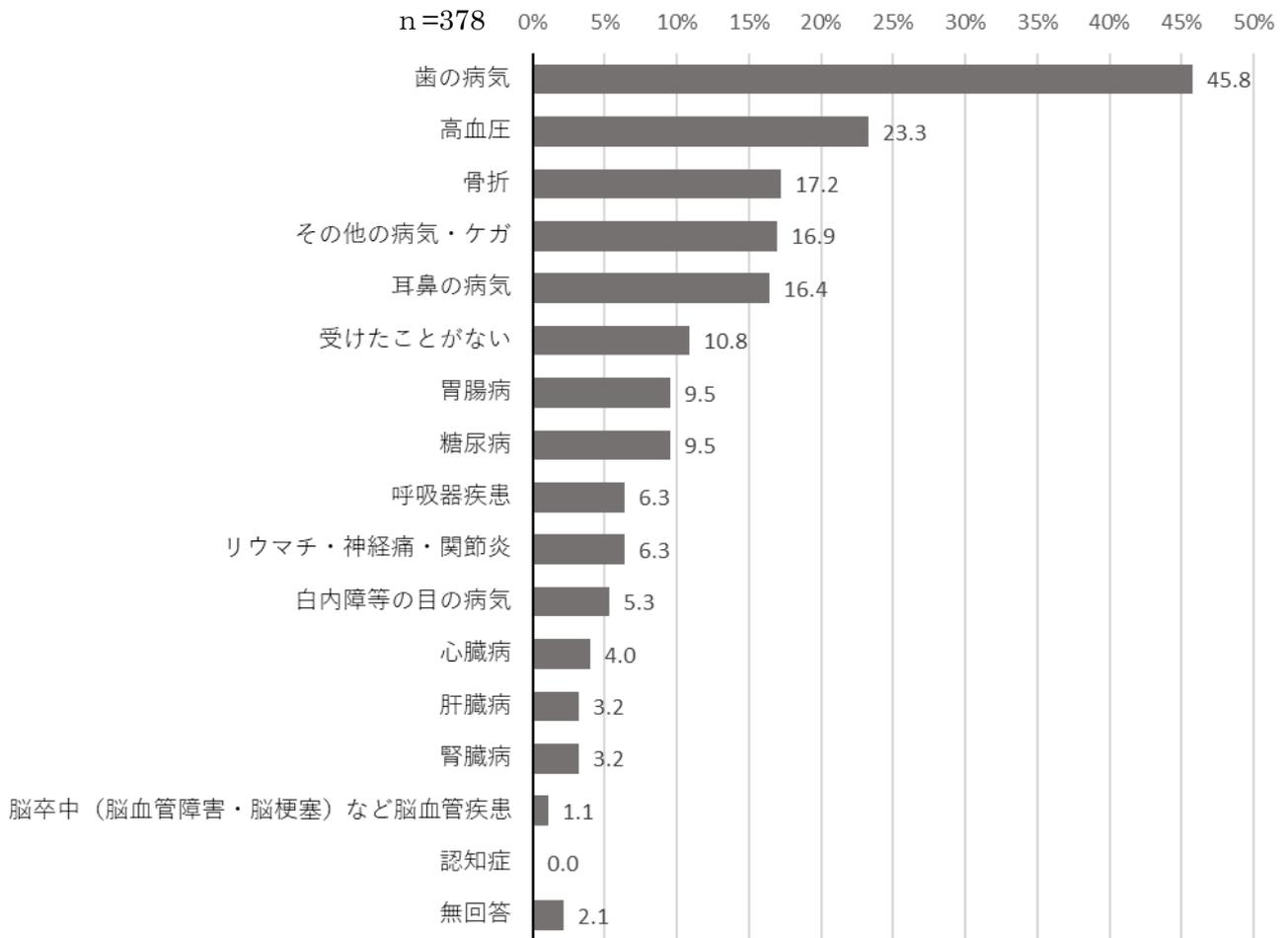
【圏域別】かかりつけ医師の有無



あなたは、これまでに次のような病気やケガで治療を受けたことがありますか（いくつでも）（問13）

病気やケガの治療有無については、「歯の病気」が45.8%で最も多く、次いで「高血圧」が23.3%、「骨折」が17.2%、「その他の病気・ケガ」が16.9%と続いています。

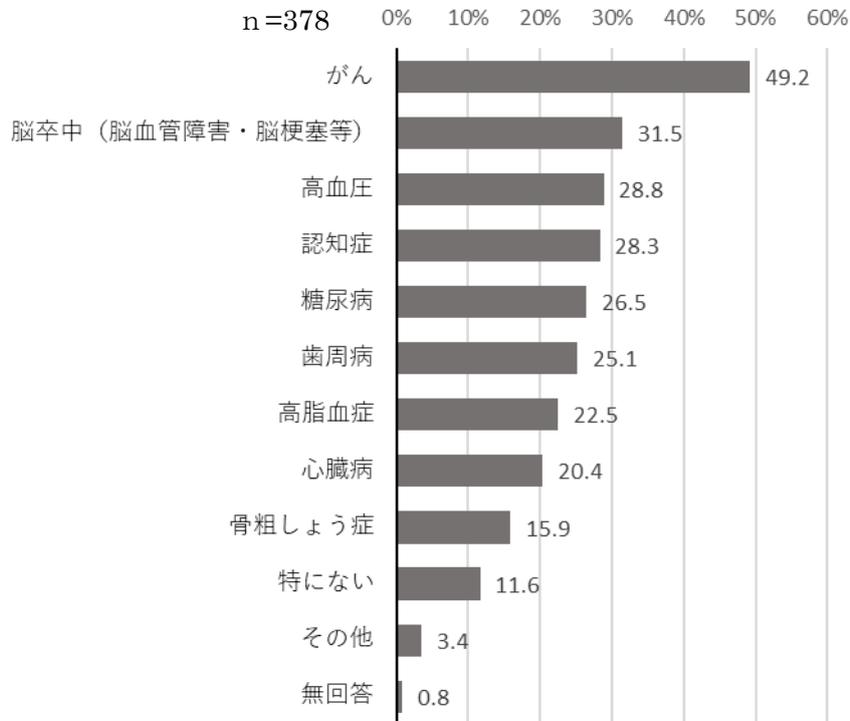
病気やケガの治療有無



あなたの生活習慣をふりかえて、心配な病気はありますか（いくつでも）（問14）

生活習慣をふりかえて心配な病気については、「がん」が49.2%で最も多く、「脳卒中（脳血管障害・脳梗塞等）」が31.5%、「高血圧」が28.8%、「認知症」が28.3%と続いています。

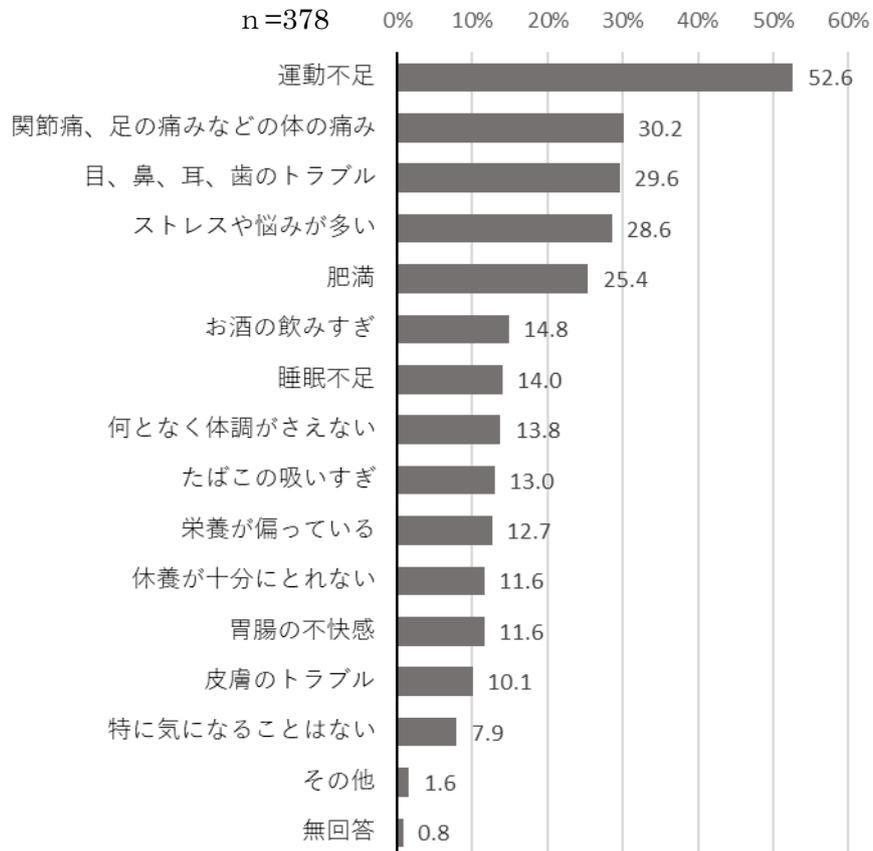
生活習慣をふりかえて心配な病気



あなたの健康で気になることはありますか（いくつでも）（問15）

健康で気になることについては、「運動不足」が52.6%で最も多く、「関節痛、足の痛みなどの体の痛み」が30.2%、「目、鼻、耳、歯のトラブル」が29.6%、「ストレスや悩みが多い」が28.6%と続いています。

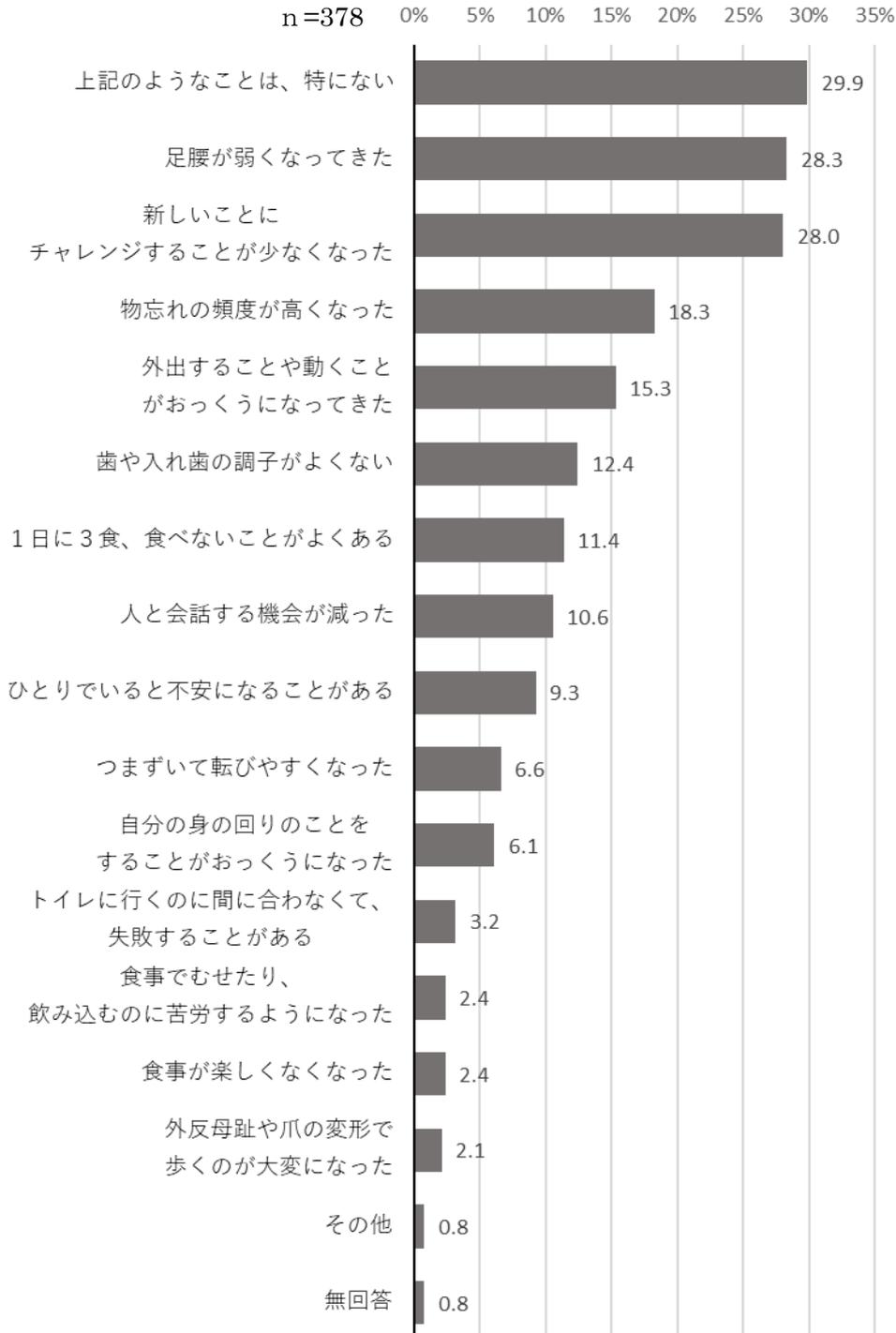
健康で気になること



あなたの日常生活で、最近あてはまるものがありますか（いくつでも）（問16）

日常生活で気になることについては、「上記のようなことは、特にない」が29.9%で最も多く、次いで「足腰が弱くなってきた」が28.3%、「新しいことにチャレンジすることが少なくなった」が28.0%、「物忘れの頻度が高くなった」が18.3%と続いています。

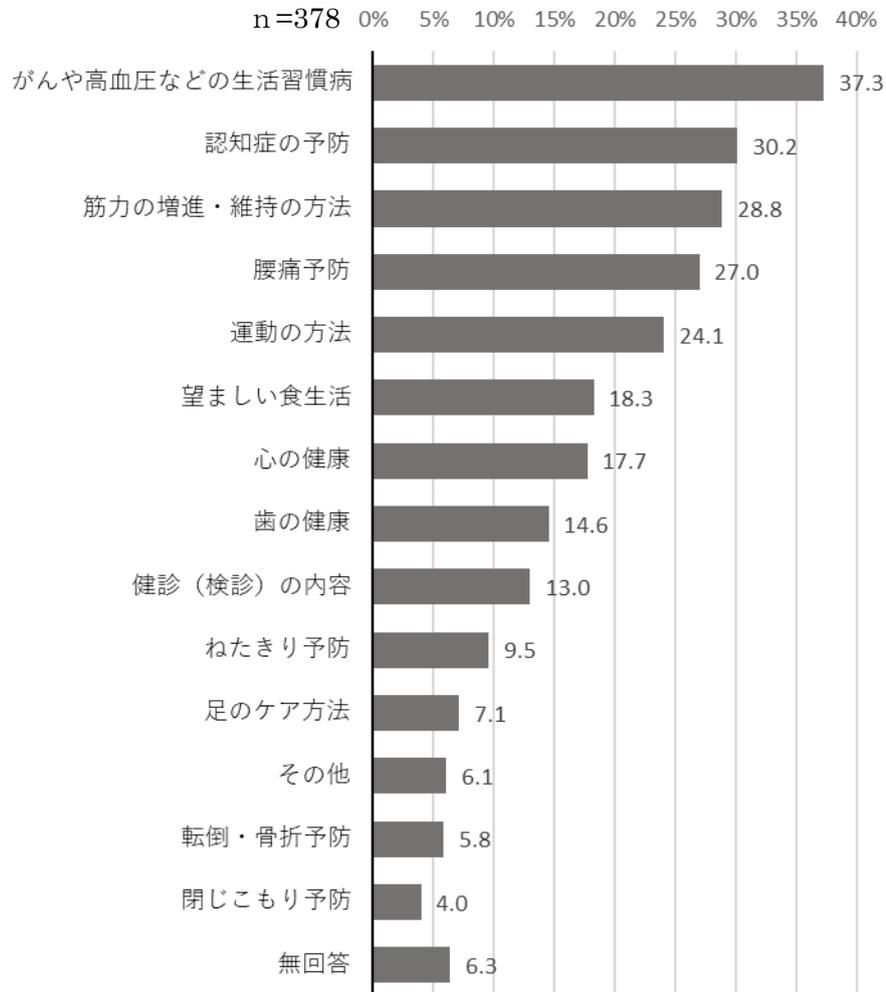
日常生活で気になること



あなたは、健康についてどのような情報が知りたいですか（いくつでも）（問17）

健康について知りたい情報については、「がんや高血圧などの生活習慣病」が37.3%で最も多く、「認知症の予防」が30.2%、「筋力の増進・維持の方法」が28.8%、「腰痛予防」が27.0%と続いています。

健康について知りたい情報

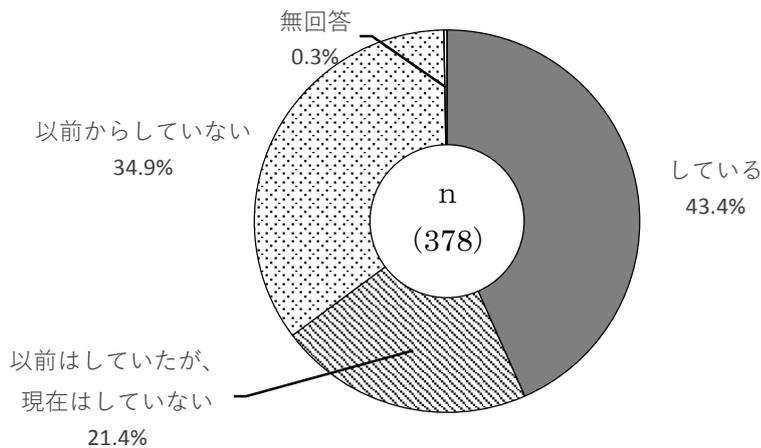


4. 運動について

あなたは日頃から、日常生活の中で健康の維持・増進のために意識的に身体を動かすなどの運動をしていますか（問18）

健康の維持・増進のための運動の実施としては、「している」が43.4%で最も多く、「以前はしていたが、現在はしていない」（21.4%）と「以前からしていない」（34.9%）を合わせた『していない』が56.3%となっています。

健康の維持・増進のための運動の実施

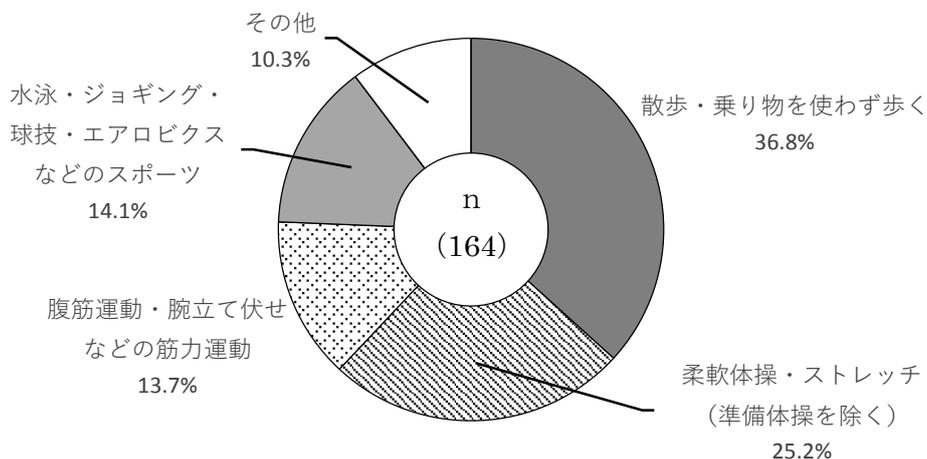


【問18で「1. している」の方のみ】

それはどのようなことですか（いくつでも）（問19）

健康の維持・増進のために実施している運動については、「散歩・乗り物を使わず歩く」が36.8%で最も多く、次いで「柔軟体操・ストレッチ（準備体操を除く）」が25.2%、「水泳・ジョギング・球技・エアロビクスなどのスポーツ」が14.1%と続いています。

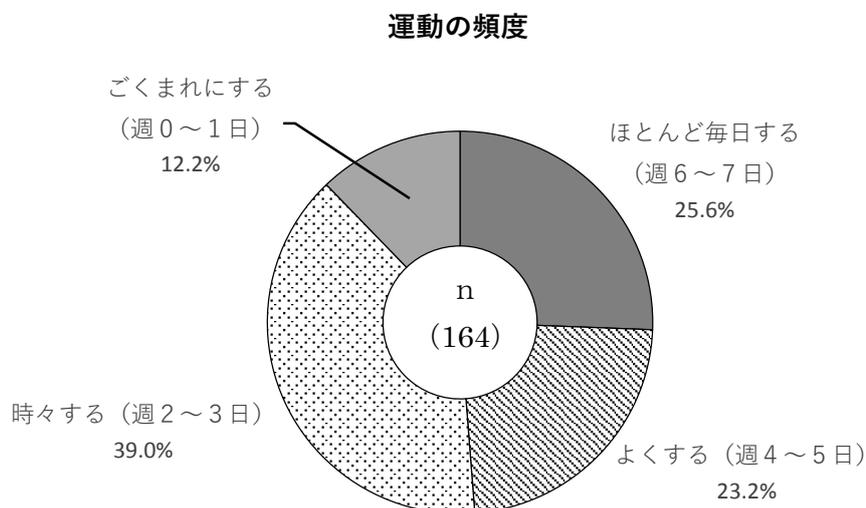
健康の維持・増進のために実施している運動



問18で「1. している」の方のみ】

平均してどのくらい運動を行っていますか（問20）

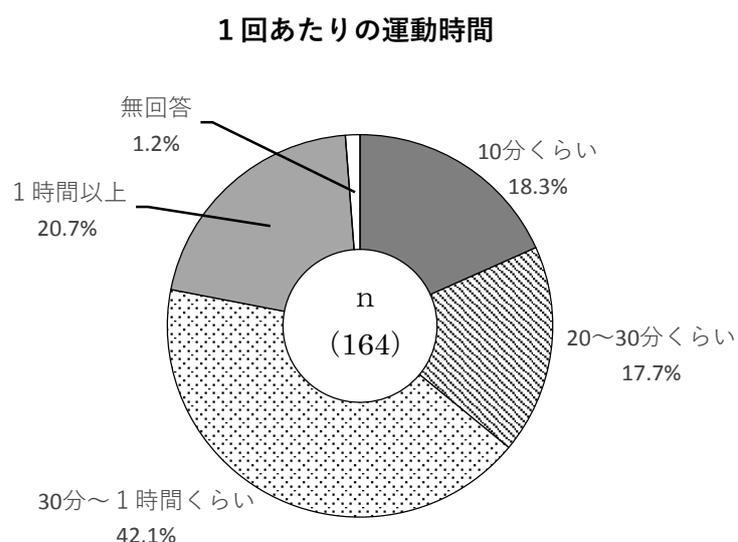
運動の頻度としては、「時々する（週2～3日）」が39.0%で最も多く、次いで「ほとんど毎日する（週6～7日）」が25.6%、「よくする（週4～5日）」が23.2%と続いています。



問18で「1. している」の方のみ】

1回あたりの運動時間はどのくらいですか（問21）

1回あたりの運動時間としては、「30分～1時間くらい」が42.1%で最も多く、次いで「1時間以上」が20.7%、「10分くらい」が18.3%と続いています。



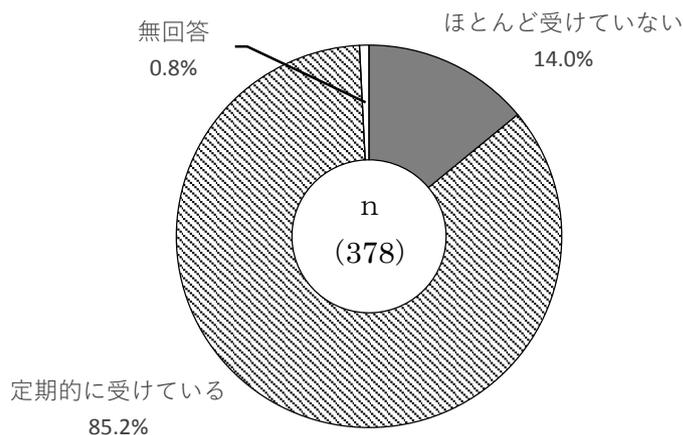
5. 健康診断・がん検診について

あなたは、健康診断（身体計測、血圧測定、血液検査、心電図等）を受けていますか（問 22）

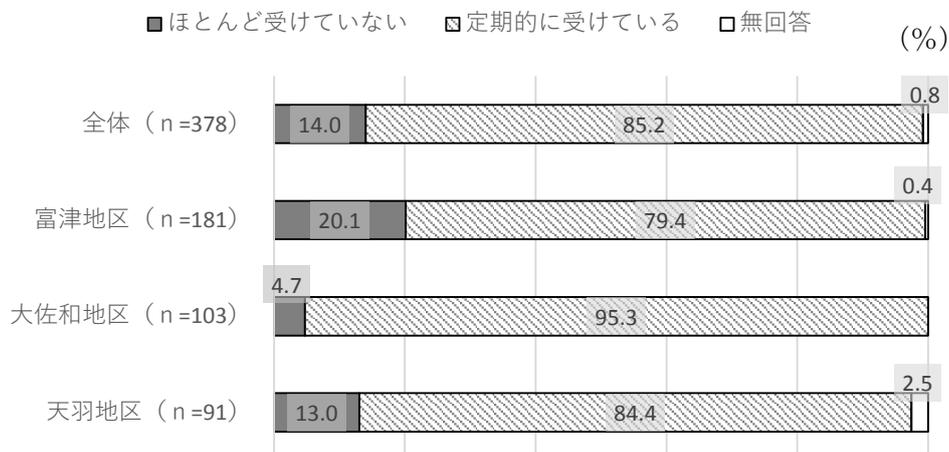
健康診断を「定期的に受けている」と答えた人は85.2%となっています。

圏域別でみると、「ほとんど受けていない」と答えた人は富津地区が20.1%で最も多くなっています。

健康診断の受診状況



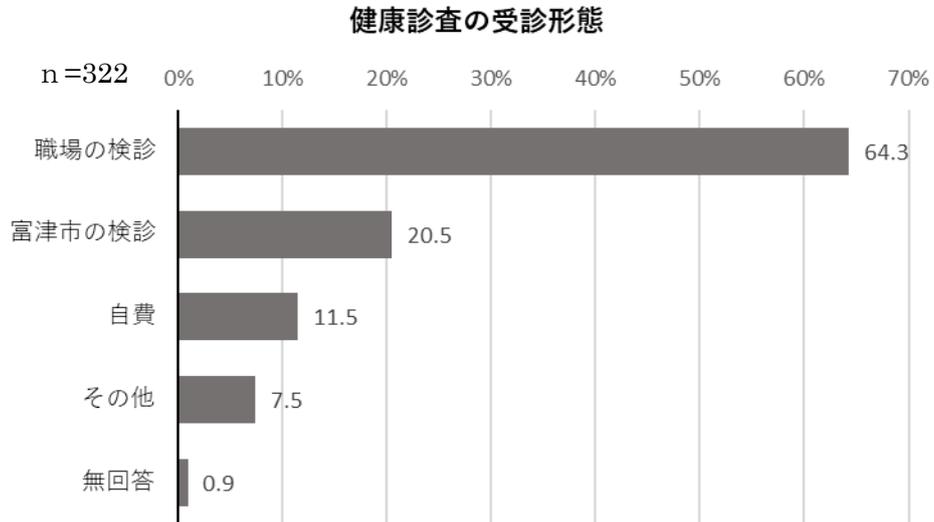
【圏域別】健康診断の受診状況



【「定期的に受けている」とお答えの方】

どの健診を受けていますか（問 22-2）

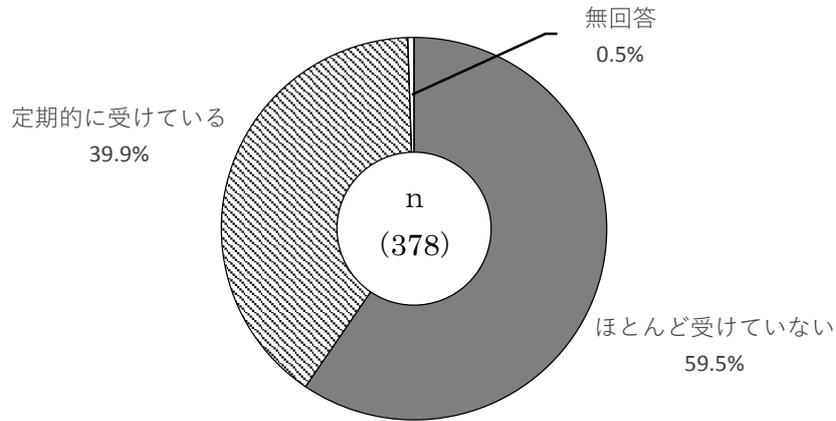
また、その受診形態は「職場の健診」が64.3%で最も多くなっています。



あなたは、胃がん検診を受けていますか（問23）

胃がん検診を「定期的に受けている」と答えた人は39.9%となっています。

胃がん検診の受診状況

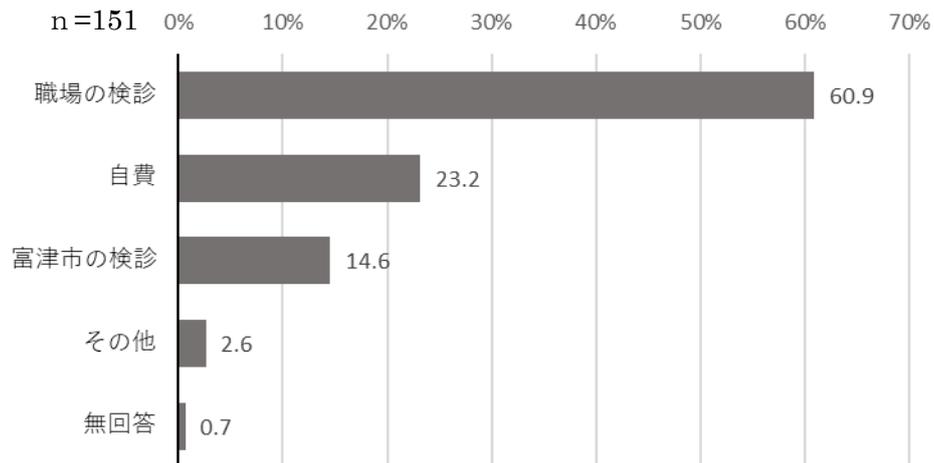


【「定期的に受けている」とお答えの方】

どの健診を受けていますか（問23-2）

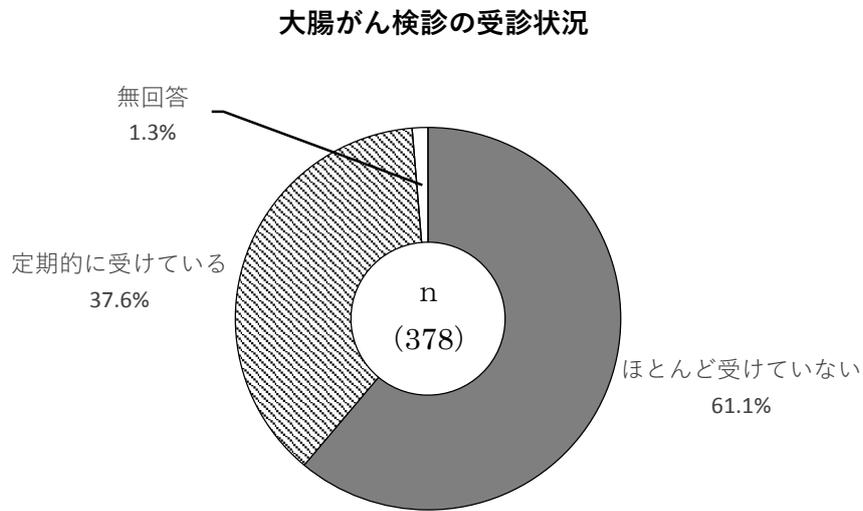
また、その受診形態は「職場の検診」が60.9%で最も多くなっています。

胃がん検診の受診形態



あなたは、大腸がん検診を受けていますか（問24）

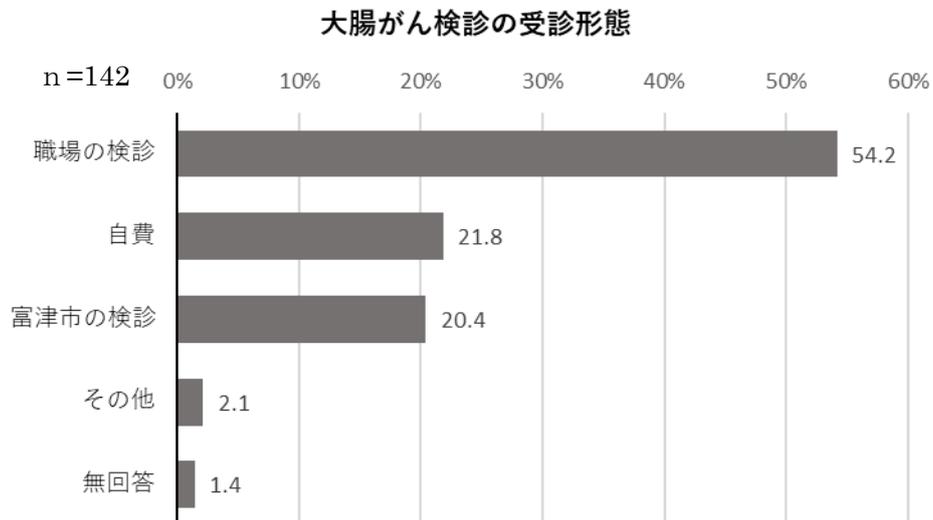
大腸がん検診を「定期的に受けている」と答えた人は37.6%となっています。



【「定期的に受けている」とお答えの方】

どの健診を受けていますか（問24-2）

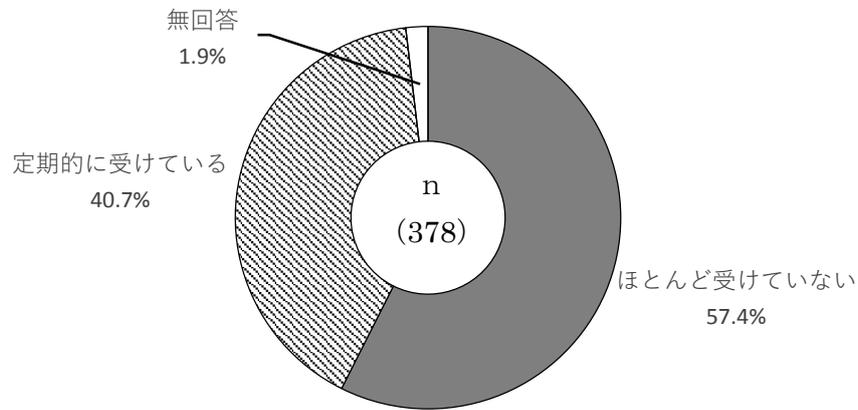
また、その受診形態は「職場の検診」が54.2%で最も多くなっています。



あなたは、肺がん検診を受けていますか（問25）

肺がん検診を「定期的に受けている」と答えた人は40.7%となっています。

肺がん検診の受診状況

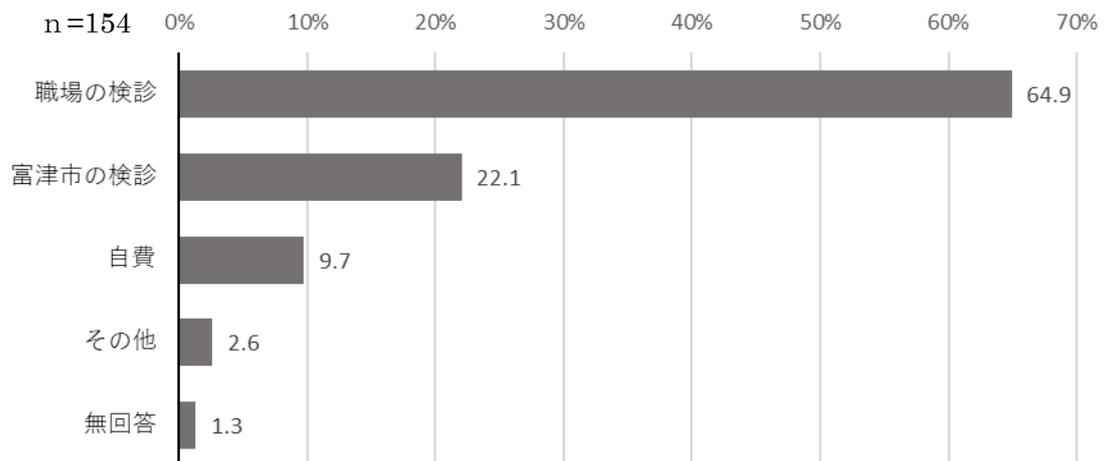


【「定期的に受けている」とお答えの方】

どの健診を受けていますか（問25-2）

また、その受診形態は「職場の検診」が64.9%で最も多くなっています。

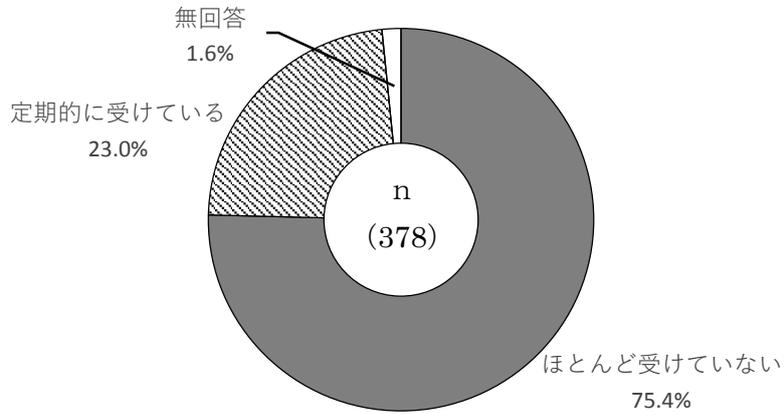
肺がん検診の受診形態



あなたは、肝炎ウイルス検診を受けていますか（問26）

肺炎ウイルス検診を「定期的を受けている」と答えた人は23.0%となっています。

肺炎ウイルス検診の受診状況

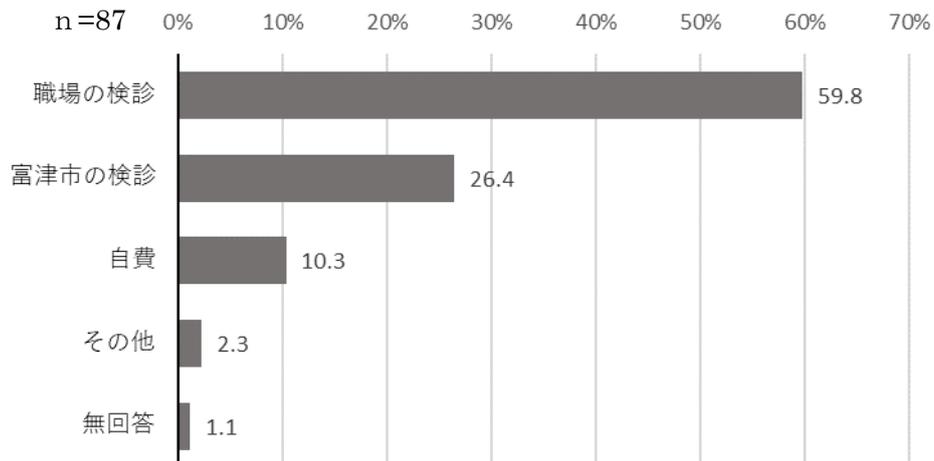


【「定期的を受けている」とお答えの方】

どの健診を受けていますか（問26-2）

また、その受診形態は「職場の検診」が59.8%で最も多くなっています。

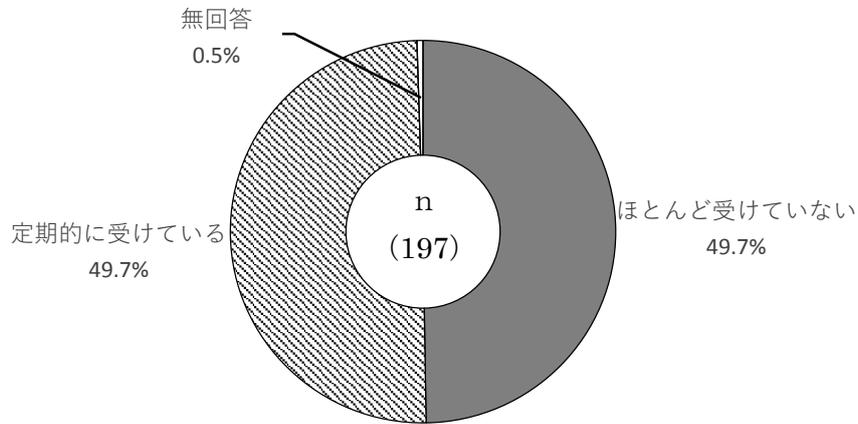
肺炎ウイルス検診の受診形態



あなたは、乳がん検診（女性のみ）を受けていますか（問27）

乳がん検診を「定期的に受けている」と答えた人は49.7%となっています。

乳がん検診の受診状況

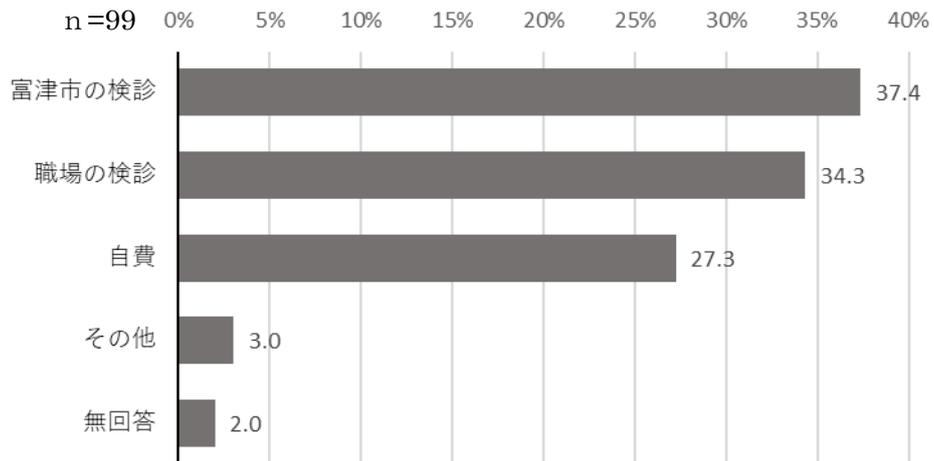


【「定期的に受けている」とお答えの方】

どの健診を受けていますか（問27-2）

また、その受診形態は「富津市の検診」が37.4%で最も多くなっています。

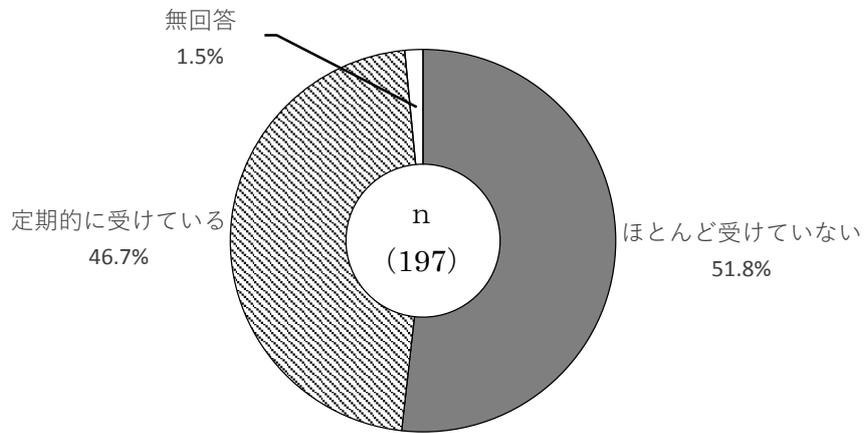
乳がん検診の受診形態



あなたは、子宮がん検診（女性のみ）を受けていますか（問28）

子宮がん検診を「定期的に受けている」と答えた人は46.7%となっています。

子宮がん検診の受診状況

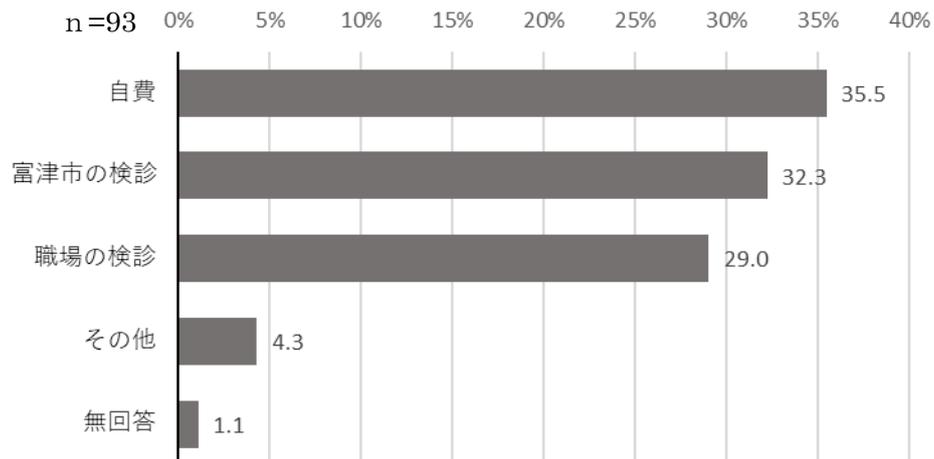


【「定期的に受けている」とお答えの方】

どの健診を受けていますか（問28-2）

また、その受診形態は「自費」が35.5%で最も多くなっています。

子宮がん検診の受診形態

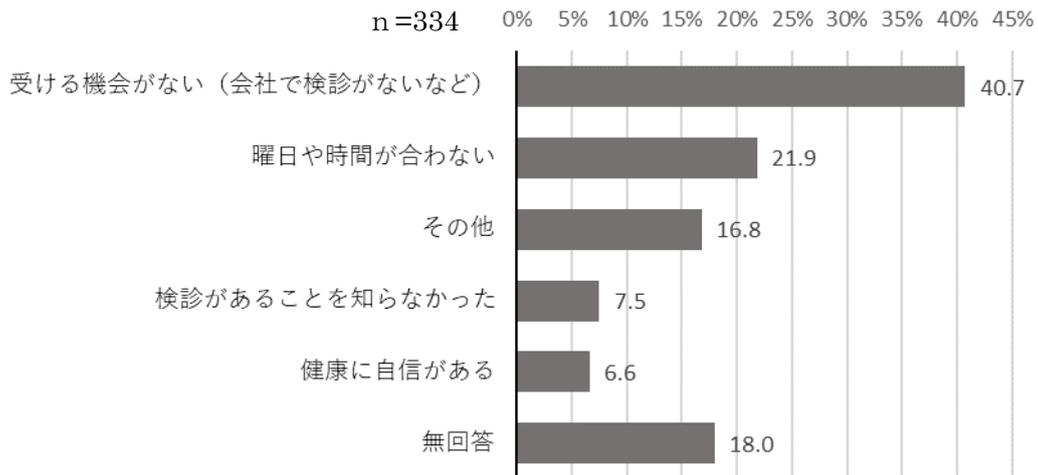


【問22～28でどれかひとつでも「1. ほとんど受けていない」の方のみ】

受けない理由は何ですか（いくつでも）（問29）

各種検（健）診を1つでも「ほとんど受けていない」という人に、その理由を聞いたところ、「受ける機会がない（会社で検診がないなど）」が40.7%で最も多く、「曜日や時間が合わない」が21.9%と続いています。

健診・検診を受けない理由

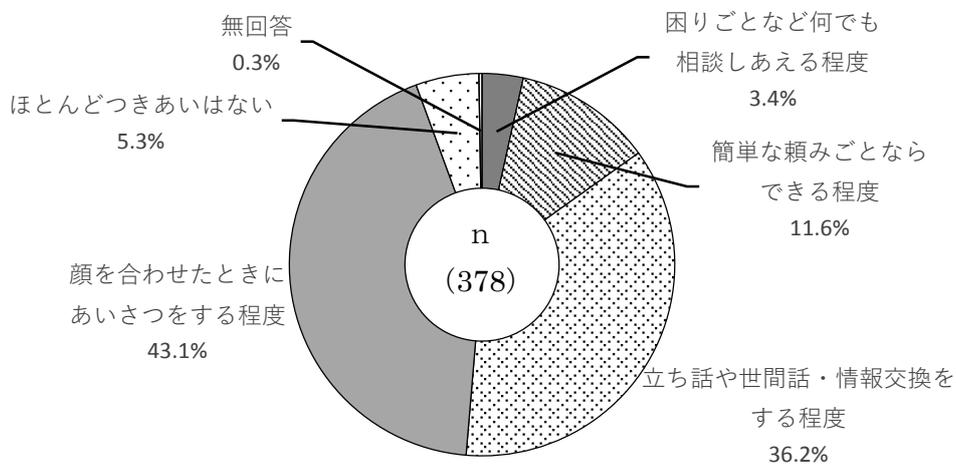


6. 地域との交流について

あなたは、ふだん隣近所の人とどの程度の交流がありますか（問30）

隣近所の人との交流状況を見ると、「顔を合わせたときにあいさつをする程度」が43.1%で最も多く、「立ち話や世間話・情報交換をする程度」が36.2%と続いています。

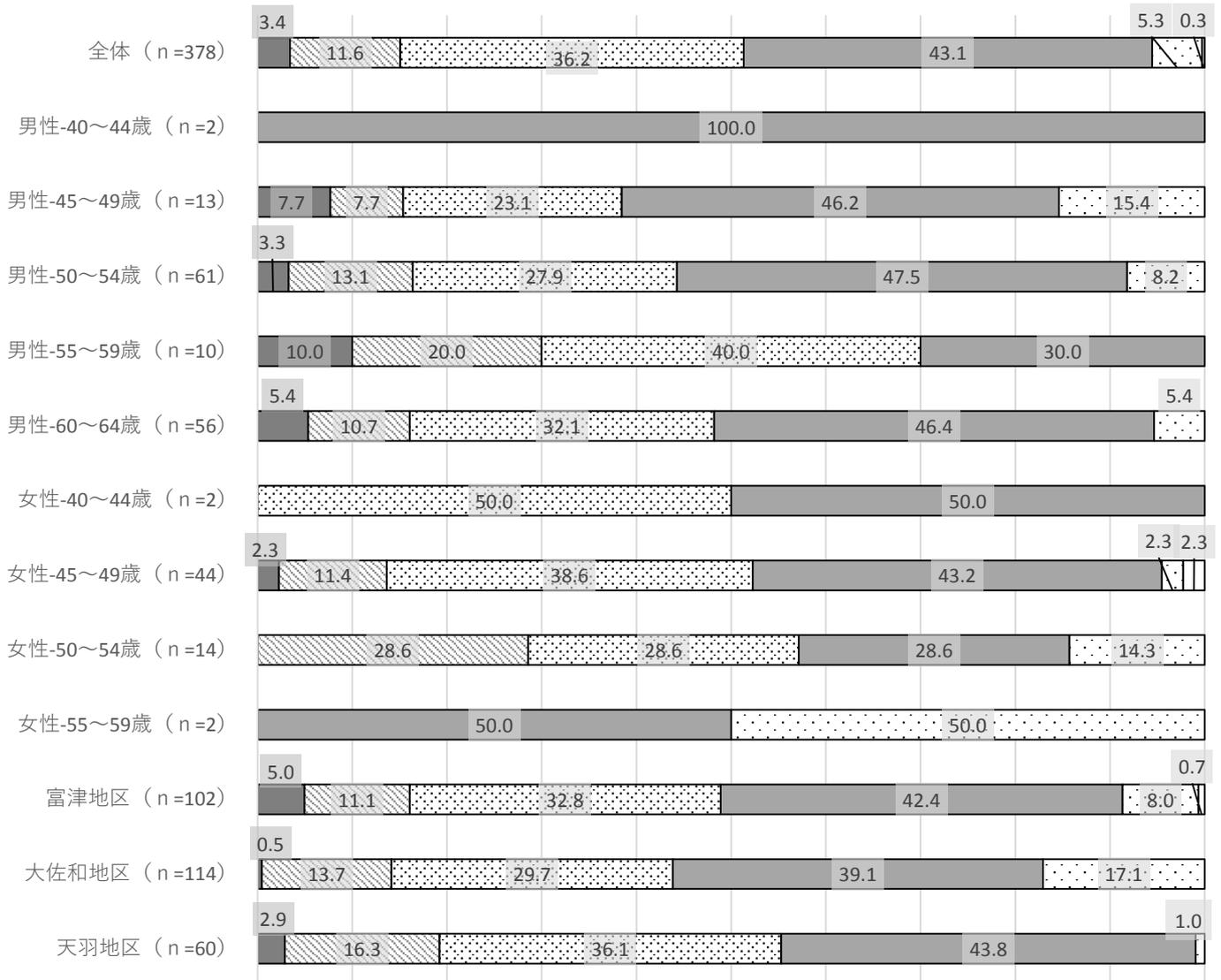
隣近所の人との交流状況



性・年齢別にみると、「ほとんどつきあいはない」は男性-45～49歳が15.4%で最も多くなっています。
 圏域別にみると、「ほとんどつきあいはない」は大佐和地区が17.1%で最も多くなっています。

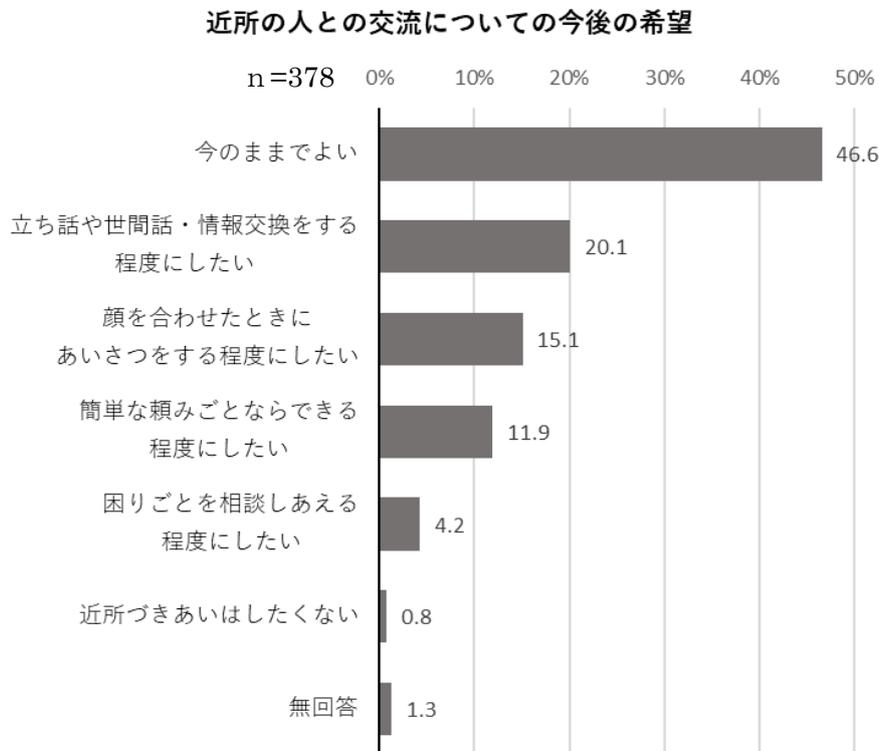
【性・年齢・圏域別】隣近所の人との交流状況

- 困りごとなど何でも相談しあえる程度
- ▨ 簡単な頼みごとならできる程度
- ▤ 立ち話や世間話・情報交換をする程度
- 顔を合わせたときにあいさつをする程度
- ほとんどつきあいはない
- 無回答



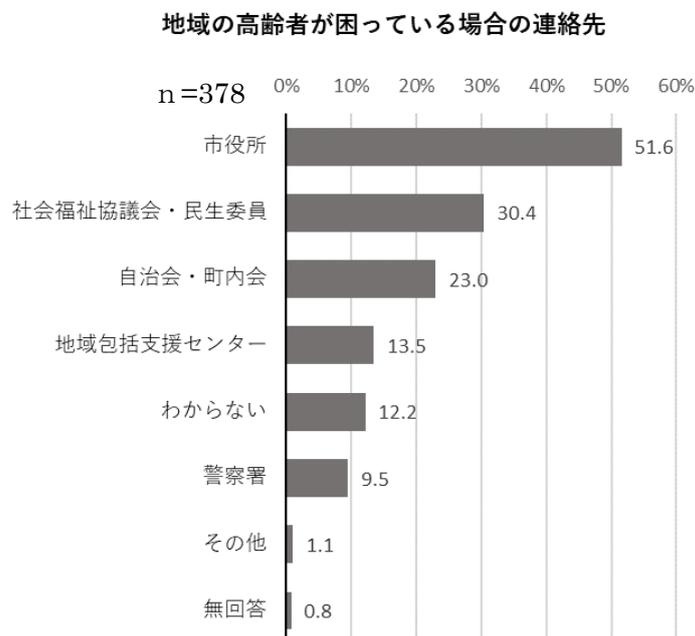
近所の人との交流について、今後はどのようにしたいですか（問31）

近所の人との交流についての今後の希望としては、「今のままでよい」が46.6%で最も多く、次いで「立ち話や世間話・情報交換をする程度にしたい」が20.1%、「顔を合わせたときにあいさつをする程度にしたい」が15.1%と続いています。



地域の高齢者が困っている人がいた場合は、どこに連絡しますか（いくつでも）（問32）

地域の高齢者が困っている場合の連絡先をみると、「市役所」が51.6%で最も多く、「社会福祉協議会・民生委員」が30.4%、「自治会・町内会」が23.0%と続いています。

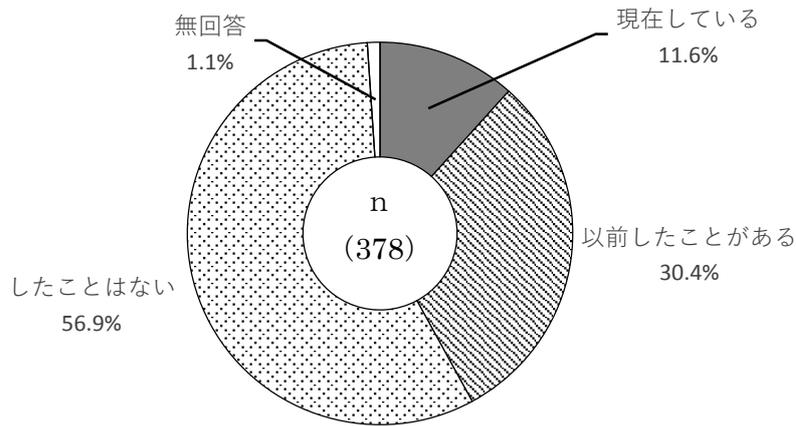


7. 介護の経験について

あなたは、ご家族などの介護をしたことがありますか（問33）

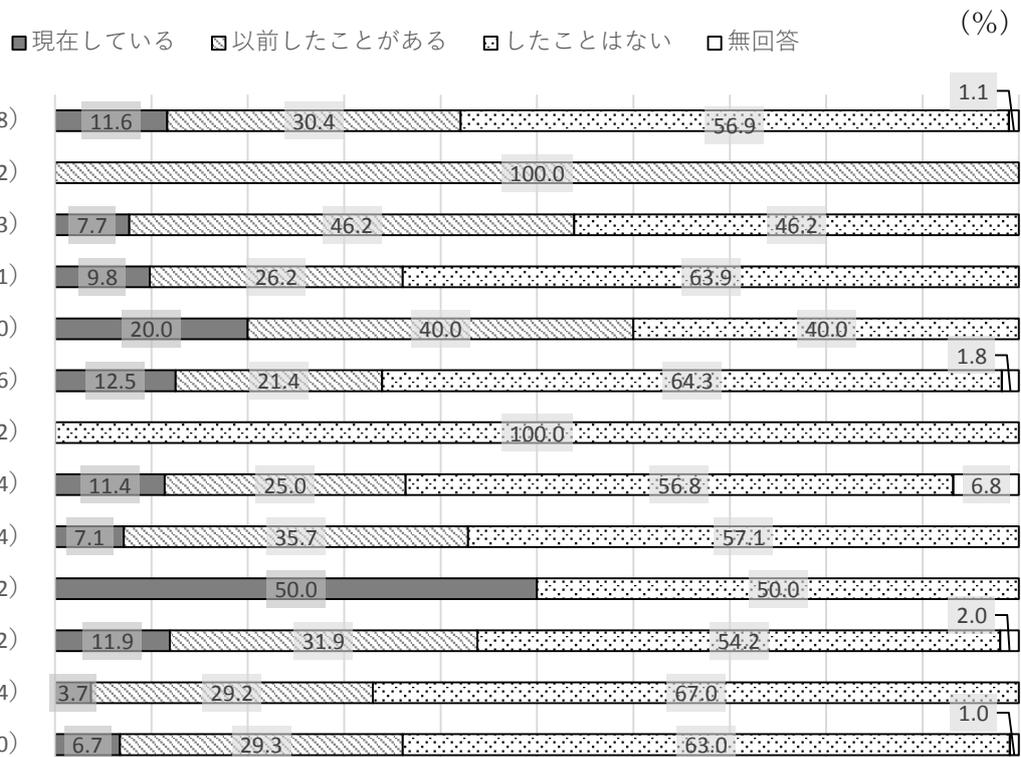
家族などの介護の経験としては、「したことはない」が56.9%で最も多くなっています。「現在している」(11.6%)と「以前したことがある」(30.4%)を合わせた『介護経験がある』は42.0%となっています。

家族などの介護の経験



性・年齢別にみると、「現在している」と「以前したことがある」を合わせた『介護経験がある』割合は、男性40～44歳を除けば男性55～59歳が60.0%で最も多くなっています。

【性・年齢・圏域別】家族などの介護の経験

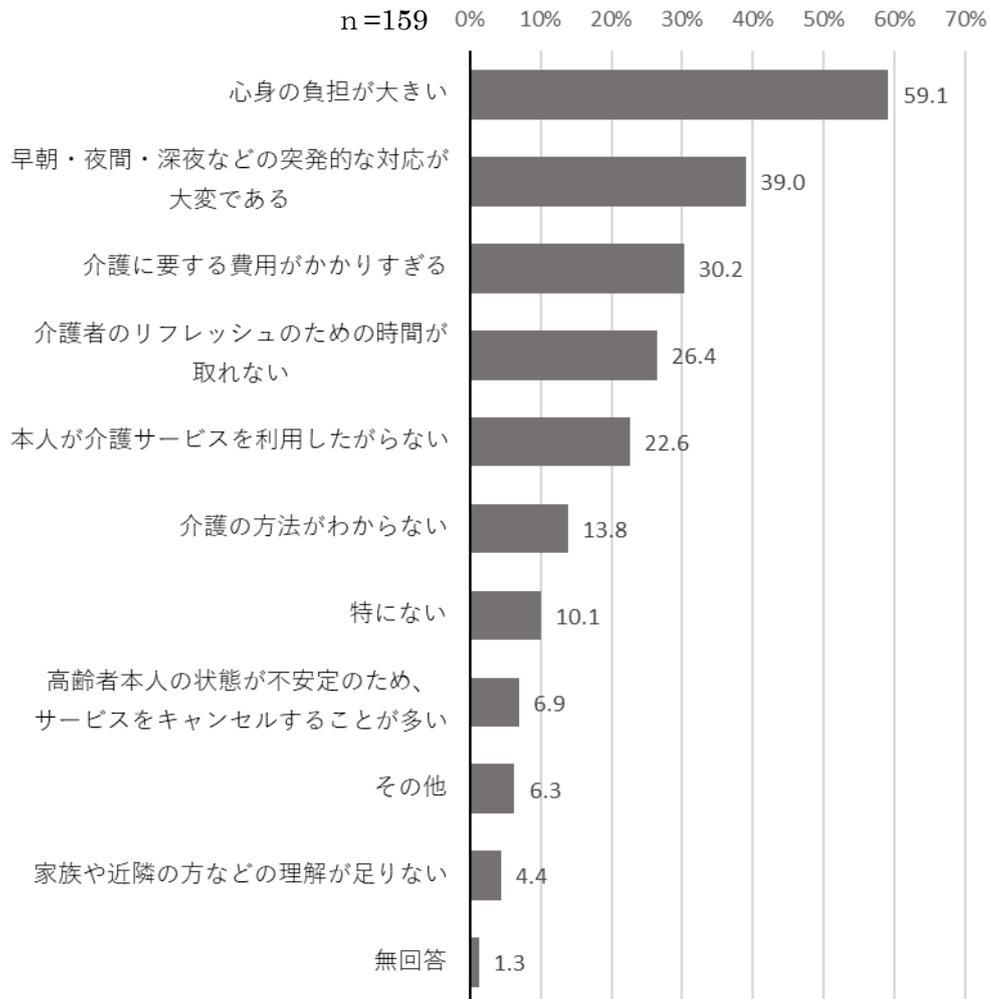


【問33で「1. 現在している」、「2. 以前したことがある」の方のみ】

介護を行う上で困っていること（困ったこと）は何ですか（いくつでも）（問34）

介護経験のある人に、介護を行う上で困っていることを聞いたところ、「心身の負担が大きい」が59.1%で最も多く、次いで「早朝・夜間・深夜などの突発的な対応が大変である」が39.0%、「介護に要する費用がかかりすぎる」が30.2%、「介護者のリフレッシュのための時間が取れない」が26.4%と続いています。

介護を行う上で困っていること

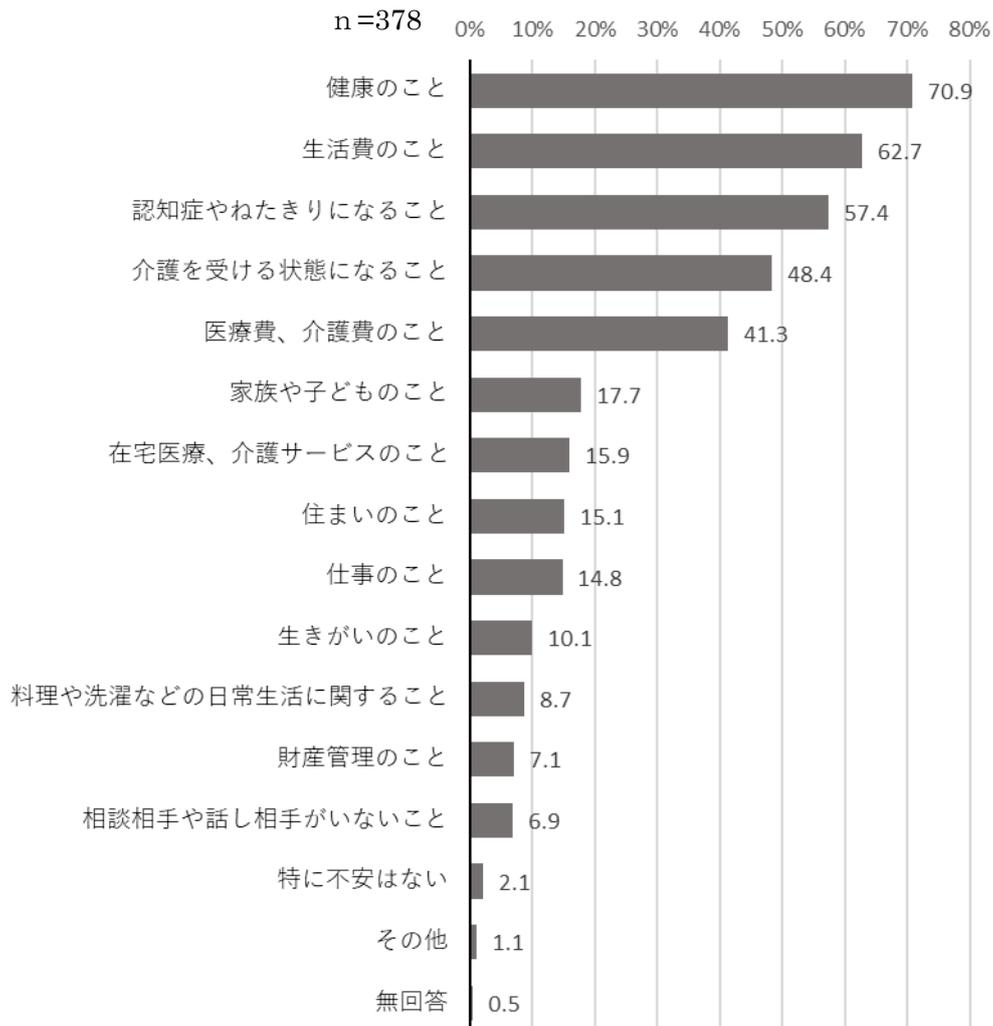


8. 老後について

あなたは、老後において何が問題になると考えていますか（5つまで）（問35）

老後において問題となることとしては、「健康のこと」が70.9%で最も多く、次いで「生活費のこと」が62.7%、「認知症やねたきりになること」が57.4%、「介護を受ける状態になること」が48.4%と続いています。

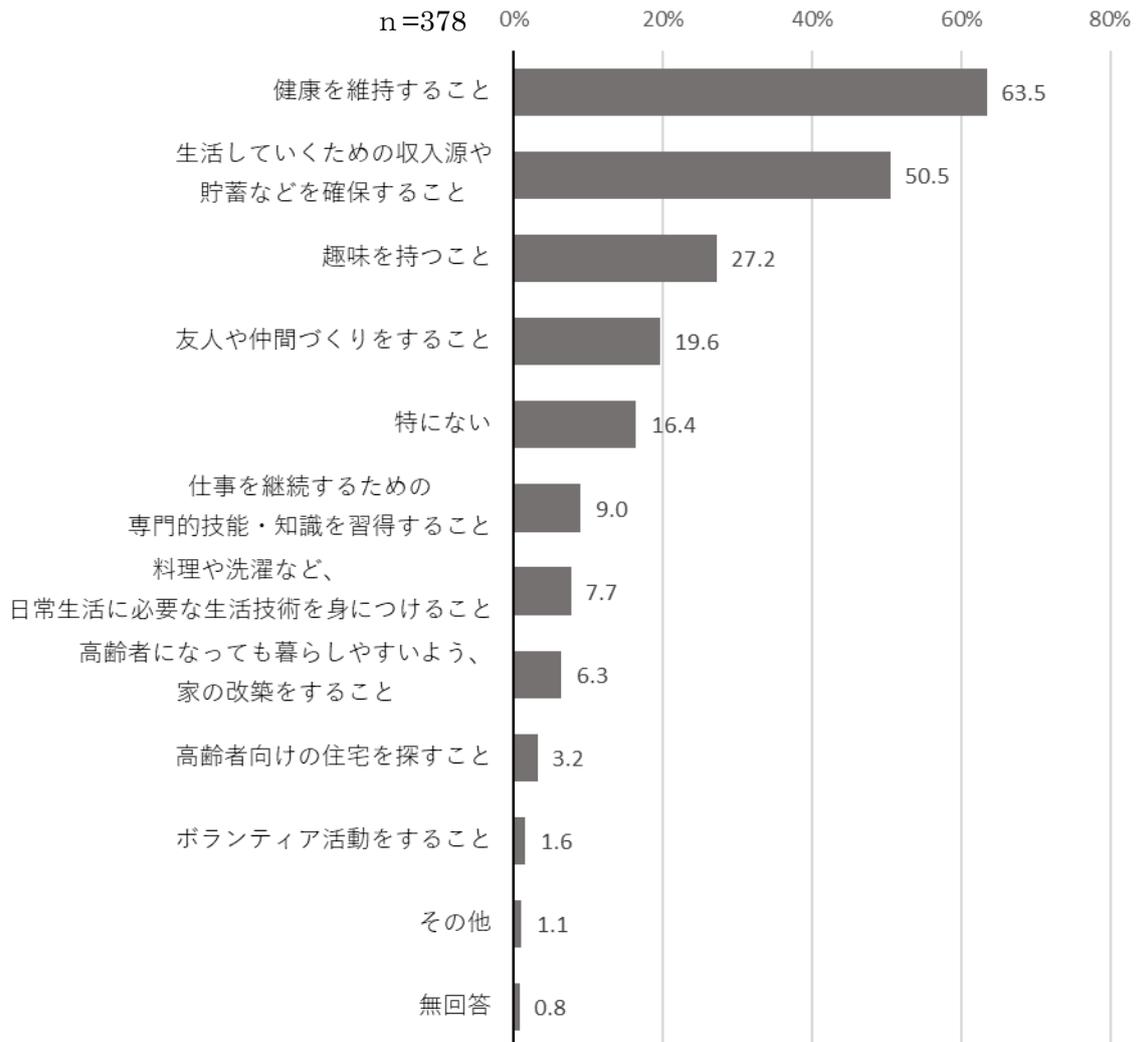
老後において問題になること



あなたは、老後の生活に備えて、現在どのようなことをしていますか（問36）

老後の生活に備えて現在していることとしては、「健康を維持すること」が63.5%で最も多く、次いで「生活していくための収入源や貯蓄などを確保すること」が50.5%、「趣味を持つこと」が27.2%、「友人や仲間づくりをすること」が19.6%と続いています。

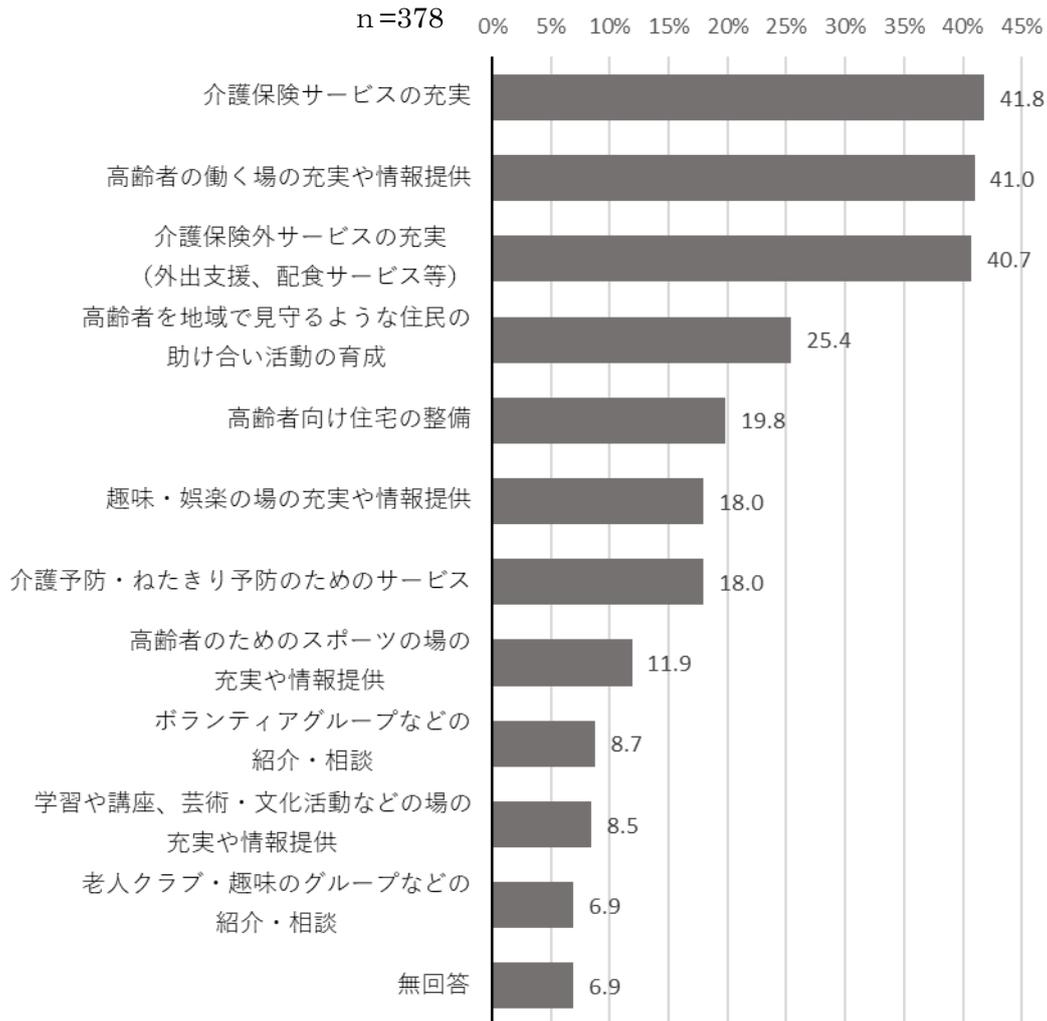
老後の生活に備えて現在していること



**市は住み慣れた地域で生活していくため、どのようなことに力を入れるべきだと思いますか（3つまで）
（問 37）**

高齢社会に対応していくために市が力を入れるべきこととしては、「介護保険サービスの充実」が41.8%で最も多く、次いで「高齢者の働く場の充実や情報提供」が41.0%、「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」が40.7%、「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」が25.4%と続いています。

高齢社会に対応していくために市が力を入れるべきこと



【性・年齢・圏域別】上位5項目 高齢社会に対応していくために市が力を入れるべきこと

■性・年齢別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性 40～44歳 n=3	「趣味・娯楽の場の充実や情報提供」「老人クラブ・趣味のグループなどの紹介・相談」「高齢者向け住宅の整備」		66.7	「高齢者の働く場の充実や情報提供」「学習や講座、芸術・文化活動などの場の充実や情報提供」 他3項目 33.3	
45～49歳 n=21	「高齢者の働く場の充実や情報提供」「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」		47.6	「介護保険サービスの充実」 38.1	「趣味・娯楽の場の充実や情報提供」「介護予防・ねたきり予防のためのサービス」 他1項目 23.8
50～54歳 n=54	「高齢者の働く場の充実や情報提供」「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」		40.7	「介護保険サービスの充実」 38.9	「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」 24.1 「高齢者向け住宅の整備」 20.4
55～59歳 n=10	「高齢者の働く場の充実や情報提供」 50.0	「介護保険サービスの充実」 40.0	「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」 30.0		「趣味・娯楽の場の充実や情報提供」 20.0
60～64歳 n=56	「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」 41.1	「高齢者の働く場の充実や情報提供」 39.3	「介護保険サービスの充実」 37.5	「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」 26.8	「趣味・娯楽の場の充実や情報提供」 19.6
女性 40～44歳 n=8	「高齢者の働く場の充実や情報提供」 75.0	「介護保険サービスの充実」 62.5	「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」 37.5	「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」 25.0	「趣味・娯楽の場の充実や情報提供」 12.5
45～49歳 n=50	「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」 46.0	「介護保険サービスの充実」 44.0	「高齢者の働く場の充実や情報提供」 42.0	「高齢者向け住宅の整備」 34.0	「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」 26.0
50～54歳 n=57	「高齢者の働く場の充実や情報提供」 49.1	「介護保険サービスの充実」 38.6	「趣味・娯楽の場の充実や情報提供」 29.8	「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」 28.1	「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」 24.6
55～59歳 n=14	「介護保険サービスの充実」 57.1	「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」 42.9	「高齢者向け住宅の整備」 28.6	「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」「介護予防・ねたきり予防のためのサービス」 21.4	
60～64歳 n=3	「高齢者の働く場の充実や情報提供」「介護保険外サービスの充実（外出支援、配食サービス等）」 66.7		「趣味・娯楽の場の充実や情報提供」「高齢者を地域で見守るような住民の助け合い活動の育成」「介護保険サービスの充実」他1項目 33.3		

(%)

■圏域別

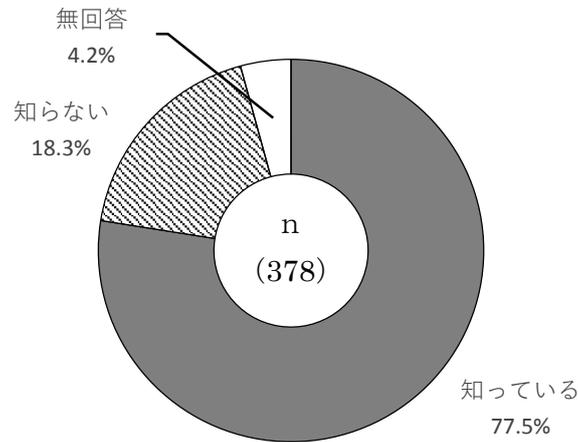
	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
富津地区 n=181	「高齢者の働く場の 充実や情報提供」 43.0	「介護保険サービス の充実」 41.1	「介護保険外サービ スの充実（外出支援、 配食サービス等）」 36.6	「介護予防・ねたきり 予防のためのサービ ス」 22.8	「高齢者を地域で見 守るような住民の助 け合い活動の育成」 21.1
大佐和地区 n=103	「介護保険サービス の充実」 46.3	「高齢者の働く場の 充実や情報提供」 45.2	「介護保険外サービ スの充実（外出支援、 配食サービス等）」 41.7	「高齢者を地域で見 守るような住民の助 け合い活動の育成」 31.8	「趣味・娯楽の場の充 実や情報提供」 21.3
天羽地区 n=91	「介護保険外サービ スの充実（外出支援、 配食サービス等）」 44.0	「介護保険サービス の充実」 41.3	「高齢者の働く場の 充実や情報提供」 37.3	「高齢者を地域で見 守るような住民の助 け合い活動の育成」 23.7	「高齢者向け住宅の 整備」 22.2

9. 災害発生時の対応について

あなたは、地震などの災害発生時の避難所がどこかご存知ですか（問 38）

災害発生時の避難場所の認識状況をみると、「知らない」が18.3%となっています。

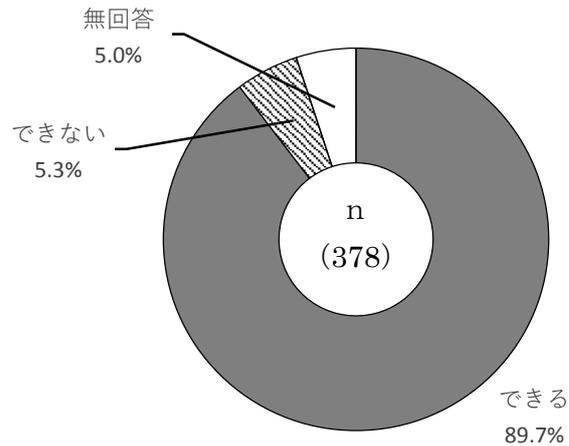
災害発生時の避難所の認識



あなたは、地震などの災害発生時に、ご自宅から避難所まで自力で避難ができますか（問 39）

自力避難の可否についてみると、「できない」が5.3%となっています。

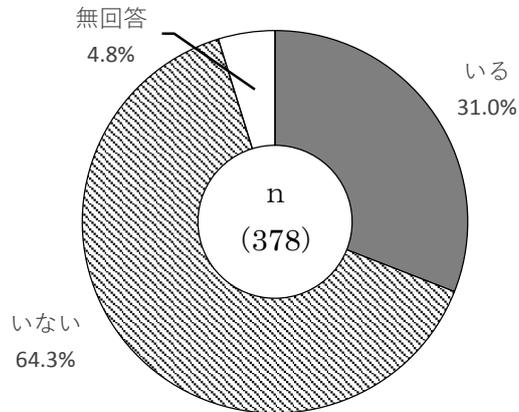
自力避難の可否



あなたは、地震などの災害発生時の避難を助けてくれる家族以外の特定の方はいですか（問40）

避難を助けてくれる家族以外の方の存在の有無については、「いない」が64.3%となっています。

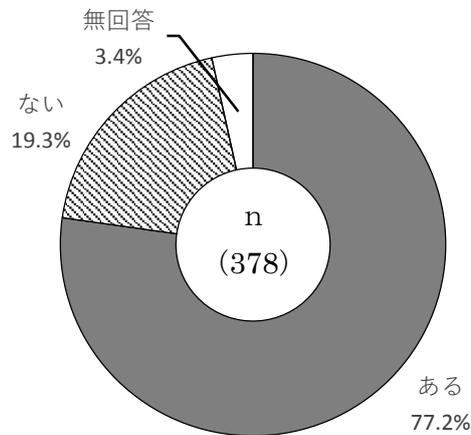
避難を助けてくれる家族以外の方の存在の有無



あなたのご自宅には、常時3日程度の食料がありますか（冷蔵庫内の食料を含む）（問41）

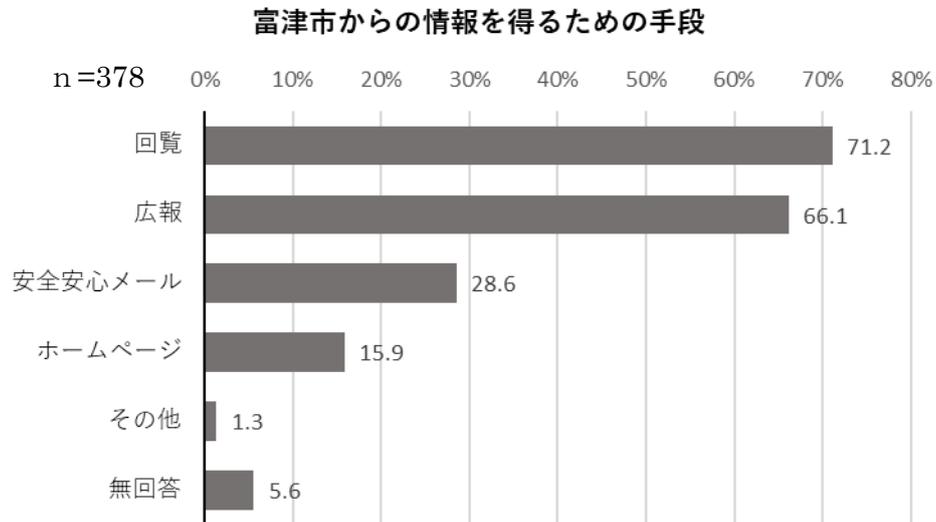
常時3日程度の食料の有無については、「ない」が19.3%となっています。

常時3日程度の食料の有無



富津市からの情報を得るための方法として、利用しているものはありますか（いくつでも）（問42）

富津市からの情報を得るための手段については、「回覧」が71.2%で最も多く、次いで「広報」が66.1%、「安全安心メール」が28.6%と続いています。

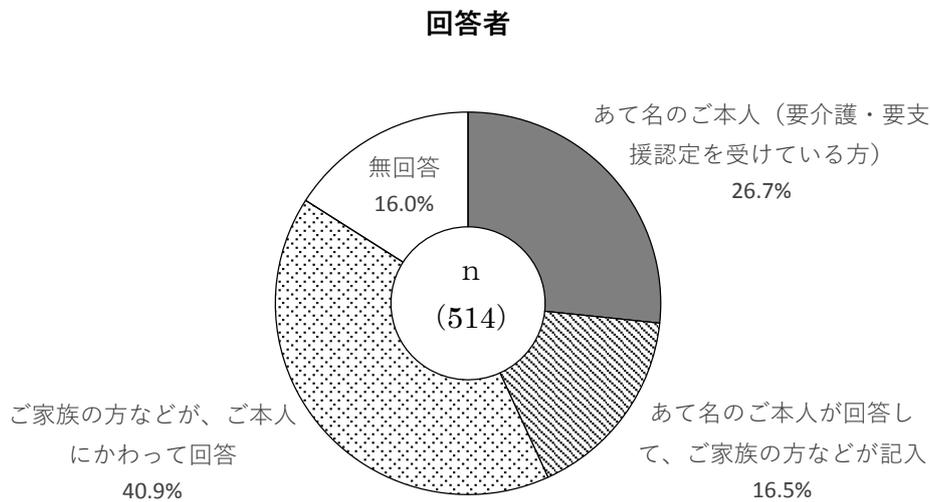


第4章 居宅サービス利用者に関する調査結果

1. 調査票の回答者について

このアンケートに答えていただくのはどなたですか（問1）

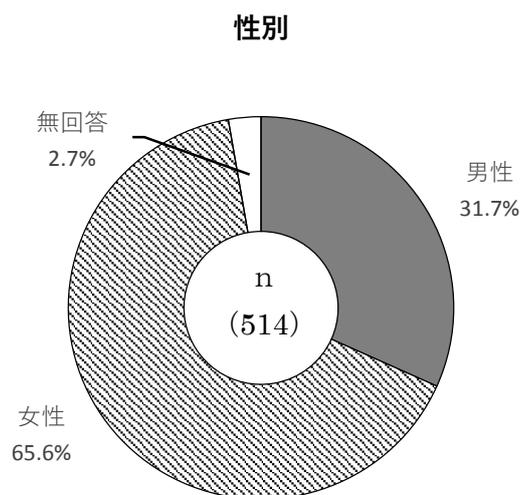
回答者は、「ご家族の方などが、ご本人にかわって回答」が40.9%で最も多く、次いで「あて名のご本人（要介護・要支援認定を受けている方）」が26.7%、「あて名のご本人が回答して、ご家族の方などが記入」が16.5%と続いています。



2. あて名のご本人について

あなたの性別をお答えください（問2）

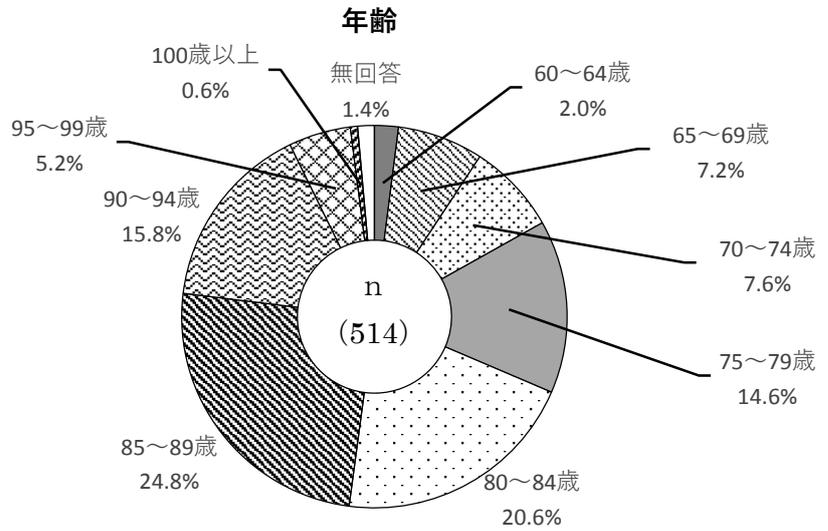
性別は、「男性」が31.7%、「女性」が65.6%となっています。



平成29年2月10日現在のあなたの年齢をお答えください（問3）

年齢は、「85～89歳」が24.8%で最も多く、次いで「80～84歳」が20.6%、「90～94歳」が15.8%と続いています。『60歳未満』の内訳は下表のとおりです。

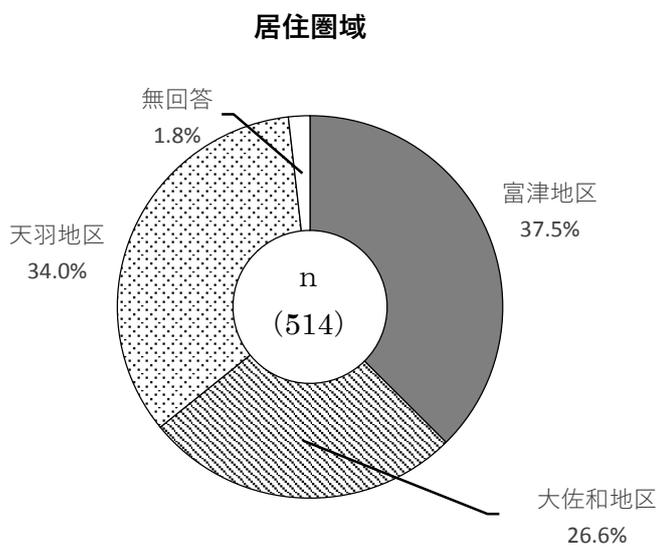
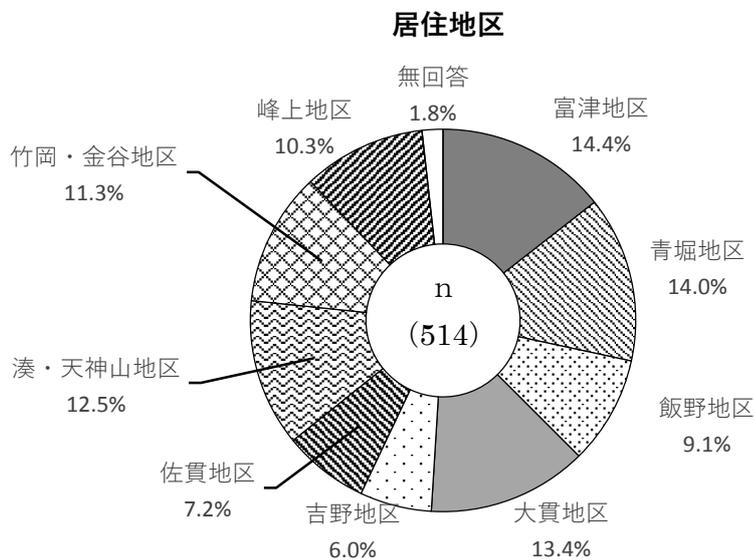
年齢	構成比 (%)
40～44歳	0.0
45～49歳	0.6
50～54歳	0.4
55～59歳	1.8



あなたのお住まいの地区はどちらですか（問4）

居住地区は、「富津地区」が14.4%で最も多く、次いで「青堀地区」が14.0%、「大貫地区」が13.4%と続いています。

居住圏域は、富津地区が37.5%で最も多く、次いで天羽地区が34.0%、大佐和地区が26.6%と続いています。

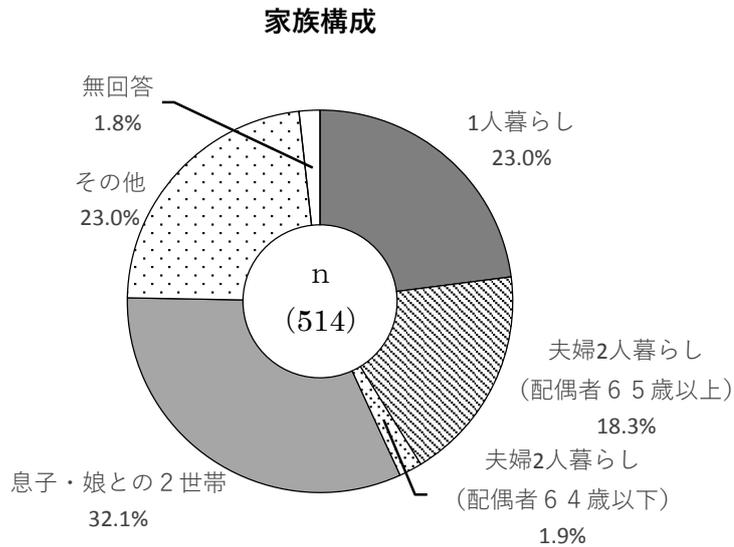


3. ご家族や生活状況について

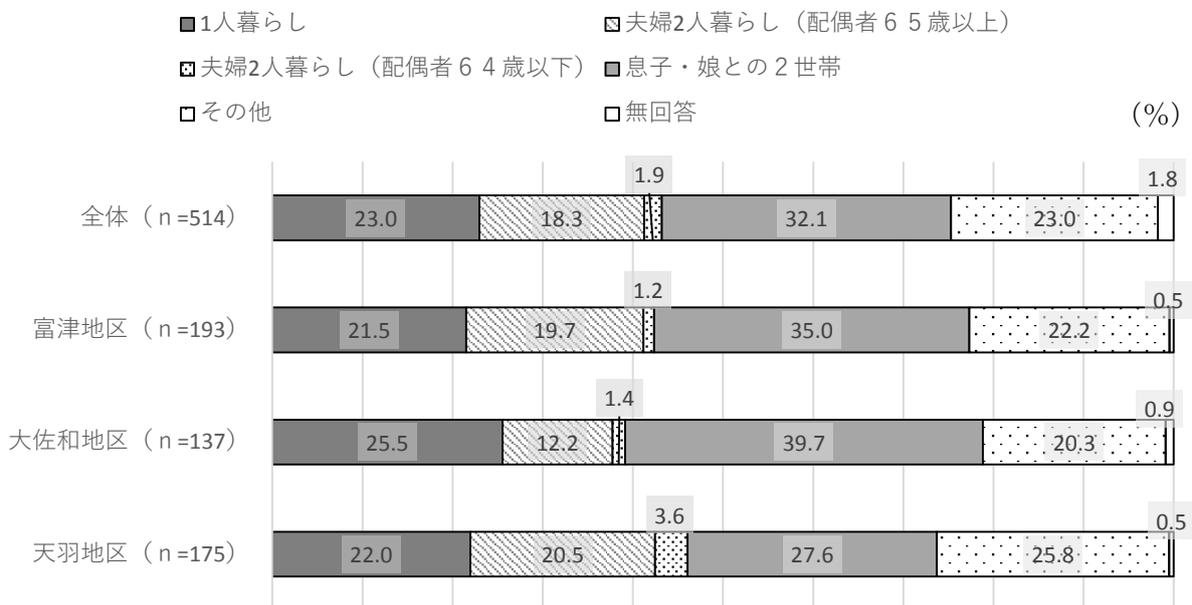
家族構成をお教えてください（問5）

家族構成としては、「息子・娘との2世帯」が32.1%で最も多く、次いで「1人暮らし」が23.0%、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が18.3%と続いています。

圏域別にみると、「1人暮らし」は大佐和地区（25.5%）で最も多くなっています。



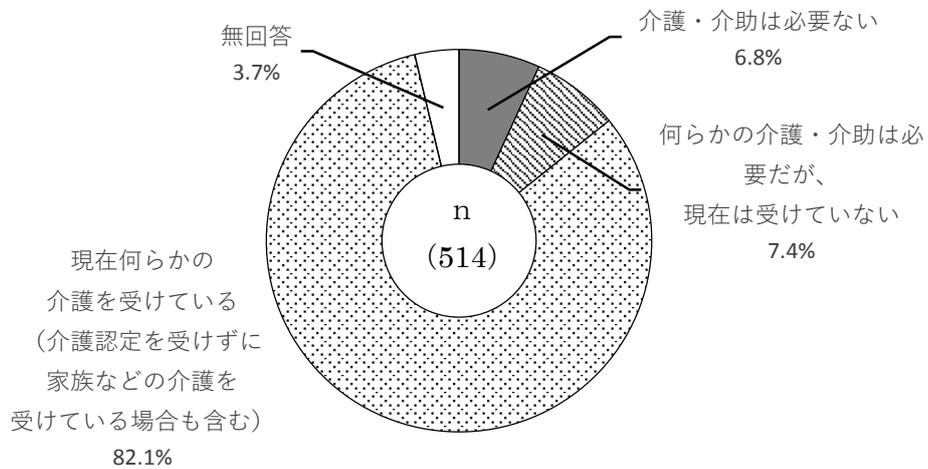
【圏域別】家族構成



あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか（問6）

介護・介助の必要の有無についてみると、「現在何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）」が82.1%で最も多く、8割近くを占めています。

介護・介助の必要性

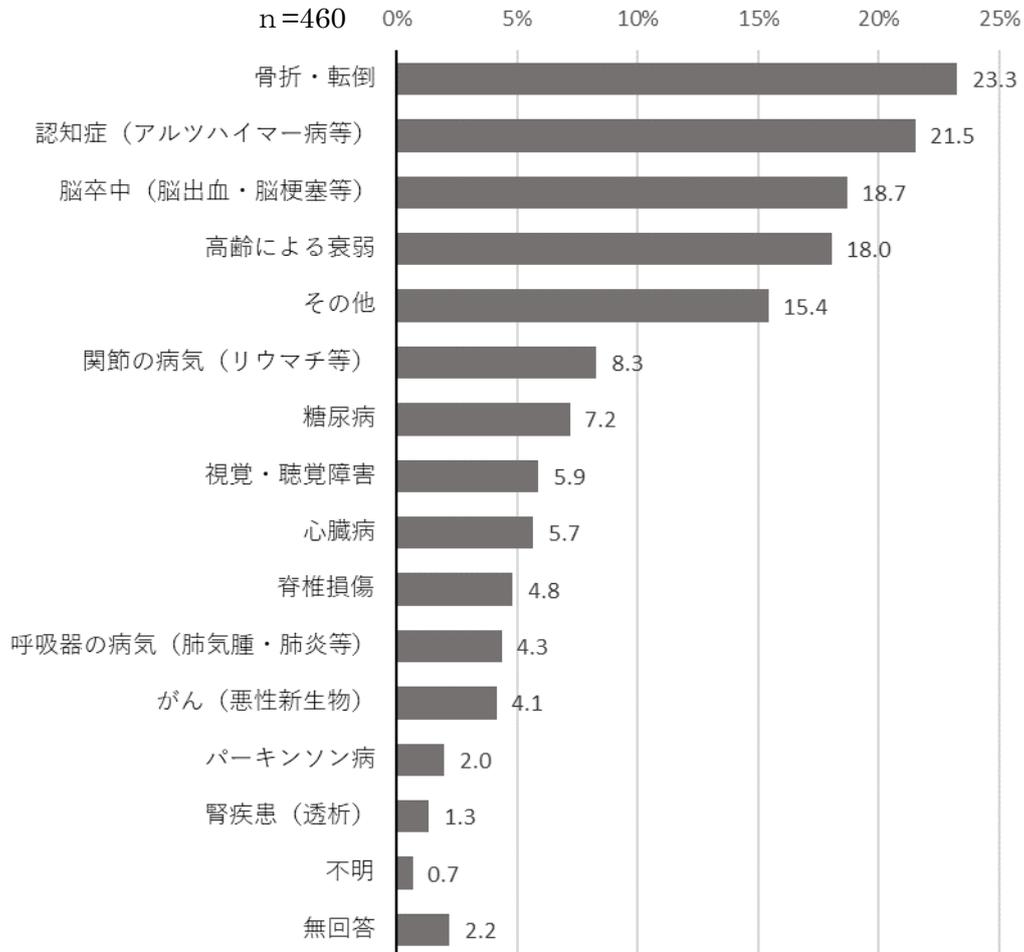


【問6で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（問7）

介護・介助が必要になった主な原因としては、「骨折・転倒」が23.3%で最も多く、次いで「認知症（アルツハイマー病等）」が21.5%、「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が18.7%と続いています。

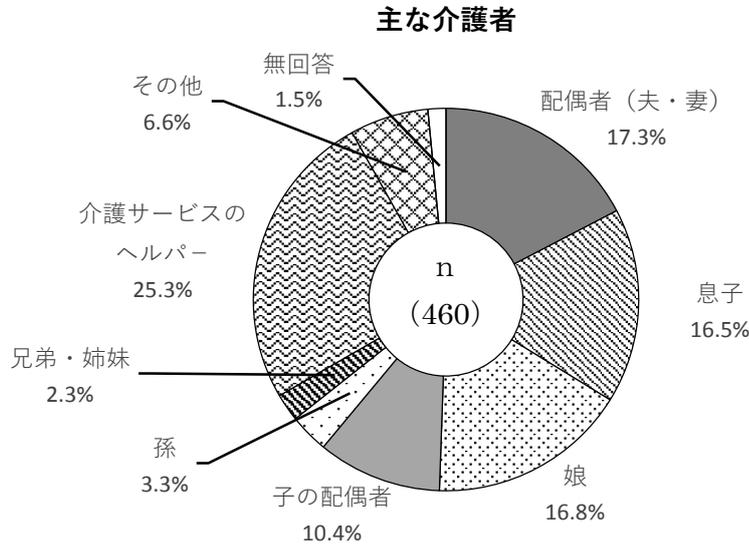
介護・介助の原因



【問6で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）（問8）

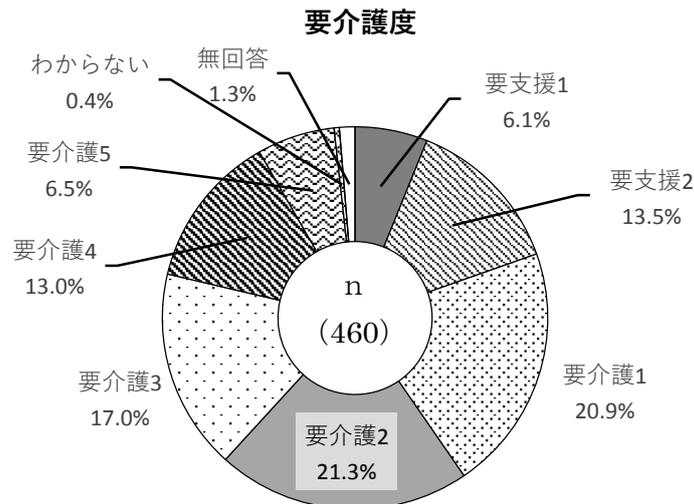
主な介護者としては、「配偶者（夫・妻）」が17.3%で最も多く、次いで「娘」が16.8%、「息子」が16.5%と続いています。



【問6で「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】

あなたの要介護度は、次のどれですか（問9）

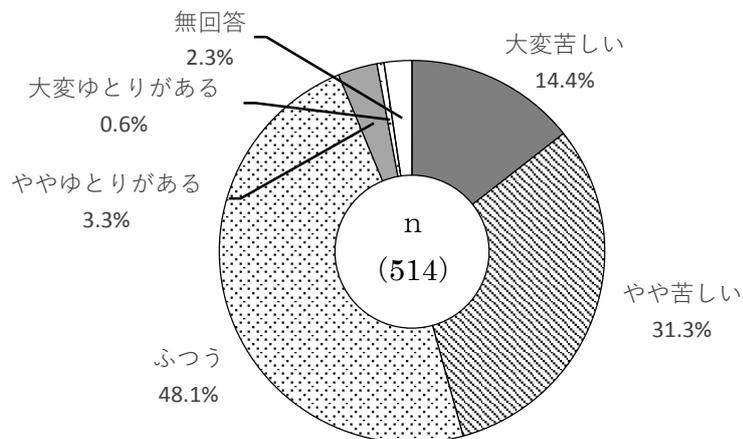
要介護度は、「要介護2」が21.3%で最も多く、次いで「要介護1」が20.9%、「要介護3」が17.0%と続いています。



現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（問10）

現在の暮らしの経済的状況をみると、「ふつう」が48.1%で最も多く、「大変苦しい」（14.4%）と「やや苦しい」（31.3%）を合わせた『苦しい』が45.7%となっています。

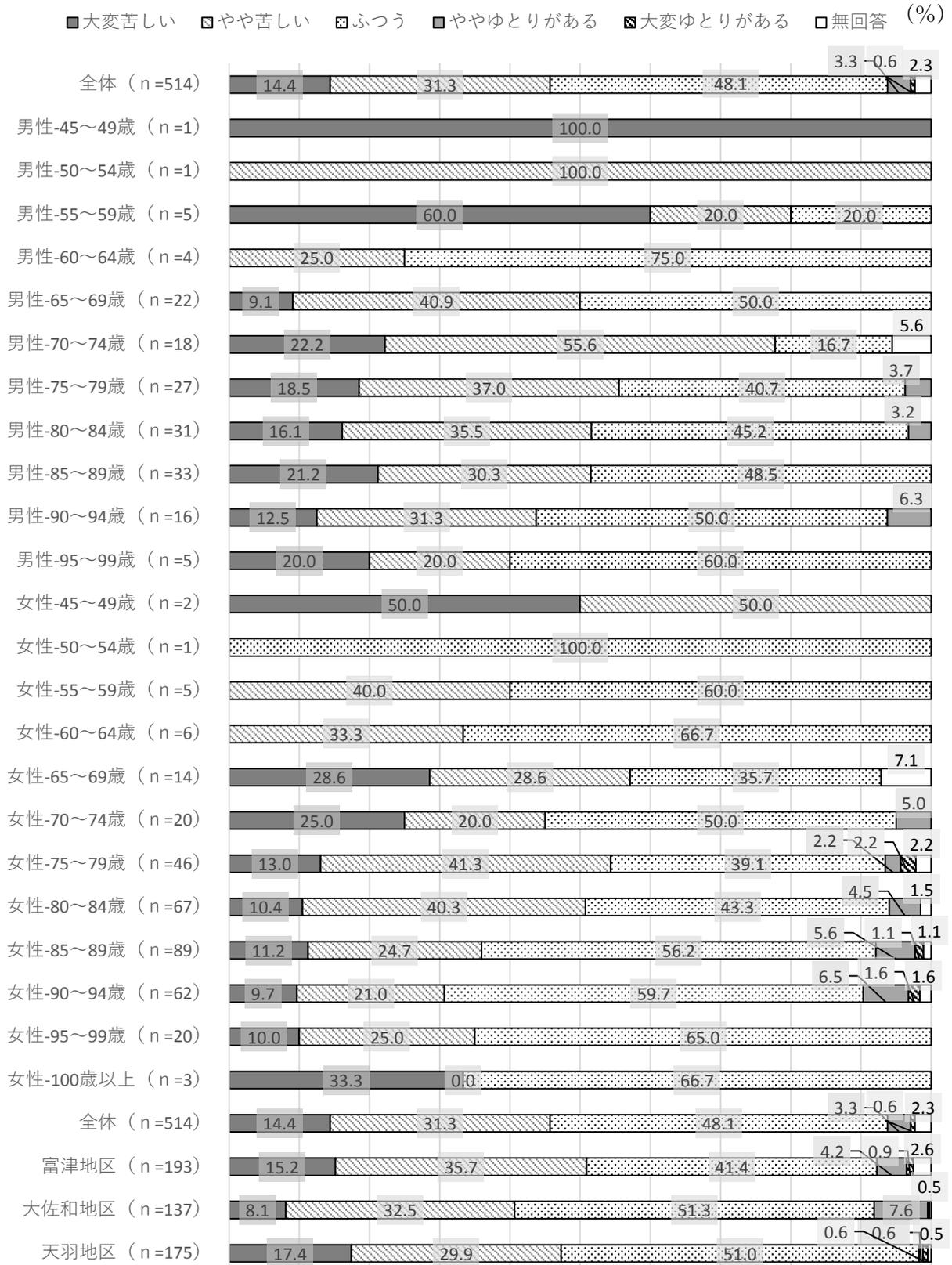
現在の暮らしの経済的状況



性・年齢別にみると、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』は男性-55～59歳が80.0%、男性-70～74歳が77.8%と多くなっています。

圏域別にみると、『苦しい』は富津地区が50.9%で5割を超えています。

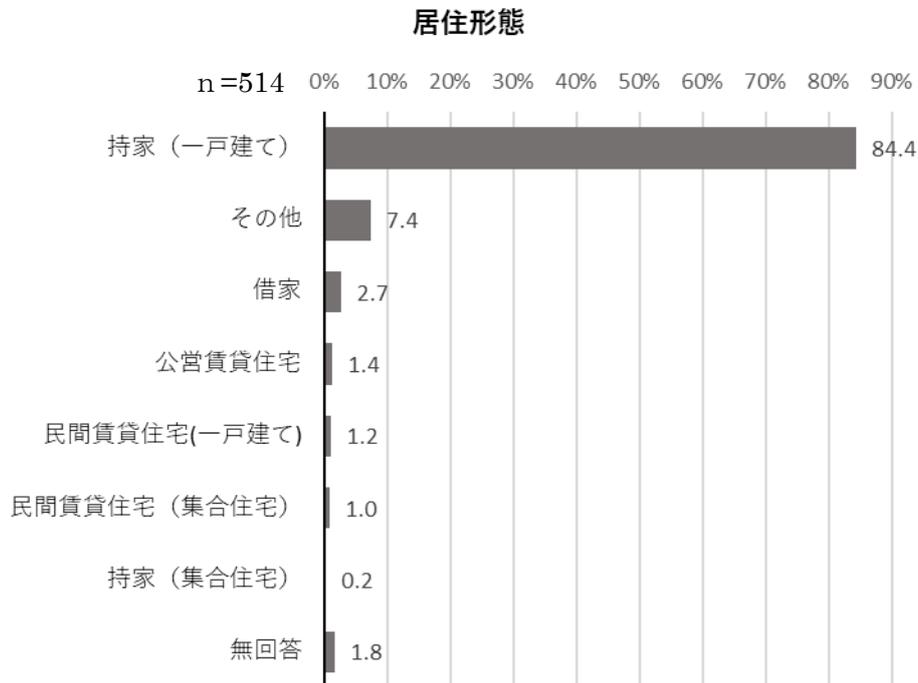
【性・年齢・圏域別】現在の暮らしの経済的状況



※男性-95～99歳、男性-100歳以上、女性40～44歳は該当者なし。

あなたのお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか（問11）

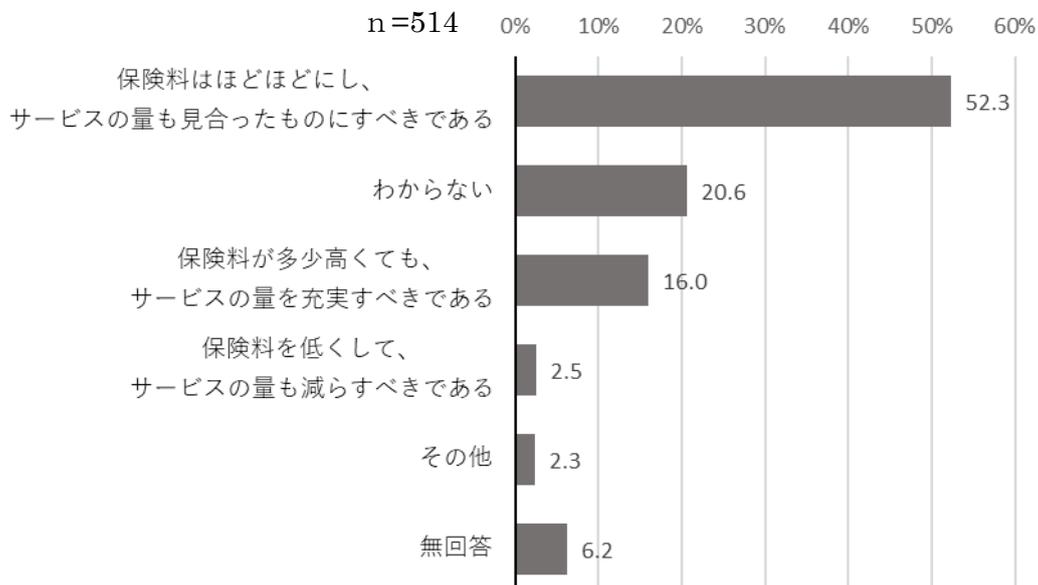
居宅形態をみると、「持家（一戸建て）」が84.4%と8割を超えています。



介護保険制度は、40歳以上の方から保険料を徴収して、介護が必要な方にサービスを提供する費用に充てていますが、保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか（問12）

保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料はほどほどにし、サービスの量も見合ったものにすべきである」が52.3%で最も多く、次いで「わからない」が20.6%、「保険料が高くても、サービスの量を充実すべきである」が16.0%と続いています。

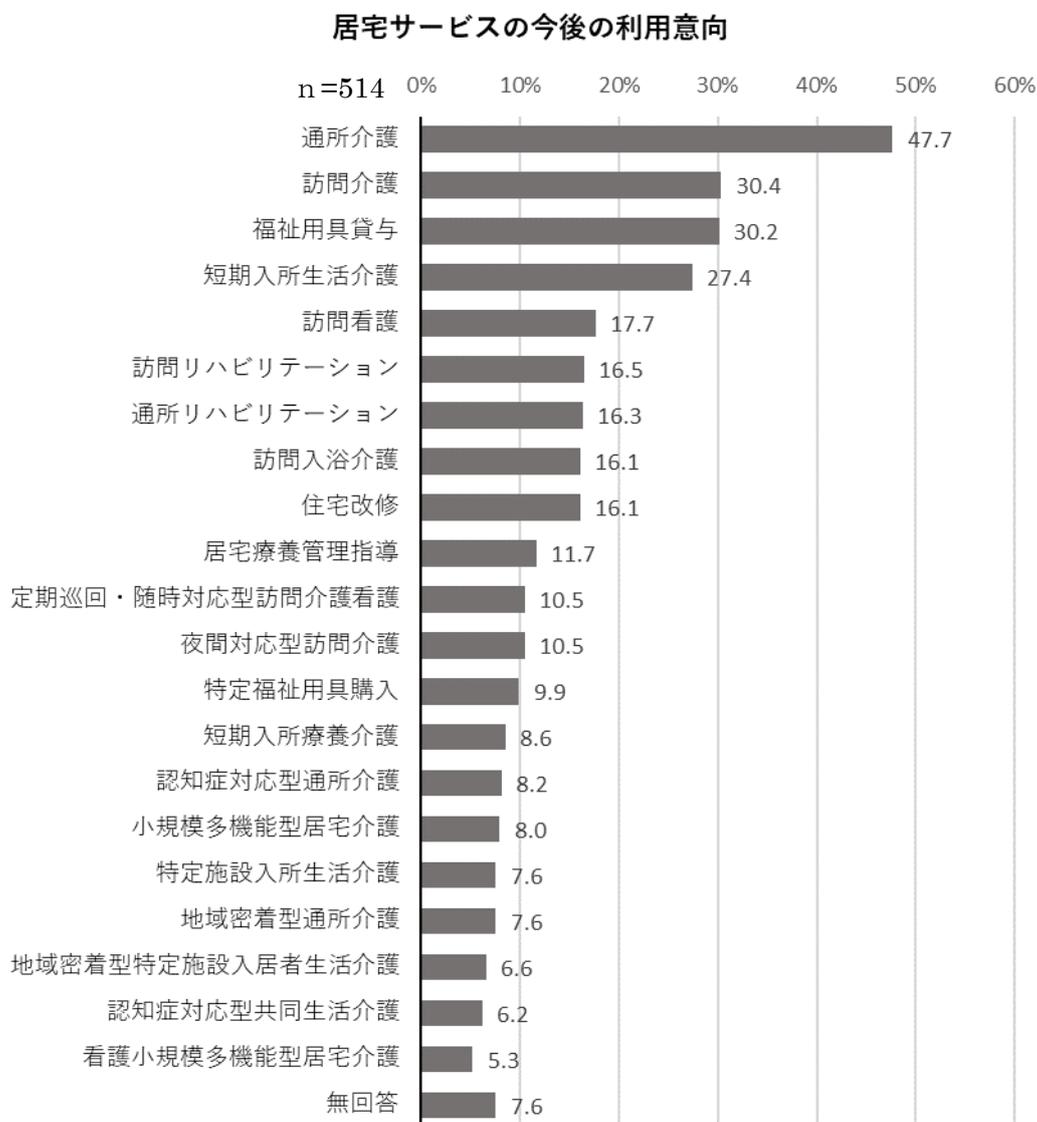
保険料と介護保険サービスのあり方についての考え



4. 今後の過ごし方について

介護保険の居宅サービスの今後の利用意向についてうかがいます（いくつかも）（問13）

介護保険の居宅サービスの今後の利用意向をみると、「通所介護」が47.7%で最も多く、「訪問介護」が30.4%、「福祉用具貸与」が30.2%、「短期入所生活介護」が27.4%と続いています。



性・年齢別の上位5項目をみると、男性では「通所介護」が1位となっている場合が多く、女性では「訪問介護」が1位となっている場合が多くなっています。

圏域別にみると、すべての地区において「訪問介護」が4割5分を超えています。

【性・年齢・圏域別】上位5項目 居宅サービスの今後の利用意向

■性・年齢別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性-45～49歳 n=1	「通所介護」「地域密着型通所介護」 「認知症対応型共同生活介護」「地域密着型特定施設入居者生活介護」		100.0		
男性-50～54歳 n=1	「訪問リハビリテーション」「福祉用具貸与」「住宅改修」		100.0		
男性-55～59歳 n=5	「通所介護」 60.0	「訪問リハビリテーション」「通所リハビリテーション」「福祉用具貸与」「住宅改修」			40.0
男性-60～64歳 n=4	「通所介護」「住宅改修」		75.0	「訪問リハビリテーション」「短期入所生活介護」「福祉用具貸与」 「特定福祉用具購入」他1項目 50.0	
男性-65～69歳 n=22	「通所介護」 45.5	「短期入所生活介護」 36.4	「訪問介護」「通所リハビリテーション」 27.3		「福祉用具貸与」 22.7
男性-70～74歳 n=18	「通所介護」 33.3	「訪問介護」「福祉用具」 27.8		「通所リハビリテーション」「住宅改修」 22.2	
男性-75～79歳 n=27	「通所介護」 55.6	「福祉用具貸与」 44.4	「訪問リハビリテーション」 40.7	「住宅改修」 37.0	「訪問介護」他1項目 25.9
男性-80～84歳 n=31	「通所介護」 51.6	「福祉用具貸与」 41.9	「訪問介護」「通所リハビリテーション」 35.5		「短期入所生活介護」 32.3
男性-85～89歳 n=33	「通所介護」 45.5	「訪問介護」「福祉用具貸与」 24.2		「訪問看護」 18.2	「住宅改修」他1項目 15.2
男性-90～94歳 n=16	「訪問介護」 50.0	「通所介護」「短期入所生活介護」 43.8		「福祉用具貸与」 37.5	「訪問看護」 31.3
男性-95～99歳 n=5	「居宅療養管理指導」 「小規模多機能型居宅介護」 40.0		「訪問介護」「訪問入浴介護」「訪問看護」他10項目 20.0		
女性-45～49歳 n=2	「訪問介護」「訪問入浴介護」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「通所介護」他3項目				50.0
女性-50～54歳 n=1	「訪問介護」「訪問入浴介護」「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「居宅療養管理指導」他6項目				100.0
女性-55～59歳 n=5	「福祉用具」 40.0	「訪問介護」「訪問看護」「通所介護」「短期入所生活介護」他2項目			20.0
女性-60～64歳 n=6	「通所介護」 83.3	「訪問入浴介護」 50.0	「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「短期入所生活介護」他3項目 33.3		
女性-65～69歳 n=14	「訪問介護」「通所介護」 42.9		「福祉用具貸与」 28.6	「訪問入浴介護」「訪問看護」他5項目 14.3	
女性-70～74歳 n=20	「訪問看護」 40.0	「訪問介護」 30.0	「訪問入浴介護」「居宅療養管理指導」 20.0		「訪問看護」他5項目 15.0
女性-75～79歳 n=46	「訪問介護」 41.3	「訪問看護」 37.0	「福祉用具」 30.4	「通所リハビリテーション」 21.7	「訪問リハビリテーション」他1項目 17.4
女性-80～84歳 n=67	「訪問看護」 52.2	「訪問介護」 34.3	「短期入所生活介護」 32.8	「福祉用具貸与」 29.9	「訪問リハビリテーション」 19.4
女性-85～89歳 n=89	「訪問看護」 51.7	「訪問介護」 37.1	「短期入所生活介護」「福祉用具貸与」 28.1		「訪問看護」 27.0
女性-90～94歳 n=62	「訪問看護」 56.5	「短期入所生活介護」 45.2	「福祉用具貸与」 25.8	「住宅改修」 14.5	「訪問介護」他1項目 12.9
女性-95～99歳 n=20	「福祉用具貸与」 50.0	「訪問看護」 45.0	「訪問介護」「訪問看護」 40.0		「訪問入浴介護」 他1項目 35.0
女性-100歳以上	「特定施設入所生活介護」 66.7	「訪問介護」 33.3			

■ 圏域別

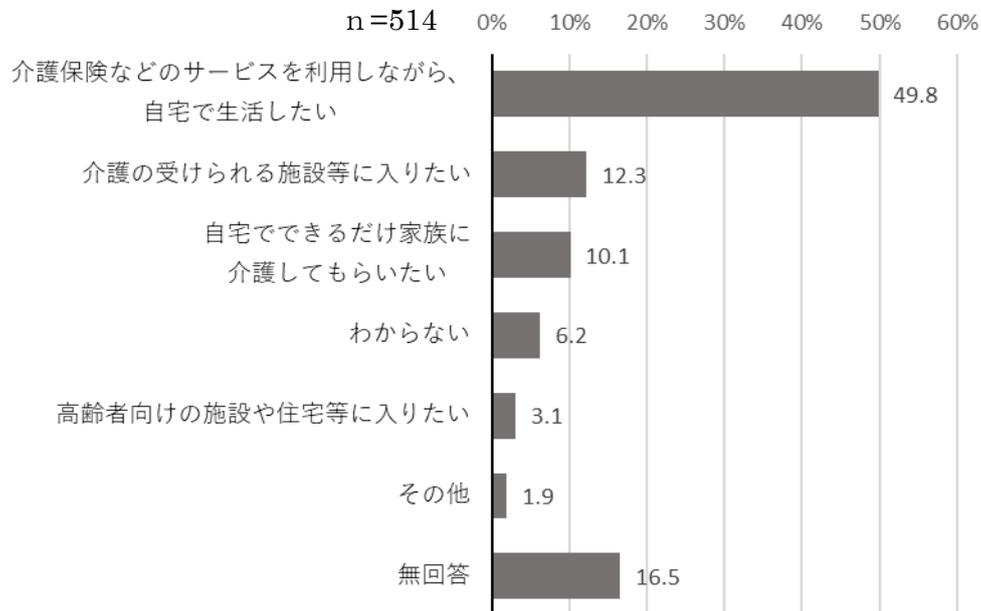
(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
富津地区 n=193	「訪問看護」 47.5	「福祉用具貸与」 30.2	「訪問介護」 28.0	「短期入所生活介護」 27.6	「通所リハビリテーション」 23.5
大佐和地区 n=137	「訪問看護」 53.4	「福祉用具貸与」 35.9	「訪問介護」 33.3	「短期入所生活介護」 28.6	「訪問看護」 19.0
天羽地区 n=175	「訪問看護」 46.0	「訪問介護」 30.2	「短期入所生活介護」 28.4	「福祉用具」 26.7	「訪問看護」 23.1

あなたは、今後どのような介護を希望しますか（問14）

今後希望する介護の形態を見ると、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が49.8%と半数近くを占めています。

今後希望する介護の形態

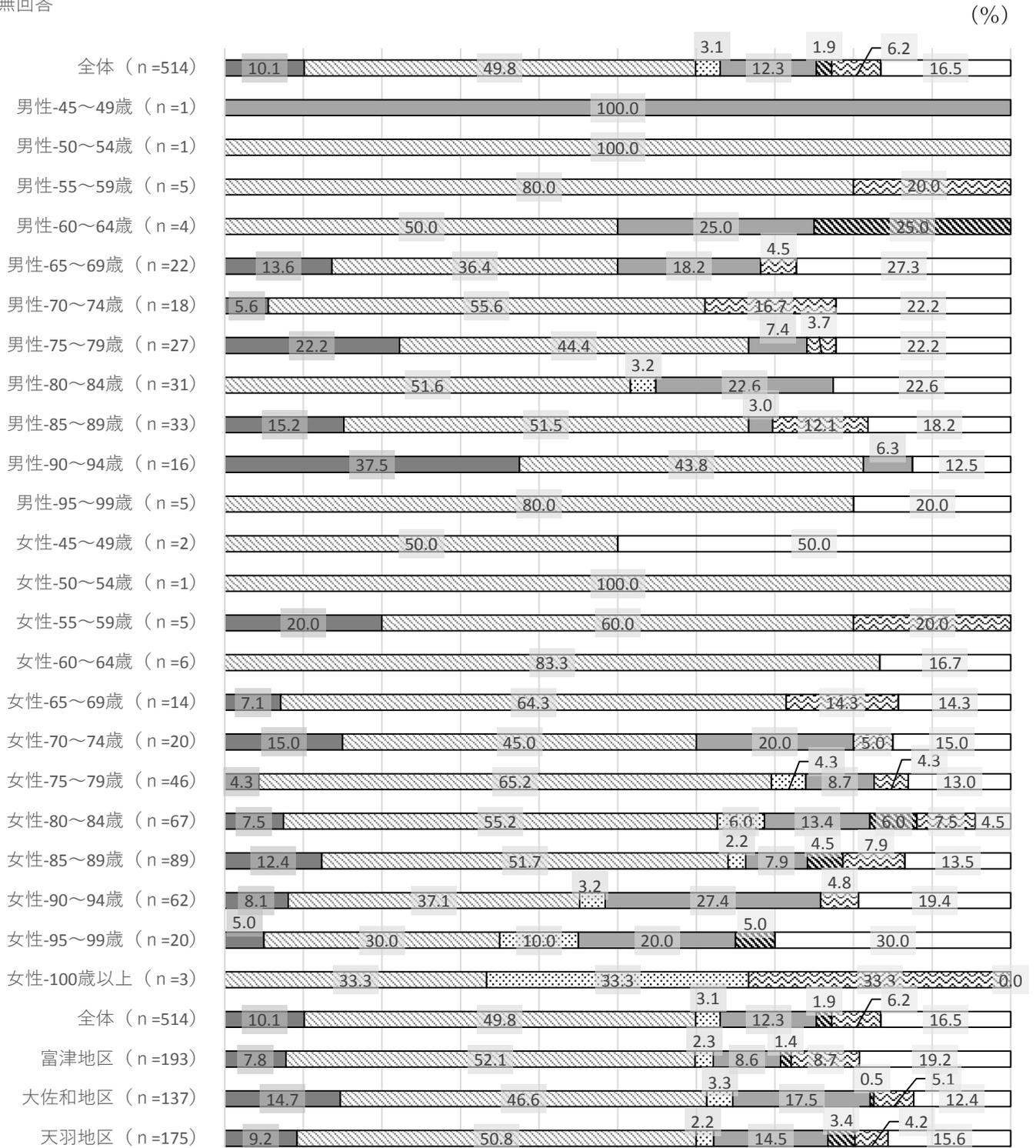


性・年齢別にみると、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」は男性90～94歳が37.5%で最も多くなっています。

圏域別にみると、「自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」は大佐和地区が14.7%で最も多くなっています。

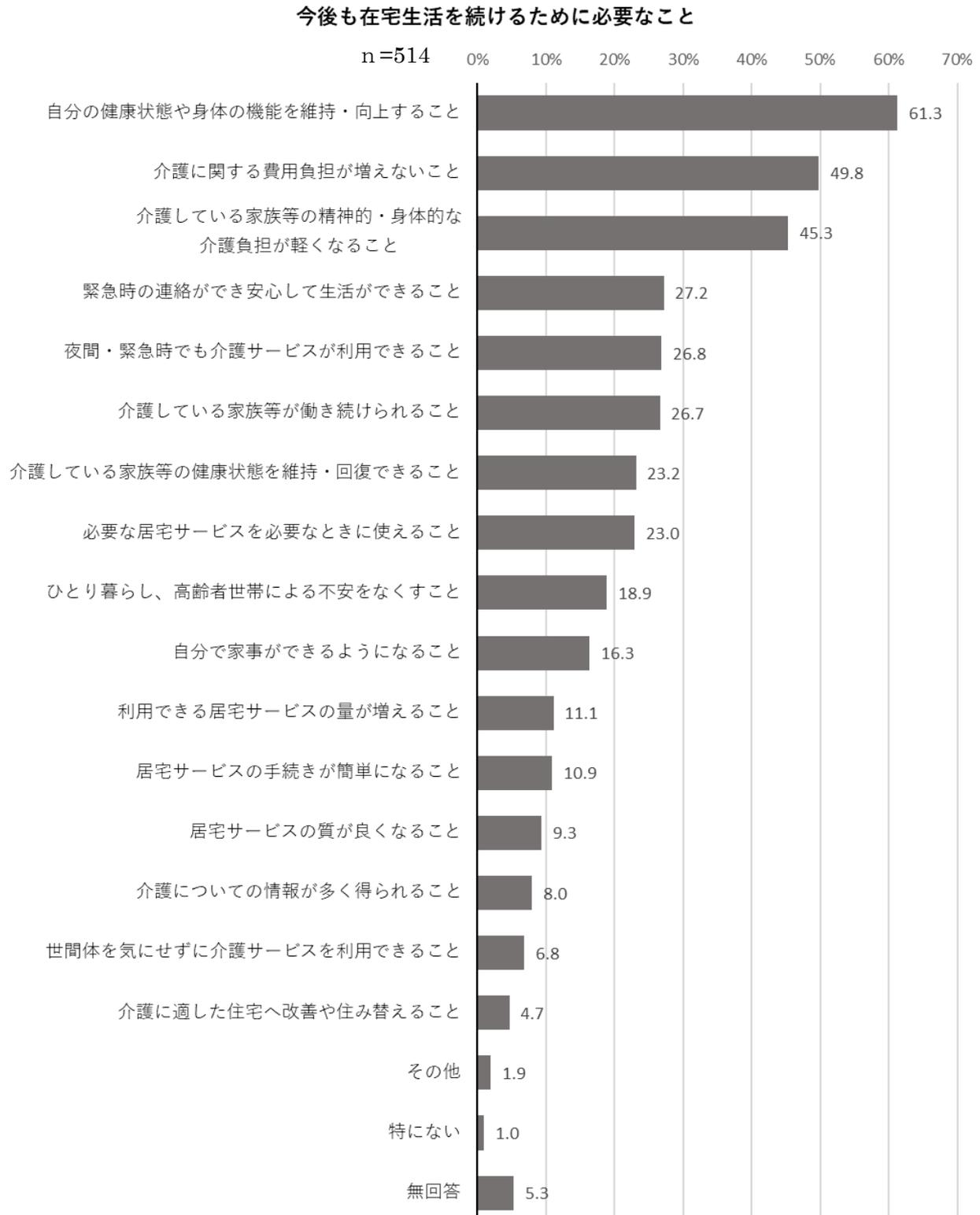
【性・年齢・圏域別】今後希望する介護の形態

- 自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい
- ▨ 高齢者向けの施設や住宅等に入りたい
- その他
- 無回答
- ▨ 介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい
- 介護の受けられる施設等に入りたい
- ▨ わからない



あなたは、今後も住み慣れた地域で生活をするためには、どのようなことが必要だと思いますか（5つまで）（問15）

今後も在宅生活をするために必要なこととしては、「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」が61.3%で最も多く、次いで「介護に関する費用負担が増えないこと」が49.8%、「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」が45.3%と続いています。



※5つまで選択可能な設問だが、複数回答として集計した。

性・年齢別の上位5項目をみると、「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」が殆どの年代において1位となっています。

【性・年齢別】上位5項目 今後も在宅生活を続けるために必要なこと

性・年齢別	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
男性-45～49歳 n=1	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」「自分で家事ができるようになること」 「ひとり暮らし、高齢者世帯による不安」「緊急時の連絡ができ安心して生活ができること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」他1項目 100.0				
男性-50～54歳 n=1	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」「自分で家事ができるようになること」「介護に適した住宅へ改善や住み替えること」 100.0				
男性-55～59歳 n=5	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 100.0	「介護に関する費用負担が増えないこと」 80.0	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 60.0	「自分で家事ができるようになること」 他3項目 20.0	
男性-60～64歳 n=4	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 100.0		「介護している家族等が働き続けられること」「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 75.0	「介護についての情報が多く得られること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」 50.0	
男性-65～69歳 n=22	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 59.1		「介護に関する費用負担が増えないこと」 40.9	「ひとり暮らし、高齢者世帯による不安」 「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 27.3	
男性-70～74歳 n=18	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」 55.6		「緊急時の連絡ができ安心して生活ができること」 38.9	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 27.8	「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 他1項目 22.2
男性-75～79歳 n=27	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 66.7	「介護に関する費用負担が増えないこと」 63.0	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 55.6	「ひとり暮らし、高齢者世帯による不安」 「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」 25.9	
男性-80～84歳 n=31	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 64.5	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 58.1	「介護に関する費用負担が増えないこと」 48.4	「必要な居宅サービスを必要なときに使えること」 35.5	「ひとり暮らし、高齢者世帯による不安」 32.3
男性-85～89歳 n=33	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」 57.6		「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」 33.3		
男性-90～94歳 n=16	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 81.3	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 68.8	「介護に関する費用負担が増えないこと」 43.8	「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」 31.3	「介護している家族等が働き続けられること」 25.0
男性-95～99歳 n=5	「介護に関する費用負担が増えないこと」 「必要な居宅サービスを必要なときに使えること」 「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」 60.0			「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 「介護している家族等が働き続けられること」 他1項目 40.0	

第4章 居宅サービス利用者に関する調査結果

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
女性-45～49歳 n=2	「介護している家族等が働き続けられること」 「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」		100.0	「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 「介護に適した住宅へ改善や住み替えること」他2項目	
女性-50～54歳 n=1	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 「必要な居宅サービスを必要ときに使えること」				100.0
女性-55～59歳 n=5	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 80.0	「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 「緊急時の連絡ができ安心して生活ができること」 40.0		「自分で家事ができるようになること」 「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」他6項目	
女性-60～64歳 n=6	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 66.7		「介護している家族等が働き続けられること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」 「必要な居宅サービスを必要ときに使えること」 33.3		
女性-65～69歳 n=14	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 71.4	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 42.9	「介護に関する費用負担が増えないこと」 35.7	「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 28.6	「ひとり暮らし、高齢者世帯による不安」他2項目 21.4
女性-70～74歳 n=20	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 65.0	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」 40.0		「必要な居宅サービスを必要ときに使えること」 30.0	「自分で家事ができるようになること」 他3項目 25.0
女性-75～79歳 n=46	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 69.6	「介護に関する費用負担が増えないこと」 43.5	「自分で家事ができるようになること」 39.1	「介護している家族等が働き続けられること」 「緊急時の連絡ができ安心して生活ができること」 34.8	
女性-80～84歳 n=67	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 67.2	「介護に関する費用負担が増えないこと」 43.3	「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」 37.3	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 「緊急時の連絡ができ安心して生活ができること」 35.8	
女性-85～89歳 n=89	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 62.9	「介護に関する費用負担が増えないこと」 53.9	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」短期入所生活介護 44.9	「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」 31.5	「介護している家族等が働き続けられること」 28.1
女性-90～94歳 n=62	「介護に関する費用負担が増えないこと」 59.7	「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 51.6		「介護している家族等が働き続けられること」 29.0	「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 22.6
女性-95～99歳 n=20	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」 50.0		「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」 45.0	「介護している家族等の健康状態を維持・回復できること」 35.0	「必要な居宅サービスを必要ときに使えること」他1項目 30.0
女性-100歳以上 n=3	「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」 「介護に関する費用負担が増えないこと」 66.7		「必要な居宅サービスを必要ときに使えること」 33.3		

圏域別にみると、3位までは同様の結果となっており、次いで富津地区では「緊急時の連絡ができ安心して生活ができること」(30.5%)、大佐和地区では「介護している家族等が働き続けられること」(31.3%)、天羽地区では「夜間・緊急時でも介護サービスが利用できること」(29.6%)と続いており、圏域によって差が出ています。

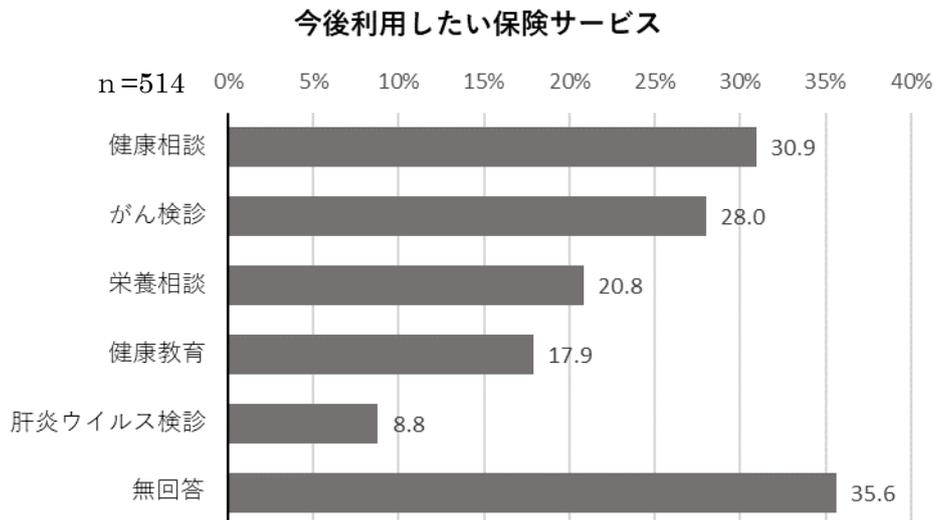
■圏域別

(%)

	第1位	第2位	第3位	第4位	第5位
富津地区 n=193	「自分の健康状態や 身体の機能を維持・向 上すること」 62.9	「介護に関する費用 負担が増えないこと」 52.7	「介護している家族 等の精神的・身体的な 介護負担が軽くなる こと」 49.1	「緊急時の連絡がで き安心して生活がで きること」 30.5	「介護している家族 等が働き続けられる こと」 25.4
大佐和地区 n=137	「自分の健康状態や 身体の機能を維持・向 上すること」 64.0	「介護に関する費用 負担が増えないこと」 53.4	「介護している家族 等の精神的・身体的な 介護負担が軽くなる こと」 50.5	「介護している家族 等が働き続けられる こと」 31.3	「夜間・緊急時でも介 護サービスが利用で きること」 28.6
天羽地区 n=175	「自分の健康状態や 身体の機能を維持・向 上すること」 58.9	「介護に関する費用 負担が増えないこと」 46.9	「介護している家族 等の精神的・身体的な 介護負担が軽くなる こと」 42.8	「夜間・緊急時でも介 護サービスが利用で きること」 29.6	「介護している家族 等が働き続けられる こと」 27.0

富津市では次のような保健サービスを行っています、あなたが今後利用したい(つづけたい)サービスはどれですか(いくつでも)(問16)

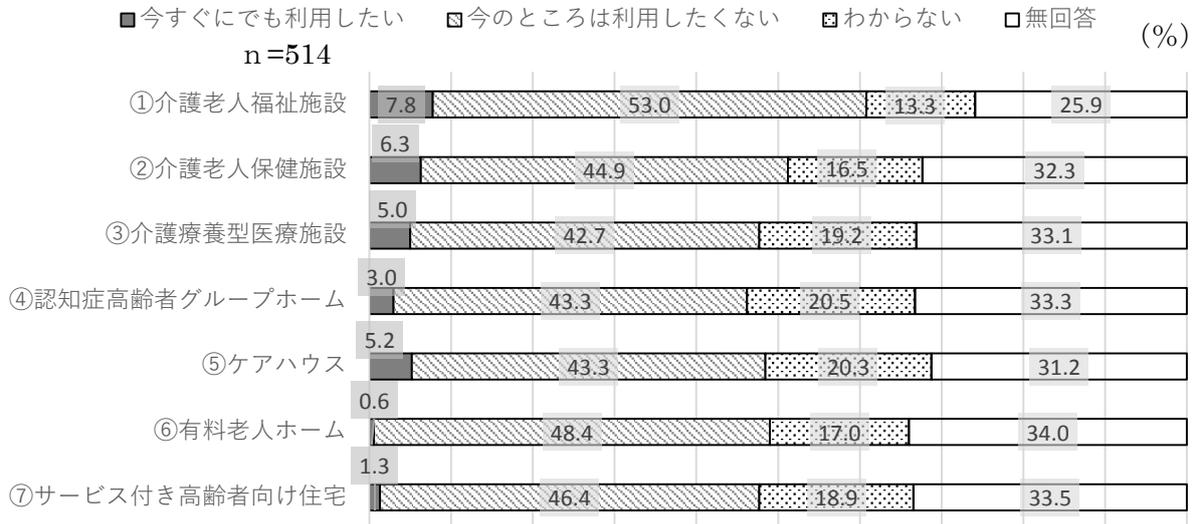
富津市で行っている保健福祉サービスで利用したいものとしては、「健康相談」が30.9%で最も多く、次いで「がん検診」が28.0%、「栄養相談」が20.8%と続いています。



次のような施設に入所（入院、入居）したいと思いますか（問17）

各施設の入所意向を、「今すぐに利用したい」の多い順で見ると、〈介護老人福祉施設〉が7.8%で最も多く、次いで〈介護老人保健施設〉が6.3%と続いています。

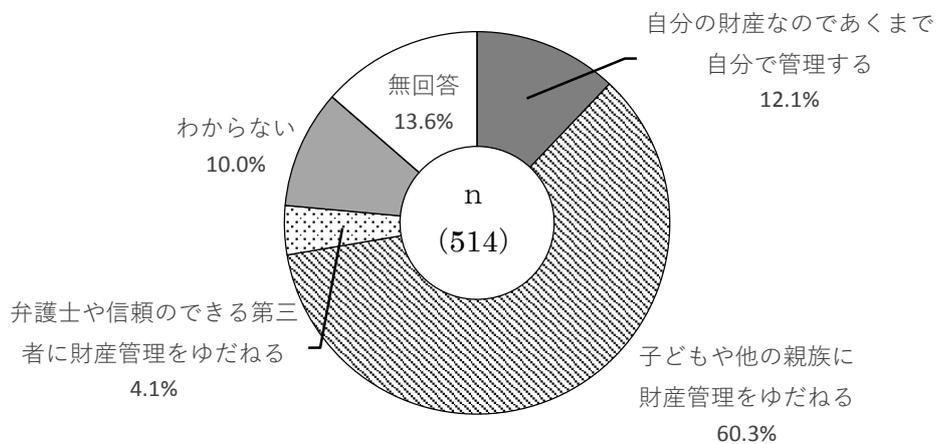
施設入所意向



認知症になるなど、高齢化に伴って財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、あなたはどのようにしたいと思いますか（いくつでも）（問18）

認知症になった場合の財産管理についての希望としては、「子どもや他の親族に財産管理をゆだねる」が60.3%で最も多く、「自分の財産なのであくまで自分で管理する」が12.1%が続いています。一方、「弁護士や信頼のできる第三者に財産管理をゆだねる」は4.1%となっています。

認知症などになった場合の財産管理の希望

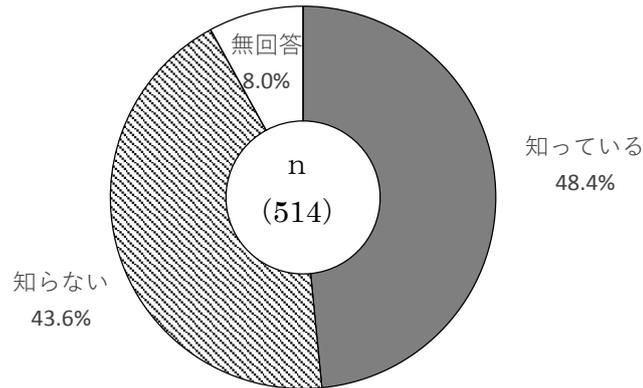


5. 災害発生時の対応について

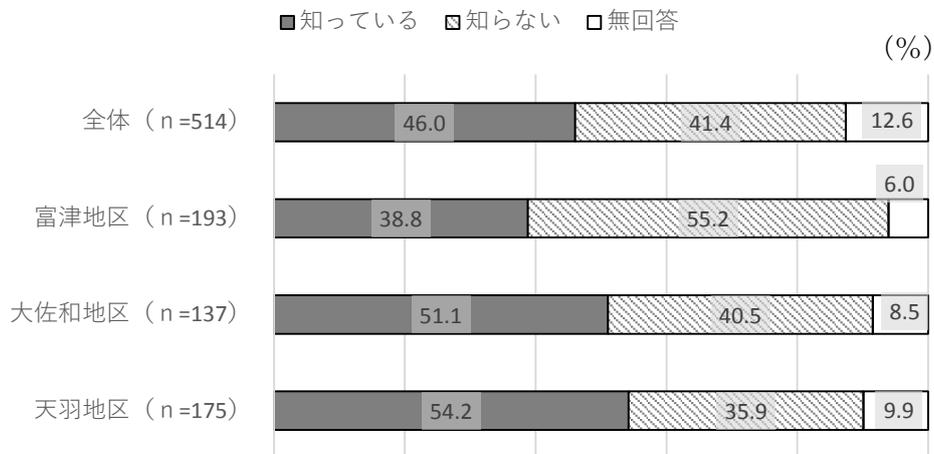
あなたは、地震などの災害発生時の避難所がどこかご存知ですか（問19）

避難所の認識状況をみると、「知らない」が43.6%と4割を超えています。
圏域別にみると、「知らない」は富津地区が55.2%で半数を超えています。

避難所の認識状況



【圏域別】避難所の認知状況

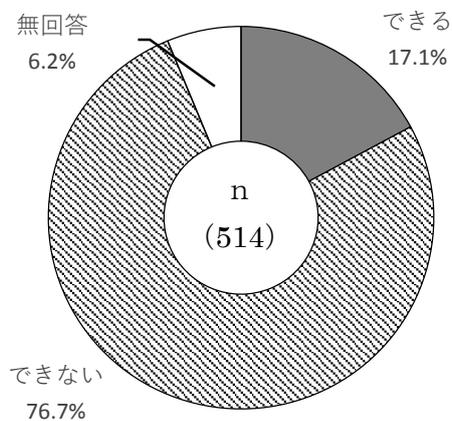


あなたは、地震などの災害発生時に、ご自宅から避難所まで自力で避難ができますか（問20）

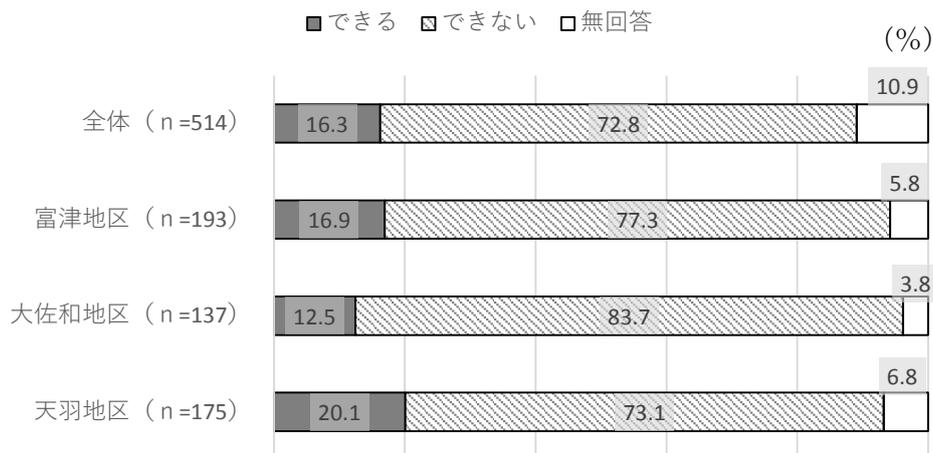
自力避難についてみると、「できない」が76.7%で7割を超えています。

圏域別にみると、「できない」は大佐和地区が83.7%で最も多くなっています。

自力避難の可否



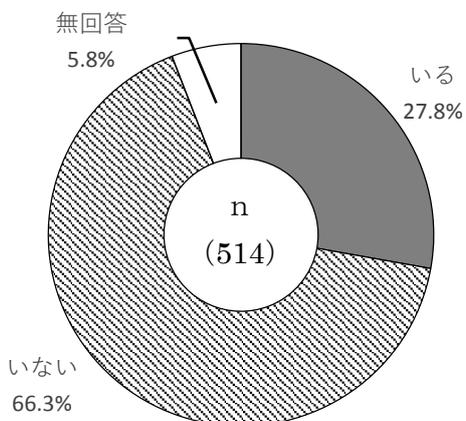
【圏域別】自力避難の可否



あなたは、地震などの災害発生時の避難を助けてくれる家族以外の特定の方はいですか（問 21）

災害発生時に避難を助けてくれる家族以外の介護者を見ると、「いない」が66.3%となっています。

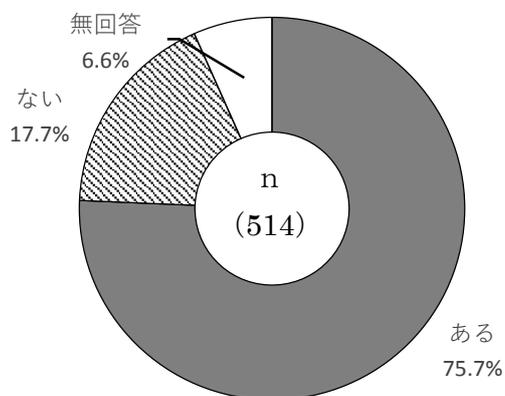
家族以外の介護者の有無



あなたのご自宅には、常時3日程度の食料がありますか（冷蔵庫内の食料を含む）（問 22）

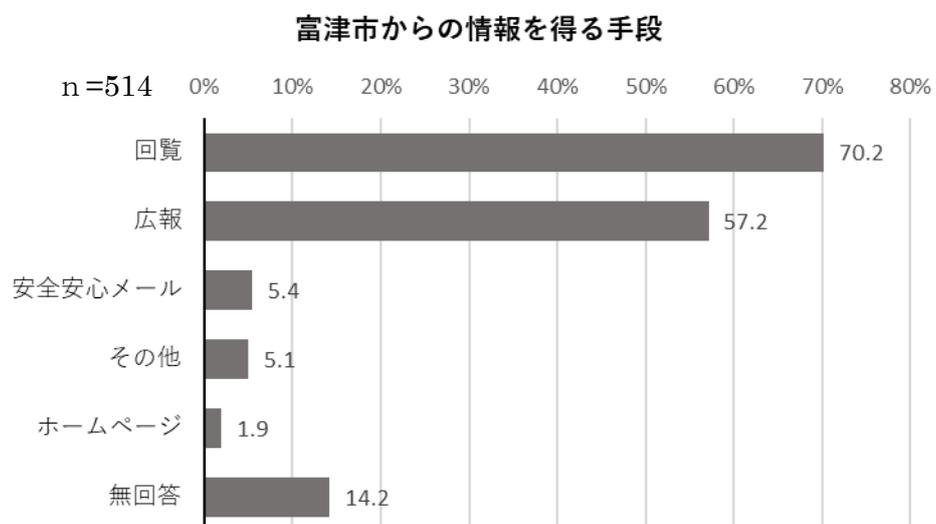
常時3日程度の食料の有無を見ると、「ない」が17.7%となっています。

常時3日程度の食料の有無



富津市からの情報を得るための方法として、利用しているものはありますか（いくつでも）（問23）

富津市からの情報を得るための方法として、利用しているものとしては、「回覧」が70.2%で最も多く、次いで「広報」57.2%、「安心安全メール」が5.4%と続いています。

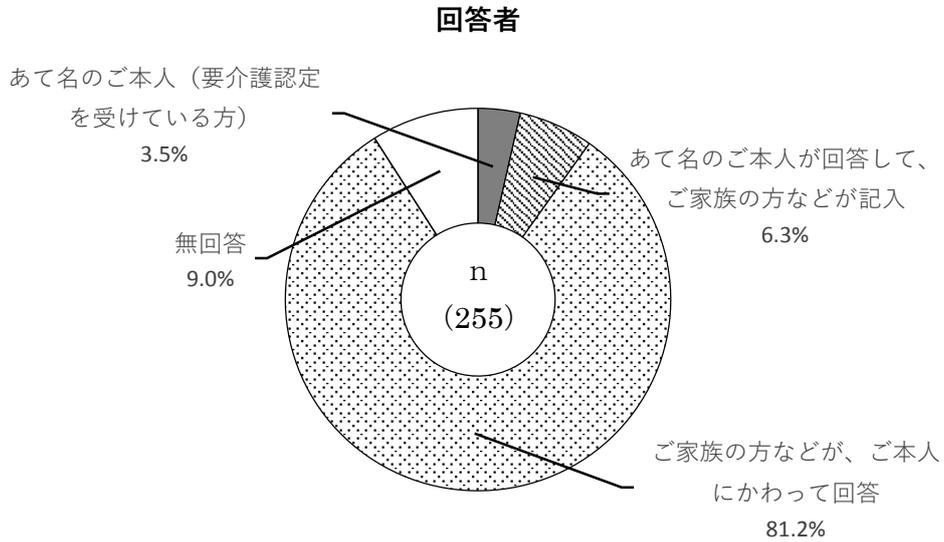


第5章 施設サービス利用者に関する調査結果

1. 回答者について

このアンケートに答えていただくのはどなたですか（問1）

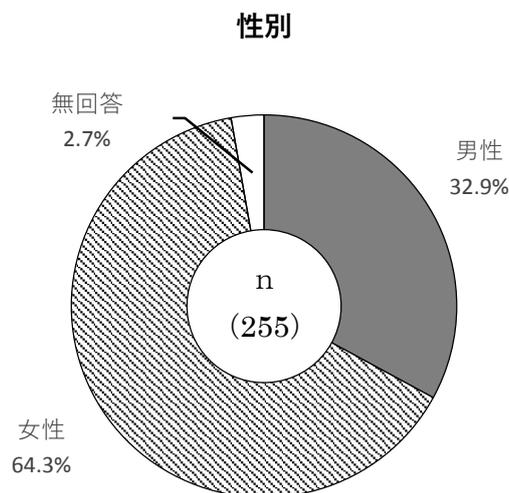
回答者は、「ご家族の方などが、ご本人にかわって回答」が81.2%となっています。



2. あて名のご本人について

あなたの性別をお答えください（問2）

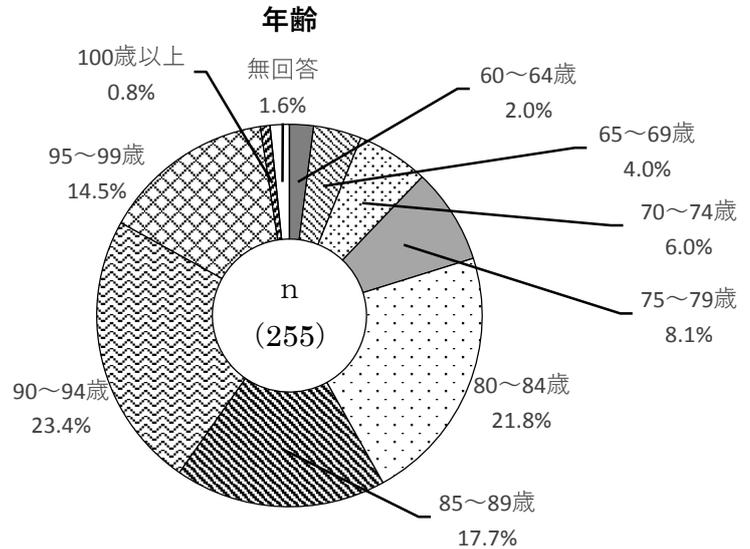
性別は、「男性」が32.9%、「女性」が64.3%となっています。



平成29年2月10日現在のあなたの年齢をお答えください（問3）

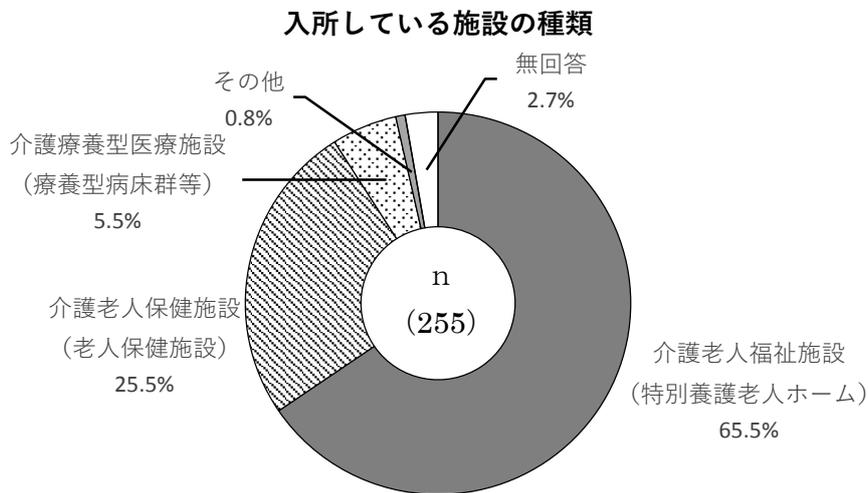
年齢は、「90～94歳」が23.4%で最も多く、次いで「80～84歳」が21.8%、「85～89歳」が17.7%と続いています。『60歳未満』は下表のとおりです。

年齢	構成比 (%)
40～44歳	0.4
45～49歳	0.4
50～54歳	1.1
55～59歳	0.7



現在入所している施設の種類は何ですか（問4）

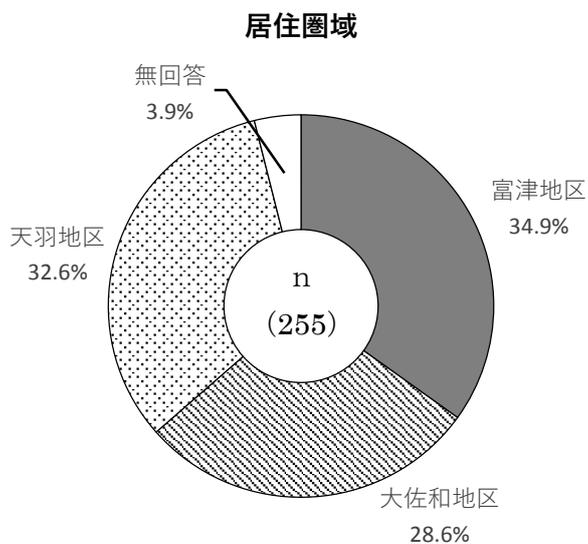
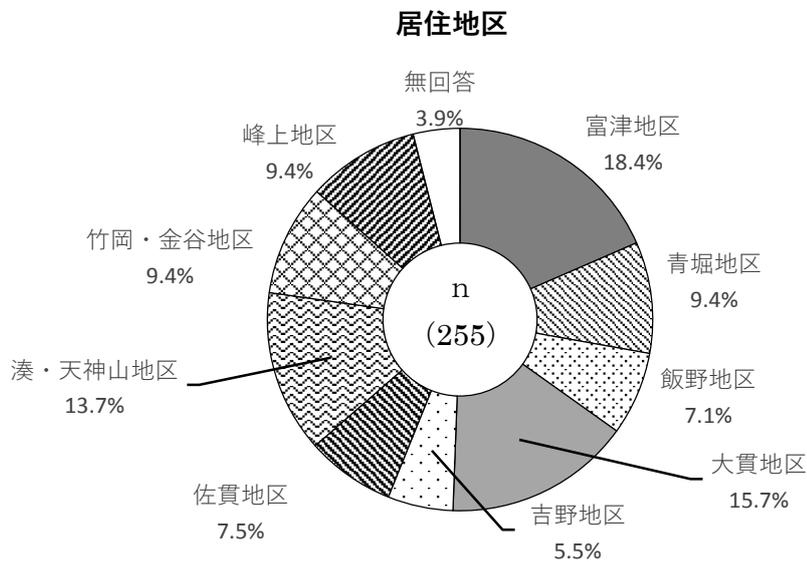
入所している施設は「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が65.5%で最も多く、次いで「介護老人保健施設（老人保健施設）」が25.5%、「介護療養型医療施設（療養型病床群等）」が5.5%と続いています。



施設に入所する前に住んでいた地区はどちらですか（問5）

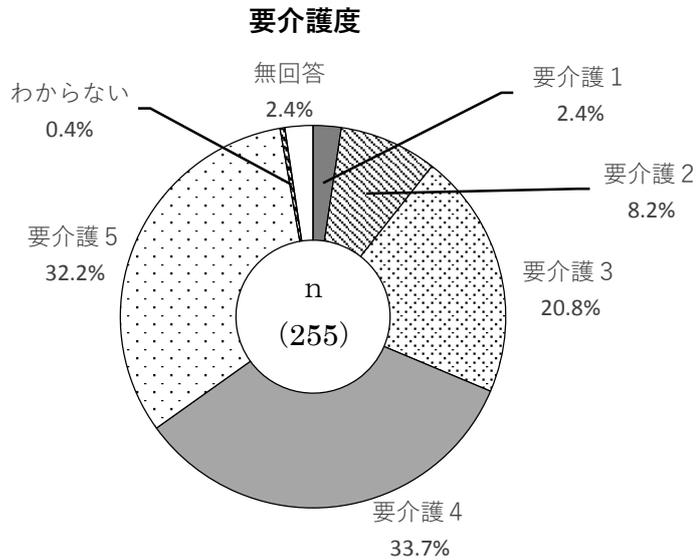
施設入所以前の居住地区としては、「富津地区」が18.4%で最も多く、次いで「大貫地区」が15.7%、「湊・天神山地区」が13.7%と続いています。

居住圏域で見ると、富津地区が34.9%で最も多くなっています。



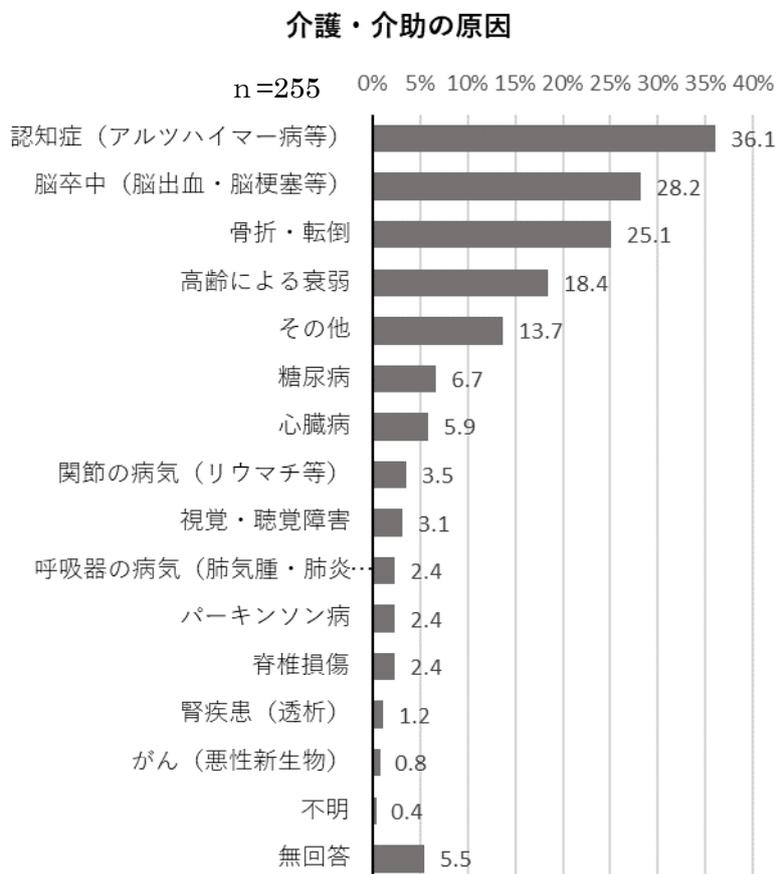
現在のあなたの要介護度は、次のどれですか（問6）

要介護度は、「要介護4」が33.7%で最も多く、次いで「要介護5」が32.2%、「要介護3」が20.8%と続いています。



介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）（問7）

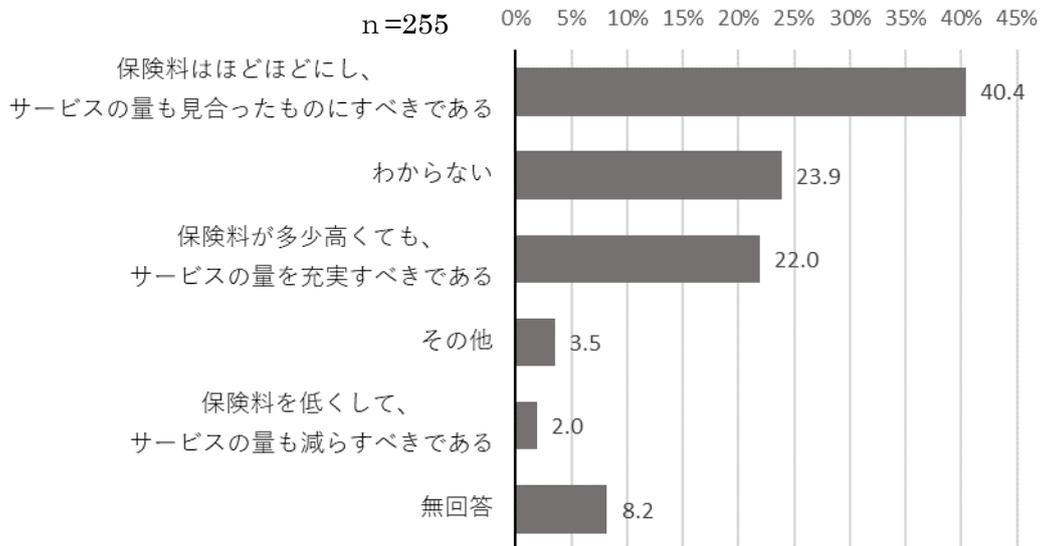
介護・介助が必要になった主な原因は、「認知症（アルツハイマー病等）」が36.1%で最も多く、次いで「脳卒中（脳出血・脳梗塞等）」が28.2%、「骨折・転倒」が25.1%と続いています。



介護保険制度は、40歳以上の方から保険料を徴収して、介護が必要な方にサービスを提供する費用に充てていますが、保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか（問8）

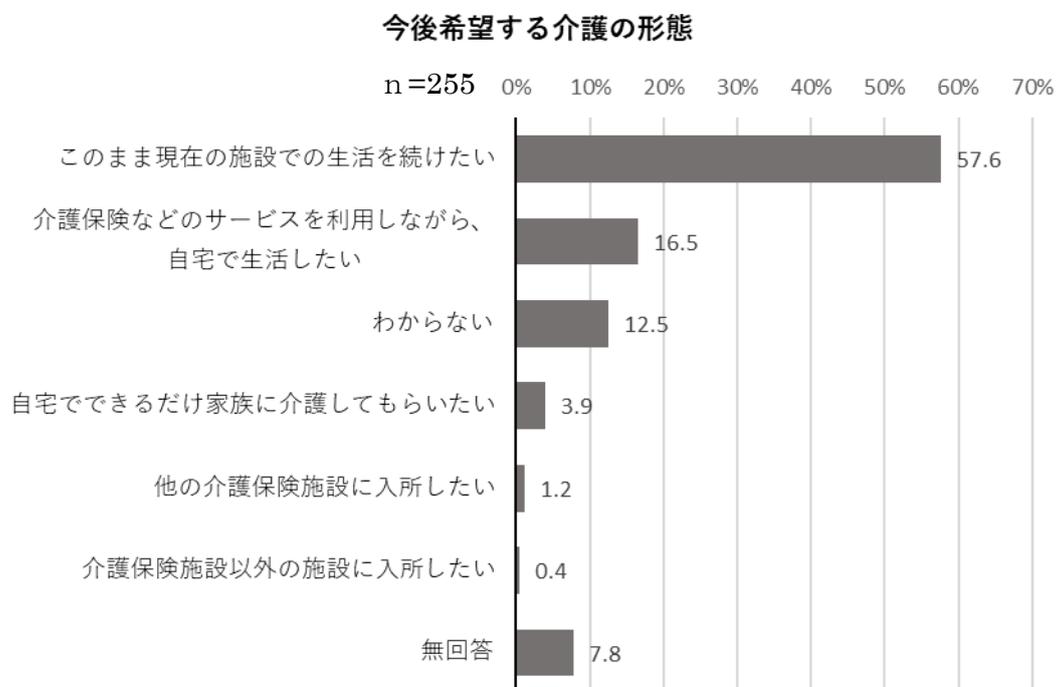
保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料はほどほどにし、サービスの量も見合ったものにすべきである」が40.4%で最も多く、次いで「わからない」が23.9%、「保険料が多少高くても、サービスの量を充実すべきである」が22.0%と続いています。

保険料と介護保険サービスのあり方についての考え



あなたご自身はどのような介護を受け、生活したいと思いますか（問9）

今後希望する介護の形態としては、「このまま現在の施設での生活を続けたい」が57.6%で最も多く、次いで「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」が16.5%、「わからない」が12.5%と続いています。



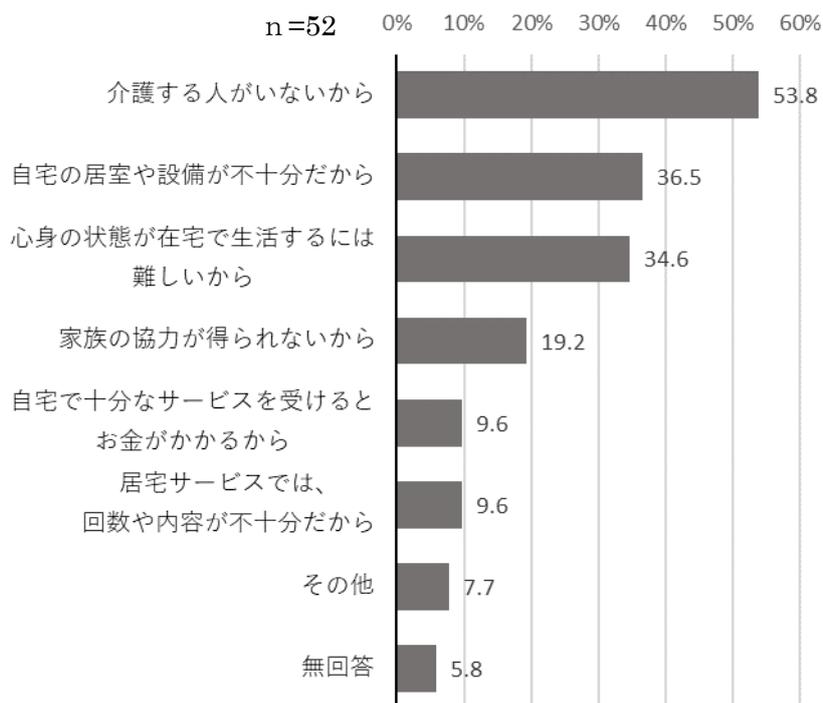
【問9で「1. 自宅でできるだけ家族に介護してもらいたい」、

「2. 介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」の方のみ】

希望されている、自宅での介護が困難な理由は何ですか（いくつでも）（問10）

在宅介護を希望する人に、自宅での介護の困難な理由を聞くと、「介護する人がいないから」が53.8%で最も多く、次いで「自宅の居室や設備が不十分だから」が36.5%、「心身の状態が在宅で生活するには難しいから」が34.6%と続いています。

自宅での介護が困難な理由

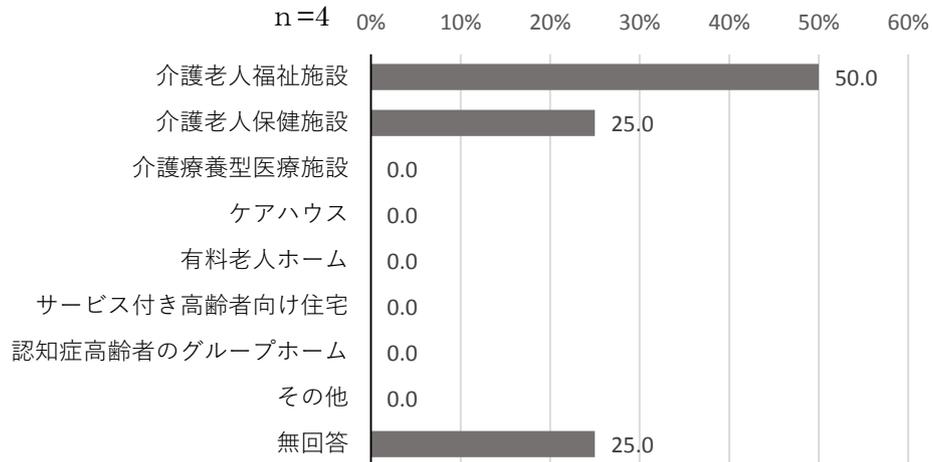


【問9で「4. 他の介護保険施設に入所したい」、「5. 介護保険施設以外の施設に入所したい」の方のみ】

どのような種類の施設に入所したいですか（問11）

「他の介護保険施設に入所したい」「介護保険施設以外の施設に入所したい」という人に、入所を希望する施設を聞いたところ、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が50.0%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が25.0%となっています。

入所を希望する施設の種類

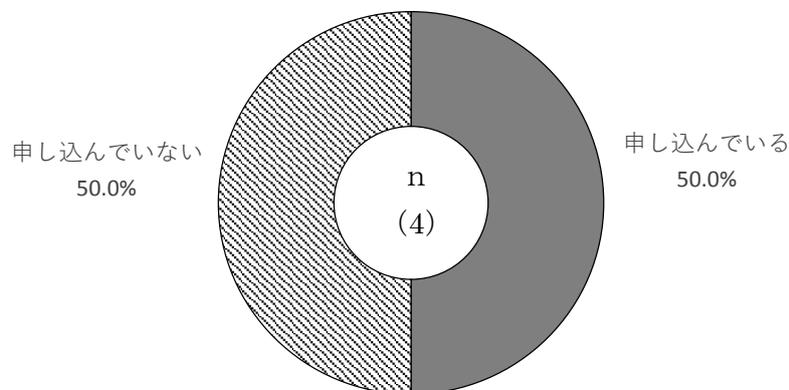


【問9で「4. 他の介護保険施設に入所したい」、「5. 介護保険施設以外の施設に入所したい」の方のみ】

あなたは、現在、他の施設に入所を申し込んでいますか（問12）

「他の介護保険施設に入所したい」「介護保険施設以外の施設に入所したい」という人に、現在他の施設に入所を申し込んでいるかを聞いたところ、「申し込んでいる」と「申し込んではいない」がそれぞれ50.0%となっています。

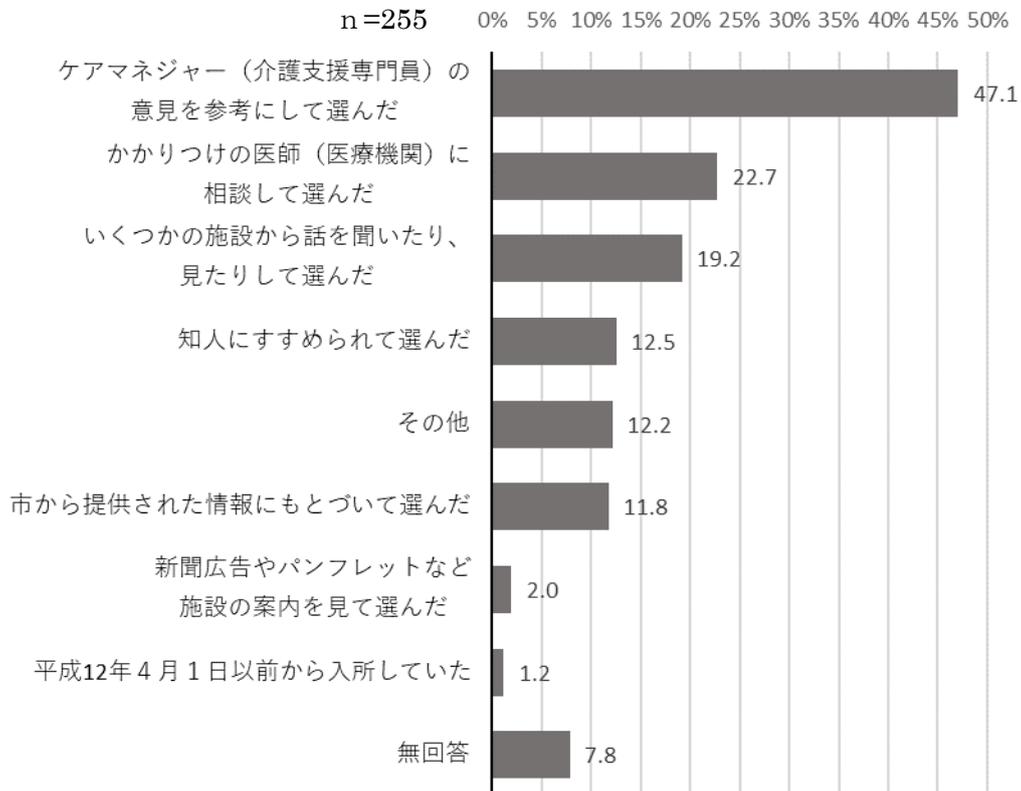
他の施設への入所申し込み状況



現在入所している施設を選ぶときに、どのようにして選びましたか（いくつでも）（問13）

現在入所している施設の選択理由としては、「ケアマネジャー（介護支援専門員）の意見を参考にして選んだ」が47.1%で最も多く、次いで「かかりつけの医師（医療機関）に相談して選んだ」が22.7%、「いくつかの施設から話を聞いたり、見たりして選んだ」が19.2%と続いています。

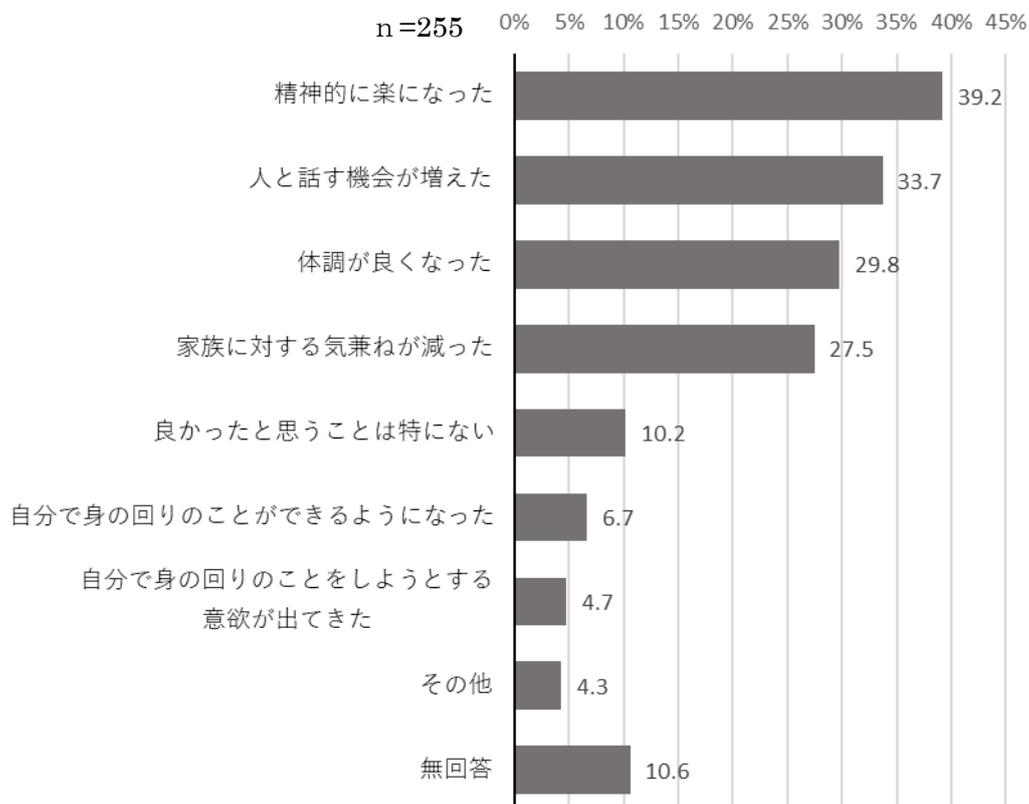
現在入所している施設の選定方法



**あなたにとって、現在の介護保険施設サービスを受けて良かったと思うことは何ですか（いくつでも）
（問 14）**

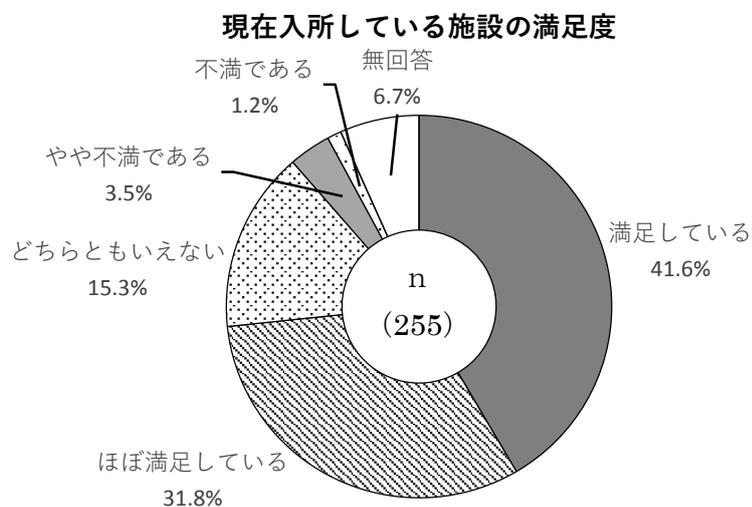
現在の介護保険施設サービスを受けて良かったと思うこととしては、「精神的に楽になった」が39.2%で最も多く、次いで「人と話す機会が増えた」が33.7%、「体調が良くなった」が29.8%と続いています。

現在の介護保健施設サービスを受けてよかったと思うこと



現在入所している施設のサービスに満足していますか（問 15）

現在、入所している施設のサービスについて「満足している」が41.6%で最も多くなっています。「満足している」(41.6%)と「ほぼ満足している」(31.8%)を合わせた『満足』は73.4%となっています。一方、「やや不満である」(3.5%)と「不満である」(1.2%)を合わせた『不満』は4.7%となっています。

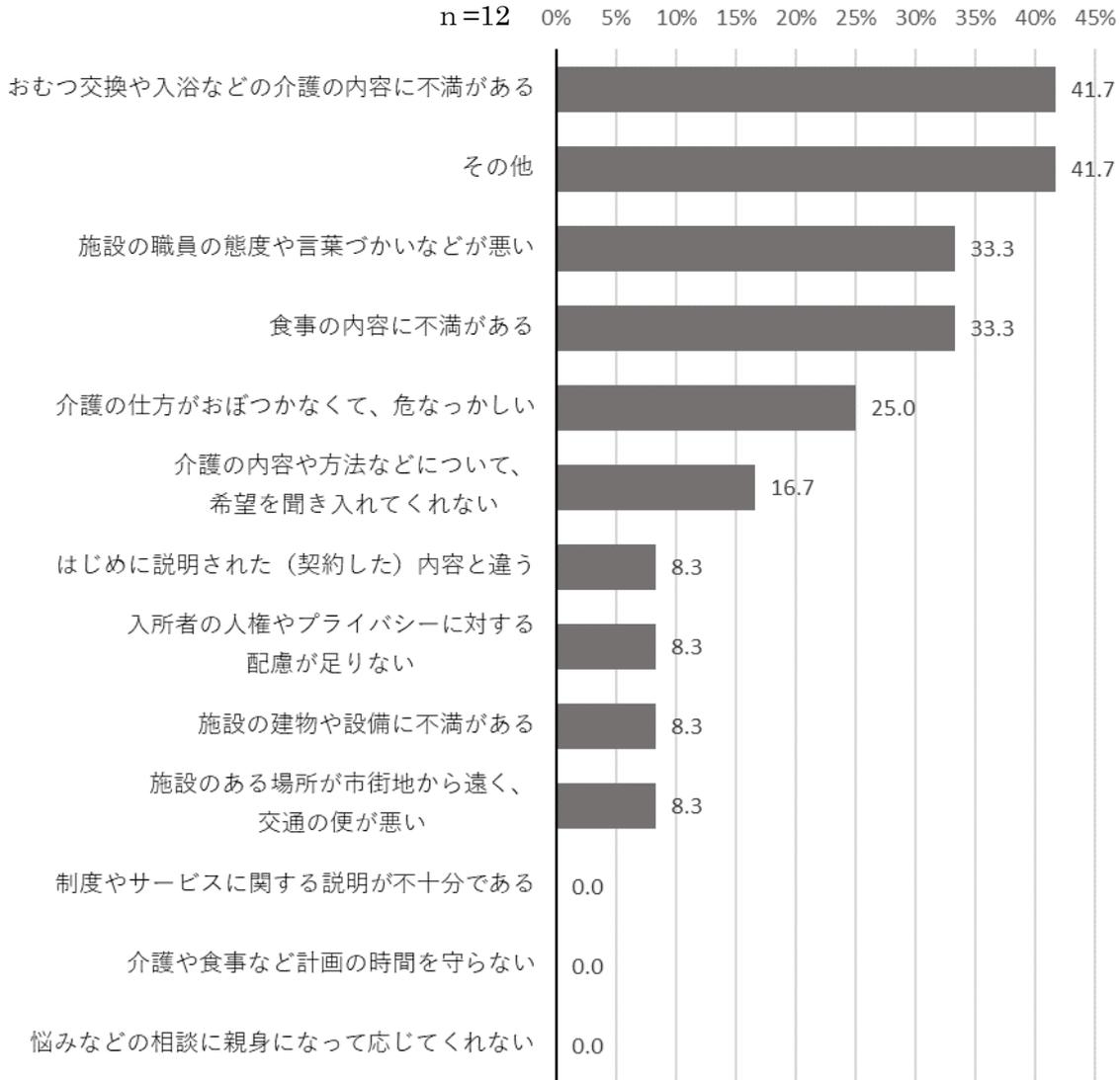


【問15で「4. やや不満である」、「5. 不満である」の方のみ】

施設のサービスに不満な理由は何ですか（いくつでも）（問16）

現在、入所している施設のサービスについて「やや不満である」「不満である」という人に、その理由を聞いたところ、「おむつ交換や入浴などの介護の内容に不満がある」が41.7%で最も多く、次いで「施設の職員の態度や言葉づかいなどが悪い」と「食事の内容に不満がある」が33.3%、「介護の仕方がおぼつかなくて、危なっかしい」が25.0%と続いています。

施設のサービスに不満な理由

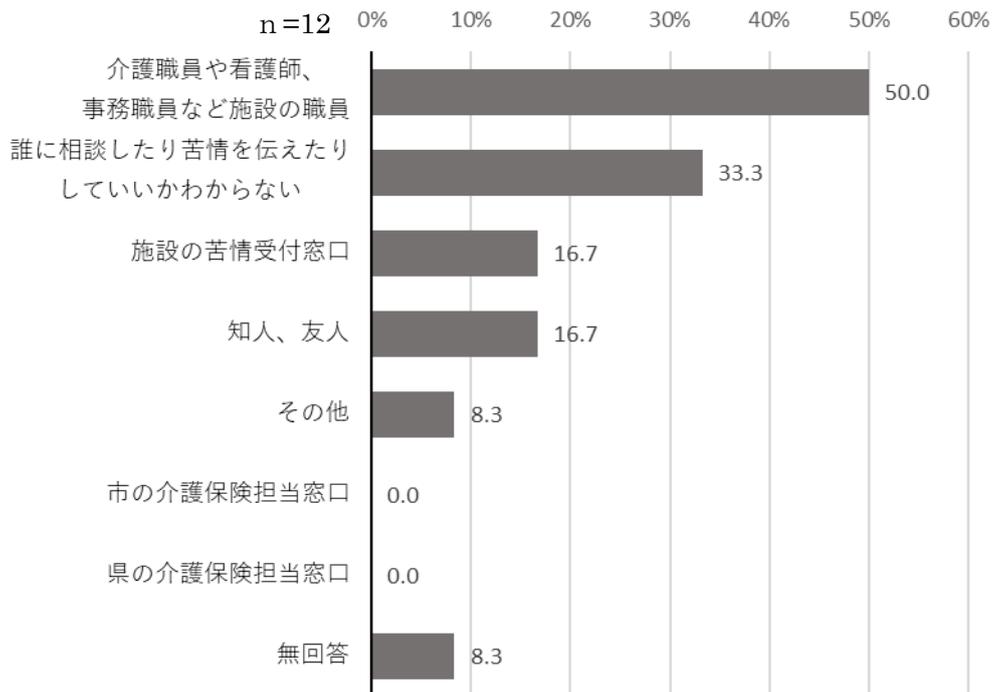


【問15で「4. やや不満である」、「5. 不満である」の方のみ】

施設のサービスの内容や職員の対応などに不満があるとき、あなたやご家族の方は誰に（どこに）相談しますか（いくつでも）（問17）

現在、入所している施設のサービスについて「やや不満である」「不満である」という人に、相談先を聞いたところ、「介護職員や看護師、事務職員など施設の職員」が50.0%で最も多く、次いで「誰に相談したり苦情を伝えたりしていいかわからない」が33.3%、「施設の苦情受付窓口」と「知人、友人」が16.7%と続いています。

施設のサービス内容や職員の対応などの不満の相談先

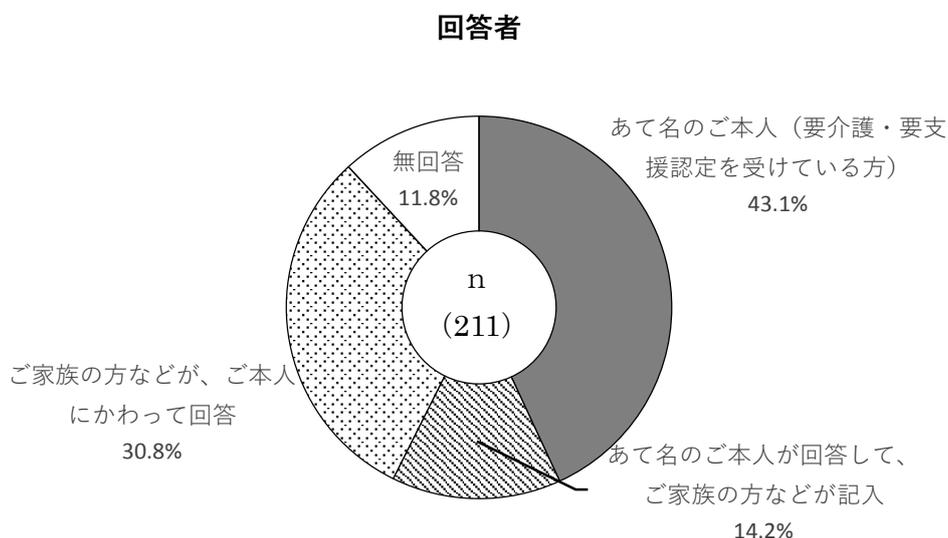


第6章 サービス未利用者に関する調査結果

1. 回答者について

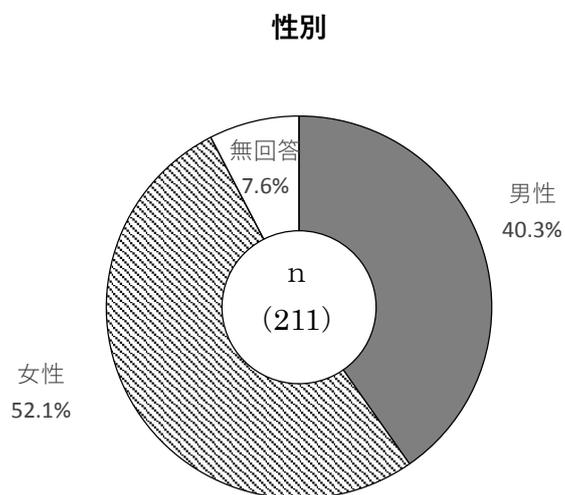
このアンケートに答えていただくのはどなたですか（問1）

回答者については、「あて名のご本人」が43.1%で最も多く、次いで「ご家族の方などが、ご本人にかわって回答」が30.8%となっています。



あなたの性別をお答えください（問2）

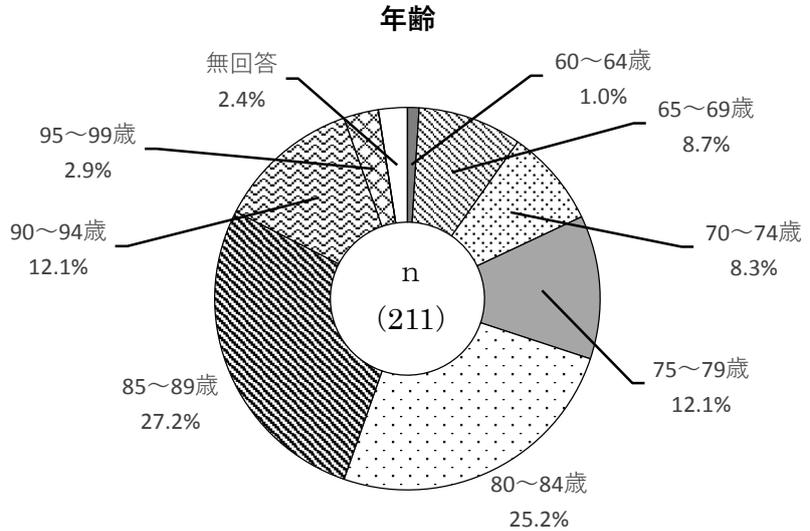
性別をみると、「男性」が40.3%、「女性」が52.1%となっています。



平成29年2月10日現在のあなたの年齢をお答えください（問3）

年齢をみると、「85～89歳」が27.2%と最も多く、次いで「80～84歳」が25.2%、「75～79歳」と「90～94歳」が12.1%、「65～69歳」が8.7%と続いています。『60歳未満』は下表のとおりです。

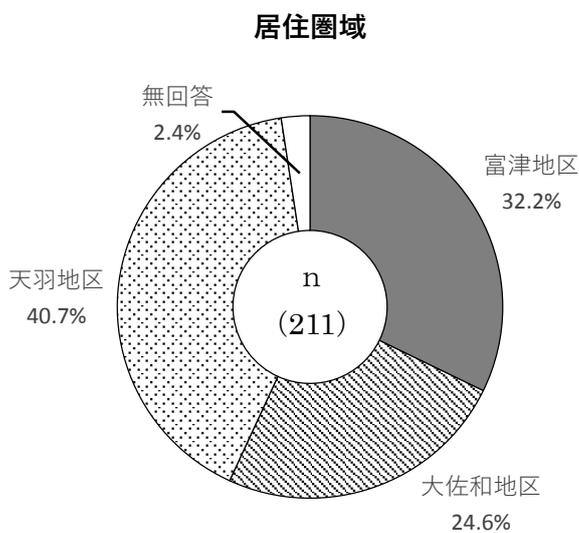
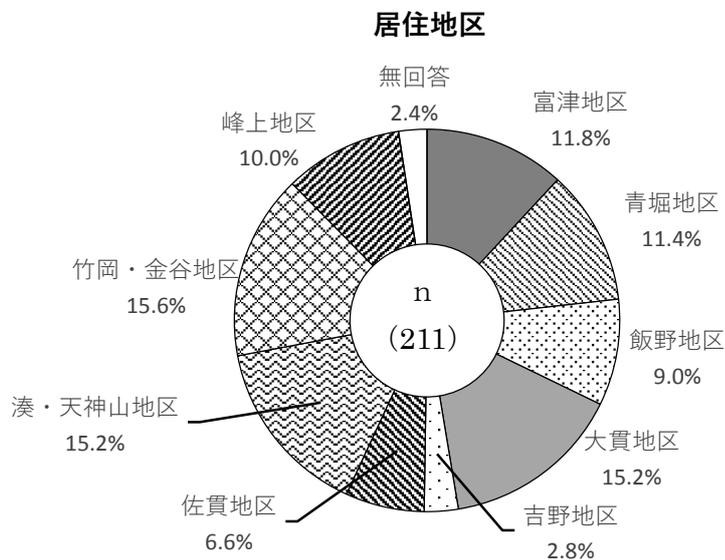
年齢	構成比 (%)
40～44歳	0.0
45～49歳	0.9
50～54歳	0.0
55～59歳	1.4



あなたのお住まいの地区はどちらですか（問4）

居住地区は、「竹岡・金谷地区」が15.6%で最も多く、次いで「大貫地区」と「湊・天神山地区」が15.2%、「富津地区」が11.8%と続いています。

居住圏域は、天羽地区が40.7%で最も多く、次いで富津地区が32.2%、大佐和地区が24.6%と続いています。

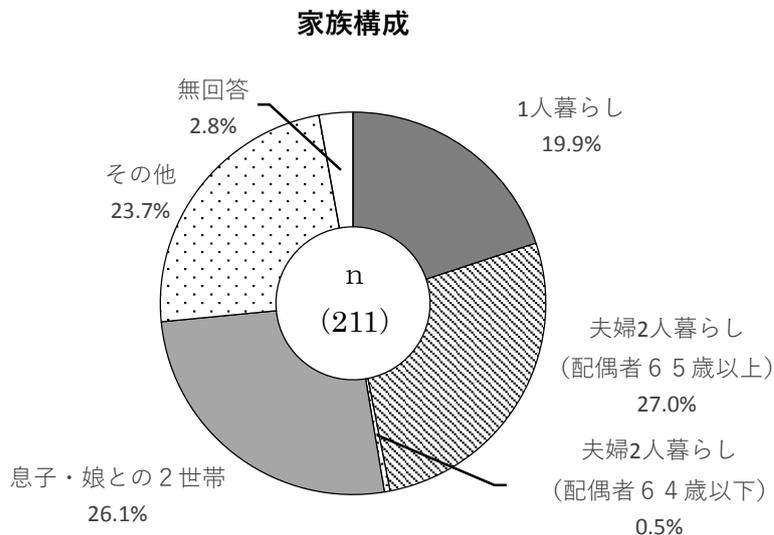


2. ご家族や生活状況について

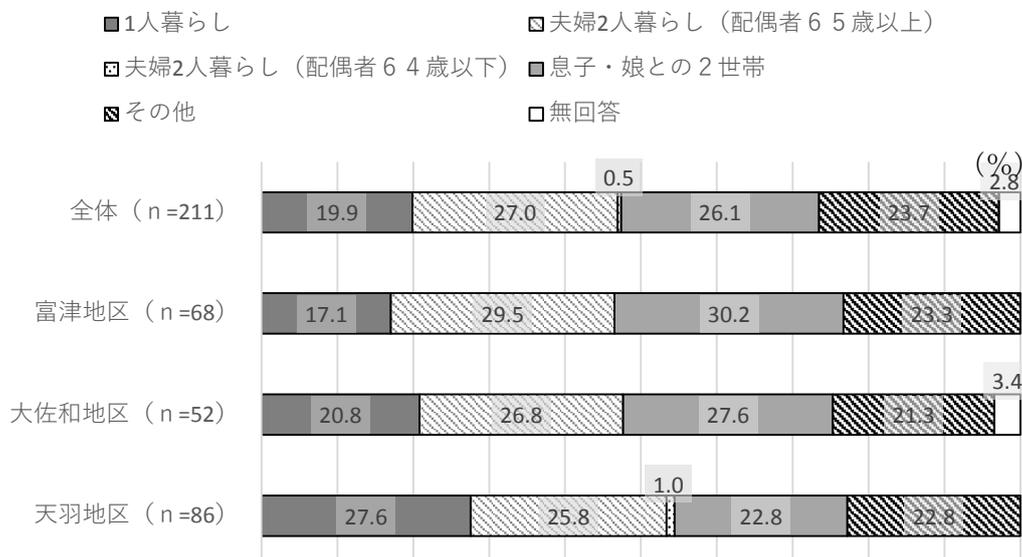
家族構成をお教えてください（問5）

家族構成をみると、「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が27.0%で最も多く、次いで「息子・娘との2世帯」が26.1%、「1人暮らし」が19.9%と続いています。

圏域別にみると、「1人暮らし」は天羽地区が27.6%で最も多くなっています。

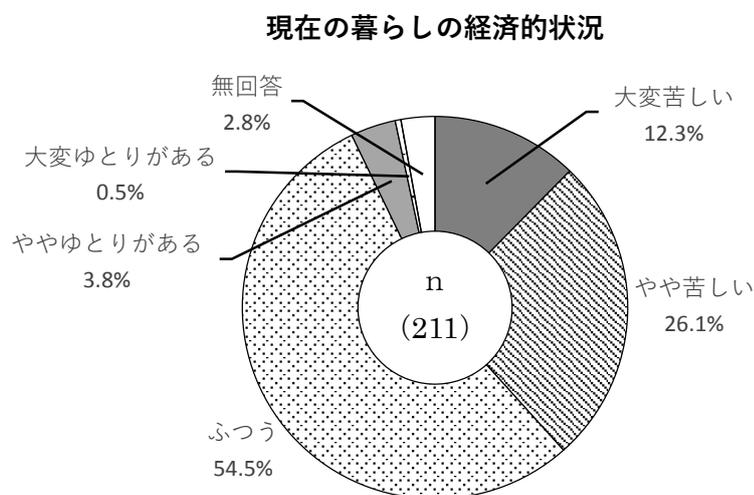


【圏域別】家族構成



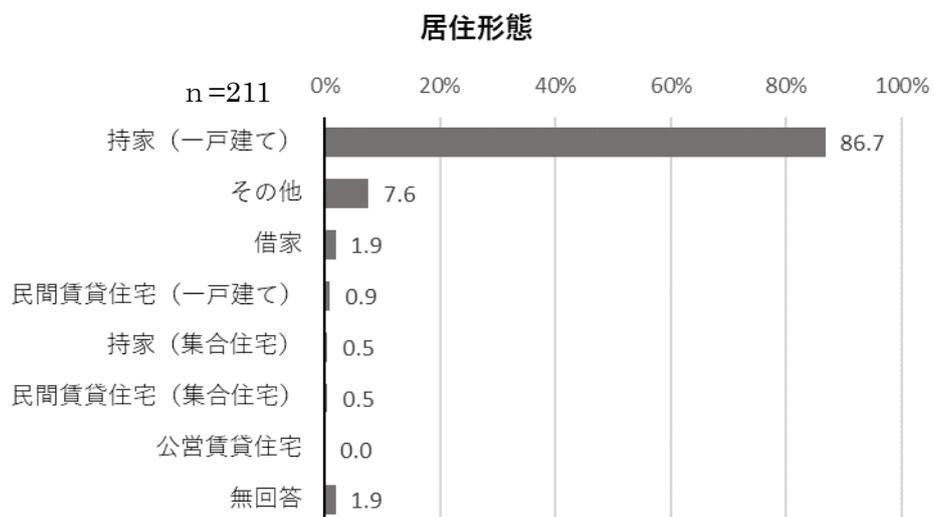
現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか（問6）

現在の暮らしの経済的状況は、「ふつう」が 54.5%で最も多く、「大変苦しい」（12.3%）と「やや苦しい」（26.1%）を合わせた『苦しい』が 38.4%となっています。



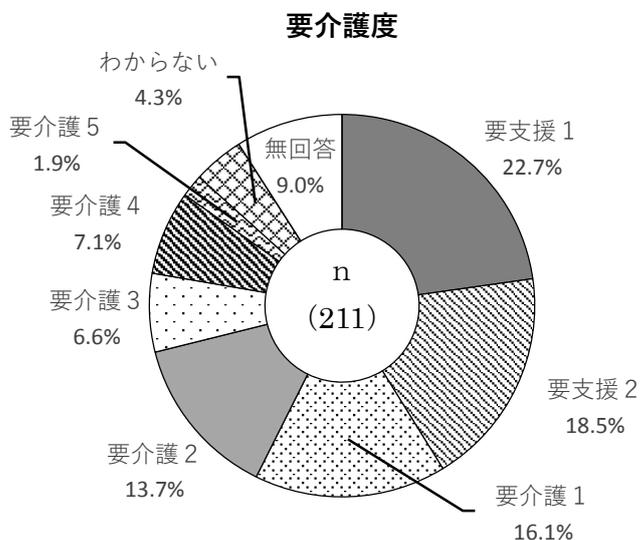
あなたの現在のお住まいは、次のうちどれにあてはまりますか（問7）

居住形態を見ると、「持家（一戸建て）」が 86.7%と 8 割を超えています。



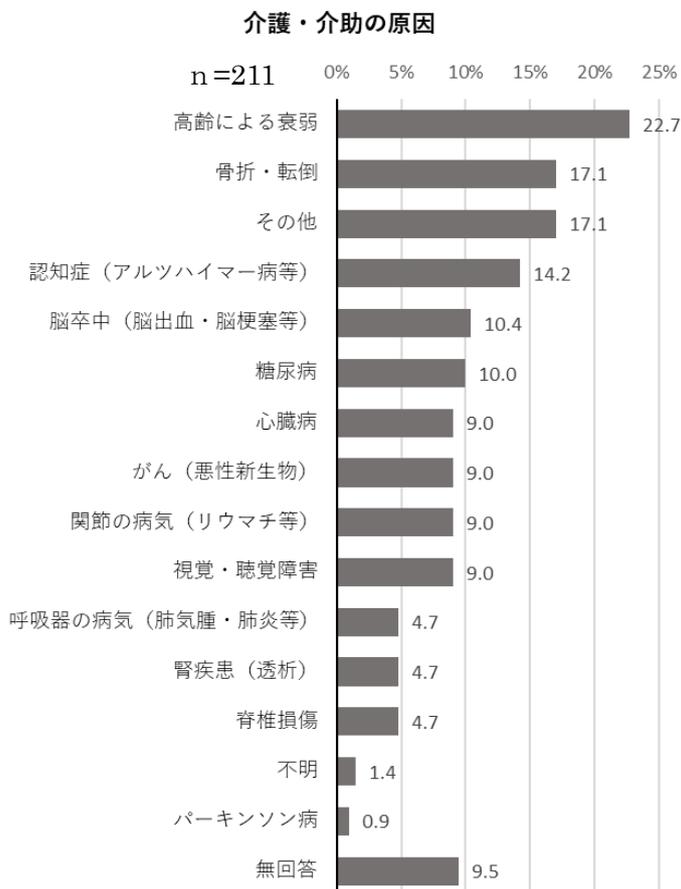
現在のあなたの要介護度は、次のどれですか（問8）

要介護度をみると、「要支援1」が22.7%で最も多く、次いで「要支援2」が18.5%、「要介護1が」16.1%と続いています。



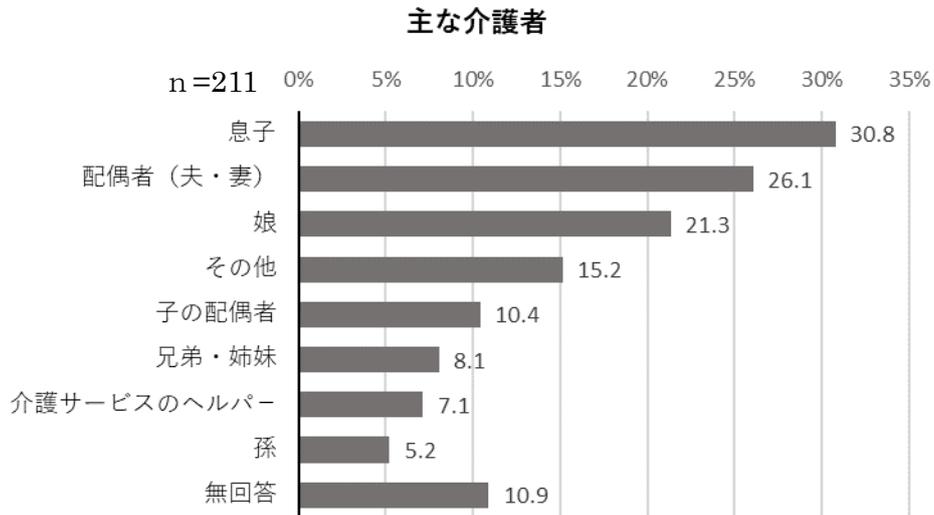
介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）（問9）

介護・介助が必要になった主な原因としては、「高齢による衰弱」が22.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が17.1%、「認知症（アルツハイマー病等）」が14.2%と続いています。



主にどなたの介護、介助を受けていますか（いくつでも）（問 10）

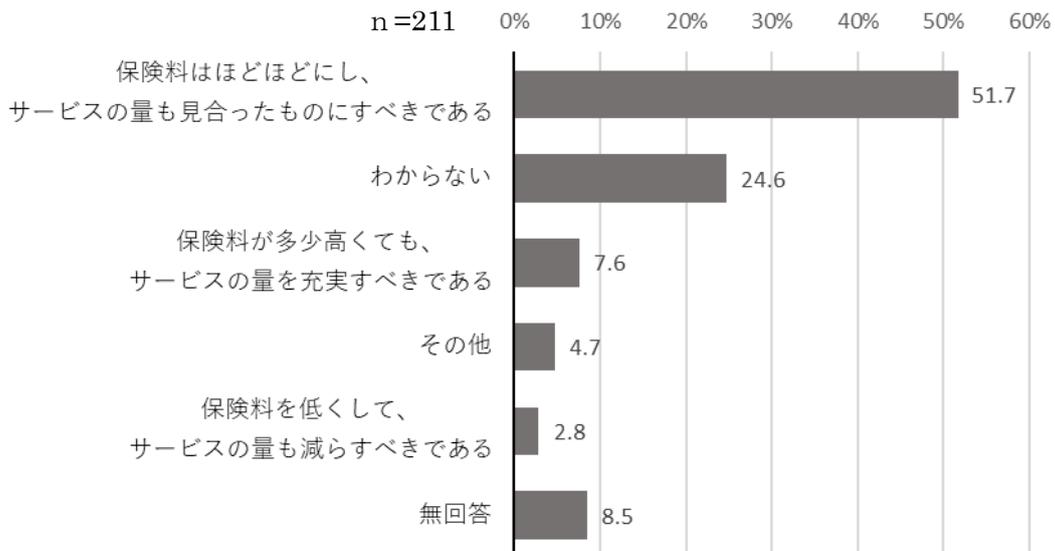
主な介護者は、「息子」が30.8%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が26.1%、「娘」が21.3%と続いています。



介護保険制度は、40歳以上の方から保険料を徴収して、介護が必要な方にサービスを提供する費用に充てていますが、保険料と介護保険サービスのあり方について、あなたはどのようにお考えですか（問 11）

保険料と介護保険サービスのあり方については、「保険料はほどほどにし、サービスの量も見合ったものにすべきである」が51.7%で最も多く、次いで「わからない」が24.6%、「保険料が多少高くても、サービスの量を充実すべきである」が7.6%と続いています。

保険料と介護保険サービスのあり方についての考え

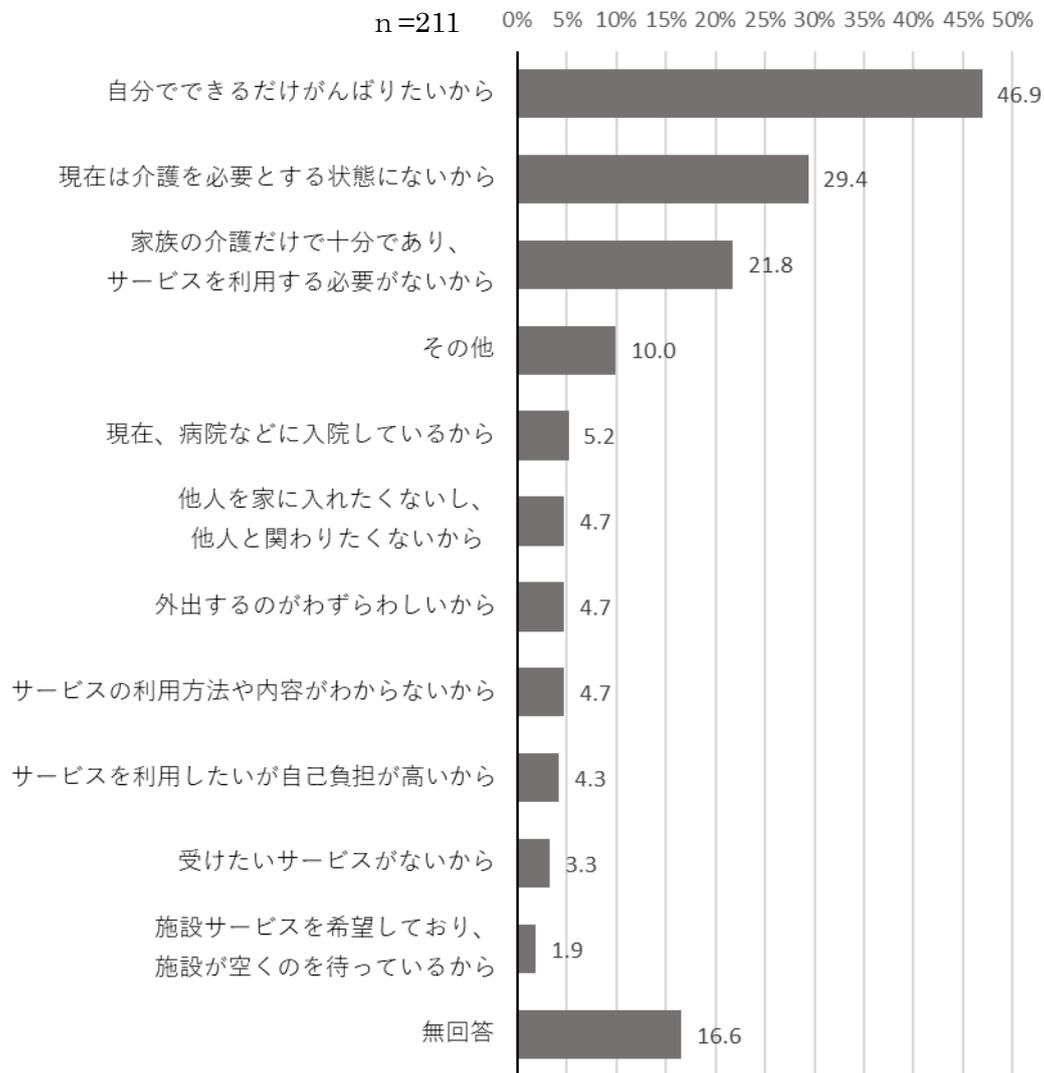


現在、サービスを利用していない主な理由は次のうちどれですか（2つまで）（問 12）

居宅サービスを利用していない理由としては、「自分でできるだけがんばりたいから」が46.9%で最も多く、

次いで「現在は介護を必要とする状態にないから（念のため認定を受けた）」が29.4%、「家族の介護だけで十分であり、サービスを利用する必要がないから」が21.8%と続いています。

現在、サービスを利用していない主な理由



※2つまで選択する設問だが、複数回答として集計した。

【経年比較】現在、サービスを利用していない主な理由

(%)

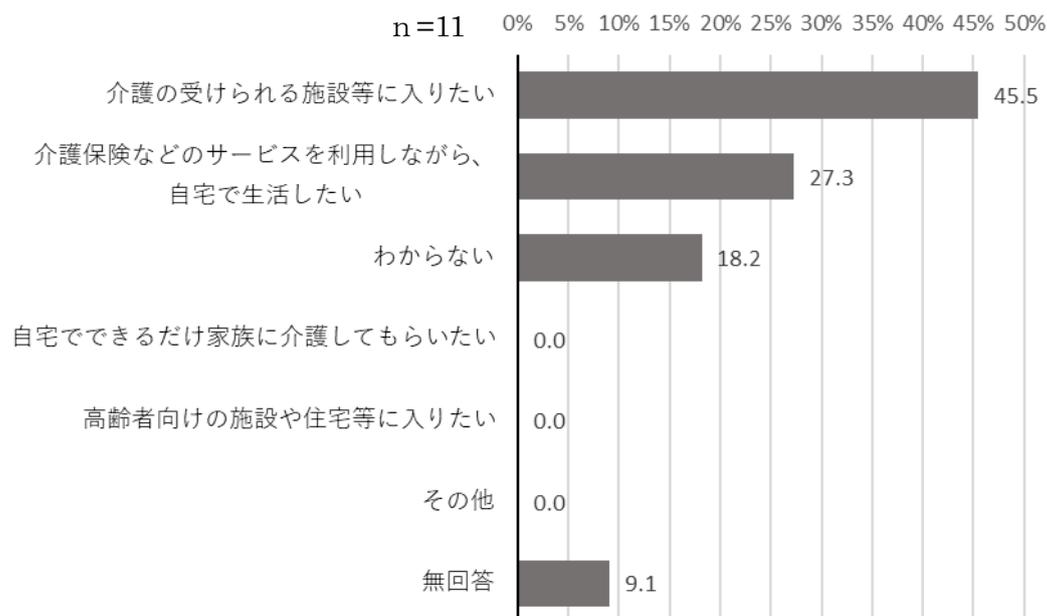
	回答数	現在は介護を必要とする状態になりから（念のため認定を受けた）	自分でできるだけがんばりたいから	家族の介護だけで十分であり、サービスを利用する必要がないから	現在、病院などに入院しているから	施設サービスを希望しており、施設が空くのを待っているから	他人を家に入れたくないし、他人と関わりたくないから	外出するのがわずらわしいから	サービスの利用方法や内容がわからないから	サービスを利用したいが自己負担が高いから	その他	受けたサービスがないから	無回答
平成 29 年	211	29.4	46.9	21.8	5.2	1.9	4.7	4.7	4.7	4.3	10.0	3.3	16.6
平成 26 年	258	18.2	34.5	14.7	3.1	0.8	3.1	5.0	-	3.5	6.2	4.7	30.6
平成 23 年	210	21.9	41.9	18.6	8.6	2.4	3.3	1.9	7.6	9.5	7.1	6.2	10.0
平成 20 年	236	22.0	44.5	15.7	10.2	0.8	2.1	3.4	2.5	6.4	5.1	9.7	14.8

【問12で「4. 現在、病院などに入院しているから」の方のみ】

あなたは、どのような介護を希望しますか（問13）

サービスを利用していない理由として「現在、病院などに入院しているから」「施設サービスを希望しており、施設が空くのを待っているから」と回答した方に希望する介護サービスの利用意向を聞いたところ、「介護の受けられる施設等に入りたい」が45.5%で最も多くなっています。また、「介護保険などのサービスを利用しながら、自宅で生活したい」27.3%と続いています。

今後希望する介護の形態

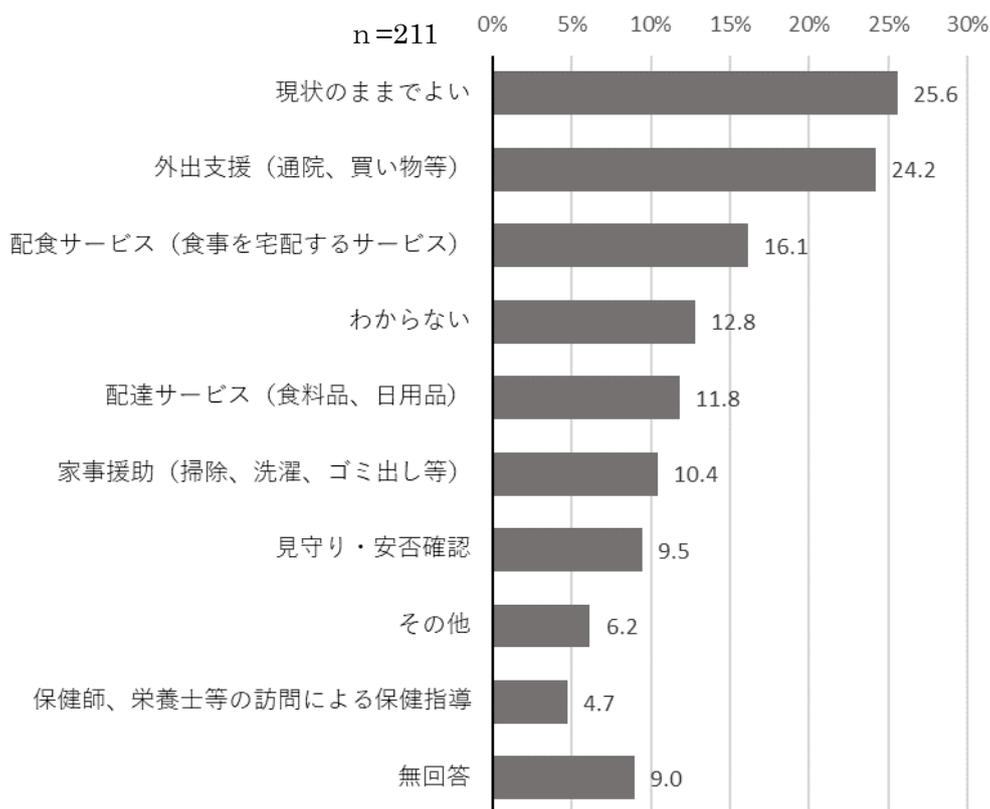


【問12で「4. 現在、病院などに入院しているから」の方のみ】

現在の各種居宅サービス以外で、現在のお住まいでどのようなサービスを始めてほしいとお考えですか
(問14)

新たに実施してほしい居宅サービスをみると、「現状のままでよい」が25.6%で最も多く、次いで「外出支援（通院、買い物等）」が24.2%、「配食サービス（食事を宅配するサービス）」が16.1%と続いています。

新たに実施してほしい居宅サービス



介護保険の居宅サービスの今後の利用意向についてうかがいます（いくつかも）（問15）

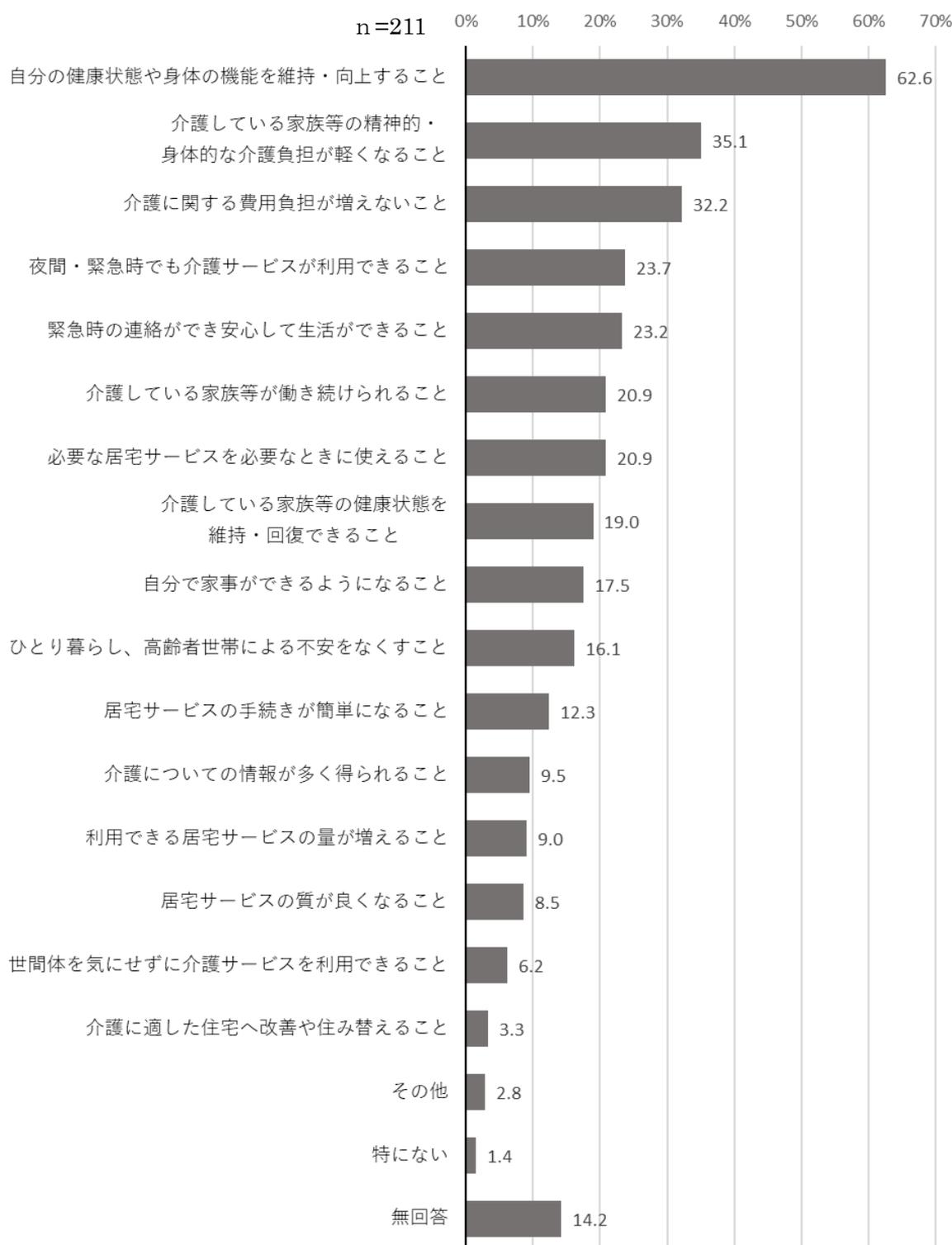
介護保険の居宅サービスの今後の利用意向をみると、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が19.4%で最も多く、次いで「通所介護（デイサービス）」が16.6%、「訪問リハビリテーション（リハビリ専門職の訪問）」が14.7%と続いています。



**あなたは、今後も住み慣れた地域で生活をするためには、どのようなことが必要だと思いますか
(5つまで) (問16)**

今後も住み慣れた地域で生活をするために必要なこととしては、「自分の健康状態や身体の機能を維持・向上すること」が62.6%で最も多く、次いで「介護している家族等の精神的・身体的な介護負担が軽くなること」が35.1%、「介護に関する費用負担が増えないこと」が32.2%と続いています。

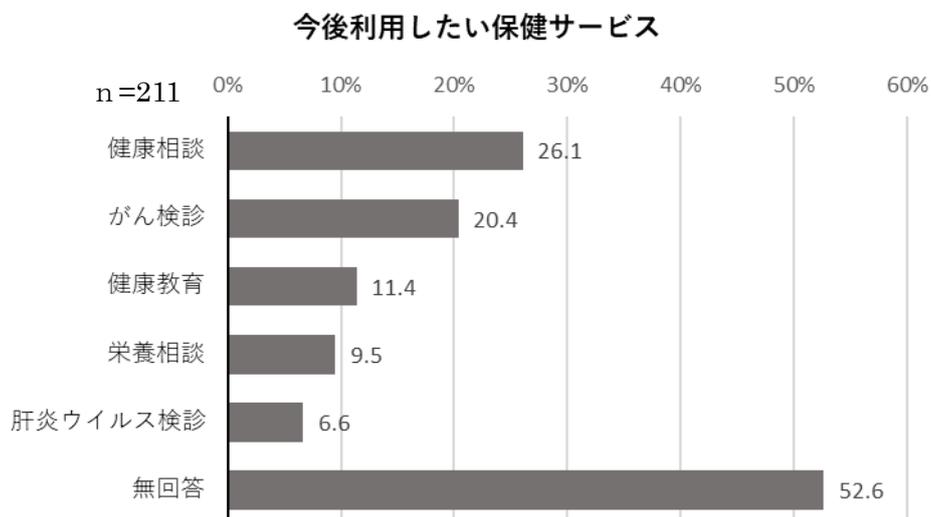
今後も在宅生活を続けるために必要なこと



※5つまでを選択できる設問だが複数回答として集計した。

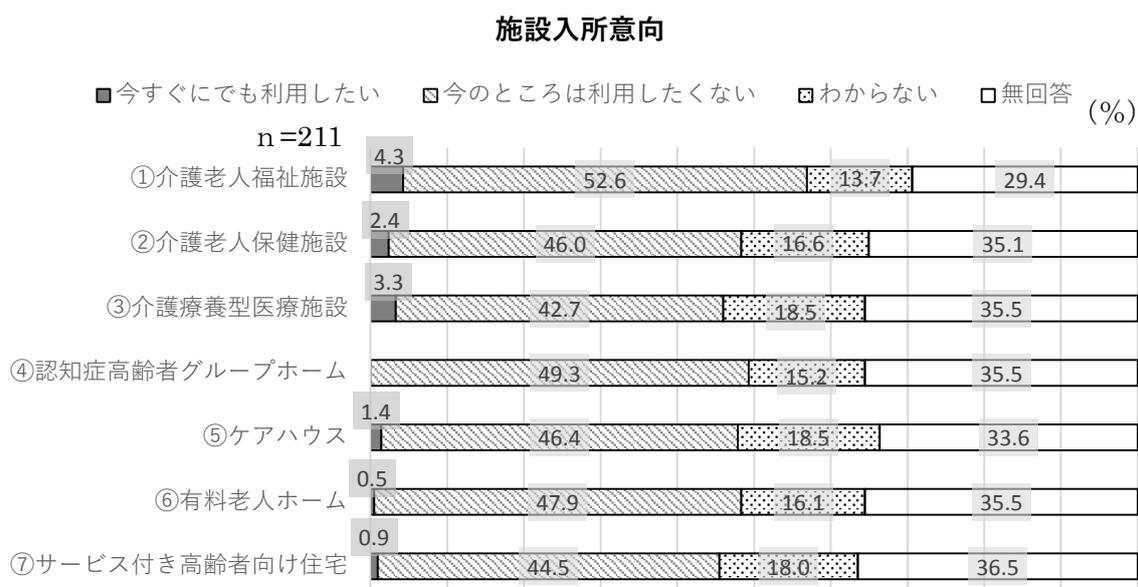
富津市では次のような保健サービスを行っています、あなたが今後利用したい（つづきたい）サービスはどれですか（いくつでも）（問17）

今後利用したい保健サービスをみると、「健康相談（生活習慣病予防や健康づくりに関しての相談）」が26.1%で最も多く、次いで「がん検診（胃がん・乳がん・大腸がん・肺がん・子宮がん）」が20.4%、「健康教育（生活習慣病予防や健康づくりに関しての教室や講習会等）」が11.4%と続いています。



次のような施設に入所（入院、入居）したいと思いませんか（問18）

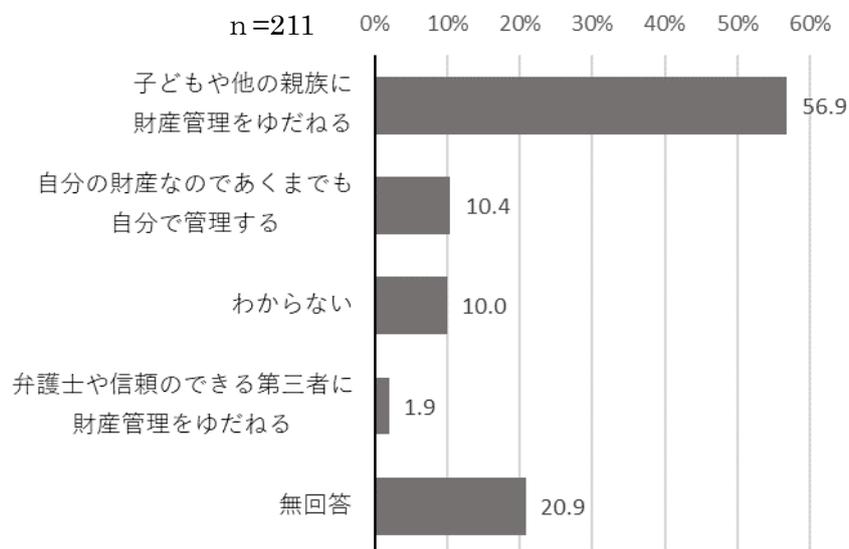
施設入所意向を「今すぐにでも利用したい」の多い順でみると、＜介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）＞が4.3%で最も多く、＜介護療養型保健施設＞が3.3%と続いています。



認知症になるなど、高齢化に伴って財産の適正な管理や活用に不安が生じた場合、あなたはどのようにしたいと思いますか（問19）

認知症などになった場合の財産管理の希望としては、「子どもや他の親族に財産管理をゆだねる」が56.9%で最も多く、「自分の財産なのであくまでも自分で管理する」が10.4%と続いています。

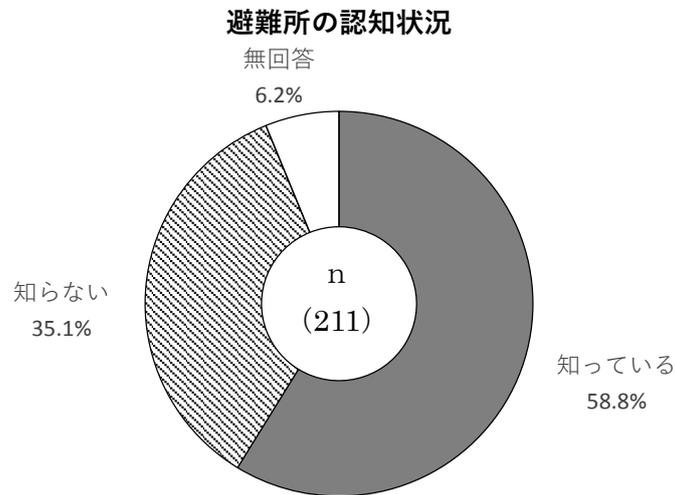
認知症などになった場合の財産管理について的手段



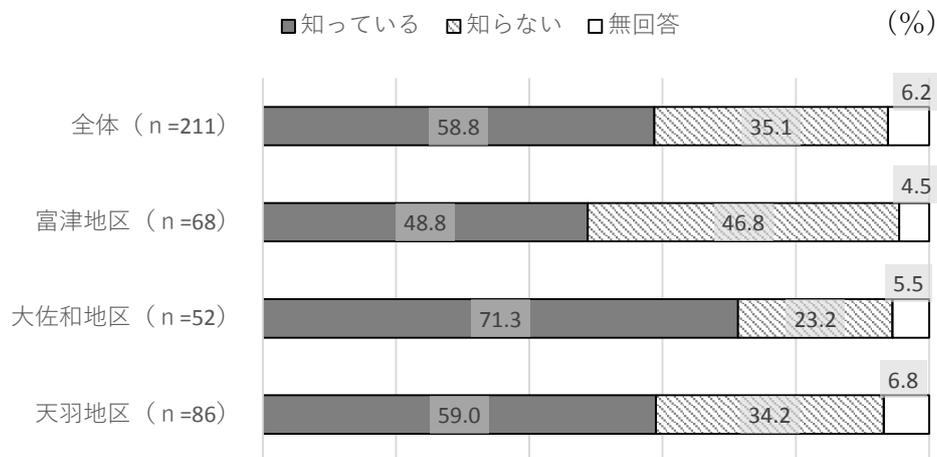
3. 災害発生時の対応について

あなたは、地震などの災害発生時の避難所がどこかご存知ですか（問 20）

地震などの災害発生時の避難所を「知っている」が58.8%、「知らない」が35.1%となっています。圏域別にみると、「知らない」は富津地区が46.8%で最も多くなっています。



【圏域別】避難所の認知状況

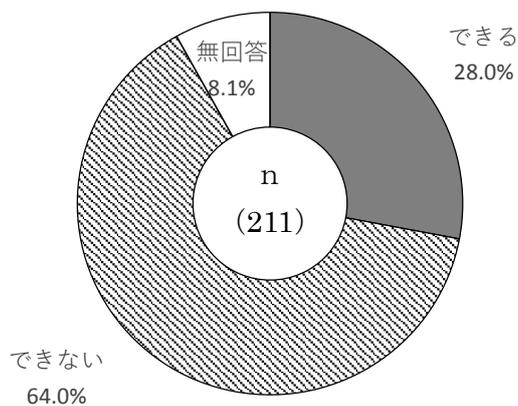


あなたは、地震などの災害発生時に、ご自宅から避難所まで自力で避難ができますか（問 21）

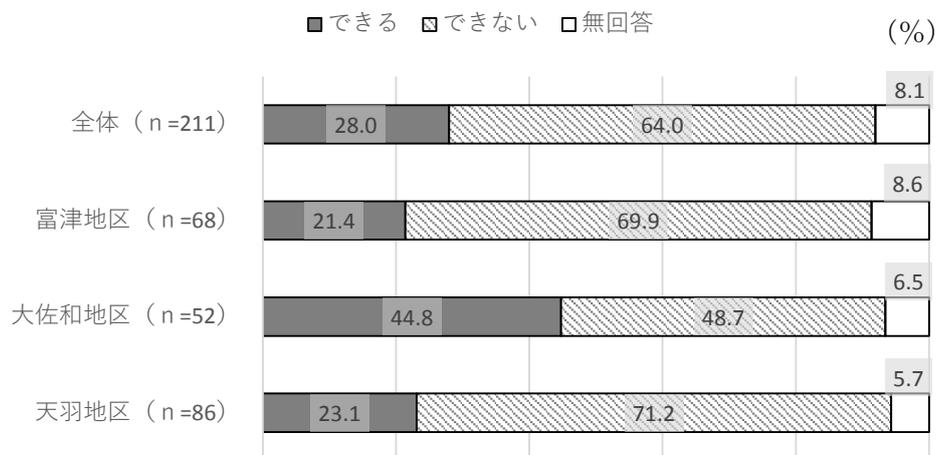
地震などの災害発生時に、自宅から避難所まで自力で避難「できる」が28.0%、「できない」が64.0%となっています。

圏域別にみると、「できない」は天羽地区が71.2%で最も多く、富津地区が69.9%と続いています。

自力避難の可否



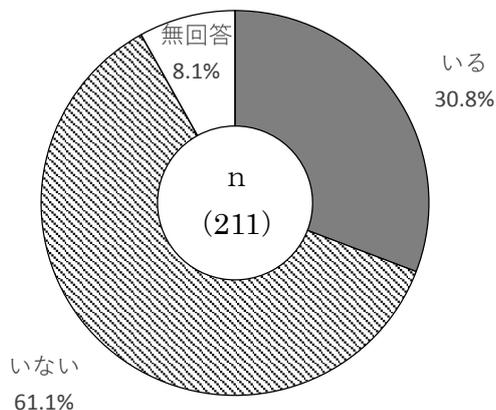
自力避難の可否



あなたは、地震などの災害発生時の避難を助けてくれる家族以外の特定の方はいですか（問 22）

地震などの災害発生時の避難を助けてくれる家族以外の特定の方が「いる」が30.8%、「いない」が61.1%となっています。

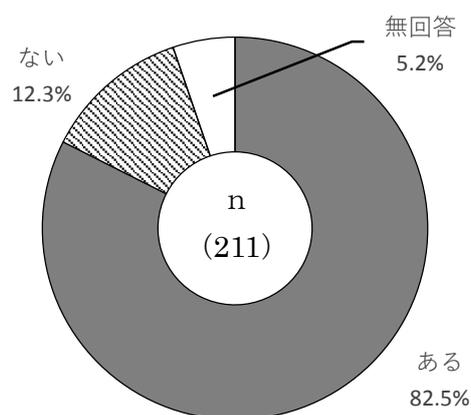
家族以外の介助者の有無



あなたのご自宅には、常時3日程度の食料がありますか（冷蔵庫内の食料を含む）（問 23）

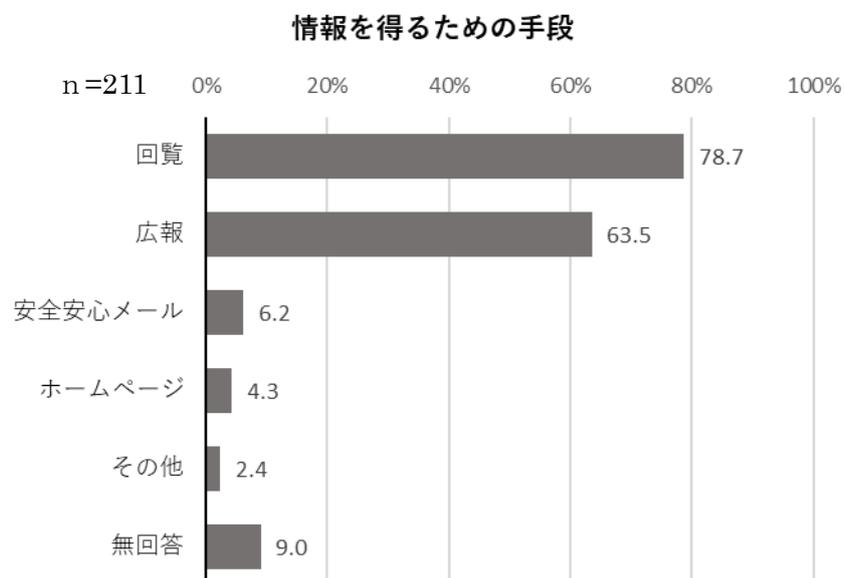
自宅には常時3日程度の食料が「ある」が82.5%、「ない」が12.3%となっています。

常時3日程度の食料の有無



富津市からの情報を得るための方法として、利用しているものはありますか（いくつでも）（問24）

富津市からの情報を得るための方法として、利用しているものをみると、「回覧」78.7%で最も多く、次いで「広報」が63.5%、「安全安心メール」が6.2%と続いています。

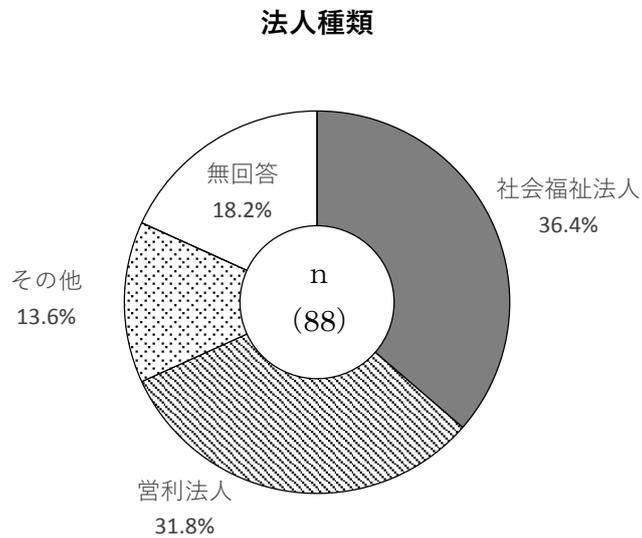


第7章 介護保険サービス提供事業者に関する調査結果

1. 貴事業所について

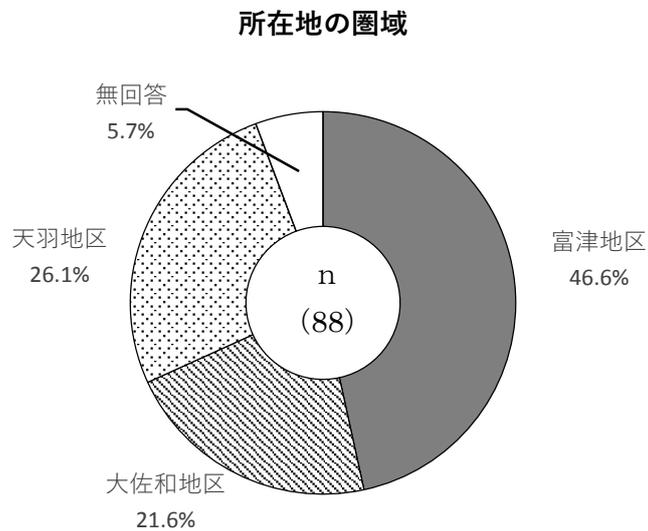
貴事業所の概要について記入してください（問1）

事業所の法人種類をみると、「社会福祉法人」が36.4%で最も多く、「営利法人」が31.8%と続いています。



所在地の圏域をお答えください（問2）

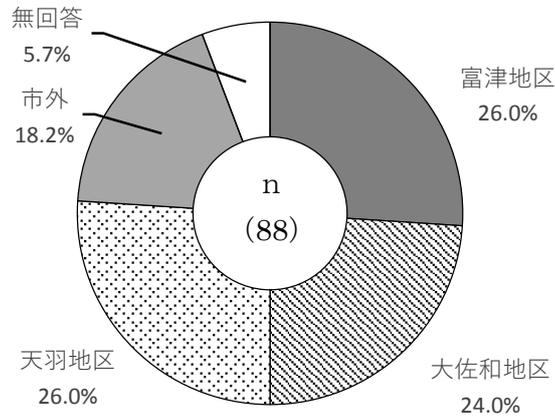
事業所の所在地の圏域としては、「富津地区」が46.6%で最も多く、次いで「天羽地区」が26.1%、「大佐和地区」が21.6%と続いています。



貴事業所の現在の介護サービス提供地域をお聞かせください（問3）

事業所のサービス提供地域としては、「富津地区」と「天羽地区」が26.0%で最も多く、次いで「大佐和地区」が24.0%、「市外」が18.2%と続いています。

介護サービス提供地域



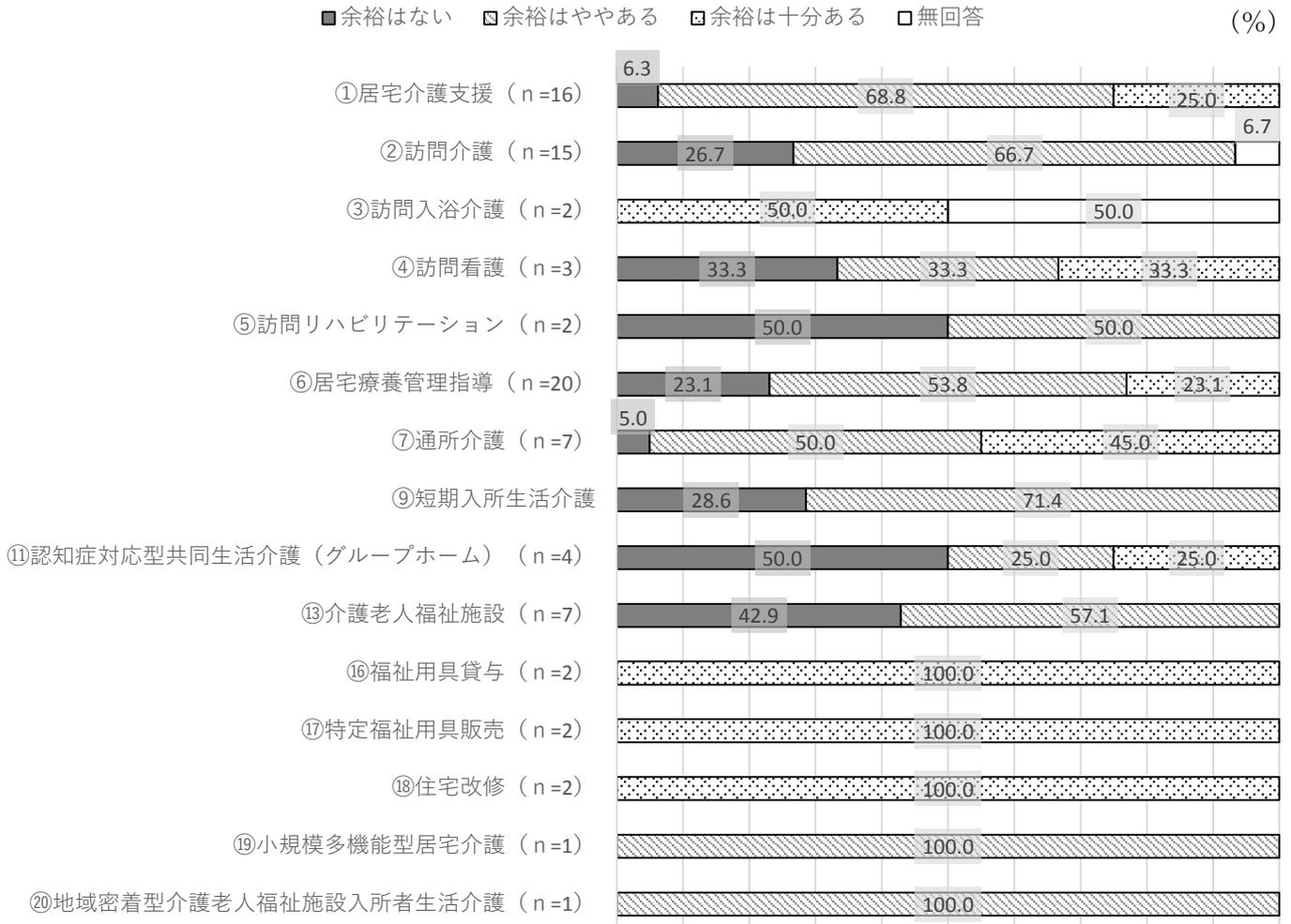
2. 貴事業所が提供しているサービスについて

貴事業所が提供している介護サービスの種類ごとに、以下の質問にお答えください（問4）

（1）利用者からの利用申込への対応状況

※それぞれのサービスを提供している事業所数が少ないため、グラフは参考までの掲載とします。

利用者からの利用申込への対応状況

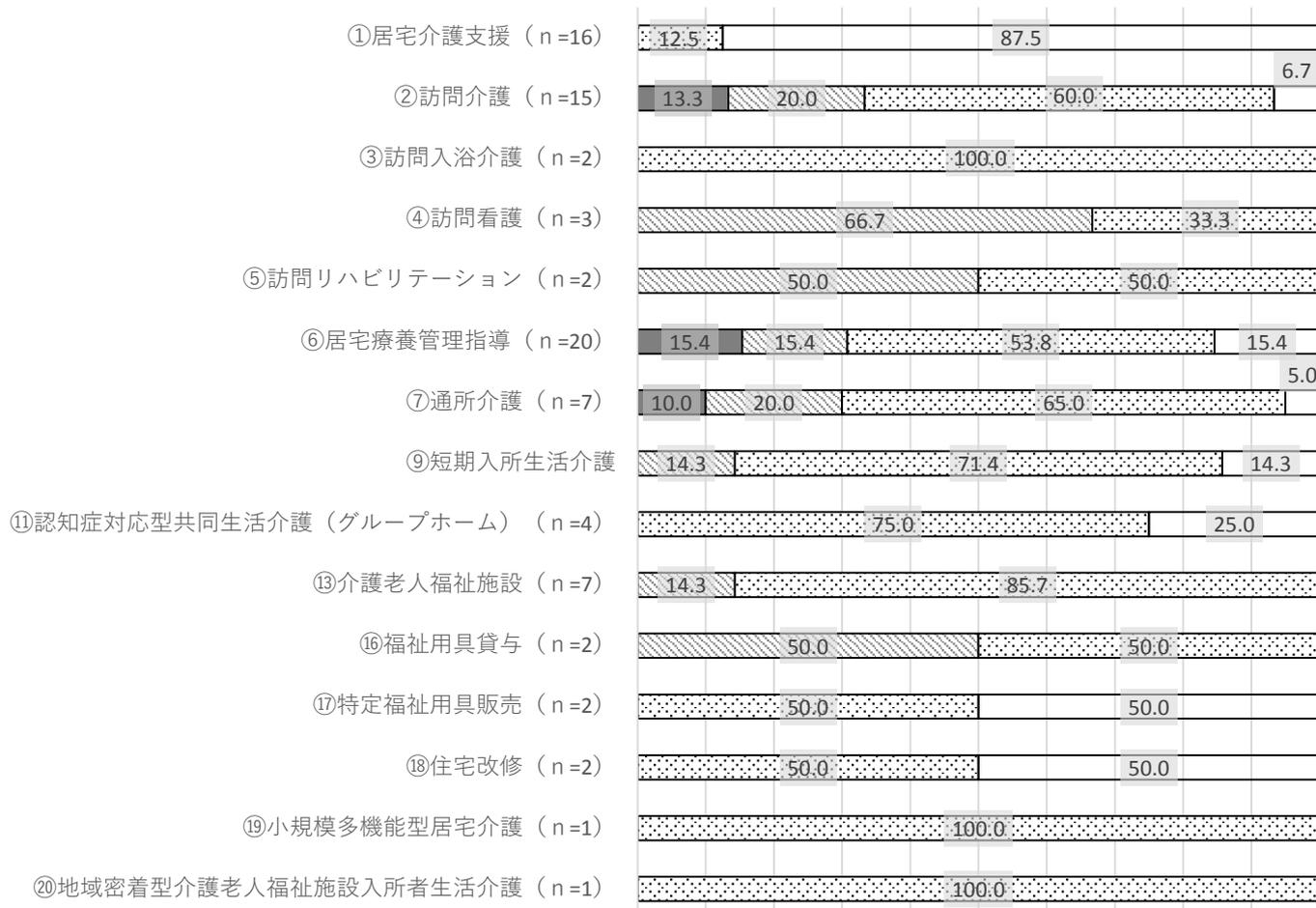


(2) 利用者からの一部負担金の徴収状況

※それぞれのサービスを提供している事業所数が少ないため、グラフは参考までの掲載とします。

利用者からの一部負担金の徴収状況

■ どちらともいえない ▨ 支障がある場合がある ▩ 特に支障がない □ 無回答 (%)

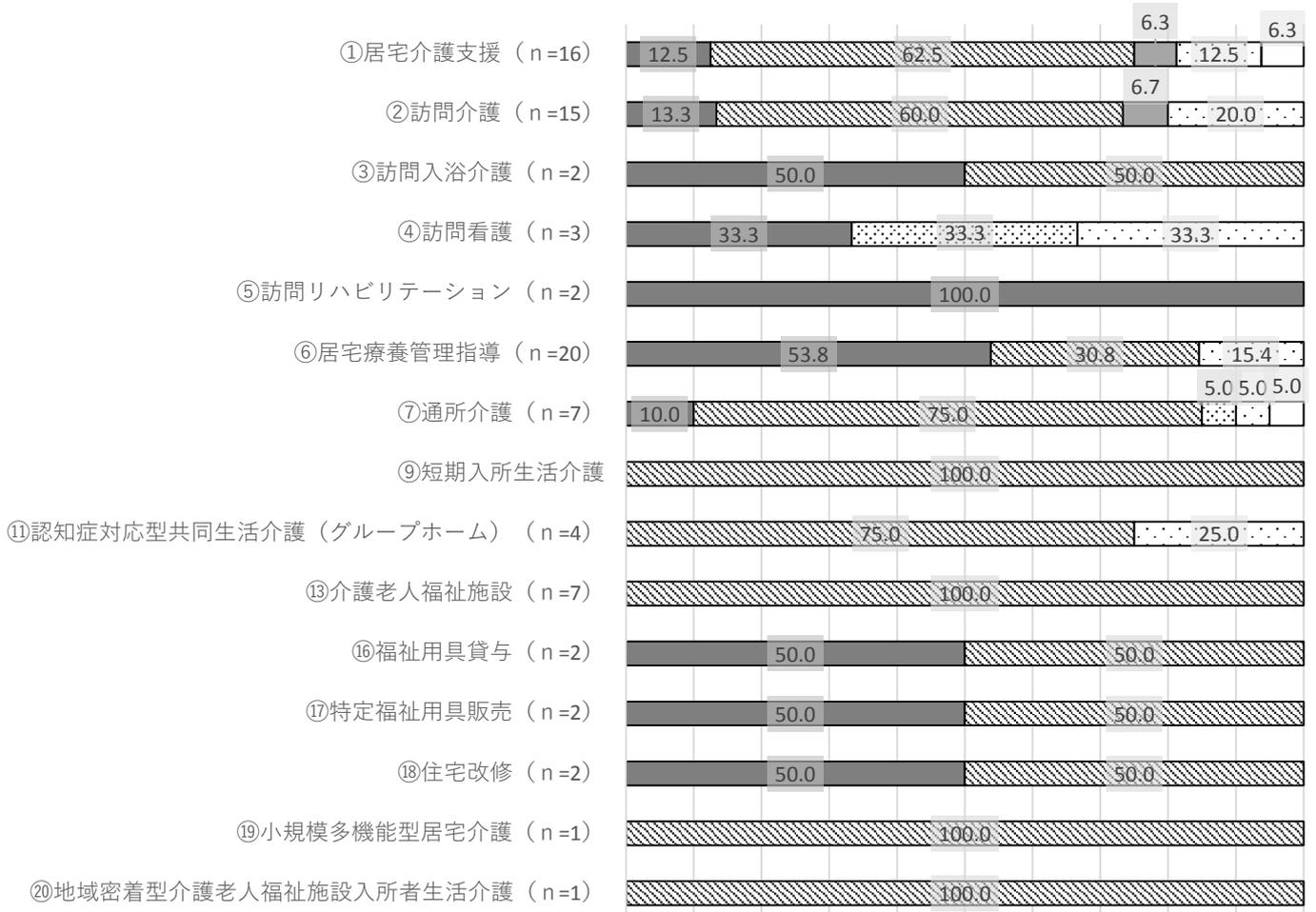


(3) 今後の事業展開

※それぞれのサービスを提供している事業所数が少ないため、グラフは参考までの掲載とします。

今後の事業展開

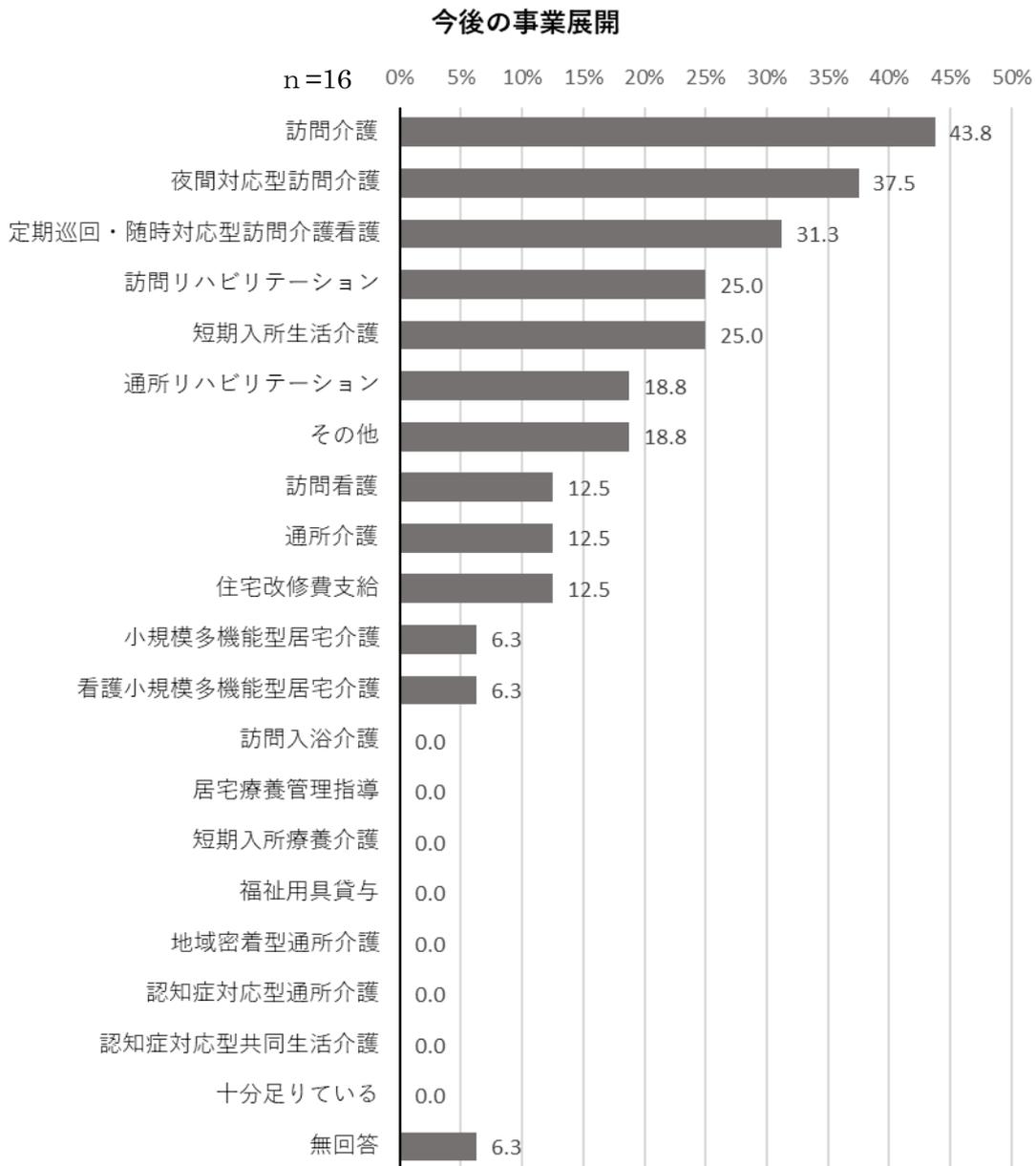
■ 拡大を考えている ■ 現状のまま ■ 縮小を考えている ■ 事業廃止予定 □ 現時点ではわからない □ 無回答 (%)



【居住介護支援をご提供の事業所の方にお伺いします】

利用者の在宅生活を支えていくために、今後充実させる必要があると考えるサービスは何ですか。現在不足しているサービスを含め、お答えください（3つまで）（問5）

居宅介護支援を行っている事業所に利用者の在宅生活を支えるために、充実させる必要があるサービスを聞いたところ、「訪問介護」が43.8%で最も多く、次いで「夜間対応型訪問介護」が37.5%、「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」が31.3%と続いています。

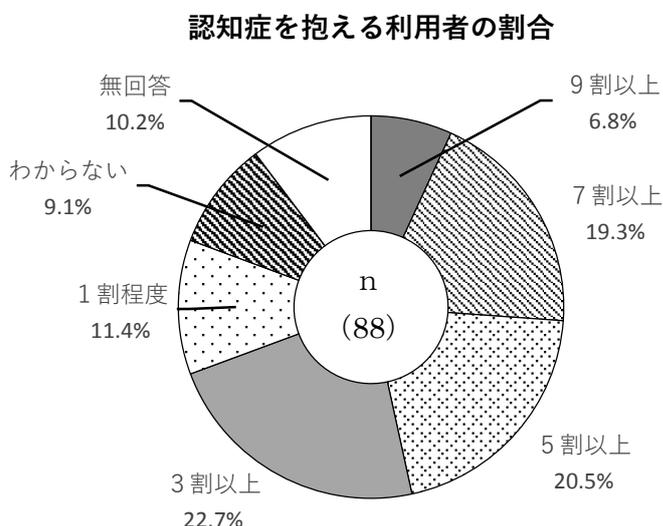


※3つまで選択する設問だが、複数回答として集計した。

3. 認知症対策について

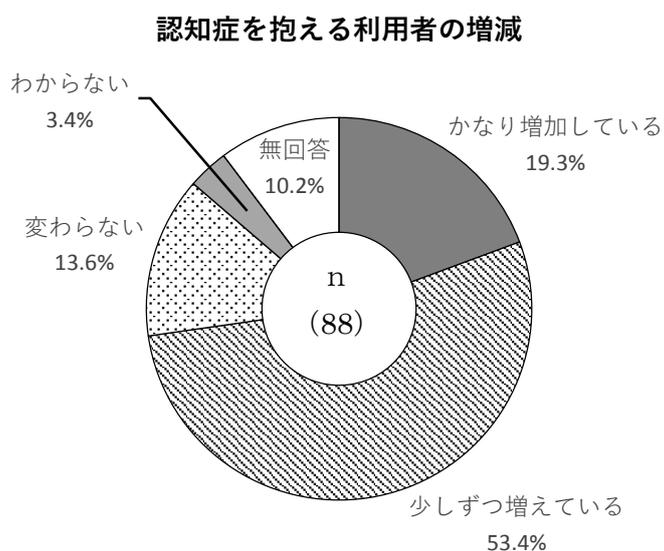
貴事業所のサービス利用者、認知症を抱える方（認知症自立度Ⅱa以上の方、及びⅡa以上に該当すると思われる方）はどのくらいいますか（問7）

サービス利用者のうち、認知症を抱える方の割合は「3割以上」が22.7%で最も多くなっています。



以前と比べ、認知症を抱える利用者は増えていると感じていますか（問8）

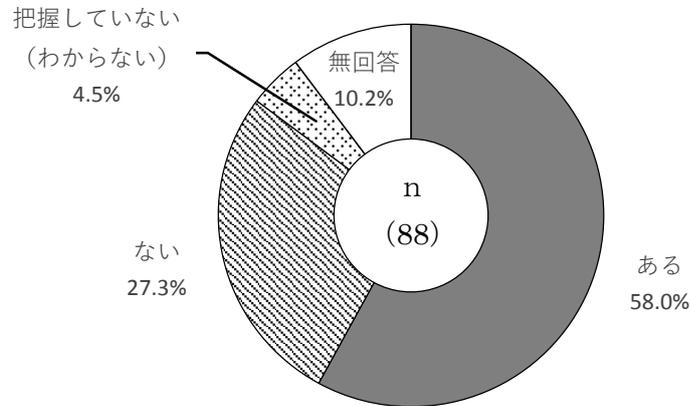
認知症を抱える利用者は「かなり増加している」（19.3%）と「少しずつ増えている」（53.4%）を合わせた『増えている』は72.7%となっています。



貴事業所では、認知症を抱える利用者への対応で困ったことはありますか（問9）

認知症を抱える利用者への対応で困ったことがあった事業者は58.0%となっています。

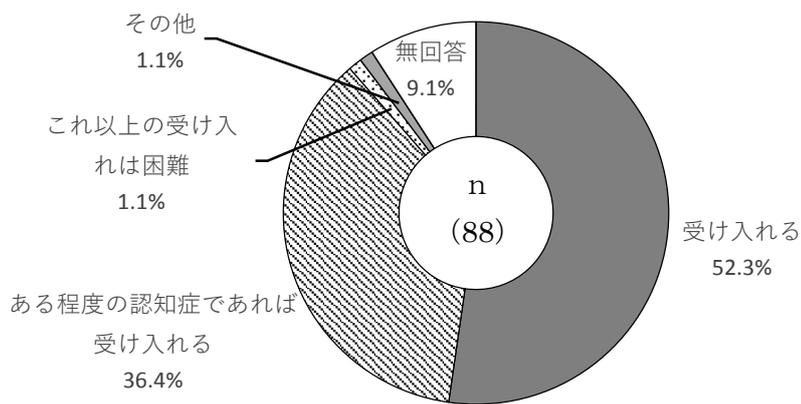
認知症を抱える利用者への対応で困ったことの有無



**今後、認知症を抱える利用者の受け入れについて、どのように考えていますか
定員の充足状況を考慮せずにお答えください（問11）**

今後の、認知症の利用者の受け入れについては、「受け入れる」（52.3%）と「ある程度の認知症であれば受け入れる」（36.4%）を合わせた『受け入れる』は88.7%となっています。

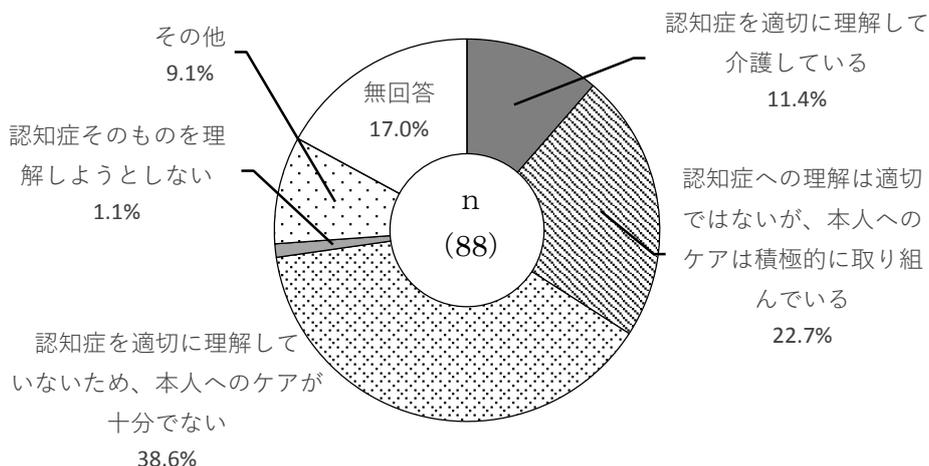
認知症を抱える利用者の受け入れについて



認知症を抱える利用者の家族（介護者）について、どのように感じていますか（問12）

認知症を抱えている利用者の家族に関して、「認知症を適切に理解していないため、本人へのケアが十分でない」が38.6%で最も多く、次いで「認知症への理解は適切ではないが、本人へのケアは積極的に取り組んでいる」が22.7%、「認知症を適切に理解して介護している」が11.4%と続いています。

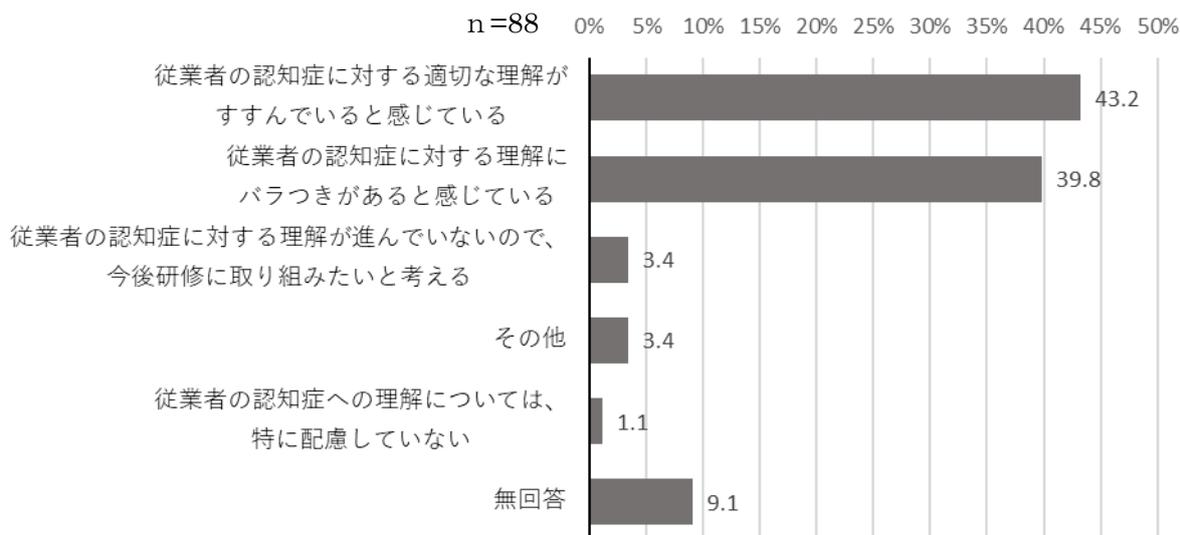
認知症を抱える利用者の家族について



貴事業所の従業員の認知症への理解、取組みについて、お答えください（問13）

従業員の認知症への理解と取組は、「従業員の認知症に対する適切な理解がすすんでいると感じている」が43.2%で最も多く、「従業員の認知症に対する理解にバラつきがあると感じている」が39.8%と続いています。

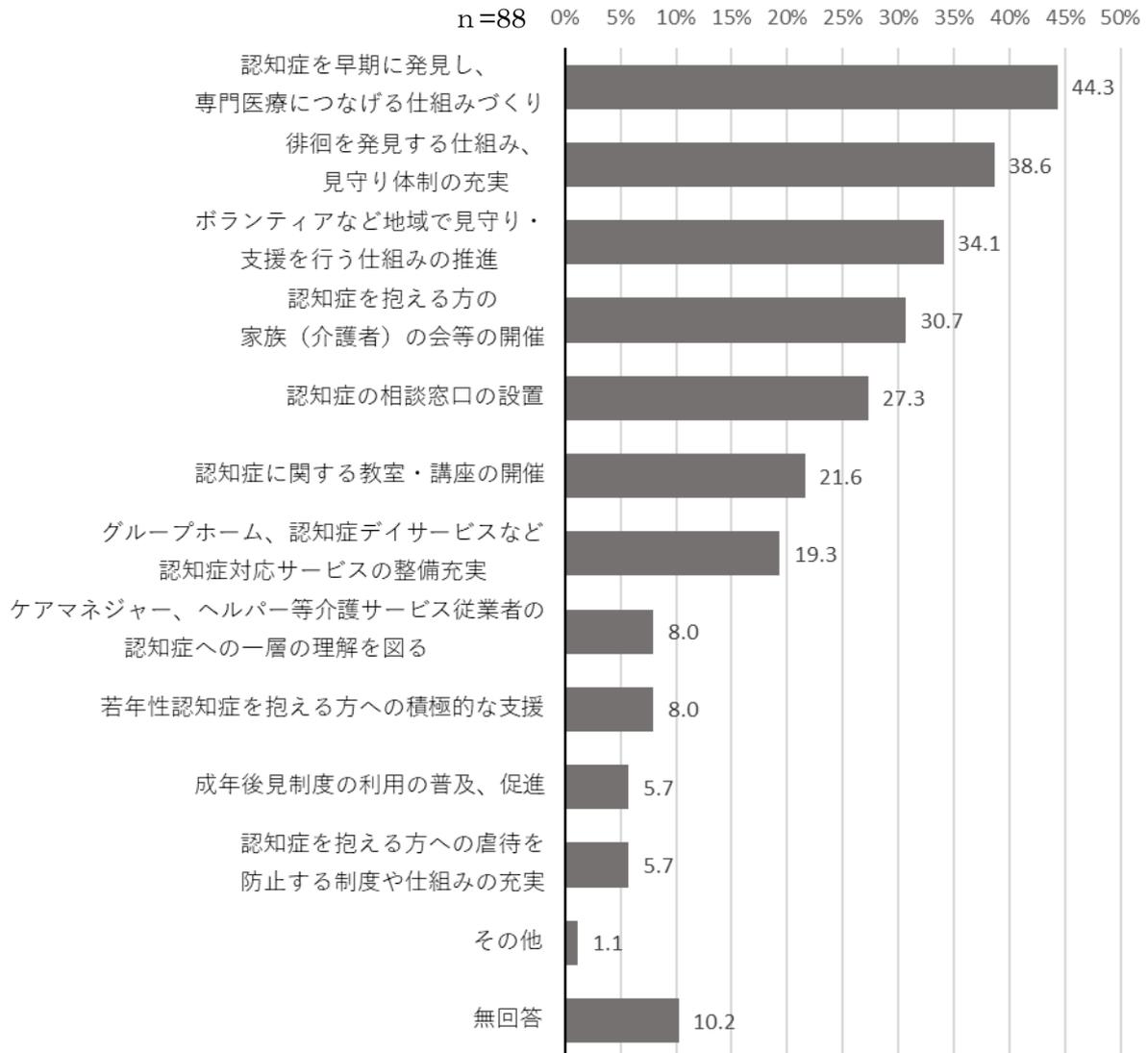
従業員の認知症への理解、取組について



認知症を抱える方は今後ますます増えていくと予測されていますが、認知症対策としてどのような取組みが重要であるとお考えですか（3つまで）（問14）

認知症対策の取組として重要なことを聞いたところ、「認知症を早期に発見し、専門医療につなげる仕組みづくり」が44.3%で最も多く、次いで「徘徊を発見する仕組み、見守り体制の充実」が38.6%、「ボランティアなど地域で見守り・支援を行う仕組みの推進」が34.1%と続いています。

認知症対策への取組として重要なこと



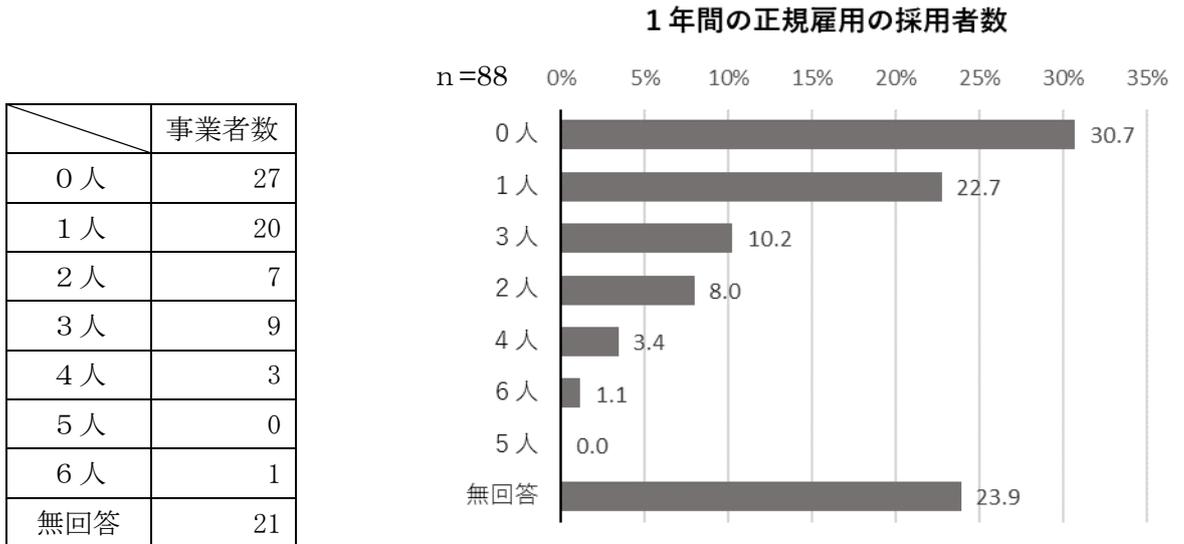
※3つまで選択する設問だが、複数回答として集計した。

4. 事業・職員について

貴事業所の介護保険の指定介護サービス事業に係る従業員の1年間の採用者数、離職者数をご記入ください（問16）

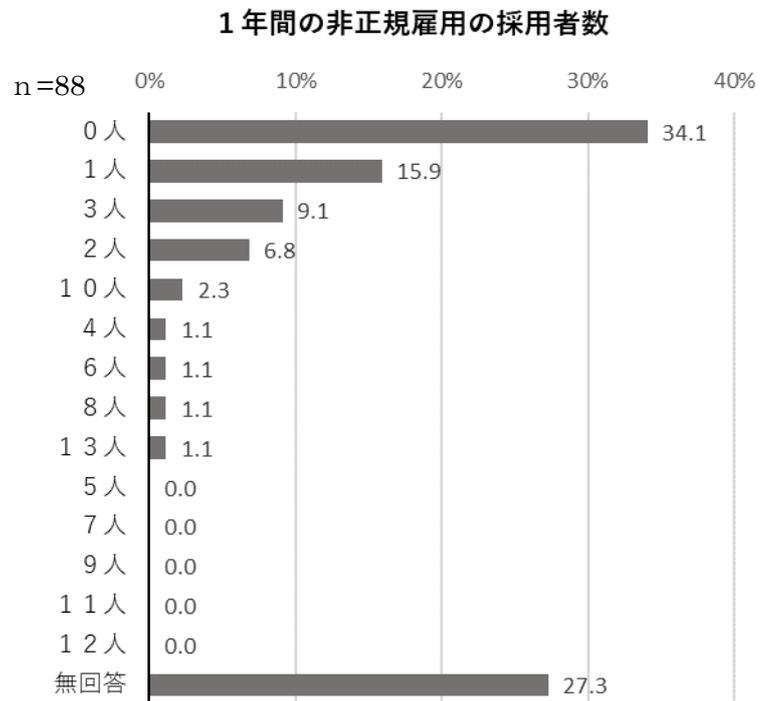
（1）1年間の採用者数

介護保険の指定介護サービス事業に関わる従業員（正規雇用）の1年間の採用者数をみると、「0人」が30.7%で最も多く、「1人」が22.7%と続いています。



介護保険の指定介護サービス事業に関わる従業員（非正規雇用）の1年間の採用者数をみると、「0人」が34.1%で最も多く、「1人」が15.9%と続いています。

	事業者数
0人	30
1人	14
2人	6
3人	8
4人	1
5人	0
6人	1
7人	0
8人	1
9人	0
10人	2
11人	0
12人	0
13人	1
無回答	24



(2) 離職者数

離職者の勤務年数については【正規雇用】で「1年以上3年未満」が21人となっています。【非正規雇用】では「1年未満」と「5年以上」が10人となっています。

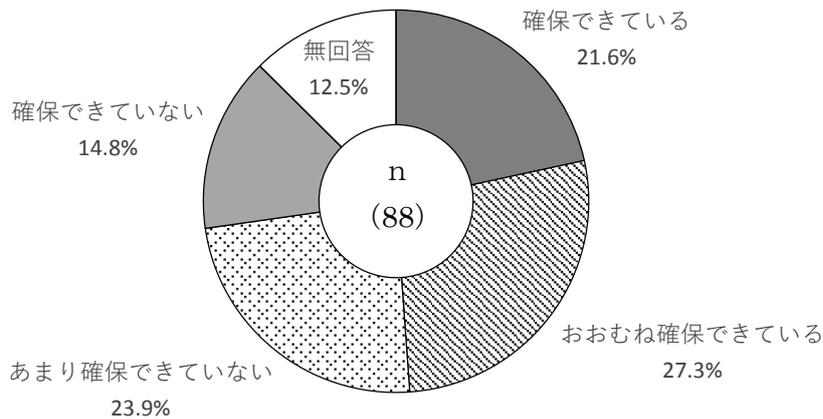
【勤務年数別】離職者の総数

期間	正規雇用		非正規雇用	
	n	人数	n	人数
1年未満	n=8	10人	n=17	10人
1年以上3年未満	n=16	21人	n=12	5人
3年以上5年未満	n=10	13人	n=12	8人
5年以上	n=16	7人	n=13	10人

この1年間、貴事業所の人材の確保の状況はどうか（問17）

この1年間での人材の確保の状況については「確保できている」（21.6%）と「おおむね確保できている」（27.3%）を合わせた『確保できている』が48.9%となっています。「あまり確保できていない」（23.9%）と「確保できていない」（14.8%）を合わせた『確保できていない』が38.7%となっています。

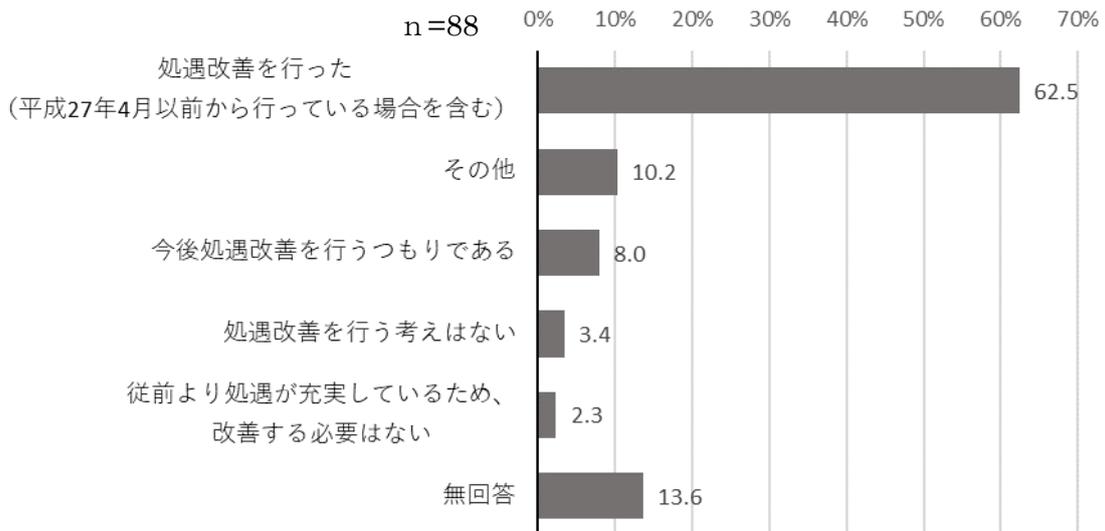
人材確保の状況



平成27年4月から「介護職員処遇改善加算」が改訂されるなど職員の処遇改善が奨励されていますが、貴事業所では、処遇改善（給与や時給単価のアップなど）を行いましたか（問19）

平成27年の4月から処遇改善（給与や時給単価のアップなど）を行った事業所は62.5%となっています。

処遇改善の状況

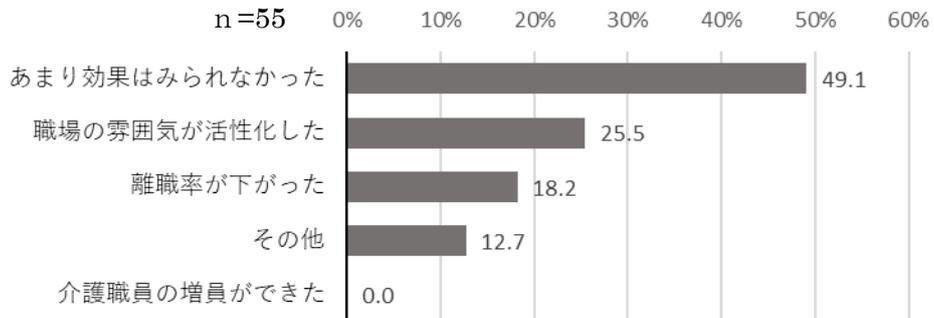


【問19で「1. 処遇改善を行った」を選択した場合のみ】

貴事業所の従業員にどのような効果があったと思いますか（いくつでも）（問20）

処遇改善を行った事業所に対して、効果を聞いたところ「あまり効果はみられなかった」が49.1%で最も多く、「職場の雰囲気が活性化した」が25.5%と続いています。

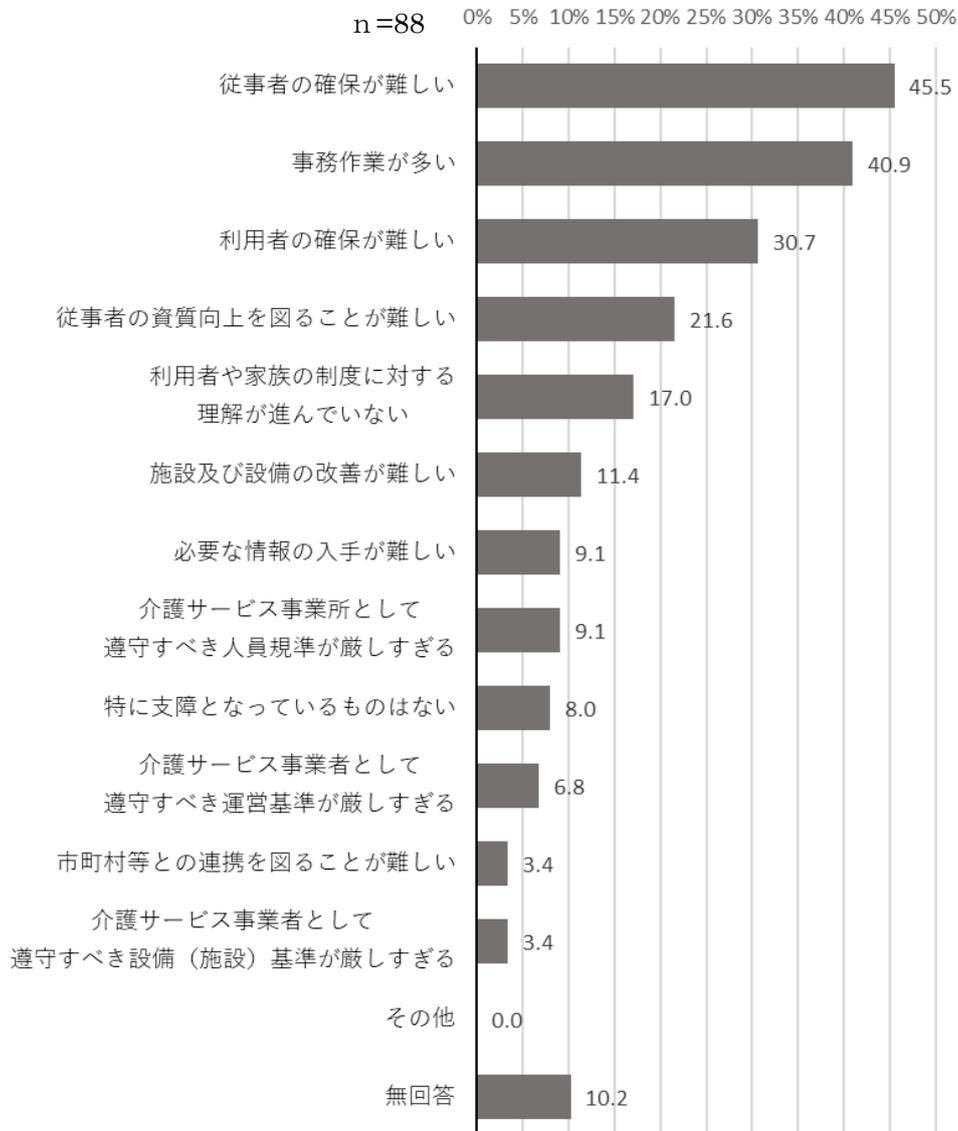
処遇改善を行ったことによる効果



現在、円滑な事業運営を進めていくうえで、支障となっていることがありますか（いくつでも）（問21）

円滑な事業運営を進めるうえで支障となっていることは、「従事者の確保が難しい」が45.5%で最も多く、次いで「事務作業が多い」が40.9%、「利用者の確保が難しい」が30.7%と続いています。

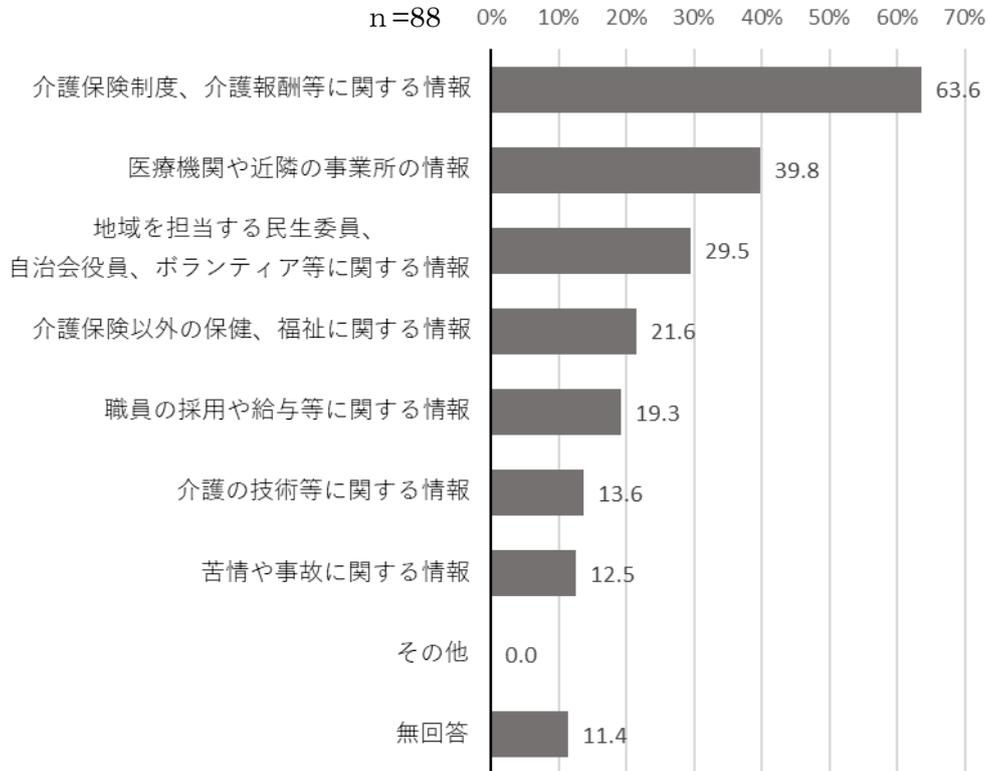
円滑な事業運営を進めるうえで支障となっていること



適切な事業運営のために特に必要な情報は何か（3つまで）（問22）

適切な事業運営のために特に必要な情報としては「介護保険制度、介護報酬等に関する情報」が63.6%で最も多く、次いで「医療機関や近隣の事業所の情報」が39.8%、「地域を担当する民生委員、自治会役員、ボランティア等に関する情報」が29.5%と続いています。

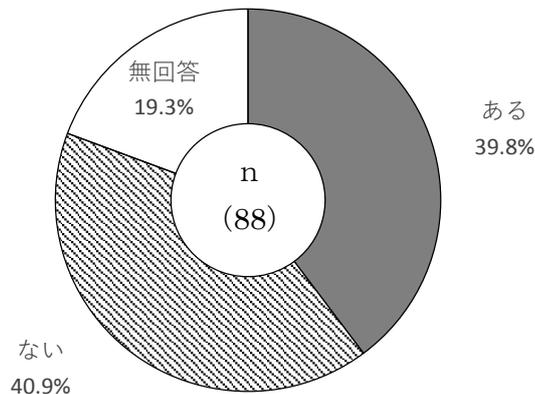
適切な事業運営のために必要な情報



適切なサービス提供を行うにあたり運営上の課題はありますか（問23）

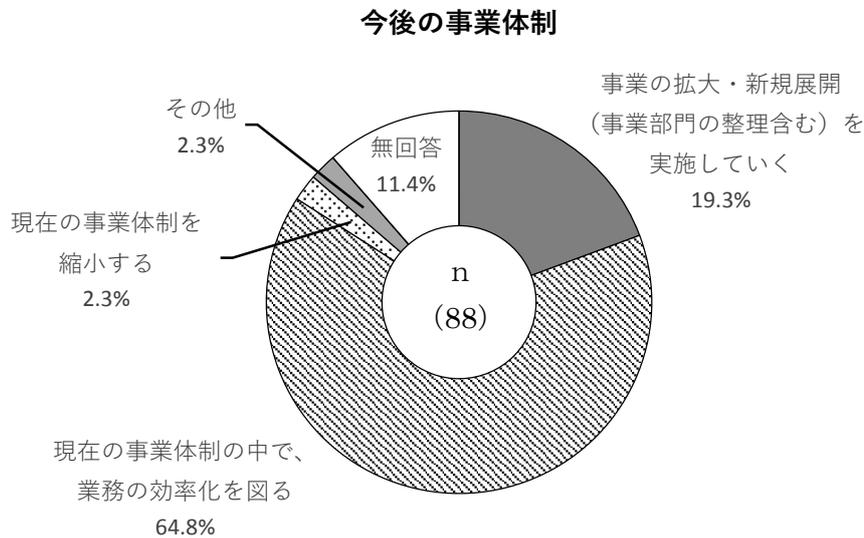
適切なサービス提供を行うにあたり運営上の課題が「ある」事業所は39.8%となっています。

運営上の課題の有無



貴事業所の収支の向上や改善を図るにあたって、どのような考え方が最も近いですか（問 25）

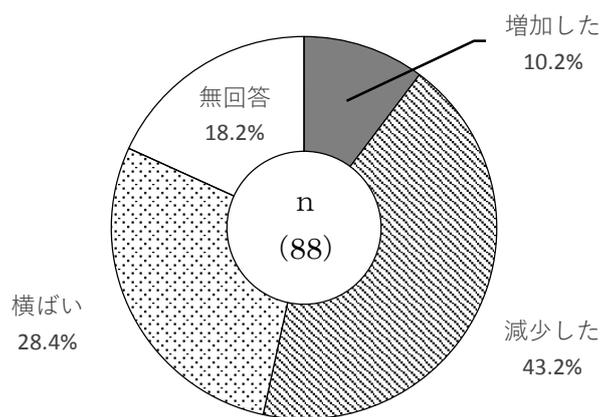
貴事業所の収支の向上や改善を図るにあたっての考え方として、「現在の事業体制の中で、業務の効率化を図る」が64.8%で最も多く、「事業の拡大・新規展開（事業部門の整理含む）を実施していく」が19.3%と続いています。



平成 27 年 4 月 1 日から介護報酬改定が行われましたが、その後のサービス活動収益はどのようにかわりましたか（問 26）

平成 27 年 4 月 1 日から介護報酬改定後のサービス活動収益が「増加した」事業所は 10.2%となっています。一方、「減少した」事業所は 43.2%と 4 割を超えています。

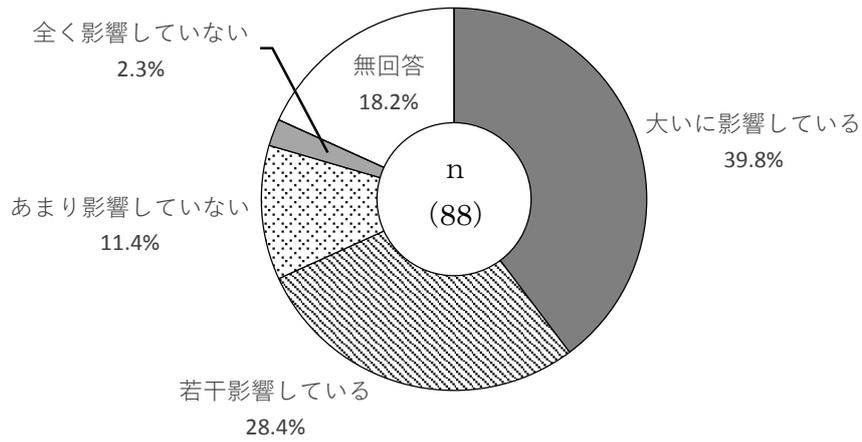
介護報酬改定後の収益の増減



問26で回答したサービス活動収益の状況について、介護報酬改定がどの程度影響していると思いますか
(問27)

介護報酬改定がサービス活動収益の状況についてみると、「大いに影響している」(39.8%)と「若干影響している」(28.4%)を合わせた『影響している』が68.2%となっています。

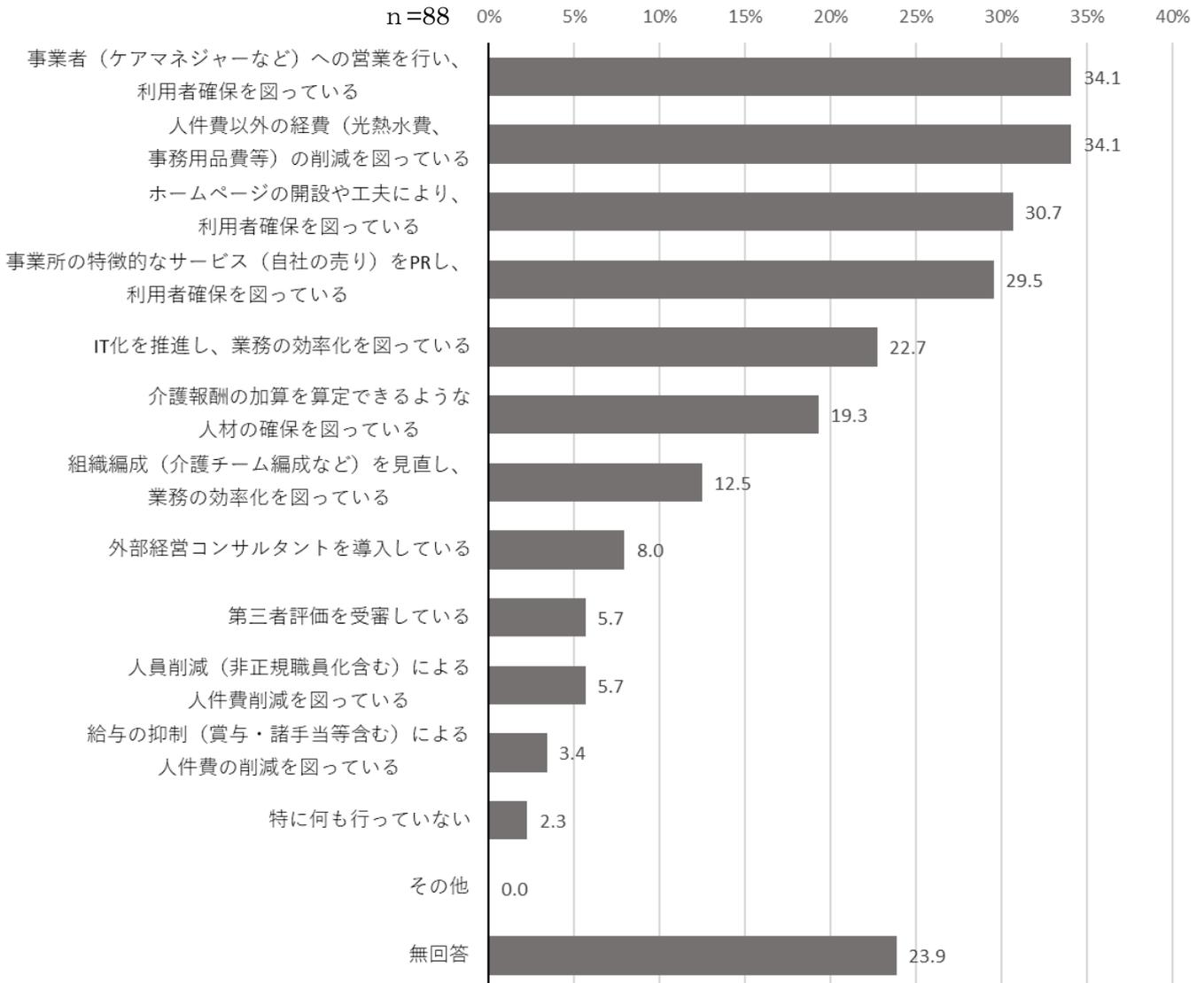
介護報酬改定の収益への影響



**貴事業所では、収支の向上や改善に向けて、どのような取り組みを行っていますか（いくつでも）
※また、貴事業所の特徴的な取組があれば記載してください（問28）**

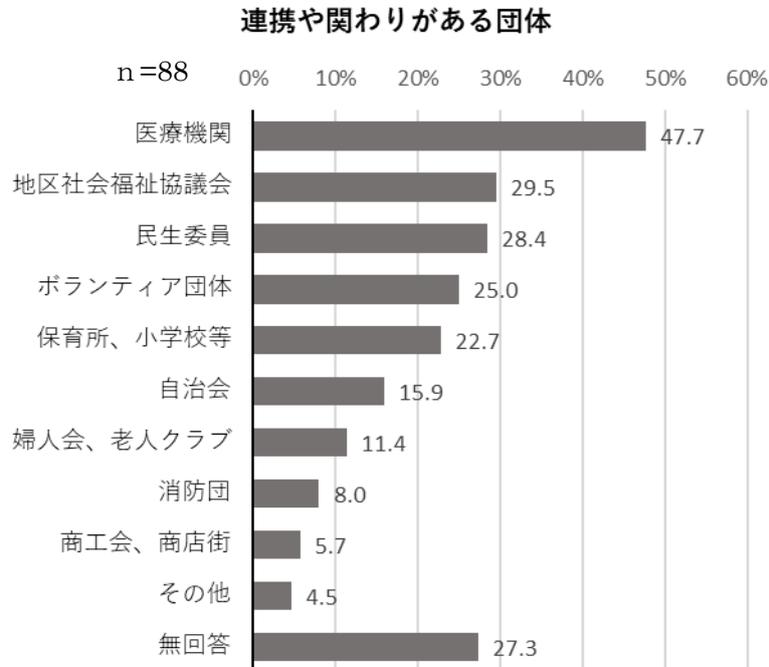
事業所の収支の向上や改善に向けての取り組みは、「事業者（ケアマネジャーなど）への営業を行い、利用者確保を図っている」と「人件費以外の経費（光熱水費、事務用品費等）の削減を図っている」が34.1%で最も多く、次いで「ホームページの開設や工夫により、利用者確保を図っている」が30.7%、「事業所の特徴的なサービス（自社の売り）をPRし、利用者確保を図っている」が29.5%と続いています。

収益の向上や改善に向けて行っている取組み



**地域の各種団体と関わりをもっていますか。連携や関わりがある団体をお選びください（いくつでも）
（問 30）**

地域で連携や関わりがある団体については、「医療機関」が47.7%で最も多く、次いで「地区社会福祉協議会」が29.5%、「民生委員」が28.4%と続いています。

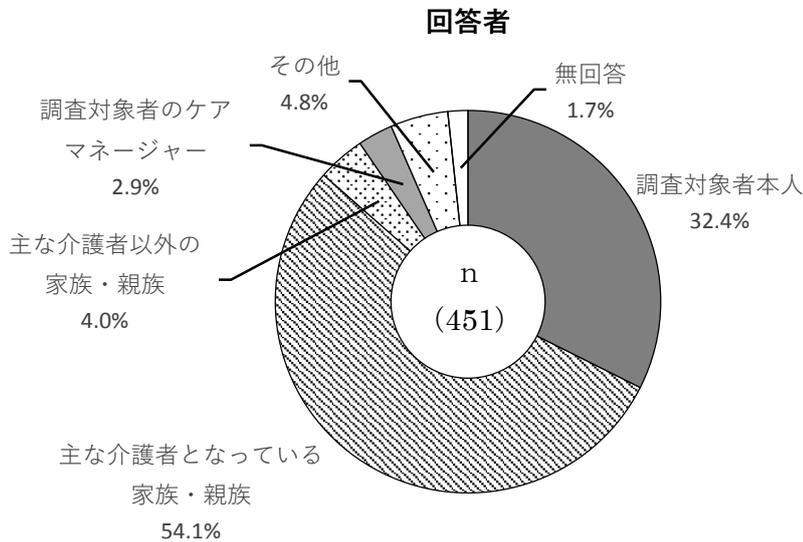


第8章 在宅介護者に関する調査結果

1. A票：あて名ご本人について

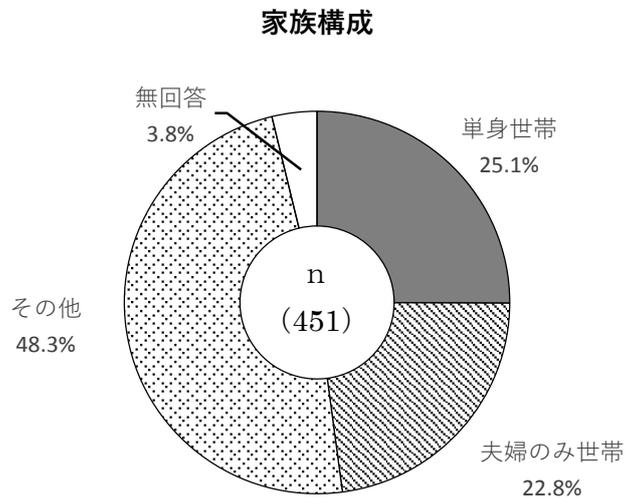
現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか（複数回答可）（問1）

回答者については、「主な介護者となっている家族・親族」が54.1%で最も多く、「調査対象者本人」が32.4%と続いています。



あなたの世帯類型について、ご回答ください（問2）

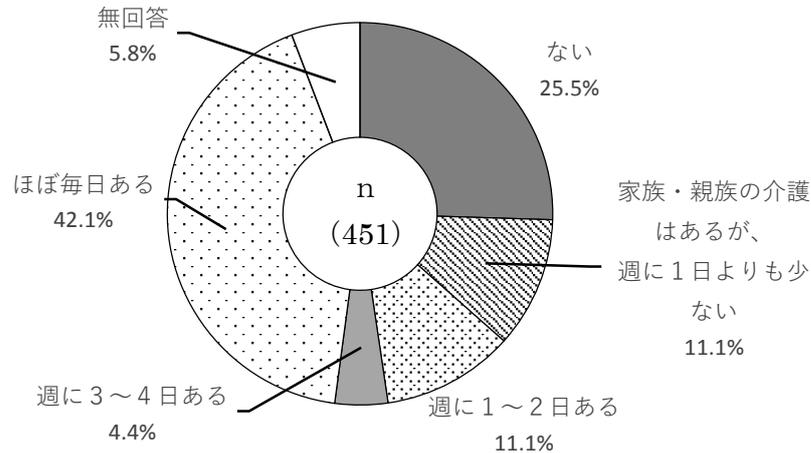
家族構成をみると、「単身世帯」が25.1%、「夫婦のみ世帯」が22.8%となっています。



ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）（問3）

家族や親族からの介護の頻度をみると、「ほぼ毎日ある」が42.1%で最も多く、次いで「ない」が25.5%、「家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない」と「週に1～2日ある」が11.1%と続いています。

家族や親族からの介護の頻度

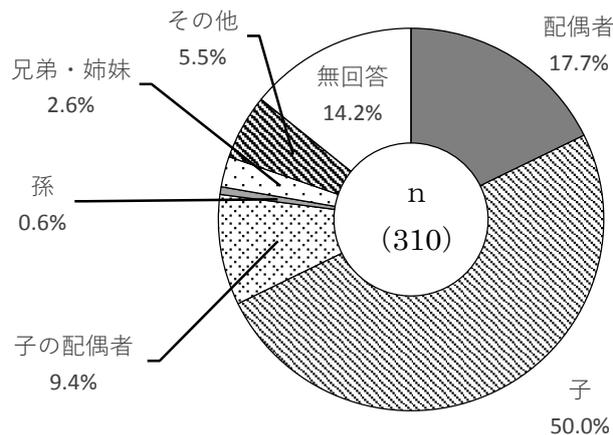


【問3で「2.」～「5.」を回答した方におうかがいします】

（あなたを介護する）主な介護者の方は、どなたですか（問4）

主な介護者をみると、「子」が50.0%と半数を占めています。

主な介護者

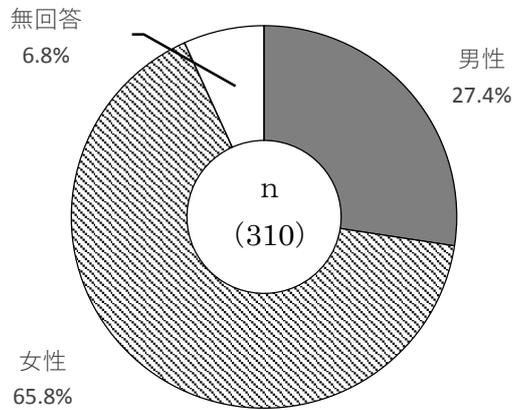


【問3で「2.」～「5.」を回答した方におうかがいします】

（あなたを介護する）主な介護者の方の性別について、ご回答ください（問5）

主な介護者の性別は、「男性」が27.4%、「女性」が65.8%となっています。

主な介護者の性別

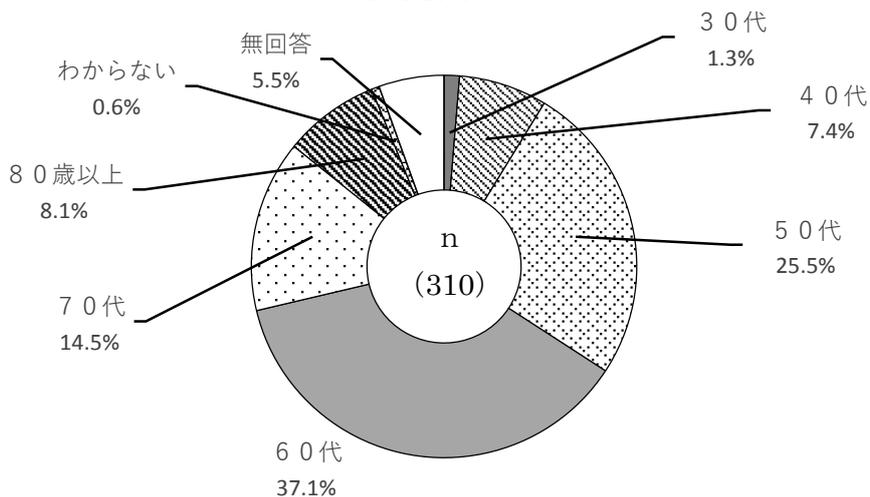


【問3で「2.」～「5.」を回答した方におうかがいします】

（あなたを介護する）主な介護者の方の年齢について、ご回答ください（問6）

主な介護者の年齢をみると、「60代」が37.1%で最も多く、次いで「50代」が25.5%、「70代」が14.5%と続いています。

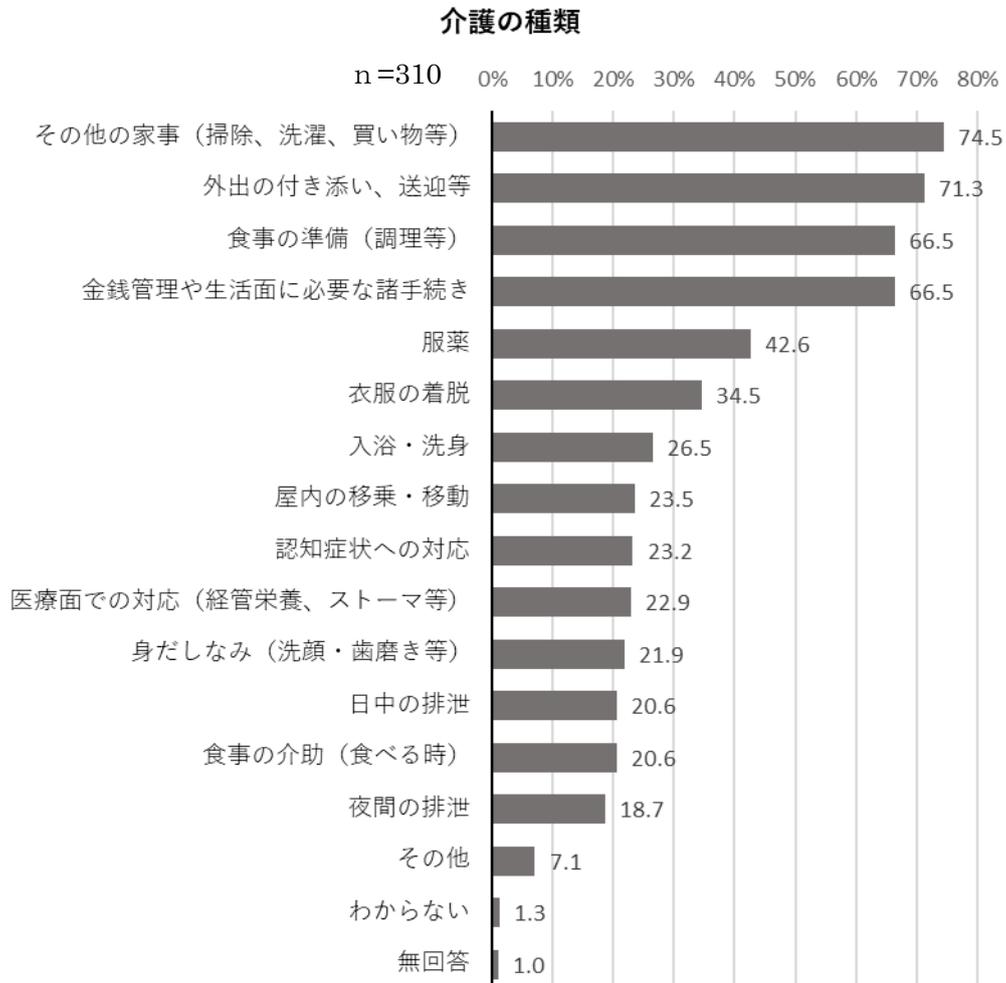
主な介護者の年齢



【問3で「2.」～「5.」を回答した方におうかがいします】

現在、主な介護者の方が行っている、あなたへの介護等は、次のうちどれですか（複数選択可）（問7）

介護の種類をみると、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が74.5%で最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.3%、「食事の準備（調理等）」と「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が66.5%と続いています。

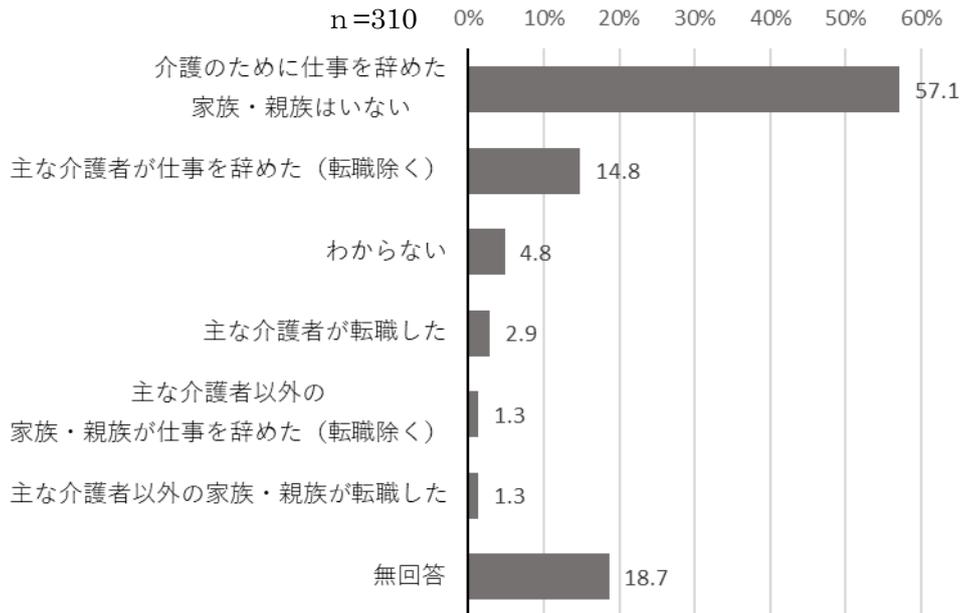


【問3で「2.」～「5.」を回答した方におうかがいします】

ご家族やご親族の中で、あなたの介護を主な理由として、過去に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）（複数選択可）（問8）

家族や親族の中で介護を理由に仕事を辞めた方をみると、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が57.1%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が14.8%、「わからない」が4.8%と続いています。

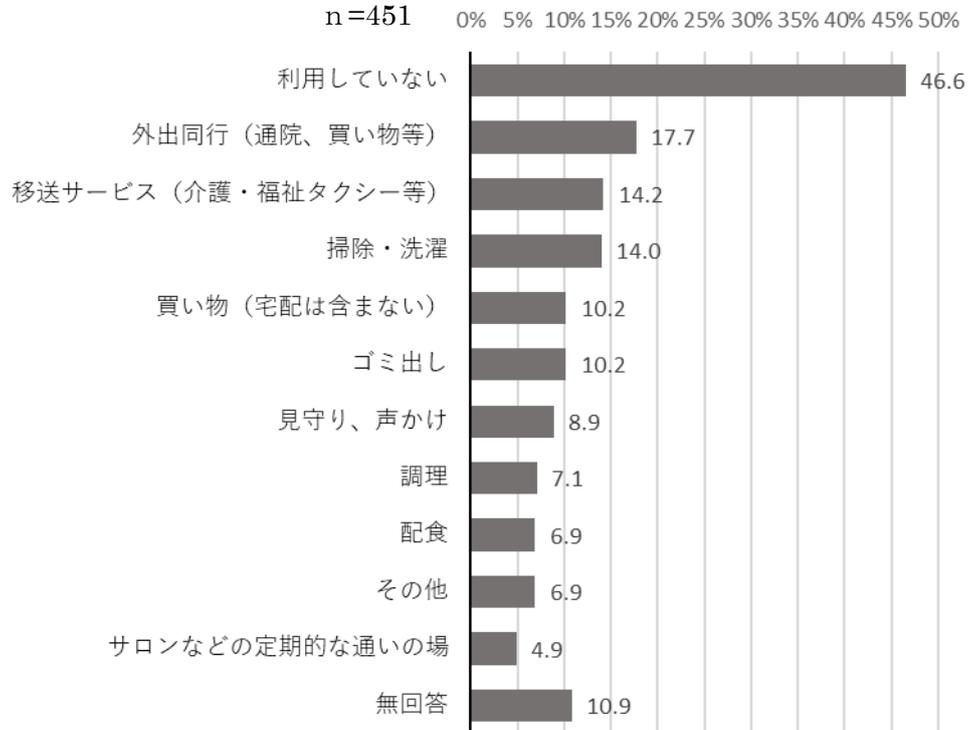
家族や親族の中に介護を理由に仕事を辞めた方の有無



**現在、あなたが利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスはどれですか（複数選択可）
（問9）**

「介護保険サービス以外」の支援・サービスをみると、「利用していない」が46.6%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物等）」が17.7%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が14.2%と続いています。

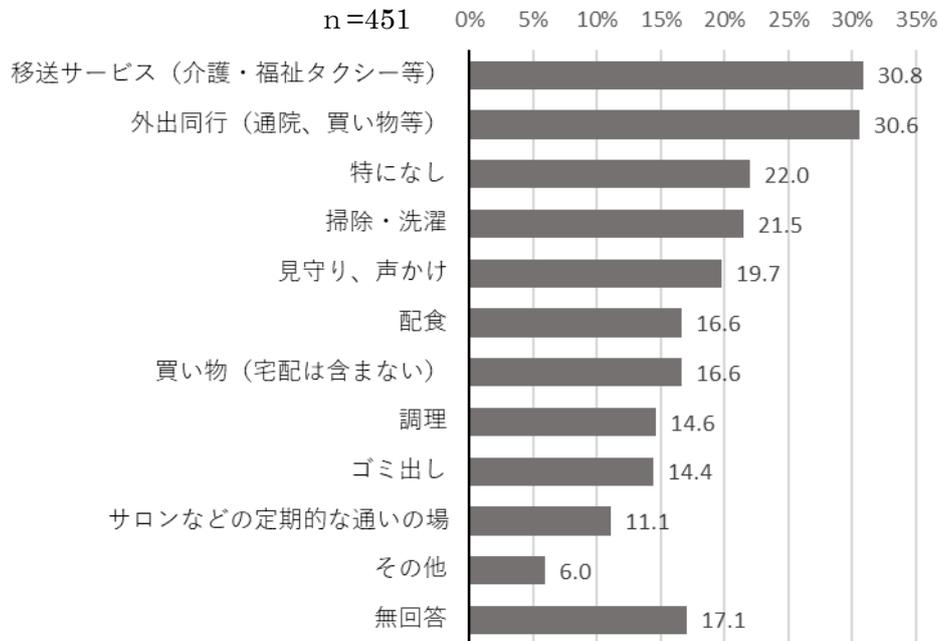
介護保険サービス以外の支援・サービスの種類



あなたが、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）はどれですか（複数選択可）（問10）

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスをみると、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が30.8%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物等）」が30.6%、「特になし」が22.0%と続いています。

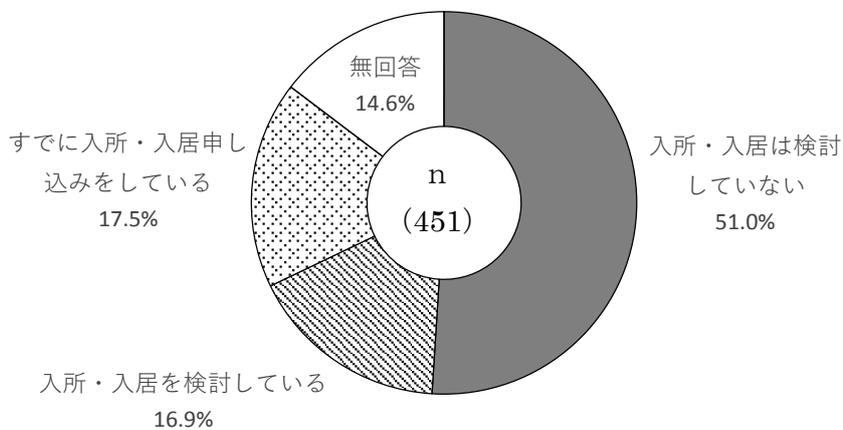
今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスの種類



現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（問11）

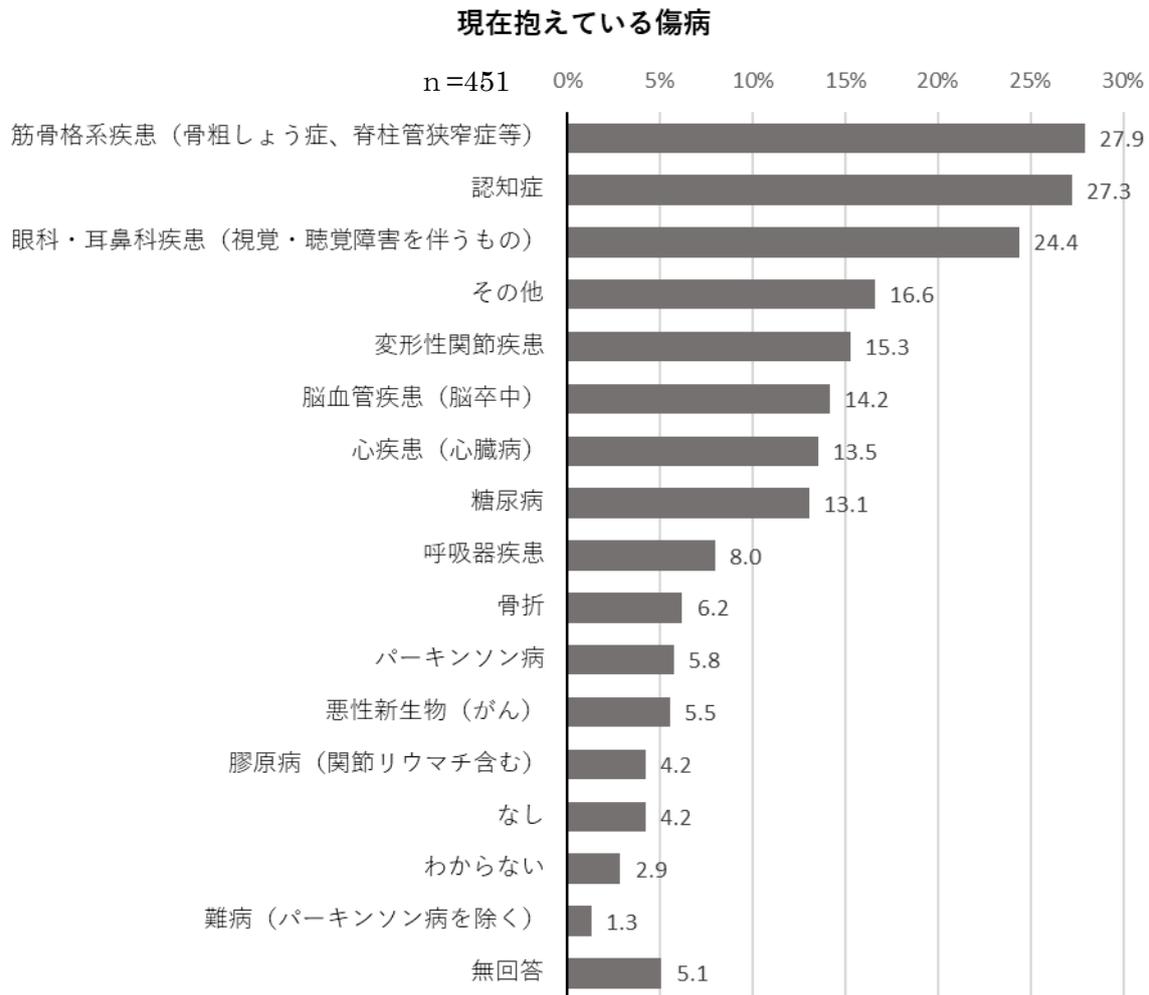
施設等への入所・入居の検討状況をみると、「入所・入居は検討していない」が51.0%で最も多く、次いで「すでに入所・入居申し込みをしている」が17.5%、「入所・入居を検討している」が16.9%と続いています。

施設等への入所・入居の検討状況



あなたが、現在抱えている傷病について、ご回答ください（複数選択可）（問12）

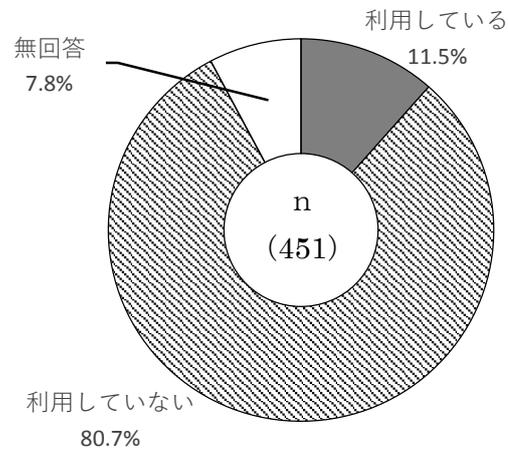
現在抱えている傷病をみると、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が27.9%で最も多く、次いで「認知症」が27.3%、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が24.4%と続いています。



あなたは、現在、訪問診療を利用していますか（問13）

現在、訪問診療を「利用している」が11.5%、「利用していない」が80.7%となっています。

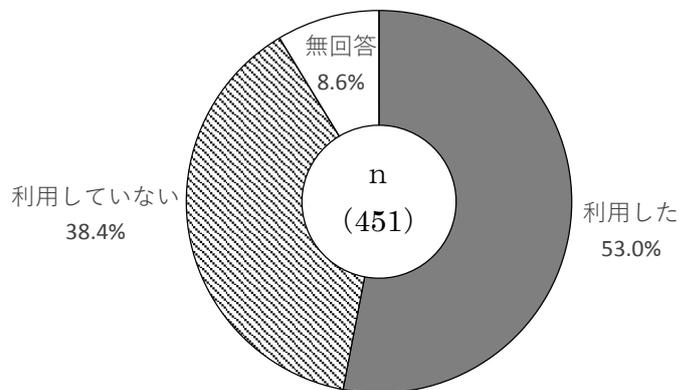
訪問診療の利用の有無



あなたは、現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを利用していますか（問14）

現在、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の) 介護保険サービスを「利用した」が53.0%、「利用していない」が38.4%となっています。

介護保険サービスの利用の有無

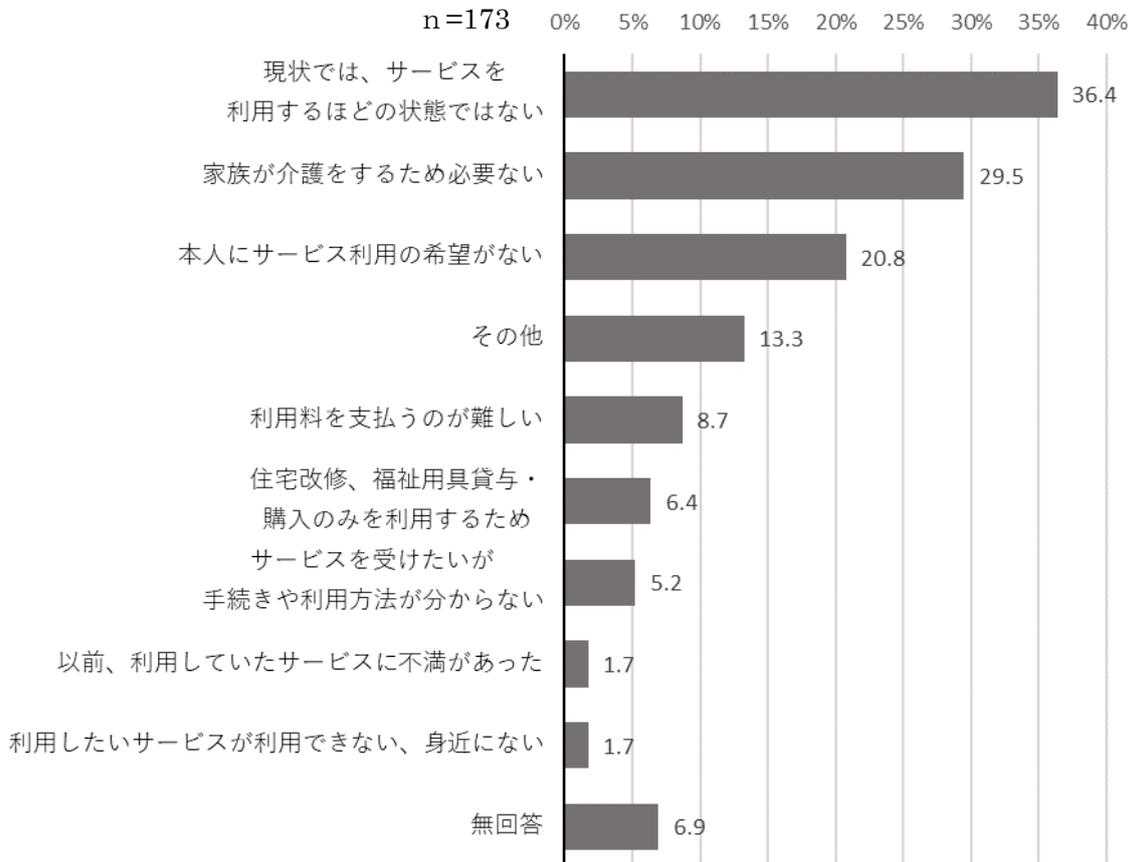


【問14で「2.」と回答した方にお伺いします】

介護保険サービスを利用していない理由は何ですか（複数選択可）（問15）

介護保険サービスを利用していない理由をみると、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が36.4%で最も多く、次いで「家族が介護をするため必要ない」が29.5%、「本人にサービス利用の希望がない」が20.8%と続いています。

介護保険サービスを利用しない理由



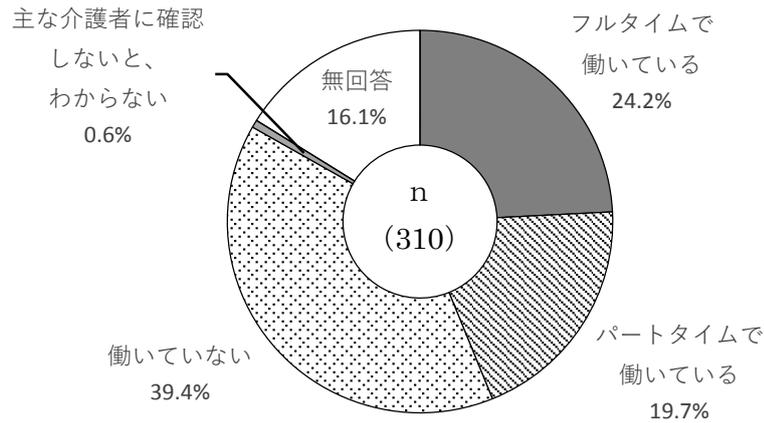
【A票の問3で「2.」～「5.」を選択された方（ご家族やご親族の方からの介護がある方）】

2. B票：あて名ご本人について

主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（問1）

主な介護者の方の現在の勤務形態をみると、「働いていない」が39.4%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が24.2%、「パートタイムで働いている」が19.7%と続いています。

主な介護者の勤務形態

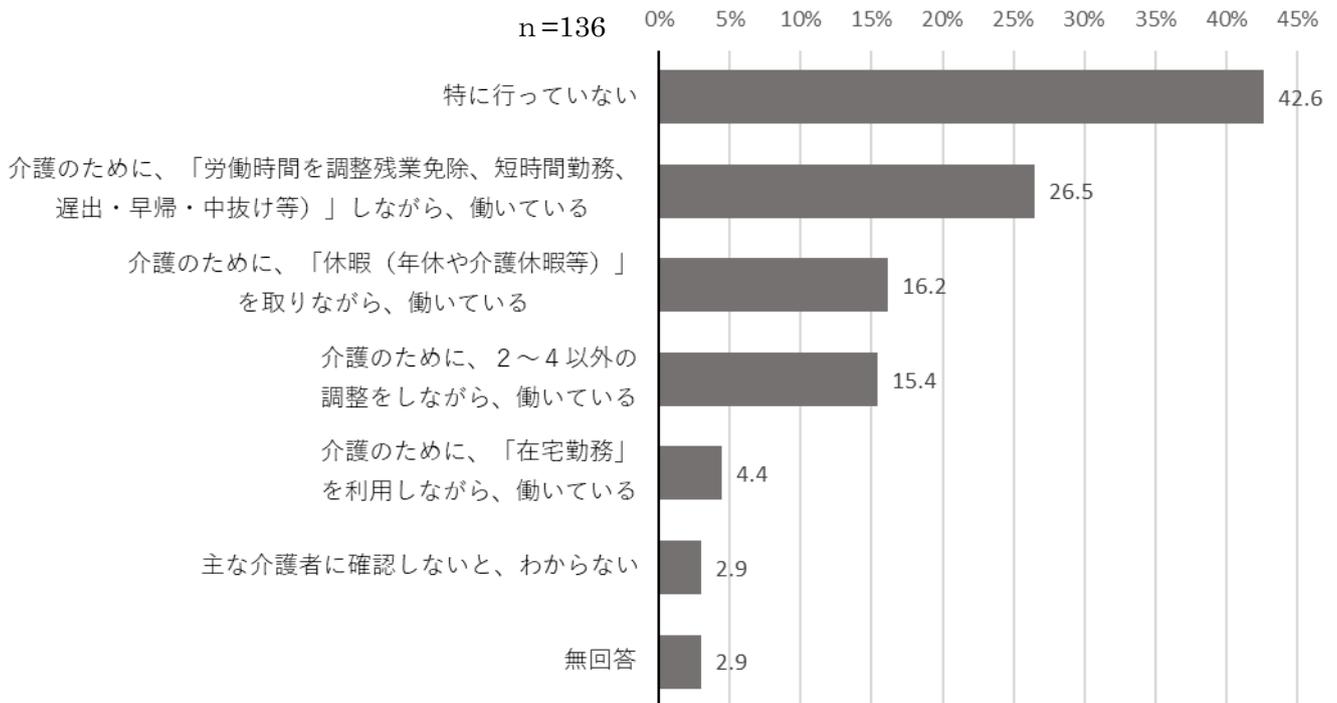


【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします】

主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等をしていますか（複数選択可）
（問2）

働いている主な介護者の働き方の調整等についてみると、「特に行っていない」が42.6%で最も多く、次いで「介護のために、労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）しながら、働いている」が26.5%、「介護のために、休暇（年休や介護休暇等）を取りながら、働いている」が16.2%と続いています。

主な介護者の働き方の調整状況

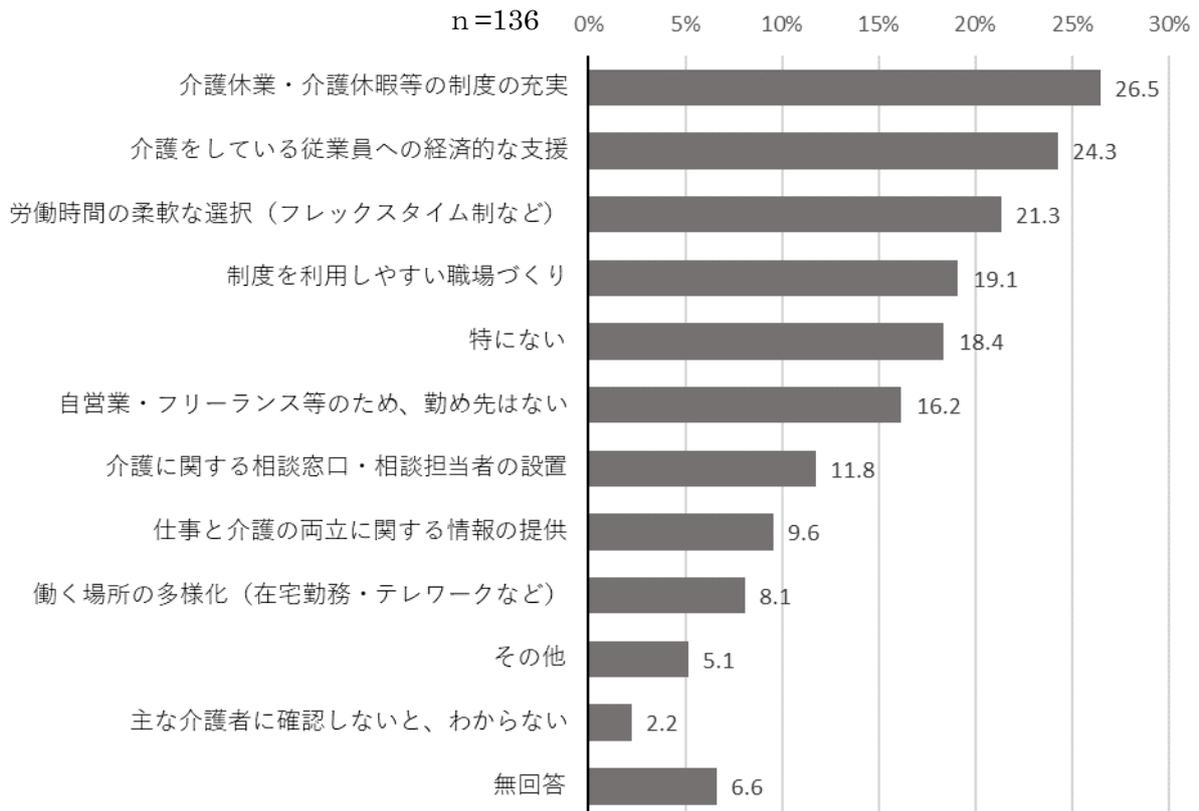


【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします】

主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか
(3つまで選択可) (問3)

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援についてみると、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が26.5%で最も多く、次いで「介護をしている従業員への経済的な支援」が24.3%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が21.3%と続いています。

仕事と介護の両立に効果があると思う勤め先からの支援



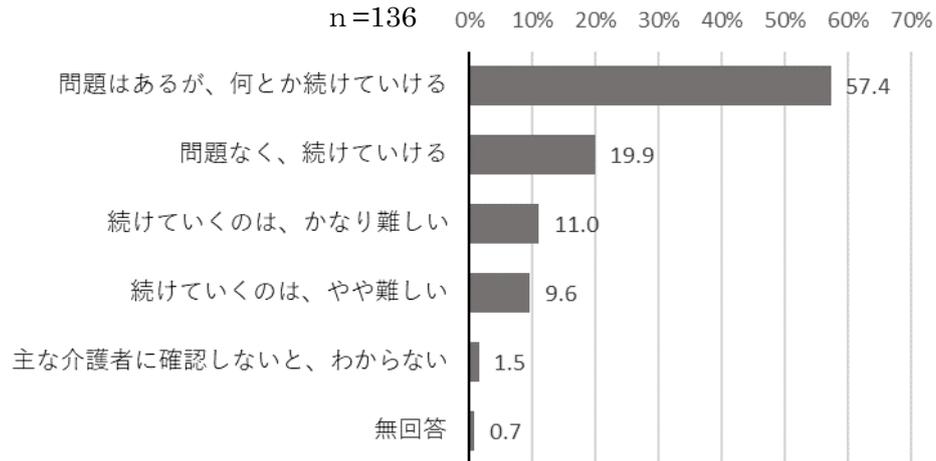
※3つまで選択可の設問だが、複数回答として集計した。

【問1で「1.」「2.」と回答した方にお伺いします】

主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（問4）

働きながら介護を続けられるかどうかの見通しについてみると、「問題なく、続けていける」（19.9%）と「問題はあるが、何とか続けていける」（57.4%）を合わせた『続けていける』が77.3%と8割近くを占めています。一方「続けていくのは、やや難しい」（9.6%）と「続けていくのは、かなり難しい」（11.0%）を合わせた『続けていくのは難しい』が20.6%と2割を超えています。

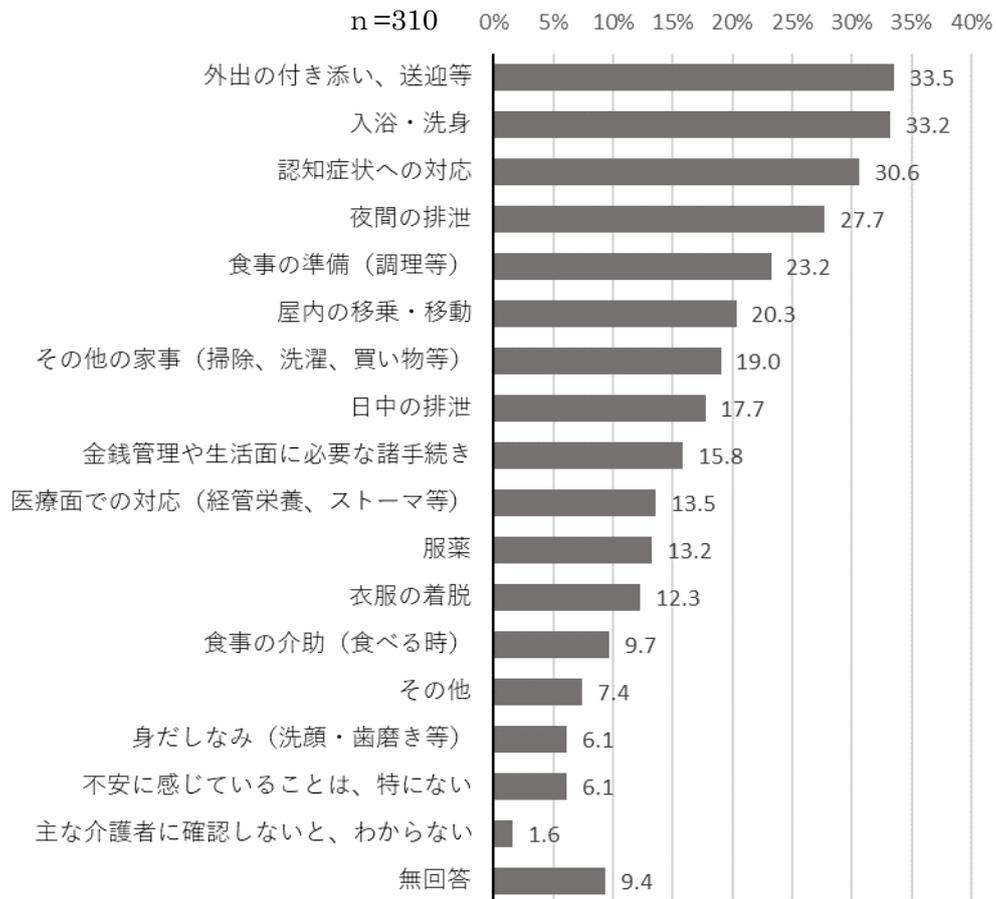
働きながら介護を続けられるかどうかの見通し



現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）（3つまで選択可）（問5）

現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安に感じる介護の種類をみると、「外出の付き添い、送迎等」が33.5%で最も多く、次いで「入浴・洗身」が33.2%、「認知症状への対応」が30.6%と続いています。

現在の生活の継続にとって不安に感じる介護の種類



※3つまで選択可の設問だが、複数回答として集計した。

第9章 日常生活圏域ニーズ調査結果

I 調査の概要

1. 目的

「日常生活圏域ニーズ調査」は、地域の高齢者の現状を把握することで、地域課題を把握（地域診断）して地域の目標を設定すると同時に、介護予防事業に誘導すべき高齢者のスクリーニングに活用することを目的としています。「見える化」システムを導入した分析を行う「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の補完的な分析という意味で、第5期・第6期の日常生活圏域ニーズ調査の調査項目をベースとして、今回の調査においても地域診断および個別介入（介護予防事業に適した高齢者の抽出）を行いました。

この調査の個々の設問の回答がどうであったかということより、幾つかの設問から各リスクの状態を判断していきます。判定するリスク項目は、「運動器の機能低下」「栄養改善」「口腔機能の低下」「閉じこもり傾向」「認知症」「虚弱」「うつ傾向」「手段的日常生活動作（Instrumental Activity of Daily Living）」「知的能動性」「社会的役割」「老研式活動能力指標総合評価」の11項目について行われます。

2. 調査対象

「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の調査対象者は、要介護認定を受けていない高齢者（一般高齢者、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、要支援者）です。したがって、今回の調査の分析で使用可能な回答は「65歳以上の市民」になります。

調査票	調査人数	有効回収数	回収率
65歳以上の市民	1,191人	780人	65.5%

Ⅱ 調査結果

1. 生活機能

(1) 運動器の機能低下

リスク該当者：以下の設問で、3問以上該当する選択肢が回答された場合

	設問	該当する選択肢
問 10	階段を手すりや壁をつたわず上っていますか	3. できない
問 11	椅子に座った状態から何も捕まらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 12	15分ぐらい続けて歩いていますか	3. できない
問 13	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問 14	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である

○日常生活圏域別にみると、富津地区が20.9%で最も多く、続いて天羽地区が17.0%、大佐和地区が14.9%となっています。

○性別にみると、女性が24.5%と男性より該当者が多くなっています。

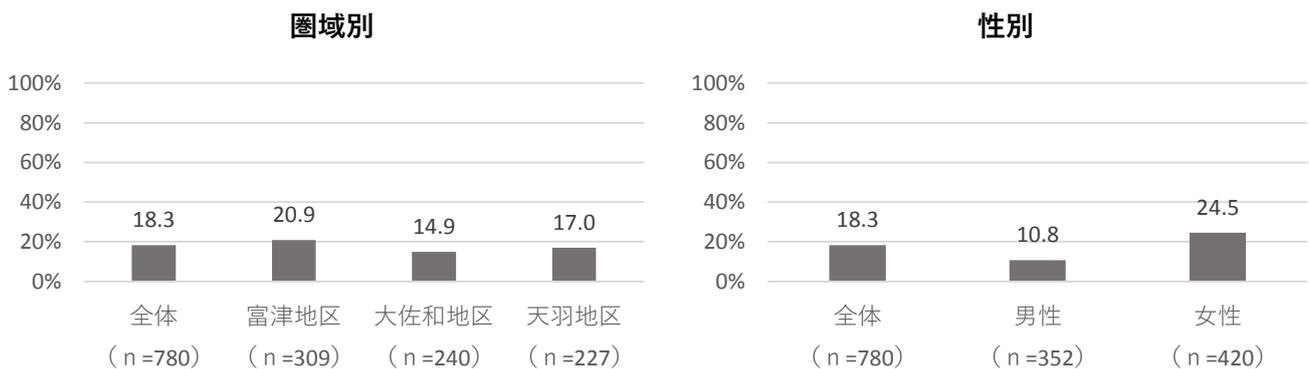
○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて該当者が大きく増加する傾向があります。

○家族構成別にみると、1人暮らしが31.1%で最も多く、続いて息子・娘との2世帯が23.7%となっています。

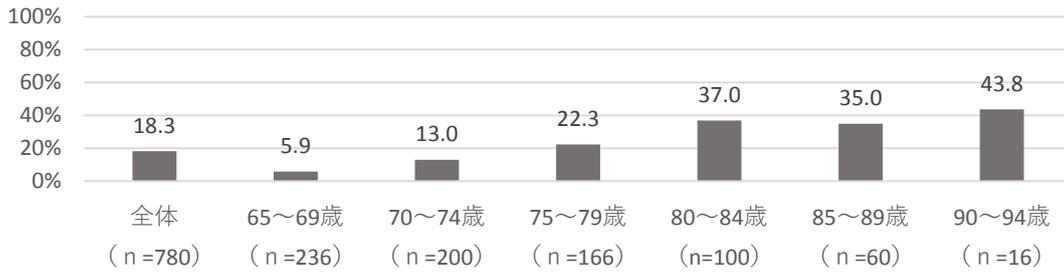
○前回の調査との比較としては、前回は全体で22.5%であったが、今回は全体で18.3%と減少しています。

(※前回の調査では要支援者は含まれていない。)

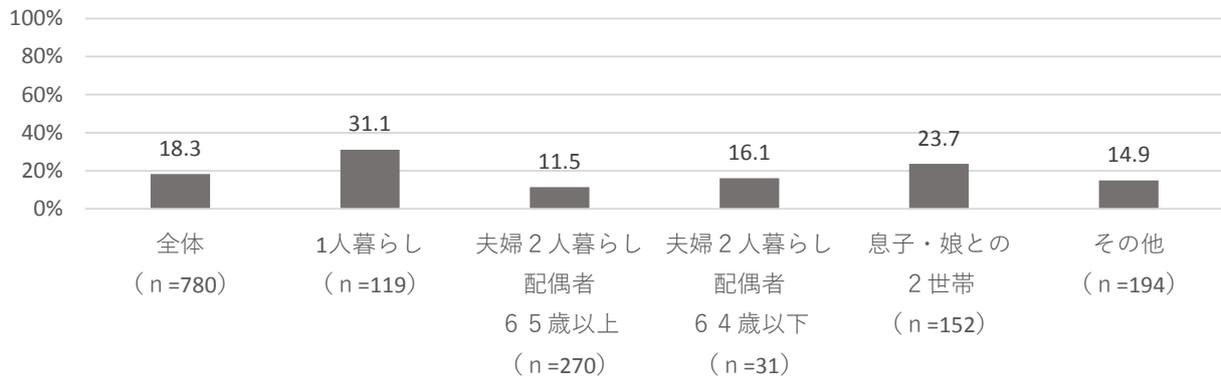
【運動器の機能低下 リスク該当者】



年齢別



家族構成別



(2) 栄養改善

リスク該当者：以下の設問で、2問とも該当する選択肢が回答された場合

	設問	該当する選択肢
問 21	身長・体重(BMI値)	BMI値が 18.5 未満
問 29	6 カ月間で 2~3 kg 以上の体重減少がありましたか	1. はい

○日常生活圏域別にみると、天羽地区が 2.2%で最も多く、続いて富津地区が 2.0%、大佐和地区が 0.9%となっています。

○性別にみると、男性は 2.0%と女性より多くなっています。

○年齢別にみると、85 歳から 94 歳は他の年齢と比べて該当者がやや多くなっています。

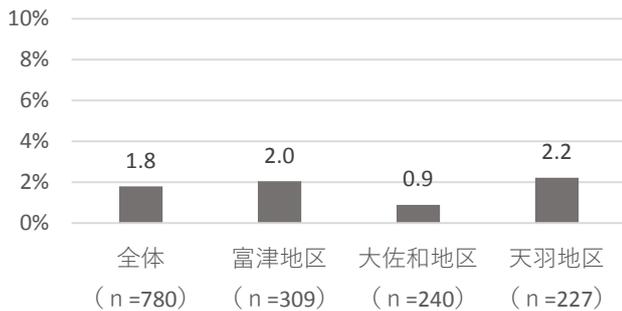
○家族構成別にみると、夫婦 2 人暮らし（配偶者 64 歳以下）が 3.2%とやや多くなっています。

○前回の調査との比較としては、前回は全体で 0.5%であったが、今回は全体で 1.8%と増加しています。

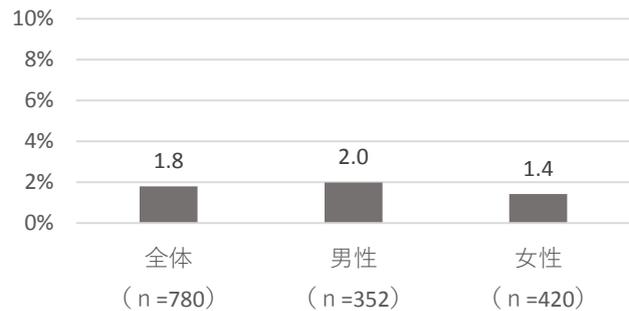
（※前回の調査では要支援者は含まれていない。）

【栄養改善 リスク該当者】

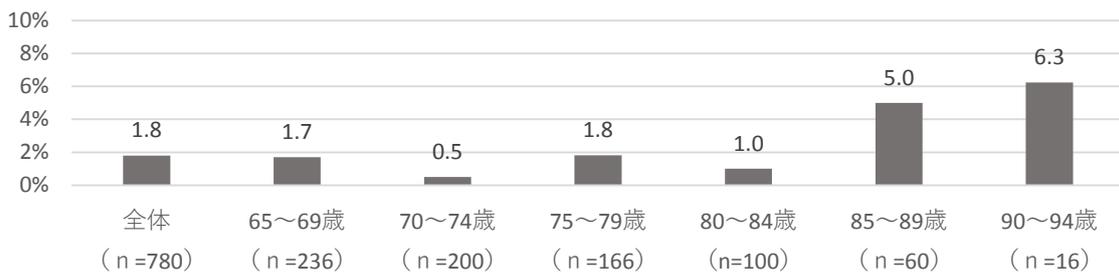
圏域別



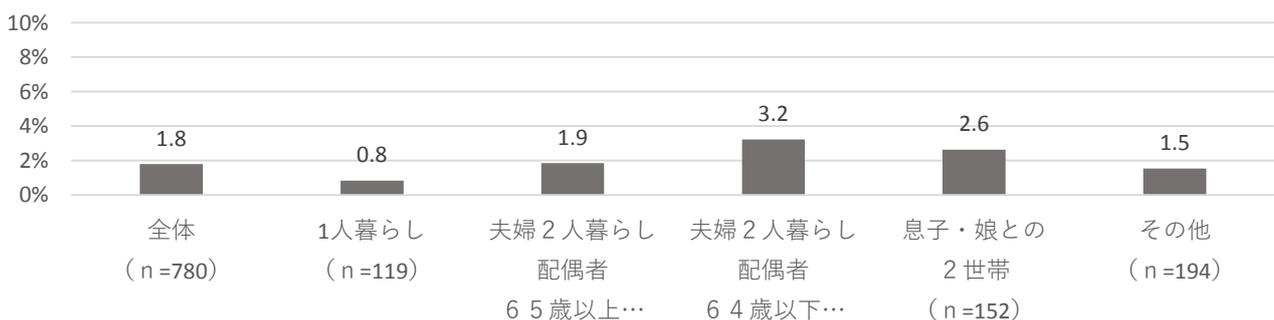
性別



年齢別



家族構成別



(3) 口腔機能の低下

リスク該当者：以下の設問で、2問以上該当する選択肢が回答された場合

	設問	該当する選択肢
問 22	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 23	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 24	口の渇きが気になりますか	1. はい

○日常生活圏域別にみると、富津地区が22.8%で最も多く、続いて天羽地区が22.6%、大佐和地区が18.2%となっています。

○性別にみると、女性が24.0%と男性より該当者が多くなっています。

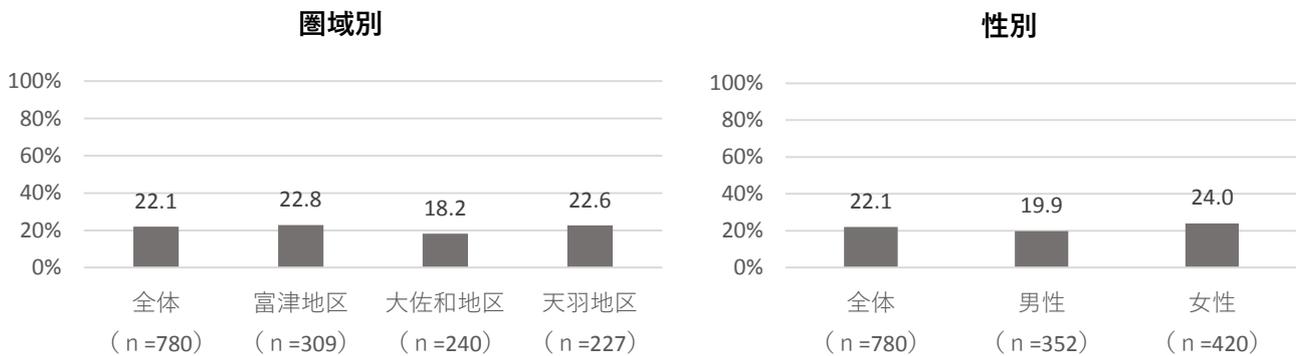
○年齢別にみると、85歳以上は89歳以下が33.3%と最も多く、75～79歳が29.5%、80～84歳が27.0%と続いています。

○家族構成別にみると、1人暮らしが26.9%で最も多く、続いて息子・娘との2世帯が20.4%となっています。

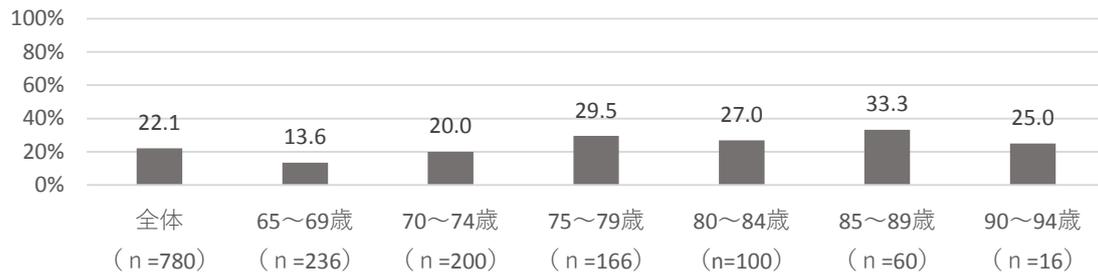
○前回の調査との比較としては、前回は全体で18.3%であったが、今回は全体で22.1%と増加しています。

(※前回の調査では要支援者は含まれていない。)

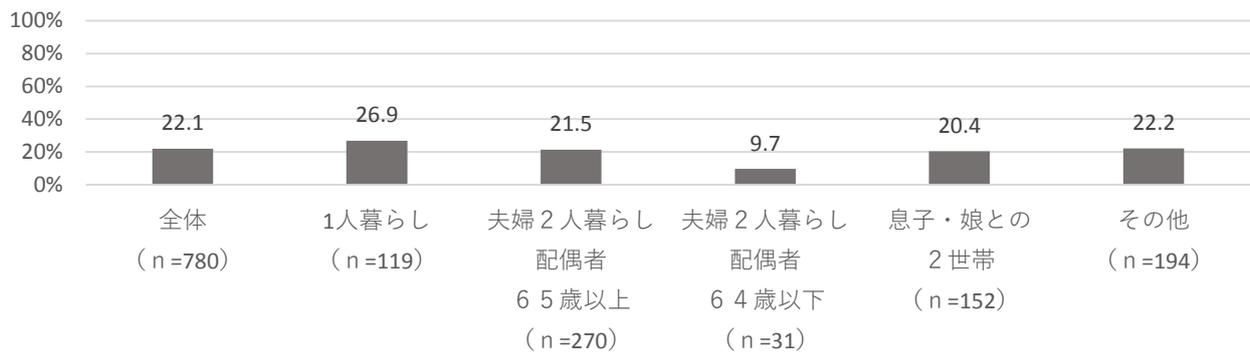
【口腔機能の低下 リスク該当者】



年齢別



家族構成別



(4) 閉じこもり傾向

リスク該当者：以下の設問で、該当する選択肢が回答された場合

	設問	該当する選択肢
問 15	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

○日常生活圏域別にみると、天羽地区が30.2%で最も多く、続いて富津地区が28.0%、大佐和地区が18.9%となっています。

○性別にみると、女性が29.8%と男性より該当者が多くなっています。

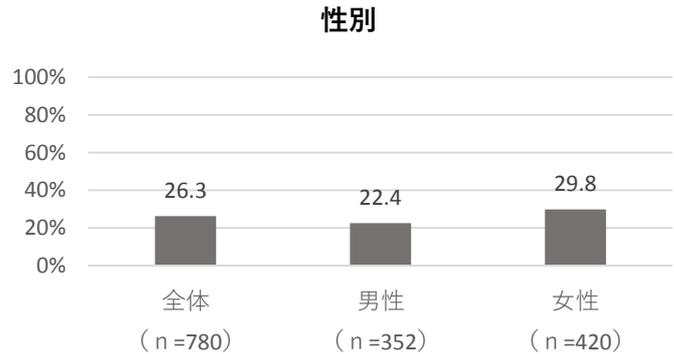
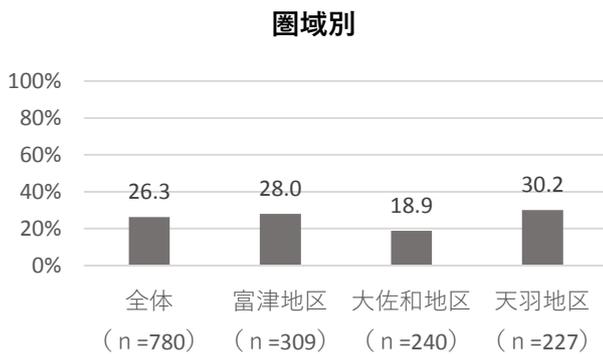
○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて該当者が大きく増加しています。

○家族構成別にみると、1人暮らしが35.3%で最も多く、続いて息子・娘との2世帯が30.9%となっています。

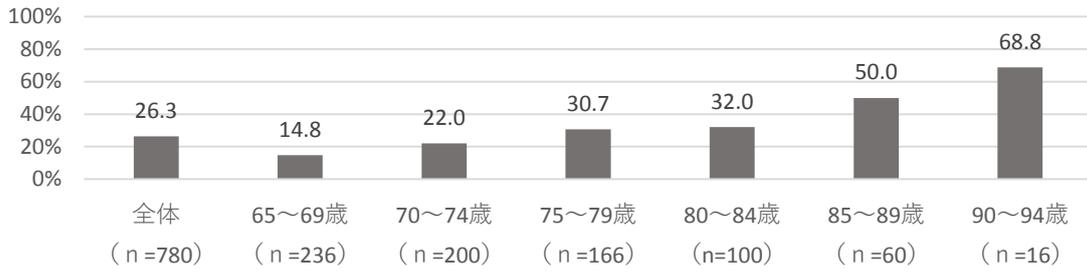
○前回の調査との比較としては、前回は全体で10.2%であったが、今回は全体で26.3%と増加しています。

(※前回の調査では要支援者は含まれていない。)

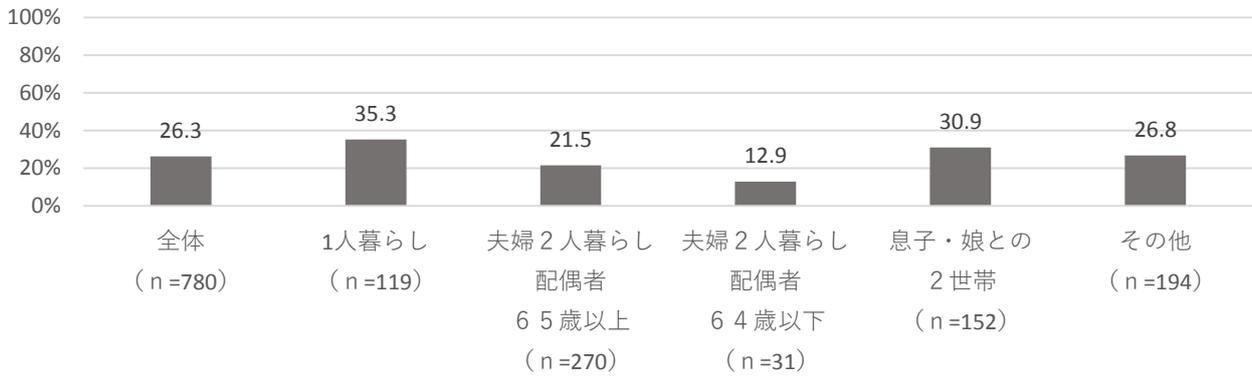
【閉じこもり傾向 リスク該当者】



年齢別



家族構成別



(5) 認知症

リスク該当者：以下の設問で、いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合

	設問	該当する選択肢
問 31	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問 32	自分で電話番号を調べて、電話を掛けることをしていますか	2. いいえ
問 33	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい

○日常生活圏域別にみると、天羽地区が60.5%で最も多く、続いて富津地区が54.1%、大佐和地区が53.1%となっています。

○性別にみると、男女はほぼ同じ割合となっています。

○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて該当者が大きく増加しています。

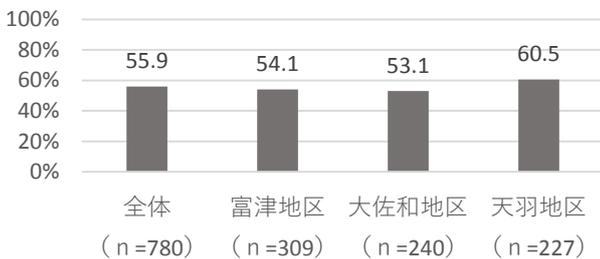
○家族構成別にみると、息子・娘との2世帯が61.2%で最も多く、続いて1人暮らしが58.0%と続いています。

○前回の調査との比較としては、前回は全体で36.1%であったが、今回は全体で55.9%と増加しています。

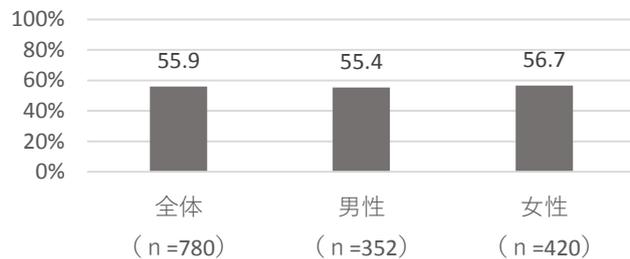
(※前回の調査では要支援者は含まれていない。)

【認知症 リスク該当者】

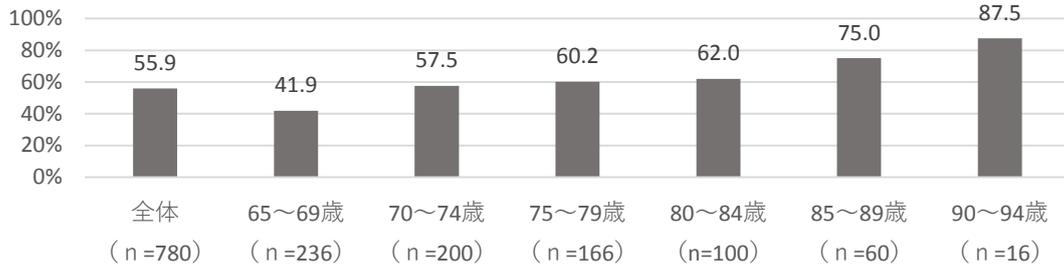
圏域別



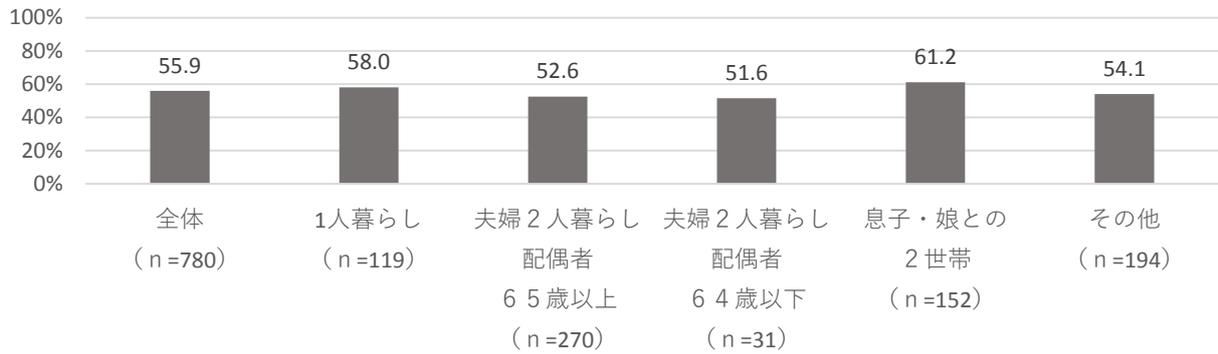
性別



年齢別



家族構成別



(6) 虚弱

リスク該当者：以下の設問で、10問以上該当する選択肢が回答された場合

	設問	該当する選択肢
問 10	階段を手すりや壁をつたわず上っていますか	3. できない
問 11	椅子に座った状態から何も捕まらずに立ち上がっていますか	3. できない
問 12	15分ぐらい続けて歩いていますか	3. できない
問 13	過去1年間に転んだ経験がありますか	1. 何度もある 2. 1度ある
問 14	転倒に対する不安は大きいですか	1. とても不安である 2. やや不安である
問 15	週に1回以上は外出していますか	1. ほとんど外出しない 2. 週1回
問 16	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1. とても減っている 2. 減っている
問 21	身長・体重(BMI値)	BMI値が18.5未満
問 29	6カ月間で2~3kg以上の体重減少がありましたか	1. はい
問 22	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1. はい
問 23	お茶や汁物等でむせることがありますか	1. はい
問 24	口の渇きが気になりますか	1. はい
問 31	物忘れが多いと感じますか	1. はい
問 32	自分で電話番号を調べて、電話を掛けることをしていますか	2. いいえ
問 33	今日が何月何日かわからない時がありますか	1. はい
問 34	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	2. できるけど、していない 3. していない
問 35	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	2. できるけど、していない 3. していない
問 38	自分で預貯金の出し入れをしていますか	2. できるけど、していない 3. していない
問 44	友人の家を訪ねていますか	2. いいえ
問 45	家族や友人の相談にのっていますか	2. いいえ

○日常生活圏域別にみると、富津地区が15.1%で最も多く、続いて天羽地区が12.3%、大佐和地区が10.7%となっています。

○性別にみると、女性が16.2%と男性より該当者が多くなっています。

○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて該当者が大きく増加しています。

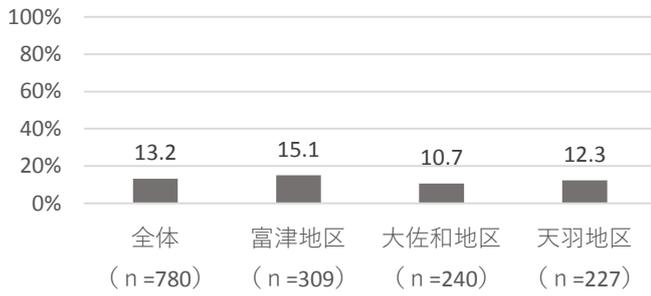
○家族構成別にみると、1人暮らしが18.5%で最も多く、続いて息子・娘との2世帯が15.1%と続いています。

○前回の調査との比較としては、前回は全体で6.9%であったが、今回は全体で13.2%と増加しています。

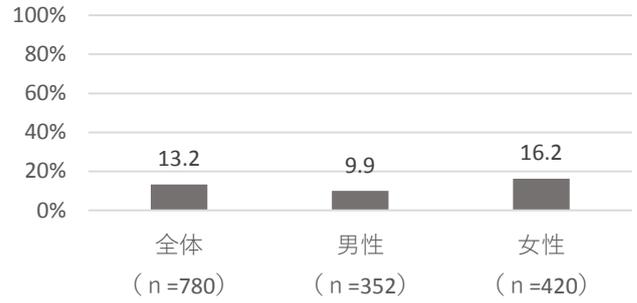
(※前回の調査では要支援者は含まれていない。)

【虚弱 リスク該当者】

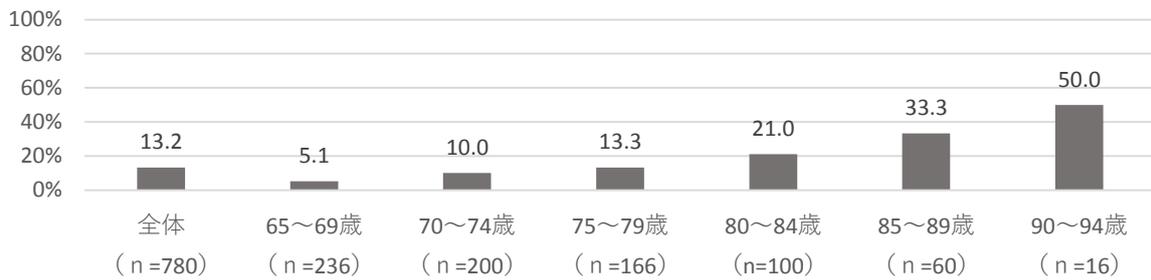
圏域別



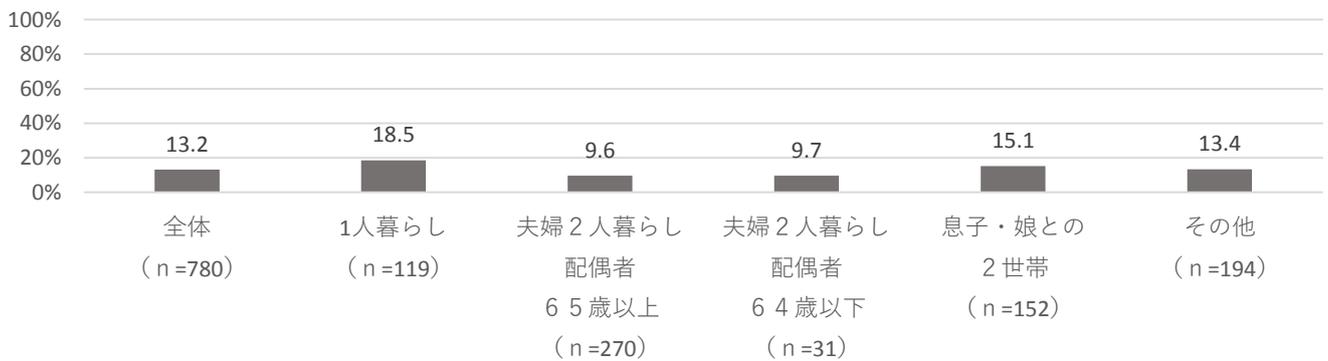
性別



年齢別



家族構成別



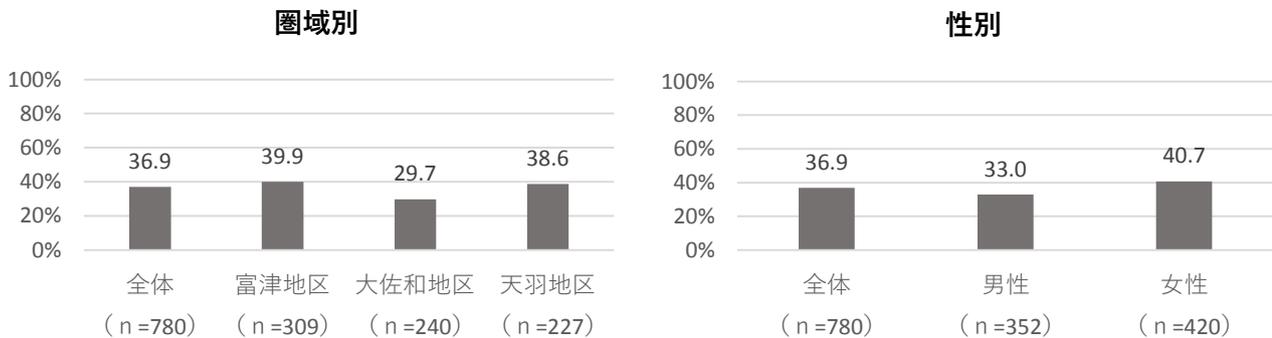
(7) うつ傾向

リスク該当者：以下の設問で、いずれか1つでも該当する選択肢が回答された場合

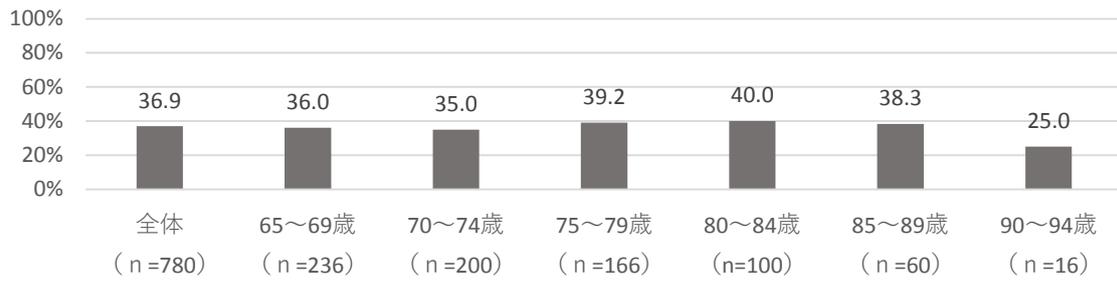
	設問	該当する選択肢
問 63	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか	1. はい
問 64	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか	1. はい

- 日常生活圏域別にみると、富津地区が39.9%で最も多く、続いて天羽地区が38.6%、大佐和地区が29.7%となっています。
- 性別にみると、女性が40.7%と男性より該当者が多くなっています。
- 年齢別にみると、80～84歳が40.0%で最も多く、続いて75～79歳が39.2%、85～89歳が38.3%となっています。
- 家族構成別にみると、1人暮らしが44.5%で最も多く、続いて夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が41.9%と続いています。
- 前回の調査の比較としては、前回は全体で23.8%であったが、今回は全体で26.9%と増加しています。（※前回の調査では要支援者は含まれていない。）

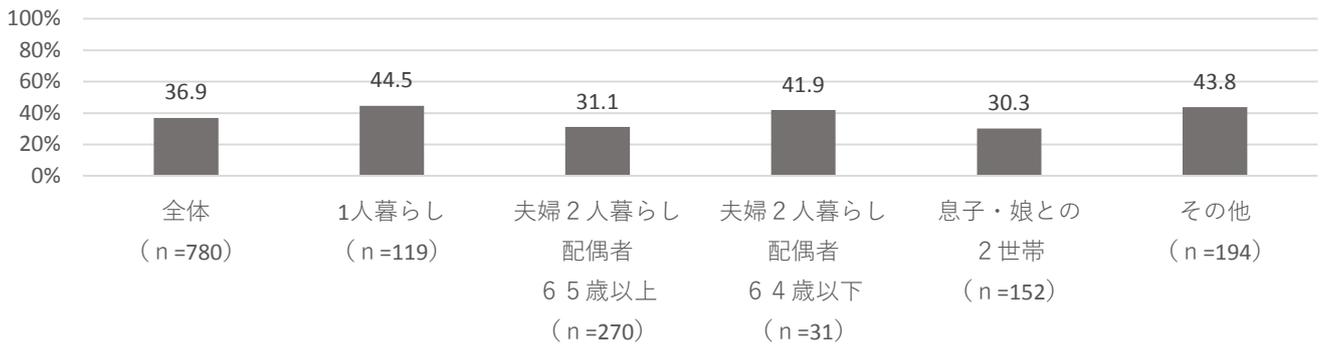
【うつ傾向 リスク該当者】



年齢別



家族構成別



2. 日常生活・社会生活

(1) 手段的日常生活動作 (IADL)

低下者：以下の設問で、該当する選択肢を1点として、合計が4点以下の場合

	設問	選択肢
問 34	バスや電車を使って1人で外出していますか (自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない ↓ 1点
問 35	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	
問 36	自分で食事の用意をしていますか	
問 37	自分で請求書の支払いをしていますか	
問 38	自分で預貯金の出し入れをしていますか	

○日常生活圏域別にみると、天羽地区が21.3%で最も多く、続いて富津地区が18.9%、大佐和地区が15.7%となっています。

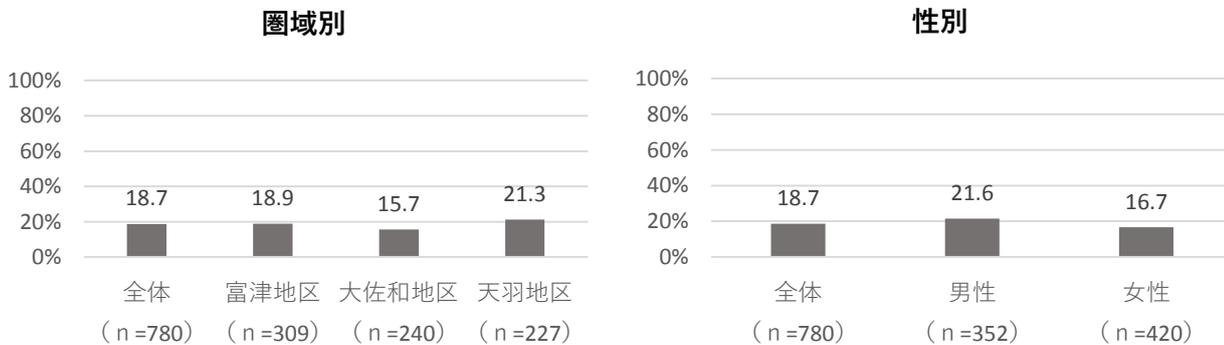
○性別にみると、男性が21.6%と女性より該当者が多くなっています。

○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて該当者が大きく増加しています。

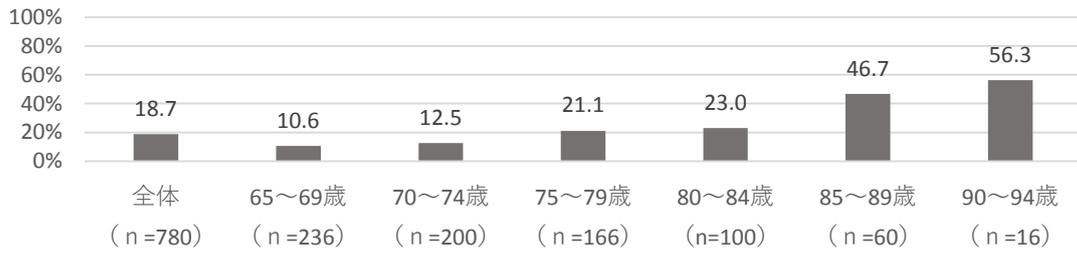
○家族構成別にみると、夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が32.3%で最も多く、息子・娘との2世帯が25.0%と続いています。

○前回の調査の比較としては、前回は全体で47.2%であったが、今回は全体で18.7%と減少しています。

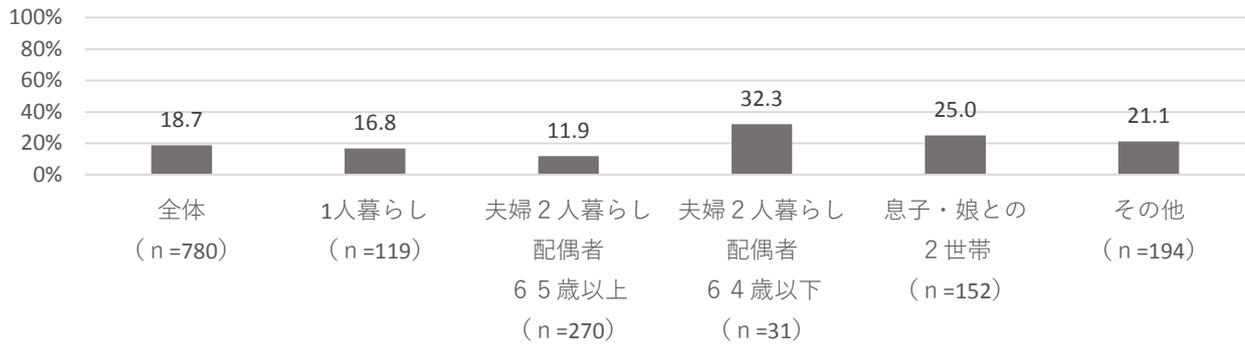
【IADL 低下者】



年齢別



家族構成



(2) 知的能動性

低下者：以下の設問で、該当する選択肢を1点として、合計が3点以下の場合

	設問	選択肢
問 39	年金等の書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい ↓ 1点
問 40	新聞を読んでいますか	
問 41	本や雑誌を読んでいますか	
問 43	健康についての記事や番組に関心がありますか	

○日常生活圏域別にみると、富津地区が49.7%で最も多く、続いて天羽地区が40.5%、大佐和地区が39.1%となっています。

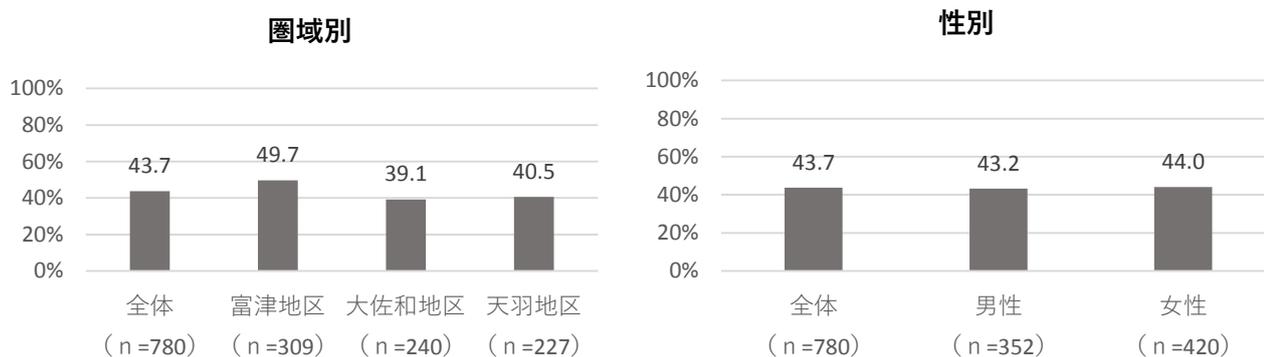
○性別にみると、男女はほぼ同じ割合となっています。

○年齢別にみると、80～84歳が57.0%で最も多く、続いて90～94歳が56.3%となっています。

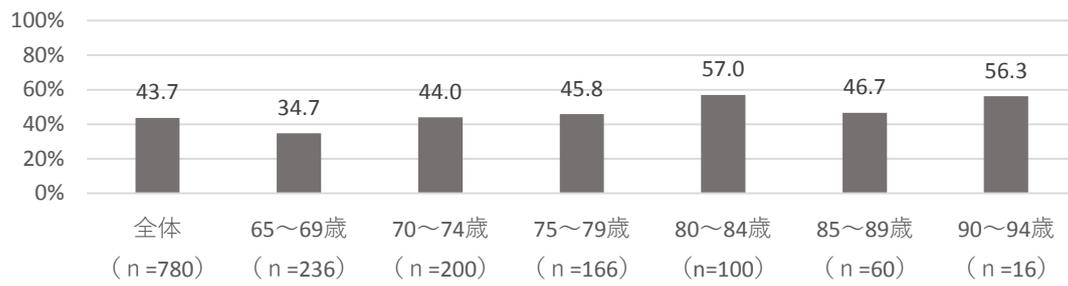
○家族構成別にみると、1人暮らしが58.0%で最も多く、続いて息子・娘との2世帯が49.3%となっています。

○前回の調査の比較としては、前回は全体で55.4%であったが、今回は全体で43.7%と減少しています。

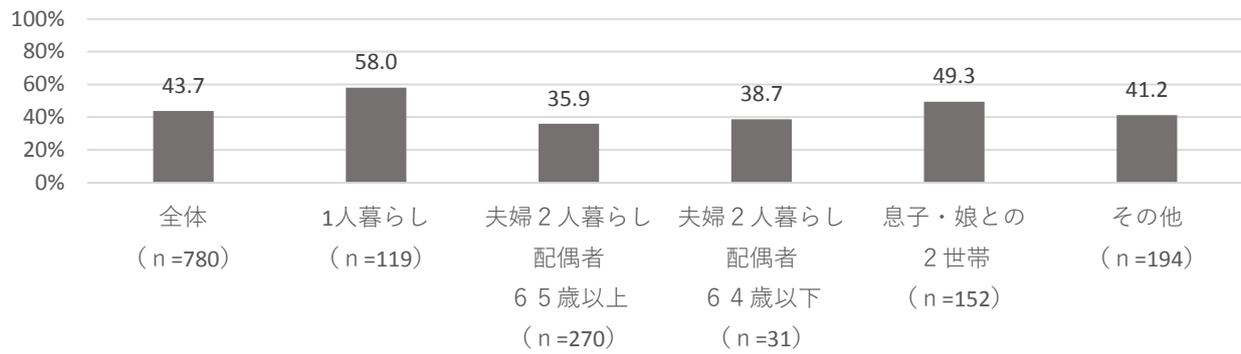
【知的能動性 低下者】



年齢別



家族構成



(3) 社会的役割

低下者：以下の設問で、該当する選択肢を1点として、合計が3点以下の場合

	設問	選択肢
問 44	友人の家を訪ねていますか	1. はい ↓ 1点
問 45	家族や友人の相談にのっていますか	
問 46	病人を見舞うことができますか	
問 47	若い人に自分から話しかけることがありますか。	

○日常生活圏域別にみると、富津地区が56.8%で最も多く、続いて大佐和地区が53.7%、天羽地区が50.7%となっています。

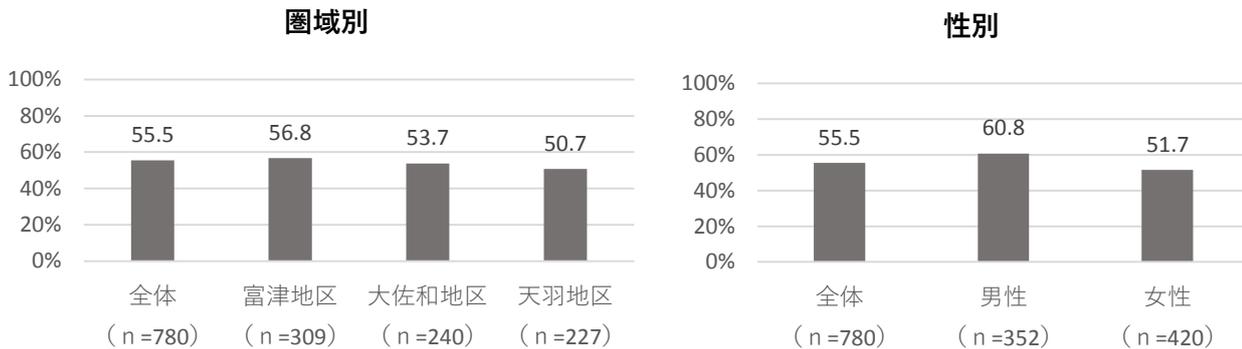
○性別にみると、男性が60.8%と女性より1割近く多くなっています。

○年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて該当者が大きく増加する傾向があります。

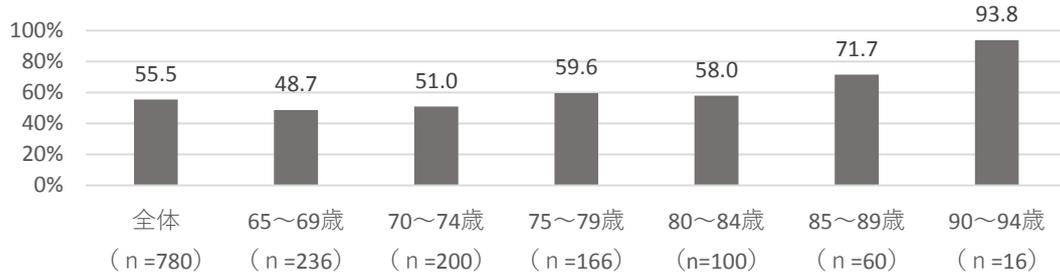
○家族構成別にみると、1人暮らしが63.0%で最も多く、続いて息子・娘との2世帯が57.9%となっています。

○前回の調査の比較としては、前回は全体で62.6%であったが、今回は全体で55.5%と減少しています。

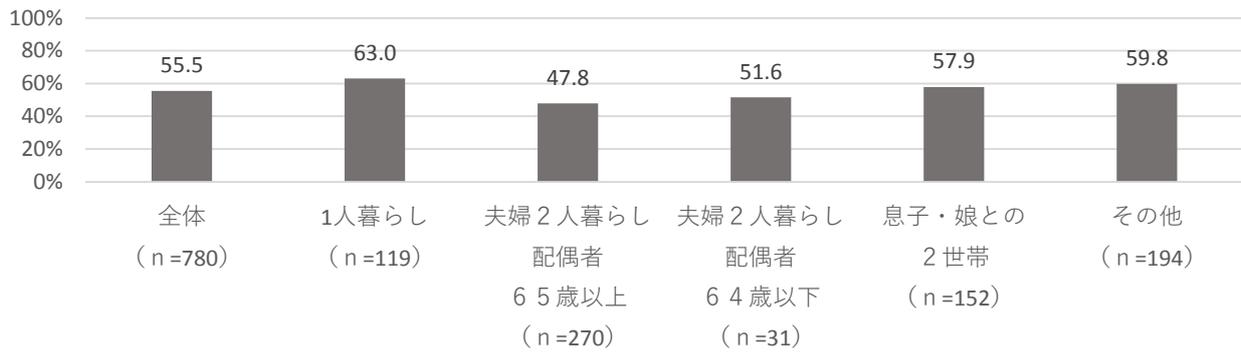
【社会的役割 低下者】



年齢別



家族構成別



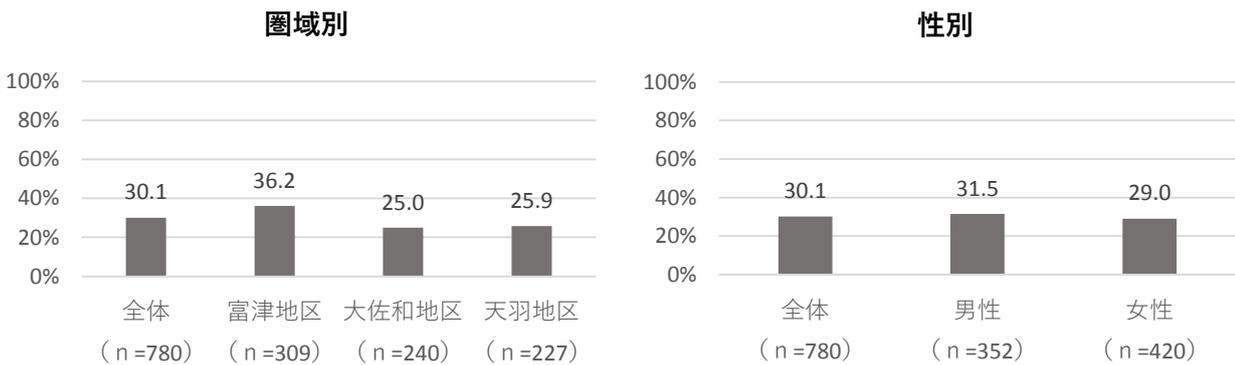
(4) 老研式活動能力指標総合評価

低下者：以下の設問で、該当する選択肢を1点として、合計が10点以下の場合

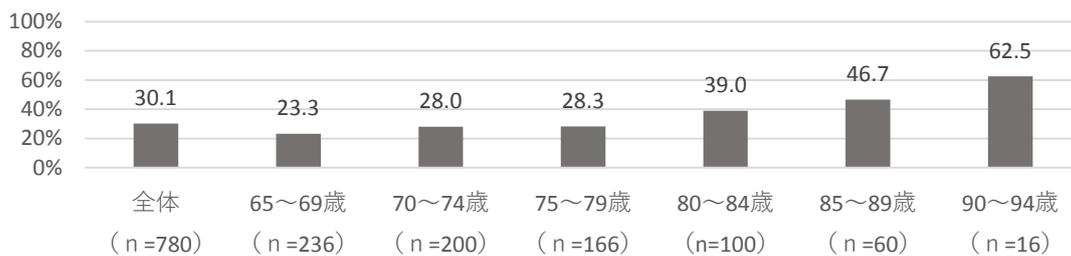
	設問	選択肢
問 34	バスや電車を使って1人で外出していますか(自家用車でも可)	1. できるし、している 2. できるけどしていない ↓ 1点
問 35	自分で食品・日用品の買い物をしていますか	
問 36	自分で食事の用意をしていますか	
問 37	自分で請求書の支払いをしていますか	
問 38	自分で預貯金の出し入れをしていますか	
問 39	年金等の書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか	1. はい ↓ 1点
問 40	新聞を読んでいますか	
問 41	本や雑誌を読んでいますか	
問 43	健康についての記事や番組に関心がありますか	1. はい ↓ 1点
問 44	友人の家を訪ねていますか	
問 45	家族や友人の相談にのっていますか	
問 46	病人を見舞うことができますか	
問 47	若い人に自分から話しかけることがありますか。	

- 日常生活圏域別にみると、富津地区が63.2%で最も多く、続いて天羽地区が25.9%、大佐和地区が25.0%となっています。
- 性別にみると、男女はほぼ同じ割合となっています。
- 年齢別にみると、年齢が高くなるにつれて該当者が大きく増加しています。
- 家族構成別にみると、1人暮らしが42.9%で最も多く、続いて息子・娘との2世帯が36.8%となっています。
- 前回の調査の比較としては、前回は全体で52.1%であったが、今回は全体で30.1%と減少しています。

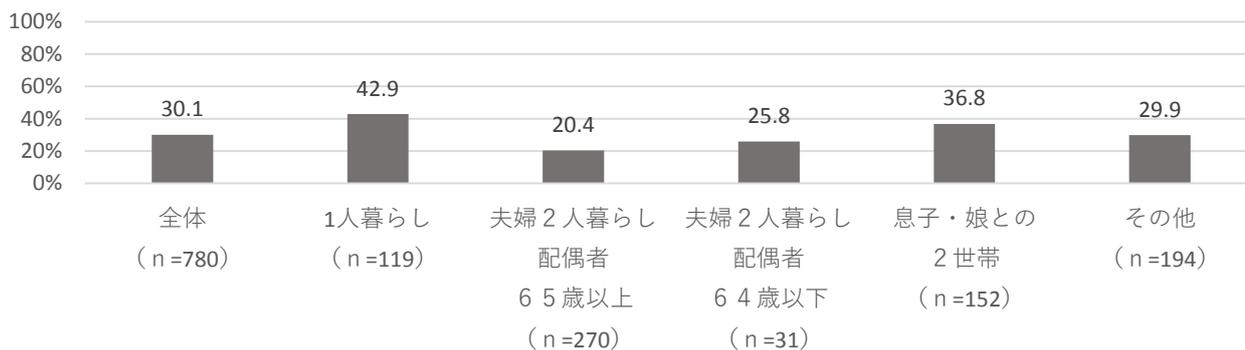
【老研式活動能力指標総合評価 低下者】



年齢別



家族構成別



第 10 章 自由回答

1. 介護保険・高齢者保険・福祉への意見・要望

高齢者福祉・介護保険についての意見要望は440件あり、その内訳については、65歳以上の市民が149件、40~64歳の市民が77件、居宅サービス利用者が83件、施設サービス利用者が53件、サービス未利用者が40件の意見がありました。

<65歳以上の市民>

介護保険料・介護保険制度等について

- 高齢者施設に入るときの費用が心配である
- 年金が少ないのに介護保険が高すぎると思う
- 介護保険も積立式にしてほしい
- 高齢になると、お金より自分の健康づくりが、一番大切な事である。自分の体は自分が一番わかっている事なので、病気、ケガ等にかからない様に日々の生活習慣を規則正しくする事により（運動、食事のバランス）無駄な医療費、介護保険料を押える事が出来ると考える。（毎日医者にかからない様に努力しています。）
- 介護申請をしてもなかなか入れず、その様な時はどうしたらいいのか。
- 介護保険で利用できる事に何（どんな事）があるか知りたい。
- 年金が少ないので介護料が支払いできなくなったら困る。生活が出来なくなったらどうしましょう。市役所の若手に助けていただきたいと思う
- 介護保険料が高いのでは
- 介護保険のことがイマイチくわしくわかりません。地震避難所などの災害発生の避難所がくわしくわからない。ただ学校と言っているけど、くわしくわからない。
- 動けなくなった時、費用が不足した場合どうしたらよいか、今はそれのみ不安で過ごしています。
- 医療費や介護保険等、余った使っていない者に対して褒賞として還付しても良いのでは
- 出来れば最後まで介護保険福祉にお世話にならずに終わりたいと望んでおりますが、やむを得ず施設に入所しなければならなくなった時、経済的な負担が家族に及びます。多少でも軽減していただけるような時代になっていけばよいなと思っています。多くの人数は無理だと思いつつ願っています。
- 息子と暮らしていても生活に必需なものは自分の年金でまかっていますが、年金が少ないのに介護保険が高くて困っている。
- 介護保険を支払っても介護の認定になるか不安はある
- 福祉の方は受けたことがないのでよくわからない。介護保険は納めるばかり（年金より天引）ですが、年間利用しなかった人には1割返却とか（高齢者のみ）マッサージ券の配布とか年寄りが何かしら喜ぶような仕組がほしい。何でも財源不足と言って片づけられるのはどうですかね。
- 今現在、介護保険料はかけすてのように思える。
- 今我が家では主人76才無職年金なし、私の少ない年金とパート月6万ぐらいで、夫婦2人で生活して居ます。全面的には子供達に頼れないし、その中で保険料や介護料を支払う事は大変です。私自身70才になりいつまで仕事をしていけるのか不安ですし、保険料も支払っていけなくなると思うとこれからの事が心配です。
- 年金から天引きされ医者に掛かる金がないので行っていない。施設介護でなく日々の生活の中で助け合いの介護がほしい。
- 介護保険料の値上
- 保険料が高すぎる

- 今後はいずれ1人になるので介護保険が頼りです
- 介護保険料ですが年金が少ないのに高いと思います。年金の多い人には負担にならないと思いますが。介護を必要とする人には（自分が受けるようになったら）やはり必要な金額なのですね。私にとってはとても大きな金額です。
- 介護保険料を安く特別なサービスよりは安全で安心のできる生活支援を
- 姑息的な制度ばかりで翻弄されてたまったもんじゃない！高齢者が増える事はとうにわかってたはず。
- 誰でもいつの日かお世話になる介護保険、有難、制度だと思えます。課題はやはりその保険料です。人によっては支払いのために通院や食料費、また趣味などの費用を減らさざるを得ません。やはり多少の生活の余裕、楽しみを維持できることが健康寿命を長く保つことができるのではと思います。保険料は少なく介護は厚く…かってな考えでしょうが、だれでもピンピンコロリを思えばこそこんなことを思う今日この頃です。
- 現在介護保険を利用してませんが、必要になったとしても利用すればまた費用がかかるので出来るだけ利用しないと思います。感じる事は経済的に余裕のある人はすぐに利用しているようですが、余裕の無い人は保険料を支払うだけで利用する事が出来ません。
- 国民年金ではとてもじゃないけど介護保険等少しでも安くしてもらいたいです。
- 介護保険を安くして下さい。
- 年金生活者には介護保険料がきびしい。今後後期高齢者が増えて来る、医療費にもかなり費用がかかる。介護保険の必要性については良くわかるが、保険料が高いように思う。
- 将来高齢化率が高くなり介護保険制度の方向性がどうなっていくのか非常に不安を感じる。
- 介護保険は年金から引かれています、少し高い様に思えます。もう少し少なくならないかといつも思っています。
- サービスを一回も受けてない人は介護保険料など低くして下さると助かります。
- 介護保険はどんな時に利用出来るか、くわしく知りたい。又それを利用しない人達には介護保険払わなくても良いのかを知りたいです。高い、もう少し安くても良い、全然働いていない人も男の人が働いているだけで女の人も高くなるのかふしぎです。
- できるだけすみやかに介護の必要な人への手続きをすすめてほしい。
- 高齢者福祉サービスについて利用者の増加に提供事業者が追いついていません。介護保険制度自体が分かりにくく、利用者のための制度になっておらず、多くの問題点があり、今後の改善に期待するものです。
- 保険料を取るだけでなく、使用しなかったら少しでも返してもらえたら気分的にうれしいです。
- 難しい問題ですが保険料は出来る限り安く、サービスは充実して頂ければ幸いです。
- どうしても家で介護ができなくなった場合には介護してくれる施設に入りたいと思います。国民年金程度で入れる施設が欲しいです。
- 介護保険は強制的にしない方が良くと思います。保険金が高いと思います。年金の少ない人には大きな負担です。
- 今後の年金生活に不安（高齢者福祉介護保険料の負担）
- 独居老人のケアを充実させてほしい。(ex) (月1~2回程度)の病院(通院)や買い物などの福祉用タクシー、家の周りの草取りなど。介護保険を利用するほどではないが援助が必要な老人は多いはず。そういう人たちに市として取り組めることを考えて実践してほしい。
- 自宅介護にあらゆる面で力を入れてほしい。返信用封筒がちいさいので一考を要する。
- 介護保険タカイ
- 介護保険料が高すぎる！

- 介護の必要が生じた時は安心して介護が受けられるようになっているといい。経済的にも。年を取った時、経済的な不安があります。年金だけでは苦しい。
- 介護保険料が私の年金に対して高すぎる様に思います。
- 父と2年間同居（デイサービス）してお金がかかり大変でした。私の年金は60万位なので介護サービスを受けると子供に負担がかかると思うと心配、元気でいなければと思う。
- 保険料を安くしてほしい
- ①年金生活なのでこれ以上介護保険料は上げてもらいたくない。②若い人は通勤便利と社会保険料の安い袖ヶ浦、木更津、君津へとどんどん住んでおり、富津市としてどんどん平均年齢が上がってきており、若い人の町となるよう、他市とも比較し負けられないような市にしてほしい。
- 介護保険料はもっと安くしてほしい。
- 介護保険料の取得段階120万未満の区分をもっと細分化してほしい。
- 保険料が高いので年金から引かれてがっかりします。安くなってほしいです。
- 実際に支援を請け負うとするが介護等級が低いと利用に合わないケースが多く利用しづらい方が多い。
- 介護保険料高い。
- 要支援認定について、認定結果身体障害者に対してもう少し考えてほしいと思います。
- 現在の高齢者福祉、介護については費用のかけ過ぎ。都知事の言う様に賢いお金の使い方をすればもっと充実した福祉になると思う。市民が納得のお金の使い方を望みます。高齢者は余生ですが働く人達や子供達にもっとお金をかけるべき。格差、過労死、貧困、非正規……。こんな文字が多く見受けられる今の日本の社会では若い人々が可哀相。せめて明るく楽しく過ごせる富津市政を。
- 健康保険より高く感じられる介護保険は利用する時にはあれこれ条件が付き利用できない可能性大である（実感してます）払い込みたくないのが本音です。
- 介護保険が高すぎ、年金生活者には毎日の生活がとても苦しいです。
- 保険料が高い。要介護にならないとサービスを受けられない。交通の便が悪く病院まで所要時間がかかり行けない。またタクシーを使えば高額となり、日常生活に支障をきたす。
- 介護保険が高すぎる
- 払った保険料がどの様に活用されているのが判らない。高齢者福祉や介護についての現状や方向性について、何を見ればいいのか判らない。
- 高齢者福祉や介護保険について「学びたい」です。

介護施設等について

- これからもっと老人が多くなります。施設がもっとあればと思っております。
- 家にいることが多いので気軽に立ち寄れる場所（おしゃべり、趣味…等）のつどいが出る所がほしい（地区ごと）。支援も介護の認定もされていない人の行き場がない。
- 市内の介護を必要としている人を受け入れて下さる施設を近い時期に作ってください。若い人はこれから先の為に仕事をしなくてはなりません。そんな時、仕事に介護には体がいくつあってもたりません。年金での入れる施設が必要と思われます。
- 特老ホーム施設をもっと充実してほしい。どこも順番待ちで私の母も特老申込み3ヶ所しましたが、1年以上返事なし。これでは母親お世話するより私がおむつ当てどちらが先に床にふすか。
- 現在あちこちに老人施設がいっぱい建設されています。今のお年寄は新しい設備で快適に過ごしています。行政の財源は保たれているのでしょうか。若い方々への負担を思えば年寄りになる不安が大きくなります。

- 息子が独身のため私の老後も心配ですが息子も心配です。公立の老人福祉施設がいくつかあるといいと思います。なるべくこまってる人が早目に入れるようになったらいいなと思っています。私達 65 才以上の今後はどうなるのでしょうか。子は独身、病気したらだれが病院につれていってくれる？誰が食事作る？……と心配、不安です。老人がふえるなか市も大変です。いろいろ考えて下さり、ありがとうございます。

移動手段について

- 高齢者で1人住いの方で子供のいない方は、介護認定を受けるまでの手続きをするまでが大変だと思います。多くの書類をそろえたり、年をとるとそういう事が大変になります。多くの方が困っているのは買物や通院の足がないことです。タクシーもなくなり、1人住いの方は大変困っているようです。
- 高齢になっても自宅で生活がしたいので交通、医療、買物等が心配です。
- 高齢化・少子化・過疎化に伴い地域として買物や病院等の各種手続ができる場合、簡単に利用出来る交通手段が必要と考える。
- 現在は自動車の運転ができますが、出来なくなった時の交通手段としてバスやタクシーの本数があればと思いますのでよろしくお願い致します。
- 通院・買物等の移動手段にタクシーを利用することがあるが費用がかかりすぎる
- 歩いて行ける範囲内にスーパーマーケット、病院、郵便局等がない場合や免許返上してその後は、生活のパターンを「どんな風にするのかな？」と不安になります。(今の所が必要ありませんが、今後に関して考える事があります。)
- 高齢になった、体調不良、独居になった場合、医師の診断を受ける際の交通手段がなく不安です。介護タクシーがいつでも利用できるような配慮を講じて欲しい。
- 以前は電車で行ける事を楽しみにしていたが、今は駅前にタクシーが無く、行動範囲が狭くなった。高齢者の足の便について是非考えて欲しい。今現在は自力で日常のことはまだやり続けようと思っているが、将来出来なくなった時、日常の買物、通院時の足等々を援助して欲しい。
- デマンドタクシーを増やしてほしい！無料バス（バス、イベント入場料）がほしい！
- 山間部の高齢者の移送手段
- タクシーが中々ない。特に湊地区。一人老人でも家族がとなりでも助けてもらえない。人が多くいるので一人老人としてみてあげてほしい。
- 介護タクシーがあれば良いと思います。
- タクシー使用の場合「割引券」があるといいと思う。
- 高齢者免許返納等報道されているが、富津市としてこれからの移動手段をどう検討されているか伺いたいと思う。ボランティア、趣味等活動時も交通手段がネックとなる。
- 地域の現状から自分で運転出来なくなれば動ける人も移動手段がないのでどこにも出られず、外出をひかえ、人との接触もなくなる。災害等が発生しても避難場所まで行けず孤立する可能性大。空気のよい自然を生かした環境整備と観光アピール移動手段がとれる乗りあいタクシー等の検討を！
- 何年か先、買物難民になった場合、テレビのCMの様なタクシーが近くにあるといいと思う。
- 要望の1つとして、市内を巡回するバスがあったら有難い。
- 今は青堀地区に住んで居るので生活が出来ていますが、やがて主人が運転が出来なくなった時、私が自転車に乗れなくなった時、月2回位でも良いので、買物サービス車のような事があればと今は考えてます。先に何かあるか良くわかりません。
- 歩くことが出来ない。病院、日用雑貨などの買いもの時の足になるもの、車イス、補助具を。

- 運転免許を更新できなくなった場合、安く利用できる交通手段がほしい。
- 小型のバスで市外に出てみたい。
- すぐ利用出来る交通機関（介護タクシー、バス等）
- 市内の特老施設への容易な入所。医療機関、買物等に高齢者が利用可能な交通手段。
- 車の免許返納について何か特典など検討？
- 足がないので病院に行くこと、タクシーにしたいでも君津市から呼ぶことになる。

広報・周知について

- 子供のいない夫と二人だけの家族。スマホやコンピューター等の苦手な私ですので、回覧等紙面での情報がありがたいと思います。
- 市川市から転居し10年になります。広報回覧以外富津市を知る術を知りません。
- 「広報富津」等にケア・マネージャーさんの紹介を載せて欲しい
- 福祉介護の事、今の段階で何も分かりません。以前から利用するとなった時知識有りません。不安です。勉強するに当たりどのような方法がありますか。手段が判らず動けません。パソコン、インターネットはやっていません。将来的には免許返納した時の生活困窮（交通、買物）にも不安になり、考えを模索しています。
- 13年義母を家でみたがデイサービスはとてもありがたかった。ショートステイも最初は使ったが、義母がイヤがって家ですごした。近所の人にはデイサービスを使いたいけどどうしたらよいかわからないと言っていた。
- 地域包括支援センターにはどのようにして連絡出来るのかわかったようでわからない。
- 高齢者世帯なので情報を得る為にもメール、ホームページ等無理です。
- 市内にNPOがいくつあるか？どのような活動をしているのか？こんな事も知りません。もっと身近に情報を伝えて頂くと、ボランティア等の参加意欲も沸くのでは？今の年寄り元気です。表に引っ張り出したら？
- 高齢者に直接知らせるサービスをしてはどうか。インターネットの時代であっても知る方法が分からない人が多いと思う。ホームページを見ろと言われても操作出来ない老人が多いのではないかと。待ち体制から攻めの姿勢が望まれる。
- 現時点では不自由はないが、年齢が上がるに従って自分で運転出来なくなったり、他にも出来なくなる事が増えると思うが、そのようになった時にどこに相談すれば良いかわからない。近所との付き合いも殆どなく、介護の施設等わからない事が多い。

その他

- 私は70才なのに、今も丈夫でいるので余り考えもしない問題ばかりですが、いよいよ色んな事を調べたり、余生の事も考えるにはおそいのではないかと…？現在の収入だけで福祉、保険を…とせず、ある程度のことは調べ、本当に困っている人に本当の福祉をと思っています。
- 現在の収入で(年金)施設や住宅等で安心して最後をむかえられたらと希望しています。
- なるべく世話にならず生活して行きたい
- 現在、糖尿病はあるがジョギングと食事療法で健康維持が出来ているので特になし。
- 今は元気です。いつ体の具合がわるくなるのか不安です。その時はよろしくお願いします。
- 地元で若者が多くなる様に。
- 問72で答えましたが、何事も高齢者に良いと思われる事を積極的に取り入れ、生きがいにになり、皆でやる様な事をしてほしい。
- 私は要介護2で通院施設に週2回お世話になっていますが、女性は多くいますが男性が少ないですね。男性ももっと御利用になってはと思います。
- 大変お世話になっております。今のままで結構です。何も申し上げることはありません。
- 安心して暮らせる富津にして欲しいです。
- ピンピンコロリ運動を介護が必要になりましたら家族に迷惑にならないように人生を終わりにするか、いつも心が痛い認知症やねたきりになって、家族に毎日苦勞をかけているのがつらい。コロリと終わる事を市で考えて下さい。長いきばかりが人生ではない。
- 出来るかぎり自宅で平和に暮らしたいと思います。
- 介護保険については利用した事がないのであまりよくわかりません。福祉については1人暮らしなので毎朝頂くTEL連絡について感謝しております。いざと言う時が怖いので
- 年を重ねる事により介護保険のありがたさが分かって来ました。
- いずれにしても高齢については、どうにもならず1日1日を大切に生きようと考えております。
- 防災無線が家の中ではほとんど聞き取れない。外でも風の向きによっては聞こえない時があるので、何かの時はこまるといつも思っています。家が1軒だけなので台風や雪の時は不安です。
- 月に1回は係の方、ボランティアなど訪問してほしい。
- 今は特別なし(健康第一)主義、主治医の元
- 介護する方も大変だと思いますが、その受ける人の対応が色々あると思います。その方に合った介護をより多く受ける様、多種に渡って添って下さる様に。
- 私の回りにはまだまだ元気なのに何もすることがない(特に男性)人達をよくみかけます。何かできる事を探している人をもっと活用できるのでは？本人も多分充実した一日を過ごせるのでは？
- 今回自転車でころび10日の入院を致しました。子供はいても1人は家庭あり、1人独身のため、1人でなんとかしましたが、なさけなくなりました。やっと退院できホッとしています。退院しても家にたべる物はなく、近所の人々の差し入れですごしていました。
- 私共の年齢の(70才台)人達は親と同居が多かったのが皆親を家で看取った人が多いが、今は別暮らしなので病になった時介護してもらうのは無理なので、家に居たいですがやっぱり介護施設しかないでしょうね。その時の為に介護保険払い、その節は利用したいと思います。そうならずポックリ死にたいです、願う毎日。
- 富津市民は若者が少なくなり、増々福祉や介護がのしかかってきて我々に負担が多くなるのではないかと。
- 各自治会、町内会で高齢者による行事があると良い(カラオケ、旅行、花見、お茶会等)

- 私の住んでいる地区では65才以上が60%を越えています。65才以上の一人住まいは35%。毎年確実にこの比率は増えています。国道から私の家まで約100m、その間に8軒家が有りますが一人暮らしが5軒、老母の住いが1軒。実質6軒は一人住まい。待ったなしの対応が必要と思います。
- アンケートについての私の考え。表面的に終わってしまう。メールと同じでその裏にかくれている事、温度が伝わらない。全員は行わなくても良いが、ある程度の人数をピックアップして実際に逢って話して、聞き出す事が重要です。私企業では上部だけでの調査だけで商品を作る等への投資は、殆どが失敗です。出来るだけ消費者に近づいて、実際の確認をしないとうまくゆきません。成功しているお店、企業は、現場でのお客の声を開発に活かし品ぞろえをしています。汗かき、恥かき、靴へらせは、勤め人の絶対条件と思います。実践して下さい。
- 自立心の低い自己中の高齢者が増加しているように思えます。また、高齢者前の中年においても勤労意欲の無い人が多くいるように見られます。扶助費の増加となって財政圧迫の要因になっているように思えます。どこ迄面倒を見たら良いか、疑問に思う事があります。本当に必要な人とそうでない人の見極めが必要と思います。
- 小さな親切大きなお世話にならないように！程々に！
- できるだけ自力でがんばる
- 現在は上記のことは使っていないが、いざ使う時にすぐ対応してもらえるか。役所などは色々手続きが多く、その対応まで時間がかかると聞いたのですが、どうなのでしょう？
- 急に病気になり寝たきりになり病院は3ヶ月（1ヶ月以内）で他を探して下さいと言われます。介護保険を支払っていても何の役にもたちません。病院と高齢者福祉は全く別物なんですね。わかってはいますが、そんな時は連絡して良いと思います。
- 医療費が安く有難いが申し訳ないような気がする。
- 国民健康保険税が高い。自治体は住民の命と暮らしを守るために、社会福祉や社会保障の充実をはかってほしい。アンケートを書ける人はいいが書けない、あるいは投函できない人に対してどう対応しているのか
- 人口減少と高齢化により、頼りになる若者の誘致に真剣に取り組んで欲しい
- 人手が足りないと言いつつ、施設を立ち上げ表向きは素晴らしい施設のようにふるまっているが、入所してみると現実には看護婦が居ない、ヘルパーが規定通り居ないなど高齢者専用アパートなどで実際に利用した家族の方から聞きます。もっと、利用者たちからの苦情などがあつたらスルーせず、しっかり調査してペナルティをつけていただかないと、実際に動いてくれる機関がなさすぎです。
- もっときめこまかに見てほしい。東京から来ましたなぜか人が少ないので福祉の方が分からない。
- 民生委員は高齢者に限らずもっと部落の人々をたずね見回る位の活躍（行動）をして欲しいと思います。
- 高齢者福祉、介護保険行政の現状を考えると大変厳しさを痛感させられるが、高齢者の為の夢、希望、期待の役割、再発見等、意識改革が急務であり、今国が目ざす一億総活躍社会の原点ともなるのではと考えます。
- 年金額引き上げて欲しい
- 国民健康保険料が富津市は異常に高く、娘知人より富津市には居住したくないとの話を聞きます。準備金等の切り崩しを含め、何らかの対策が要ではと思います。
- 地区のボランティアの皆様には手当をやって下さい。資金は市議員を減らせばよい。
- 若い人達が暮らしやすい町づくりが高齢者の福祉にもつながるので若い人達が近隣の他市に流出しなくても済む町づくりをしてほしい。小中学校の再配置計画には、高齢者福祉の面からの反対です。
- 富津市天羽地域包括支援センターの仕事の内容がいまいち分かりません。施設利用者が事故にあつた場合は事故報告提出されている事と思いますが、市としては施設へのペナルティー！
- 現在ふれあい委員をさせていただいておりますが、今の老人は車も運転し、出かけることもいとわれない方が

多く 1 人身にならない。人と交わる事がなくなる前に体操しながらおしゃべりしながら各地区の小公民館等で（例）峰山公民館）老人向けの健康体操など（月 2 回位）やってほしい。又 3 年後には東中学校も天中へと統合になり、校舎はどの様に使用されるのでしょうか？富津公民館の様に色々な趣味の教室や体操教室、バレーや室内のクラブなど子供から老人まで利用できる施設であってほしいです。

- 広報無線も聞きづらい、もっとゆっくりはつきり話してほしいです。
- 他の行政と同様に若い人達が富津に移り住みたくなる企画の応募などを提案したい。

<40~64 歳の市民>

介護保険料・介護保険制度等について

- 介護保険の充実を末永くお願いしたいです。
- 介護サービスの充実
- 富津市も若い人達が少なく、周囲を見ても高齢化が進んでいるので、高齢者が生き生きと生活できる為のコミュニティ作りを進めてほしい。その為に、健康で生活できる寿命を延ばす施策をとり入れてほしい。
- 介護施設の利用状況や個人負担額、施設で働くヘルパーさんの評価(公平な)お金に関係なく著しくサービスが受けられると良いと思います。
- 介護認定を受けていなくても使えるサービスを増やしてほしい。家族が気軽に相談できる場を設けてほしい。お年寄りが気軽に集まれる場所があると良いと思います。(近所に)
- 料理が作れなくなった家庭に食事を安く提供する。例えば、近くのスーパー、食堂、コンビニなどより宅配し、市が補助する。運転免許証を返納した人は、タクシー等を安く利用できるようにする。ネット等との連けができないか。
- すべての人が公平に福祉や保険が受けられる様にしてほしい。
- 介護用品の充実(リースなど)簡単な手続にておこなえるように。
- 高齢者福祉サービス、介護保険などについては市の施策として充実してほしい。しかし、若者がどんどんこの地域を離れて老人だけの町になりつつあるのが現状である。若者や子ども達にとっても魅力的で便利で文化的な町づくりをしてほしい。シニアの健康づくり、介護予防の運動など公民館などで積極的にやってほしい。(音楽や歌などとり入れた楽しく明るいプログラムで)
- 介護サービスの充実をはかり富津市人民がしあわせにくらせる社会を作してほしい
- 現在の 50 代は、いろいろな面で恩恵にあずかる事がない世代だったと思う。(子供の医療費や助成、年金等)この先、年金の受給も減るし、介護保険は増えることが予想されている時に、子供への負担はさせたくない。できることなら、一人余生がおくれる環境を整えてもらいたい。
- 保険が高額である。
- 具体的ではないが、富津市は、木更津、袖ヶ浦、君津に比し高齢者福祉、介護対応等総体的に遅れていると感じている。市の財政問題等解決すべき課題は山積していると思うが、高齢者や障害者など弱者の住みやすい街を期待する。
- 介護サービスが、君津市や木更津市にくらべ、レベルが低いのが気になります。君津市などではできるサービスが、富津ではできない事があつたりするので。
- 健康のためにカーブス通ってますが、ほとんど病院にはお世話になりません。健康保険や介護保険安くして欲しいです。健康増進に努力している人は少し安くしてもいいと思います。女の方は外に出てジム、カーブス、サークルに参加してます。男の方は定年後、家の外へは出たがらず、寝たきりになっても困ります。男の人のための寝たきり予防、ぼけ防止の対策してほしいです。

- 介護保険料を給料から天引されてるが将来使わないまま天引されていけば本人によっては損に思えますが、やはり税金の1つになってしまうのではないのでしょうか。
- 介護保険料の減額又は補助。小中学校の空き教室を高齢者に開放すると共に子供達との交流機会を設ける（昔の遊びや技術、芸術の伝達の間を作る）。病院やスーパー等生活上必要な施設への巡回ワゴン車の設置。
- 介護の等級によって多額の費用が介護施設にかかるという事は良いのか悪いのか？仕組みがいまいち理解できない。また、介護施設を利用しても、介護者の職場の勤務時間に合う事がないので、結局職場を追われる人が出てしまうのではないかと？本当に利用する側にとって便利な制度とは思えない。
- 「ゆりカゴから墓場まで」税金を上げるなら老後まで保障すべきだ。
- 自宅介護をした場合補助金等の制度があればよいと思う。
- 年金だけでは、生活が出来なくなると思います。また、生活するための、家、アパートが市営で、あれば、もっと良い生活が出来ると思います。以上
- 自力で買物に出掛けられない老人への買物代行や移動購買等の充実を図ってみてはいかがでしょうか。
- 制度が複雑でわかりにくい。
- まだ年齢的に実感がわかないといったところです。でも将来も富津市で居住したいと思うので介護サービス、福祉に富津市で力を入れていただけるとありがたいです。私のアンケートが少しお役に立てたらと思い記入しました。よろしくお願いします。
- 急な介護が必要な時にどれだけスピーディーに対応ができるか？例えば、即日ないし2～3日の内に役所ができる体制を作るべきだ。
- 介護の事や保険、税金で金が出ないようにする事だ。市役所は、聞かないとおしえてくれない。
- 介護保険の申請をした時に病院との連結がうまく出来ていなく、許可に時間がかかり、住宅改修工事をするのに時間がかかった。
- 充実した介護保険サービスが要求されると思います。
- 家族だけで介護するには無理があり、共倒れになってしまうので、他者の力をかり介護していける様にしていけたらと思います。初めて介護する立場になった時、とまどう事が多いと思うので、体験談や方法を勉強する機会が欲しいです。男女共に早いうちから心の準備をしていく事が大切だと思います。高齢者にやさしいモデル作りを期待しております。（TVで取りあげられるようなのね）頑張って！！手伝いできる事がありましたら手伝います。
- 介護保険の将来に不安、介護士不足に不安
- 介護サービスを受ける基準等が色々複雑だと聞きますので、もっとわかりやすく受けやすくなることを希望します。

介護施設等について

- 近隣4市(富津、君津、木更津、袖ヶ浦)の有料老人ホームの場所や数入所料の一覧表を作成していただけないでしょうか
- 安価で生活できるよう施設を作ってほしい。
- 以前母を特別養護老人ホームに入居申し込みしたところ、定員がいっぱいで3年後位に入居の案内がきましたが、すでに亡くなっていました。施設は数多くありますが、金額的に無理なところも多いです。
- 寝たきりになった場合の低所得者向け老人ホームが不足していると思います。

移動手段について

- 高齢者用に定期的な巡回バス等の整備を希望します。※交通の便が悪すぎる
- へき地なので車がないと生活できない、高齢者の免許返納が言われているができない状況。年金生活になれば死活問題である。
- 交通の便が悪い所に住んでいるので、自分で外出して買い物に行けなくなったので、気持ちのほりがなくなった。(病気の為自動車が運転出来なくなった)
- 高齢ドライバーの事故が多発している中、自分が免許返納した際、(独り身で) 外出時バスの本数など駅までの手段等心配です。
- 君津のようなコミュニティバス(低価格)があると便利。年寄は、車の運転も危険なので家族から取り上げられると、どこへ行くにも不便で、引きこもりがちとなる。
- 高齢者向け住宅や介護タクシー、コミュニティバスの運行など、リーズナブルな金額で利用できるようにしたらよいと思います。
- 大貫地区はタクシーもなくなりバスも1日に数本の為、1人暮らしの高齢者の方には通院や買い物の時など不便だという声を多く聞きます。もっと手軽に利用できるサービスができれば良いと思います。

広報について

- 介護保険など、必要になった時にあわてて、調べるより、まえもって色々知りたい
- 弱者の方々が生きやすい社会をおこなうことを願いつつ、自分でも何かできることを見つけることができたらし思います。広報など情報チェックをしていきたいです。
- だれでもわかるように、もう少し、高齢福祉、介護についての説明をくわしくしてほしい。
- 介護をする事により、削られる時間を補う何かがあるといい。そういう情報がすぐ得られることも望む。
- 全体的に情報が不足している。
- ホームページが、できないので、回覧板を充実してほしい。
- 現在ガンの治療中なので先の事を考える余裕がありません。しかし、もしもの時は在宅でも考えています。その時に市の方でどんなケアをして頂けるかなどの情報が欲しいと思っております。
- 介護保険の使い方などがわからない。まだ元気だが、義母が高齢なので、そろそろ利用したいと思っているが・・・。
- 介護保険などの内容をよく知らない!!

その他

- 今は、自分自身には、まだ先の事と思うが、まわりの話しを聞いていると、あまりにもと言うか、やっぱり市役所仕事だなどと思う事が多々感じています。何でも書類優先、チョットの時間しか当事者と見ずに判断したり、家族の気持ちを度外視するような感じです。もう少し家族の身になって考えて頂きたいと思えます。
- 自身のことは自身でやる。又、他人任せな方々が多い(自分の親をみない、地域まかせ)
- 若い人達をもっと市に。魅力的な市にしてほしい。
- 富津市の経済面不足の中、各種の取組み大変ですが頑張りを期待しております。
- 高齢者ばかり優遇されていておかしな時代だと思う。若年者と同じように医療等をすれば不必要な治療を受け延命するだけの人も減るのでは、ただ生かすだけの世の中等に疑問を持っています。人にたよってまで生きたいのかなあ。

- 60 才代の一人住まいの方々を外に出すには、どうしたら良いでしょうか、気楽に昼食会などをして見るのもいかがでしょうか、いも煮会等のイベントにしてもどうか。
- 自分も親たちも元気なので、正直まだピンときません。
- 要介護 1~5?段階の基準がよくわからない。知人が要介護 4 からいきなり 2 になったことがあり、ギモンに思った。
- 市民の声を、実態を知ろうとするアンケートは好感もてます。1つ1つでいいので暮らしやすい富津市になってほしいです。いろいろな情報が発言されているといいと思います。
- 高齢者介護サービスももちろん大事ですが、市内にもっと良い病院が増えるようになったらと思います。
- 4 市の中での差があり過ぎる。
- 富津市は高齢者が多くなっています。お金のかかることですがよろしく願いいたします。
- 年をとった時、お金がないと何も出来ないしみじめ
- 以前同居の者が大変お世話になり、又日頃より市役所の担当の方々には感謝いたしております。大変なお仕事ですが、これからもよろしく願い申し上げます。
- これから年をとって 1 人になった時、困り事などが生じた時に誰に相談すればいいのかわからずとても不安です。
- 現在病気の為将来治ればいいのですが、どのような状況になるのか不安です。健康をそこねた時の、生きていく不安を感じています。日頃病気などしたことがなかったので、これからの老後考えた時、いつ何がおこるかわからず、おこった時にどのように市に相談してよいのかもわからず、更にこれから年をとって増々そのような相談のシステムがわからなくなると思うと不安ですね。元気でいられることのありがたさをつくづく考える（気づかされる）機会になったこのアンケートはそのような面で良かったのかもしれない。
- 趣味今後持ちたいと常に思っています。
- 原資となる税金を納める、若手を増やす、施策を期待します。
- 富津市は税金が高い割に福祉サービス等、全般に乏しい。人口も増加せず今後の 2025 年問題に向けて富津市がどの様に変化するのか期待より不安の方が強い。
- 私たちの世代では、年金制度が不安定といわれているので高齢世代になったときの仕事、自己責任が必須と覚悟しています。一方で、行政サービスが向上してくれることも非常に期待しています。どうか市としての福祉サービスを早急に充実してください。
- 富津市に限らず、八方ふさがりの状況なので、対策を立てるのは大変だと思います。これからますます投入できる税金が減り、介護する人材も減っていく。できる限り自衛を、と思っても、給料が上がるわけでもなく、普段の生活に手いっぱい、そうそう貯蓄に回せない。おそらく、生活保護を求める高齢者がさらに増えるでしょう。私などには提案できる策がございません。
- 寝たきり予防体操教室を開いて下さい。精神助成（通院）を再開して下さい。
- まずは地域に活力・明るさがほしい。何よりも若い人が居ることが大切である。高齢者がじゃまにされる位の活気がほしい。そして、高齢者も苦笑いしながら見守る余裕があったらと思う。富津市に見通しがほしい。行政は守りにならず、積極的にチャレンジしてほしい。このままだと、今がんばっている人が、息切れしてしまう…。
- アンケート調査を年 2 回ぐらい福祉サービスの向上に
- 私たちが生まれ育った富津市をもっと活気のある若い人が住みたくなる市にしていきたい。財政面でも富津市は破綻するなど言われない富津市してください。宜しく願い致します。
- 自宅近くに高齢者や住民が集まれる区民館等の施設などを利用し、地域の住民が気軽に利用できるように市役所の人たちに協力してほしい。

<居宅サービス利用者>

介護保険料・介護保険制度等について

- 介護保険料は確かに負担ですが自分自身が介護施設に入所しているので当然の事だと思います。サービス向上を測るためには予算の増額により、施設やデイサービスなどでの人員増（介護士）で労力軽減、介護スタッフの給与増額で意欲向上などです。
- 通所リハビリテーションを利用させていただき感謝していますが介護保険料をこれ以上あげないで欲しいです。年金暮らしのため、生活に支障が出ますのでよろしくをお願いします。
- デイサービスの時間を後1～2時間長く預かってもらい料金はそのままで利用出来ればいいのですが今利用している所でもう1日ふやして利用したいのですが料金がふえるのももう少し料金が下ってほしいです。
- 生活保護受給金額より低額の年金額での1人暮らしで持ち家維持は介護保険税の捻出が厳しい生活。必死に支払ってる者が馬鹿を見ない行政であって欲しい。
- 少額の国民年金で使用できるようにしていただきたい。（介護保険も老人ホームも）
- 千葉県の老人福祉費は、全国47都道府県で47位（ちなみに児童福祉費44位、社会福祉費46位）。助成力は4位の千葉県。財政破綻がニュースになった富津市も、実は収入は9位とか。人口の地区別格差・流出対策。数だけで目先の統廃合を考えるのではなく、子供・若い人達を増やす対策を早急に考えるべきです。他県・他市への長期研修などして学ぶべきと思います。山を壊して砂で儲けるのではなく、恵まれた自然環境を見直す時です。10年後20年後の高齢者の為を考える福祉を考えて仕事をする市の職員になってください。市民の為の職員になってください。
- 要介護の認定が前回よりかくなってきているので、リハビリの回数がへってしまっているの、身体がどんどんおとろえていってしまっているようです。なんとかならないでしょうか？（家族の意見）
- 手続き等簡単にしてほしい
- もっとすべての老人が身近に感じられる様な対策をしてほしい。窓口が丁寧であってほしい。（説明不足な事があった）
- 手続きがめんどろ。簡単にして欲しい。
- 手続きがめんどろなので簡単にして欲しい
- 2人とも年金暮らしですのもう少し、デイケアの料金を安くして頂けたらと思います。
- 今の年金では福祉施設の利用料をまかなって行けない。
- 本当に必要な人に必要なサービスが受けられて、個人負担が少なくなる事を希望します。親身になって考えてくれる家族以外の方がいたら良いと思います。精神的な不安を解消して欲しいと思います。
- 要支援1の人でもデイサービス利用回数を多く出来リハビリをし、又1人暮らしの人も人との話合いが出来たら認知症に予防になると思います。
- 今年から福祉用具のレンタル品を借り始めた。等級によって介護保険の適用外となるベッドなどは結構高額な料金を払っている。等級が上がれば安く借りられるとのことだが、その代わりデイサービスなどが高くなってしまいうらしい。要介護者をかかえる家族としては悩ましい問題である。
- 居宅入浴サービスを受けたいが、手続きや条件などが合わず、利用できていない状態である。もっと簡単に利用できるようにならないものなのでしょうか？年齢による介護制度も考えて頂きたい。90歳以上でありながら受けたい介護内容が充実していない気がするため。
- 介護保険等は毎年更新ですが、2年に1回とかにしたら経費を減らす事が出来ると思います。
- 介護保険や施設費用利用料が高いのは、全生活を支えてもらっているの、ある程度はしかたないと思っています。しかし、介護職の方々の給料が安いという話を聞きます。法人などのトップの方で、もうかっていて、肝心の職員1人1人に渡っていないとすると、やる気もでずトラブルにもなりかねません。そういう検

査が出来るのであれば、良いと思います。すでにあるならいらぬ心配でした。

- わずかな年金から介護保険料等引かれ生活が苦しい。

介護施設等について

- 現在は何とか動けていますが、少しづつ動きが、悪くなっています。動けなくなったら施設へ入りたいです。一昨年心筋梗塞をわずらったので、急な悪化がした時の緊急対応が、ほしいです。
- 年金生活なので市営住のような安い住居を提供してもらいたい。食費か住居費を節約しないと生活できない。エアコンなし。
- 一ヶ月の施設利用料が年金生活の人でもまかなえる様であるとよい。
- 介護福祉施設に入所が必要になった時、すぐに入所出来るようにしてもらいたい。(特に介護している人が病気になって介護が出来ない場合)
- 長く待つことなく、気軽に入れる老人施設が多くなるように希望します。
- 夫が健康なうちはデイサービス・ショートステイ等を使って自宅で生活したいと思っていますが、夫婦どちらかが急に具合が悪くなった時、私を緊急に受け入れてくれる施設や病院はありますか？
- 入所が必要となった時、即、入所出来る様、お願いします。介護している家族に対して、何らかのケアがほしいです。
- 老人ホームに入所したいですけど国民年金ではとても入所は出来ません。
- 介護保険料が年々上がるの大変です。お●の●●もありますが心配です。
- 今は主人が介護を受けており、妻の私が日常の世話をしています。これが普通の家庭であります。この現状になってからはあまり話しかけられず 1 人淋しくなる時があります。幸いにして私は物を作る事が好きであるので、主人の好きなデザートを作り、喜んで食べてくれる顔が楽しみです。私 1 人では主人を外に出して連れて歩く事が出来ません。
- 平成 14 年と 19 年 左下肢静脈流の硬化療法を千葉市稲毛の三浦クリニックさんでやる(自分で)。平成 17 年 東京都東邦大学医療センター大橋病院で腸の内視鏡検査をやる(藤沼澄夫 Dr) 自分で。平成 21 年 甲状腺戻進症と診断される(石井病院で) 中央病院でも診察してもらいましたが、働いていたので予約制なので竹内医院さんをお願いしました。平成 25 年 1 月より 富津市で生活保護支給、助かりました。平成 25 年 12 月 富津市で左下肢静脈流の手術を木更津中央病院でして下さいました。平成 27 年 7 月から介護保険で歩行器を使用させて下さっています。平成 28 年 12 月 26 日 12/15Dr に喘鳴音がすると言いました。12/26 甲状腺の下あたり食べ物がつかえ叩くと逆流してくると Dr に言いました。胃の検査やっとなかったな一と言ひ。平成 29 年 1 月 4 日 29 年 1 月 4 日胃の内視鏡検査をしますと言われました。1 月 4 日検査をやってくれました。1 月 11 日胃カメラの結果が出、今の胃薬で大丈夫との事でした。平成 29 年 1 月 27 日 脳の検査をして下さいました。1/25 日買物に行ったらグラッと身体がなると Dr に言いました。直ぐ検査をして下さり終わると直ぐ写真を見せて下さり、右葉左葉も大丈夫全く異常はありませんと言いました。平成 29 年 2 月 25 日 買物に行き、品物を袋に入れている時グラグラッとなりました。恐怖が襲いました。平成 29 年 2 月 28 日 診察の日 Dr に左下肢右上肢に浮腫があると言いました。大丈夫と Dr は言いました。平成 29 年 3 月 1 日 菩提寺に参拝に行きました、具合が良かったです。平成 29 年 3 月 2 日 布団の上で両膝をついたら足がつり、間もなく治りました。具合が悪くなった時介護保険で介護タクシーをお願いしたいと思っております。よろしく願い申し上げます。
- 主人(81 才) 昨年 3 月、圧迫骨折で入院。1 カ月半で病院を出なくてははいけなくなり寝たきりの状態で途方にくれていましたが、ケアマネさん等に世話になり施設に入所が出来感謝しています。施設の人達のお世話

はとても家では出来ない親身になって看護していただきました。車椅子だとお医者さんはいっていましたが、すっかり良くなり、今では家で過ごしています。10年前までは考えられない施設の有難さを感じています。これからも絶対に施設なくてはならないところだと思っています。

移動手段について

- 今まで一生懸命働いて今日まで生活してありますが、今一番困っているのはタクシーがなくなった事です。近くの施設にいる主人の見舞いに中々行く事が出来ません。先の短い人生なので足の確保を望んでいますが。同じ様な知人は君津に住んでいますが、交通の便がたくさんあって助かってると言ってます。お考え下さると助かります。
- 通院する交通の便が悪いので困っている。現在は主人が健康で運転しているので頼っている。子供は仕事があり休みが取りづらいのでたのめないのが不安です。
- 大貫地区にタクシーが無い
- 外出する交通手段がないので、気軽にたのめる所が欲しい。(車に乗せてくれる方がいない。)
- 通院やお買い物に1人で行けぬ高齢者にもっと安く、いつでも利用できる介護タクシーを多くして戴ければたすかりますが。
- タクシーがない
- タクシーがないのがこまる
- 病院等の送迎は、タクシーがなくて困ります。平日は、自宅の車もなくて、どうぞ1日も早く介護タクシーをお願いします。
- 通勤買物駅までの足交通機関を大至急考えて欲しい。ボケ老人の予防、ケアタクシーの利用などもっと出来ると活気づくと思う。外へ出る事は大切な学習であり予防につながる。
- 桜井ですのでタクシーバス買物自由に歩行が自由に行きたいです。自分の野菜等は自由に食べたいです。
- 交通の手段がない。バスは時間が(運転する)が少ない。
- 現在デイサービスを週2回利用しています。デイサービス以外の日は午前中ヘルパーさんが訪問してくれて安否確認もできています。山の中なので車を運転しなくなってから買い物、病院等が大変不便です。湊駅にはタクシーもなくなりとても困っています。介護タクシー等を検討してもらいたい。
- 車に乗れないので買い物等を頼んだり、髪のカットなどもすべてお願いして連れて行ってもらっている。タクシーも呼べないので本当に不便なところです。自分で料理ができて材料が買えず、通販などで冷凍食品を買って過ごしているので生きる楽しみなど全くない。(ヘルパーに料理頼んで、買い物ができないので止めた)
- 介護審査は厳しいといわれていますが、災害を受け後遺症で寝たきりに近い物の待遇を厳しくしないでください。病院へ行くときは介護タクシーでストレッチャーで行くのですが、出費が多いので困惑しています。

広報について

- 介護している家族へのケアがほしい。おむつの使い方、食事の作り方等講習会があると助かります。素人が急に介護しなければならない時、情報が得られる機会が少ないと思う。
- 家族からの要望として、今は家族の介護があるので施設に入所は考えていませんが本人が残り1人になった場合長期間の待機をしなくて、すぐにでも入所出来る様に早いうちから見学又は説明等を聞きたいと思う。

- わかりやすいお知らせ願います。質問されてもどういう事かわからず若者にはついていかれません。困った高齢者、たのみますね。
- 何時の間にか高齢になり、目・腰痛・手足しびれ耳は補聴器を利用して居りますが、大切なお話や聞かれた内容がわかりません。言葉をかけられても相手の人は何とか見えます。相手の方がどう考えるか不安です。回覧が回って来ますが、昔生まれ戦争当時ですので、訳の分からない解答ばかりです、先日ショートステイはどうゆう事ですかと聞いたことがあります。せめて老人にわかる様に知らせて欲しいです。

その他

- 娘が介護離職を考えていますができればこのまま仕事を続けてもらいたい。(妻の介護負担が多いので)
- 昨年から手足が不自由になり介護保険を利用しています。(介護サービスも)それまでは認定されていなかったため、実際に利用するまでに時間がかかりました。もう少し早く認定ができると良いと思いました。現在91才ですが年金から介護保険料を徴収されるのはつらいと思いました。しかし現在の自身の状況になりますと、介護保険があつて良かったと思いました。
- 超高齢化社会となり今後の福祉のあり方は本当に難しい問題だと思います。なかなか良い案が思いつきませんが、関係者の皆さんの日々の努力に感謝いたします。
- お世話になっています。このアンケートには、「聞きなれないことば」＝専門的な用語が多く、○印をつけるのにとまどいました。
- 現在通所している施設の方々が、親切で、ていねいな対応をしている事に感謝しています。
- まだ少し動けるので介助してもらいながら買物したい
- 89才なのであまり考えてない
- ゴミの収集所が家から遠く、高齢の為重いゴミ袋を運ぶのが大変、家の近くに収集所を増やしてほしい。災害発生時の避難所が遠く、失明と足腰が悪く歩けないので、大変不安。
- 大変お世話になって居ります今後も宜しくお願い致します。
- おそまきですが今勉強中でお世話になっています。迄た1年になりません 介護を受けながら週3回お世話になって居ります
- ケアマネさんが毎月安否確認・予定表を作成してくださいますが、要支援のうちは、半年に1回くらいでも、いいかと思われます。
- 現在歩行器、つえをお借りしてとても助かっております。又毎月看護師さんが細かくアドバイスして頂きましてとても助かっており安心出来ます。1日も長く生きられる様に願い感謝申し上げます。
- 特別な状況にある身体ですので、近所の先生に来診(週2回、看護師さんは随時)して頂く以外、生命はありません。現在は2人の先生と看護師さんに手厚く見守られこれ以上望むことはありません。介護する夫とも感謝しています。
- 現在はデイサービスを週3回利用しています。とても助かっています。将来的にはショートステイも利用できればと思います。もっと先には特別養護老人ホームのお世話になるかもしれません。その時は必要な時にあまりまたずに入所できればと思います。
- 介護者も年をとって来て大変です。しかし他人の世話はいやと拒否します。できる限りの事はしていますが見る方も不安です(娘)
- 解答項目があまりにも多すぎる(高齢者対象である)。災害発生時の避難場所は理解しているが、遠方な為、又道路事情を考えても避難場所へは絶対に無理である。
- 利用させていただいて感謝しています

- 困った時は誰でもやさしくお願いします。
- 要介護1で1人暮らしをしていますので、ホームヘルパーさんが週2回(掃除と買物)を受けて助かっています。週2日デイサービスに行って、お風呂に入れてもらい健康体操をして、体力がつくようにもらいがばっています。その他ゲームなどの行事に参加して有意義に過ごしてありがたいです。
- 介護者が緊急を要するような事が起きた時、救急車を呼ぶほどでない自分では何もしてやれない時は、有料でもすぐ頼める業者がいましたら教えてください。
- 介護保険の認定調査については、患者が進行性の難病である為、病名や症状を理解した上で調査を行って頂くと(データベースをもって)介護者が回答するにあたり、負担も軽減され、介護のリズムにも影響が少なくなるので検討願います。
- ヘルパーさんが良くやってくれて、ケアマネジャーが気を使ってくれて、いろいろアドバイスしてくれますので助かっています。
- 今のところよいと思います。
- ケアマネの質により、不公平になることがない様に教育が必要!(情報を得る方法が少ないため)「本人の立場になって回答」などコトワリを必要とするアンケートなど不要だと思う。介護する家族の意見の方が重要では!
- デイサービスを利用しています。毎日でも利用したいけれど、料金との兼ね合いで、週に3回です。毎日利用できれば、家族も全日仕事ができると思います。
- 現在1人暮らしなので介護の方に来て頂いてますが、あまり毎日来て頂いても気をつかう事が多く落ち付かない。日と時間が決められているのでどこにも行く事が出来ない。
- 現在施設に入所している為記入していない場所も有ります。施設に入所していますが、市はけっこう頑張ってくれてくれていると(協力)感謝しています。
- 思わぬ怪我をして入院手術となり大勢の方のお世話になり2ヶ月の入院を経て、杖をついてですが歩いて家に帰ることが出来ました。退院してからは家の玄関等に手すりの取り付けやベット等をおかりして改めて高齢者福祉、介護保険のありがたさを身をもって感じております。
- ひとりでなにも出来ない。妻が病気、入院した時とか1人になった時の不安。
- 私は国民年金だけの高齢者ですが週3回の通所Dサービスを受けるのがぎりぎりです。業者だけではない施設が必要になって来ると思いますが市の方では如何ですか。尤も国保のみの老人も今後少なくなると思いますが。
- 同居人として息子がいるが実際問題として日常生活を手伝ってもらうどころか逆に家事が増えている。その為本人も息子も疲れ果てている。このままでいくと、いもずる式に生活がまわらなくなる。
- Dサービスはありますが、リハビリをやっている所が少ないです。富津市は買物するのに、困る人が多くなってきます。特に佐貫(駅前)のスーパーがなくなってから、駅の周りにはなにもありません。お店やさんの出店をお願いします)
- 税金等の免除とか、税金の帰って来る方法が知りたい。医療費のもどりとかあるのか知りたい。

<施設サービス利用者>

介護保険料・介護保険制度等について

- いまの介護制度とサービスがよい
- 現在入所している施設では、外からの食べ物を持ち込むのは禁止となっています。施設での食事で十分な栄養を取っているのですが、時々甘い物などを食べさせてあげたいと思っています、外出させて食べさせて

あげたいのですが、認知がひどく、外出させるのも1人では大変困難です。何か良い方法があれば良いのですかと考えております。外出を手伝っていただける介護サービス等があればと思います。

- 年金より介護保険料について、もっと安くしてほしい
- 富津市の介護保険サービスには十分な保護を受けられて感謝しています。
- 介護保険を利用するまでは、必要無いと思っていましたが、今現在はとても良い保険だと思います。
- 介護保険を利用して、良い保険だと思うように成りました。
- サービスを利用して、外出したり、歩ける様になりたい。
- 介護職員の増員と仕事の大変さに見合った報収を支払って、働く人のやる気をUPさせる事が必要と思う
- 介護保険のお陰でいろいろサービスや補助を受けられるので良かったと思います
- 介護保険制度の存続に不安を感じています。
- 一昨年より施設での食事代が預貯金の金額で変更になりました。しかし自己申告です。正直に答えた者は多く引かれ申告しない者は払わなくても良い。1ヶ月で6~7万円ちがってきます。この辺徹底してやってほしいと思います。介護認定調査時、何度か立ち合わせていただき調査する人によって差があるように感じたので統一していただけたらと思います。
- 介護保険が高すぎる。2割負担今後支払不能の可能性有
- 介護保険料がもう少し安いと助かります
- 昨年、体調不良で入院したが、認知症もあり入院期間中の家族の対応が大変であった。この様なケースに対して、市などからの対応をして欲しいと感じた。例：入院中24時間見守が必要となり肉体的に対応がむずかかった（夜と昼が逆転したり、どこに自分がいるかわからない等）
- 家族の立場に立つと、本制度は大変ありがたい制度です。家族の金銭的な負担が少しでも軽くなればありがたい。（私の場合は、本人の年金は1回分にも満たないので隔月で負担をしており、自分の将来に不安を感じております。）
- アンケートについて、家族が回答する場合本人の気持はわかりません(家の場合は認知症が進んでいて家族の顔をみてもわからない状態なので)。福祉、介護保険については特別不満はありませんが、家族も毎月かなりの出費になる家もあると思うと限度額の申請等の情報を詳しく知りたいです(少しでも出費が少なくなる様な申請等あれば助かります)。
- 在宅で最後まで生活出来るように、必要なサービスが必要なだけ使えるようにして欲しい。家庭の都合は聞きいれてもらえない。ということでは高齢者の対応は難しいと思います。
- 2ヶ月に1回、年金が入金されていますが、1ヶ月ごとに入金され年金だけで施設利用費がまかなえると良いですがまかなえていません。年金だけで賄える様になって欲しいです。
- 家族全員が健康な時には高齢者福祉、介護保険等については余り頭にありませんでしたが、介護度5で特養にお世話になっている現在、この様な制度があるからお願い出来る訳で只々有難く、感謝の気持でいっぱいです。宜しく願います。

介護施設等について

- 現在入所しているところはあと2ヶ月(4月迄)で退所してほしいとの事で、2ヶ所入所希望を出しているが満室で入れない。長男は精神障害者なので、一緒に入所出来る施設が市内にはないのかなと思う
- 食事への不満を口にすることが多い。
- 要介護者が生活の不安を感じる事の無い様に各施設のあり方の見直しを行ってほしい。利用者が困る事が無い様に介護度の認定が誤って認定される事が無い様に利用者の立場を考えて適正な判断が出来る職員の配

置と育成をお願いしたいです。

- 特別老人ホームに入るのに3年間待たされやっと入所することが出来た。1度出たらもう入所出来ない、もっと老人ホームを増えてほしい。
- 特別養護老人ホーム多くの方が利用出来る施設の充実をお願いします
- 年金収入の9割が、施設利用料金に取られているので、苦しい。
- 自分もこれからお世話になることもあると思いますが、すぐに施設に入れないこともあり、病院で2~3コ選んで自分でさがす2~3ヶ所に申し込み順番まちの状態でした。3年前に入りましたが、これから先はどうなるか心配ですが自分の時はどうなるのだろうか？やってくれる人がいるのか？子供はいるけど、それを子供にやってもらっていいものか？やってくれるのか？若い人が減少し老人、高齢者が増え介護されるようになったら自分は受けられるのか？市内には施設がありますが、そこに住んでいる人が優先されることのできるならば良いのですが、市外や、県外の方が住所を移し入居されるのはどうなのでしょう？
- 施設によって介護の仕方が違うので施設を見極めるまでが時間がかかりました。
- 自宅で生活できる事が一番ですが介護者の年齢、体調もあり周りの反対もありましたが今は安心して施設の方をお願いしています。人との会話もあり家庭的な中での生活は、明るくさせてくれます。
- 最近、暴力や言葉によるいじめが多い各施設で働く方は、入所している方の身になって接していただきたい。
- 市内に安く入れる施設をもっと増やしてほしい。
- 施設の職員の方々の適切親切な対応で夫の笑顔も多くなり感謝の気持で一杯でございます。本当にありがとうございます。
- 病院で介護が必要になったとき本人が歩けるときは歩けるようハビリ施設にはいりたい
- 個人のプライバシー等が難しい。
- 国民年金の受給者でも金銭的に入れる施設を作れないか。(収入が5万5千円(月額)位しかない場合でも、入所出来ること)
- 多床室が少なすぎ
- 家族としては、今の施設の方がよくやって下さるので、本当に助かっています。「本人は、回りの方が認知症の方ばかりなので、話が合わない。」と言っています。
- 年金で暮らしているものにとって、家族の施設料は、大きい負担です。かといって、自宅では、お世話しきれない。もう少し補助金などがあると助かります。
- 特養の入居が要介護3以上になってもスタッフの人数等は変わらず、仕事が大変で手が足りないように思う。スタッフ不在などの時間も有るので、ボランティア等募集して入居者の安全を確保して欲しい。スタッフの待遇改善(給与、労働時間等)をしてあげて欲しい。
- 富津市に介護療養施設が少ないと思います。
- 施設の職員の方々には大変お世話になっております。職員の方々あつての入所者です。職員の方々が健康で笑顔で働ける職場であって欲しいです。時間外労働があつたりしては疲れが出てしまうことでしょうか。確かな休息とお給料をアップして笑顔で入所者と接して欲しいです。
- 現在入所している施設は皆さんが親切でよく身のまわりの世話や食事もおいしく又、主治医の先生もよくみていただきありがたいです。(週1回)衛生面でもきれいにしていただき快適です。これからも楽しくすごしたいです、皆さんの協力でありありがたいです。長生きして良かったです。
- (家族の立場から) いろいろな催し物に参加でき喜んでいきます。皆さん親切にして下さり感謝しています。できれば自宅で見てあげたいと思いつながら申しわけなく思っています。できるだけ、会いに行く機会を設けさみしくないようにしてあげたいです。

広報・周知について

- 施設入所待機の時間の長さ、保険やサービスについて知らないことが多く損?したことも多いと思う。情報をわかりやすく教えてほしい。
- 介護保険の事があまりはあくしてなくて、未だによくわからない。もっと市役所の方が私達に特になる情報を教えてくれたりしていただくと助かりますが、あと他の所へ移動したい時のアドバイスや家の近くの施設の案内をしてくれたりするといいと思います。はいりたい時にあきがない場合の事など…
- 利用者や家族が介護しやすい、情報やサービスの提供をしてほしい。しらなければ利用できないような福祉では家族などの生活がもちません。

その他

- 家庭と病院施設と行ったり来たりでしたが、今施設で少しは落ち着きましたが、これから何が起きるか、わかりません。家族も皆離れて暮らしていますのでとても不安です(近くにいっても)施設の職員にもお願いしたい事がありましても、いつも早足で動いているようで、なかなか口に出せません。費用かかりますのでそれも不安です。
- 職員や友人と口をきくことがほとんど無く、無口である。本当の手話でなく「手まね」である。「おはよう」「ありがとう」「どうぞ…」「こんにちは」などのふつうのあいさつをきいたり話したりしたい。無言の生活、音を立てない生活もおもしろくない。
- 墓参りに行きたい。(外出したい)
- 家庭で介護するむつかしさは、増々つると思うので、孤独な老人世帯ではなくグループホームのように「個」を大事にしながらも助け合い見守られて生活できる新しい家(施設)で生活できることを「良し」とする社会が出来ると良いな。(そのような考え方を持つ人が多くなると良いかな)と思う。
- 本当になんでもお金です。私達は介護を受ける時はお金がなければ受けられなく、死ぬだけです。
- 先が見えません。これからも大変です
- 高齢者人口の増加に伴い、問題は沢山出てきます。皆で、力を合わせて問題に対応してゆくことが大切だと考えています。これから自分も高齢者になっていくわけですが、子供には迷惑かけないようにと思いながら、健康に気を付け日々を送っています。年金ももらえるかどうかわからない時代、金銭面等考えると不安でいっぱいです。
- いつもお世話になっております。何卒宜しく願いいたします。

<サービス未利用者>

介護保険料・介護保険制度等について

- 介護保険など、使わないで終わってしまうかもしれないのに少ない年金から保険料を引かれて気の毒です。使わない人などに何か特別なサービスがあるといいと思う
- 高齢者に対して独居が増えるまえに手を打つべき。なぜならすでに独居老人が増えることは目に見えているから。情報の開示が、わかりにくいから利用率が低いし、サービスの拡充もはかれない。介護はあくまで利用者とサービス提供者がいて成り立つので、サービス提供者の増加を考えて政策を作してほしい。
- 1人暮らしの人は利用出来、同居は利用出来ない事が多すぎる。現在同居していても食べていくのに大変なのに利用出来ない事で首をしめられている家があると思う！！
- 夫と二人で福祉の相談窓口(富津市役所)に介護の事で相談しましたが、現状では何もサービスを受けられ

ない事を言われ、その後夫の病状も悪くなり天羽行政センターに電話で相談したら親身に聞いて頂き、窓口に行き手続きをして、その日の内に包括センターに行く様助言してくれて、包括センターからその場で電話連絡で電動ベッド、車椅子、テーブルを翌日配達で手配してもらい、本当に一人で不安だった気持ちが、本当に助かりました。感謝しています。

- 介護保険もう少し安くなって下さい。
- 地域包括ケアの推進が進められている中で、当地区に対して、具体的な提案は今の所ない。しかし、行政にたよらず、地域住人が全体的に、自宅で・・・で行ける地域づくりが必要と考えます。
- 介護保険引かれているので介護2でもオムツのサービスしてほしい
- 現在の経済状況は普通と思いますが、1人が施設に入居した場合、残った家族は経済的に苦しくなると思われ不安です。
- 自宅に介護サービスの方を頼むと1時間800円ぐらい費用がかかると耳にしましたが本当でしょうか？もし本当なら、介護保険を払っているのに少し高すぎると思います。割引があっても良いのでは？(50%ぐらい?)
- 介護保険利用の複雑な決まり事が多く、受けたサービスを利用できない。小規模多機能型施設が富津市には少ない。病院を退院後にリハビリを受けられる場所が少ない。
- 訪問回数を多くして貰いたい。介護保険の説明を聞きたい。
- 介護保険の御世話になり住宅改修をしました。非常に助かってます。

介護施設等について

- 高齢向き比較的低価で利用し易い施設の拡充。
- 年金生活なので身体が不自由になったらなるべく子供に負担を少なくしたいので安い施設に入りたい(子供1人のため)
- 介護療養型医療施設が少ない。白血病の治療の為入院をして、無菌室でのベッド生活で筋力の衰え、生活意欲の低下により全介助となったが、施設が空いていなく、サービスを受けられていない。

移動手段について

- 耳が聞こえにくいので、車の運転もやめたので出かけるのがこまる。病院は介護の車をたのんでいるが、色々と出かける時がこまります。
- 大貫駅にタクシーをお願いしたい。
- タクシーがないのでバスの回数をふやすかのり物を何とかしてほしいです。
- 大貫からタクシー会社が無くなり不便を感じている高齢者が多いと思います。それに変わる小規模の交通手段が必要だと思います。
- 今後年を重ねる程に老老介護では無理となった時の買物困難者等の巡回バス・介護タクシーの充実が必要と思う。

広報について

- 介護高齢者福祉のお世話になりたいと思って、いざとなるとどうゆう行動、手続きをとるのかさっぱりわかりません。具体的な情報が欲しいと思います。経験談など参考になりませんか。

その他

- 現在は多少なりとも介護する身、自身の健康を考えると不安だらけの現在です。
- 地元の集会場を利用し仲間の交流が出来る様な方法があれば外出も億劫にならず、又日中独りで過ごす時間も減るのではないのでしょうか（出張リハ等、レク等）
- 介護者も高齢であり 365 日の見守りが今後、続けられるか、孫（息子）に負担がかかる事が心配である。
- 今の所なんとか出来ますがこれからが不安になります。妻の高齢化と本人の出歩き。
- アンケートがおくられてきたが、問題文が難しいです。頭がパニックをおこします。文章だけではなく絵とかを使ってくれたらいいなとおもいました。15,17,18 は言葉だけでは理解できません。
- 布団干しをぜひお願い致します。
- 骨折の治療が終わったらリハビリが出来ないと困る
- わからない。適当な時期に神様に迎えてもらいたい。さりとてまだ死にたくは無い。91 才
- 私は今の所 1 人歩く事が困難なのでもし家族が介護出来ない場合介護をお願いしたいです。
- アンケートは高齢者には難しい(特に 80 才をこえると)本人に聞いても理解できないことも多い
- 高齢者は加齢と共にいろいろ機能が低下していきます。しかし若い時には社会貢献してきた人達です。その事を全く考えず無視したりバカにする心無い人達が居る。社会の弱者になった私達はただ悲しい。
- アンケートを作って下さるにあたって、大変な作業だったと思い、感謝します。選択項目が広すぎて、個々の事情が千差万別故、通年に渡って使える恒久的な、アンケートの改善を希望します。(忙しい事務を鑑みて)限られた予算を効率的に活用していただけるのは「職員の方々の力」と希願します。
- 独居老人なって 1 年余りになり大変心細い思いをしております。ヘルパーさんの存在も判りません。1 か月に 1 食だけ民生委員さんがお弁当を届けてくれます。私宅の近所は買物難民状態で毎日の事に大変困っております。持病があるので、最近だんだん体の動きなやんでいます。
- 介護サービスをはじめてまだ 1 ヶ月程でよくわからない。買物は不便をかんでいる。病院は送迎をしてくれるのでとてもよい。
- 市役所の職員の対応が悪い。心身になってくれない。他人事の様に適当に対応された事が実際にあり悩んでしまった事が多々有る。富津市民として不安を感じている。他市の対応は親切だと聞かされている。
- 市職員の方が、各地域に定期的に訪問し、各面での意見・考え方 etc を聞いていただけたら、現実問題が把握できるのでは。
- 100 のアンケート調査より 1 の実行を
- 今回介護保険を利用しました。ありがとうございました。いまだ靴も自由に履けず歩行も困難ですが頑張ります。
- 私も足が痛いのでどこも出ずがんばっています

2-1. 自治体に希望する支援

※介護保険サービス提供事業者のみ

貴事業所は自治体にどのような支援をしてほしいですか（問 32）

介護保険サービス提供事業者に対して、自治体に希望する支援を自由に記入していただいたところ、33 件の回答がありました。

- 介護職員の給与水準は、現在も低いと感じます。今後、高齢化が進む中で、介護職員の人材確保が必要です。少しでも給与が上がるよう検討して頂きたいです。介護職の良いところをもっとアピールできたらと思います。
- 交通に関する支援、買い物に関する支援
- 情報提供、補助金の検討
- 情報提供を希望します。
- 富津市内における高齢者の状況や要介護の状態を各事業所へ向けた報告会等があっても良いと思われる。
(情報交換の場)
- 健康寿命を延ばすより一層な取組み、相談窓口としての薬局の活用
- 情報の提供、補助金の検討
- 支援ではなく共同して取り組みが行える様に各団体との交流機会がほしいです。
- 介護保険利用者の高齢化と共に障害者も同じ様に高齢に達している事を鑑み、双方共に制度の見直しや相談事業、居宅支援事業の拡充にご支援を頂きたいと思います。
- 地域の困りごとアンケートをもとにし、それによって自治体として何をすべきか考え住民と自治体で協力、協働する。
- 今は情報はインターネットによるものが多いと思います。しかし、誰もが使えるアイテムではないので、高齢者の方でもわかりやすい情報を届けて下さる様なシステムがあれば良いと思います。
- 地区ごとに小規模多機能があればいいと思います。
- ケアマネが解からない事や、困った事があった時の相談できる窓口がほしい。現在はその窓口がせまく感じている。
- いろいろと、情報がほしい。
- 特にありません。
- 自治体や民生委員が地域住民（独居）の方の状況把握をしてほしい
- 事業所に限らず、地域の中でのボランティアが増えてくれると良いと思っている。
- 自然災害や火災の時は特に夜間何かあった時対応出来る組織作り。
- 天羽地区の連携
- 独居でも安心して住める環境整備（見守を多くし看取りができるぐらい）。その為には定期巡回・随時対応型訪問介護看護、が必要と思います。
- それぞれの法律によるタテ割りではなく、医療・介護・福祉サービス・住居関連とを総合した相談窓口の設置。地域包括ケアシステムの構築に向けての明確な方針の表明。平成 28 年度に富津市ケアマネジャー協議会が設立されたように、各種の民間職能団体設立に向けての後方支援（若しくは発起）
- 高齢者に対する個々の把握、見守り地域等への協力の呼びかけ等。表面的な見方をせず、個々の内情を把握する目をもって欲しい。

- 災害時に、協力して頂けたら、助かります。
- 安定的な経営は言うまでもなく自己(自社)責任であり、自助努力に尽きると承知してはいるものの、収益の減少により廃止したとなると、自治体としてその後の受け皿が減ってしまうことにもなる。自然淘汰と割り切れる問題であればそれに越したことはないが、人口(年令別)推移を考えると心配ではある。
- 高齢者施設・事業所での小・中学生の実習体験
- 情報共有ネットワークの共有
- 訪問できるサービスを周知して頂ければ助かります。
- 施設を活動の場として利用していただけたらと思います。
- 土、日、祝の緊急時の連絡、対応
- 相談がある時は、いつでも相談にのってほしい
- 小・中学生の高齢者施設・事業所での体験実習を通じ、介護の大切さを体感してもらうために、自治体には企画、立案、コーディネートしていただきたい。
- 他薬局との連携を計りたい
- 高齢者施設、事業所で小・中学生の体験実習を通じ、生きること、老いることを考えるとともに、介護の大切さを体感してほしい、自治体にはコーディネートしていただければ幸い

2-2. 介護保険制度や介護保険サービスについての考え

※介護保険サービス提供事業者のみ

介護保険制度や介護保険サービスについて、日頃からお考えのことをご自由にお書きください（問 33）

介護保険制度や介護保険サービスについて、日頃から考えていることを自由に記入していただいたところ、27件の回答がありました。

- 「疑問」を抱く、ケースは多いように、噂や世間話しを含めて、多いようですが、「プライバシー」「人権」などもあり、誰も、私も含めて、対応しない現実はあるようです。如何でしょうか？
- 介護度によって費用が異なる点に疑問を感じます。事業者としては介護度を下げご利用者を良くしていくと収入が減ってしまいます。介護度が低いほど手がかかる方もいます。現在の制度では本人・家族・地域・介護に関わる人々が共倒れしていくことになると感じます。
- 自己負担割合が上がってしまうと、介護サービスの利用が低下することになり、結果として家族の負担が増えてしまい、また介護を理由で仕事をやめなければならない人も増えてしまうのではと考えられます。財政面や介護費用の問題もあり難しく感じます。
- 軽度の方の生活援助がどんどん縮小され、今後困る人が多くなると予想される。
- 介護保険制度が毎年変わることで事務的作業が増える。介護認定が（例）介護2←（区分変更により）→支援1かなりの認定の差が出ます。
- 介護報酬が低い。サービスに「しぼり」が多い。
- 介護支援専門員の仕事量と1件当たりの居宅介護支援費が見合っていない。主任介護支援専門員の質と意義が不明確であり、十分機能していると言いがたい。
- サービス業者の質の担保（医療機関への送迎や補助だけでもサービス業者による対応の差が大きいのは日頃気になっています。）
- 介護認定区分やサービスについて制度による制限（行える事、行きたい事）が多く、不自由な為、シームレスな制度（体制）となっていくよう進むと良いと思います。
- 入院中など医療保険利用中に特に身体状況が悪い時期に介護保険の申請を今後のお守りのように申請や更新をするのはおかしいと思っている。退院後、身体状況は変化するであろうし、介護保険を使わずに生活出来る人もいるので、財政負担を考えるとせめて退院して医療保険から離れてからの申請ではだめなのかと思う。
- 在宅で支えるサービスがどんどんやりづらくなって来ていると思います。またヘルパーさんの確保においても若い方は施設のヘルパーさんになる方に多いですが、在宅のヘルパーさんになる方が居ないようでは状況が見えます。
- 富津市では毎年の様に人口が減っていると言う事を考えると雇用促進、医療、子育て、ライフラインの充実など富津市に住み続けたいと思える魅力ある市にしていかなければと考えています。その中で佐貫に病院や施設が出来ると言う事は素晴らしい事で、他市より自然豊かな富津市へ移住したいと考える方が増えるといいと思います。
- 高齢者が気軽に相談できる窓口がほしい。
- 利用者様やご家族様があまり制度を理解されていないと考えます。
- 老々介護の生活支援をもう少し増やしてほしい

- 小さな事業所でケアマネが居ないので、日々、大変ですが、困っている方のお力に少しでもなれる様日々、頑張ってます。情報が、他の事業所より少なく、大変なので、もっと、介護制度や、説明会等有れば、参加したいと願っています。
- 介護支援専門員の質が問題。利用者の希望聞くことが仕事だと思っている。自立に導くアセスメントがない。その為寝たきりをつくっている。サービス担当者会議も他の市より少なく会議録での共有された文書がない。他の市のケアマネとも連携しているので悲しくなることがあります。(主治医と連携してない。)
- 病院からの訪看とステーションからの訪看では病院からの訪看の方が入院時、退院時、Dr との連絡など密なかかわりをしているのにステーションと比べて単価が低すぎると思う。
- 制度やサービスだけでは対応しきれない間の部分を補う官民合同のサービスが地域に出来ると良い。それぞれが高齢化に対して不安を抱えているはずです。
- 人材確保が出来ないと、質のよいサービスが出来ない。その為には、給料も高くし、介護が魅力的な仕事という感覚を持っていただかなくてはならない。報酬が減る中で、給料を高くする事は難しく、介護職で働きたいという人が減ってきていて、今のままでは、先が不安です。
- 認定調査員によって調査結果ひいては介護度(判定結果)に差があることはよく耳にします。
- 外国人労働者の受け入れ
- 介護施設従業員の報酬の充実
- 社会資源が少ない事と自由に利用することが困難
- 利用者の方にとって利用しやすい介護保険のサービスであってほしい
- 雑務が多い事に対し、在宅業務の対価が低い